

佐世保市
子ども・子育て支援に関するアンケート
結果報告書



令和6年7月

佐世保市

目 次

I	調査の趣旨	1
1.	調査の趣旨	2
2.	報告書の見方	2
II	子ども・子育て支援に関するアンケート	3
1.	調査の概要	4
2.	調査結果	5
1.	お子様とご家族の状況について	5
2.	お子様の母親・父親の就労状況について	19
3.	お子様の平日の定期的（月単位）な教育・保育事業の利用状況について	26
4.	お子様の地域の子育て支援事業の利用状況について	43
5.	お子様の土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	55
6.	お子様の病気の際の対応について	66
7.	お子様の不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	76
8.	小学校就学後の放課後の過ごし方について	95
9.	育児休業や短時間勤務制度などの職場との両立について	128
10.	幼児教育・保育無償化に伴う、家計への影響について	151
11.	これからの子ども・子育て支援全般について	153
	自由回答（抜粋）	211
3.	アンケート調査票	215

I 調査の趣旨

1. 調査の趣旨

佐世保市では、子育て支援の充実を図るため、令和 2 年度に「新させぼっ子未来プラン」を策定し、幼児期の教育・保育・地域の子育て支援事業に計画的に取り組んできましたが、来年度、策定から5年が経過することから計画の見直しを行うこととしております。

つきましては、現在子育て中の皆様に、佐世保市の子育て支援サービスの利用状況・利用希望等をお伺いし、計画に反映させることを目的に、子ども・子育て支援に関するアンケート（未就学児保護者対象）、小・中学生対象アンケート（web 調査）、小・中学生の保護者対象アンケートの三つのアンケート調査を実施します。

2. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 記述式回答などで、個人等が特定される可能性のある内容については、一部修正をして掲載しています。

Ⅱ 子ども・子育て支援に関するアンケート

1. 調査の概要

- ・調査目的 : 現在子育て中の保護者に、本市の子育て支援サービスの利用状況・利用希望等をうかがい、計画に反映させることを目的にアンケートを実施しました。
- ・調査対象者 : 佐世保市在住の0～5歳児童の保護者
- ・調査期間 : 令和6年4月～令和6年5月
- ・調査方法 : 郵送による配布・回収、WEB回収

配布数	回収票数			有効回収票数	有効回収率
2,990	Web 回収数	返送回収数	合計回収数	1,256	42.0%
	758	499	1,257		

※本調査におけるサンプル数

本調査では、人口比に関わらず一定の調査票数を配布することで、人口の少ない地域においても、地域ごとの意見を把握できるように努めました。ただし、市全体や他の属性別の分析をする際には、分析結果に人口の少ない地域の意見が過度に影響を及ぼさないよう、サンプル数に重みづけをして集計を行います（ウエイトバック集計）。

ウエイトバック集計後のサンプル数は以下のとおりです。

※回収合計数は、地区・年齢の間に対する回答状況により、有効回収票数とは異なる数字となります。

※ウエイトバック集計により、小数点以下の数値が生じることから、端数処理の関係上合計値は一致しないことがあります。

※現在の集計状況による暫定値となっています。

	人口			配布数			回収状況(地域・年齢不明含む)				回収状況(不明除く)			ウエイトバック後の標本数		
	0歳	1～2歳	3～5歳	0歳	1～2歳	3～5歳	0歳	1～2歳	3～5歳	不明	0歳	1～2歳	3～5歳	0歳	1～2歳	3～5歳
本庁管内(東・南)	221	534	837	75	119	186	35	39	49	10	35	39	49	24	57	90
本庁管内(西・北)	161	423	679	75	94	151	11	29	57	10	11	29	57	17	45	73
相浦・中里皆瀬	346	624	1,131	77	139	251	35	77	140	29	35	77	140	37	67	122
早岐・三川内・宮	256	579	924	75	129	205	30	71	112	18	30	71	112	28	62	99
日宇	270	511	817	75	113	181	44	64	100	13	44	64	100	29	55	88
大野・柚木	114	264	430	75	75	95	24	28	48	9	24	28	48	12	28	46
針尾・江上	66	148	245	66	75	75	7	9	28	4	7	9	28	7	16	26
吉井・世知原	33	76	129	33	75	75	3	9	5	5	3	9	5	4	8	14
小佐々	26	73	133	26	73	75	5	9	14	2	5	9	14	3	8	14
江迎・鹿町	40	72	155	40	72	75	5	4	17	2	5	4	17	4	8	17
宇久	3	9	18	3	9	18	1	1	2	0	1	1	2	0	1	2
黒島	0	1	4	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高島	1	2	2	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明							4	16	19	3						
小計	1,537	3,316	5,504	621	976	1,393	204	356	591	105	200	340	572	165	356	591
合計			10,357			2,990				1,256			1,112			1,112

2. 調査結果

1. お子様とご家族の状況について

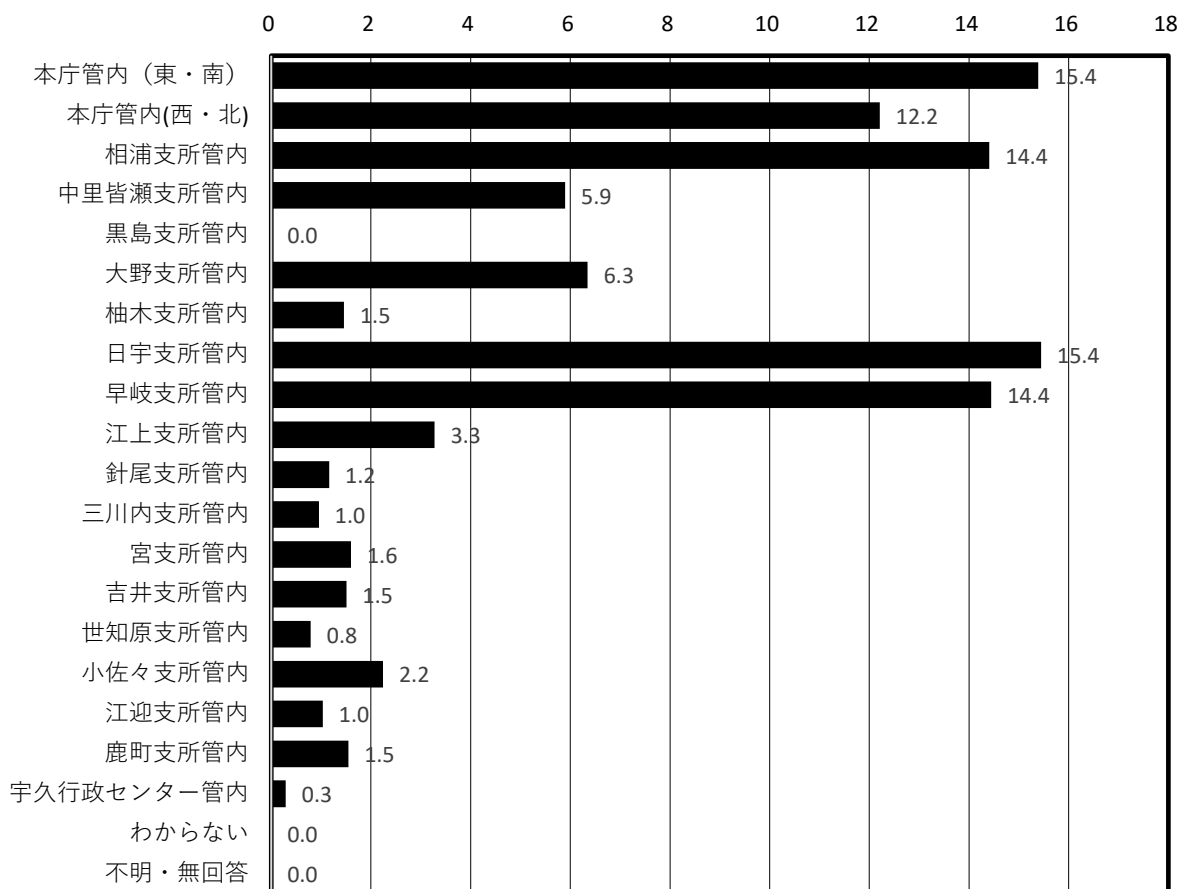
問1【お住いの地域についてうかがいます。（1つに○）】

「本庁管内（東・南）」と「日宇」が15.4%で最も高くなっています。次いで「早岐」と「相浦」が14.4%、「本庁管内（西・北）」12.2%と続いています。

前回と比較して特に「日宇」の割合が高くなっています。

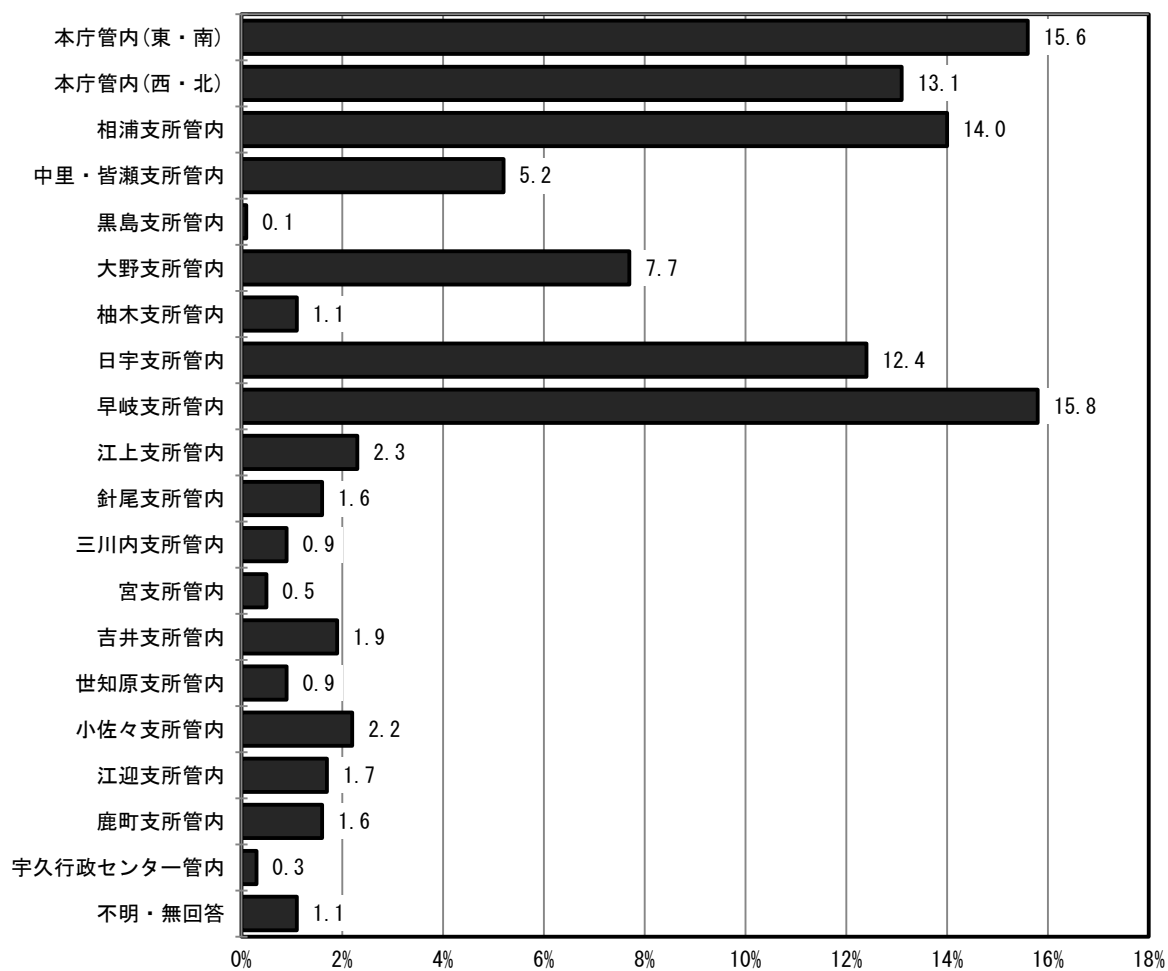
今回（令和5年度）

N=1,112



前回（平成 30 年度）

N=1,417



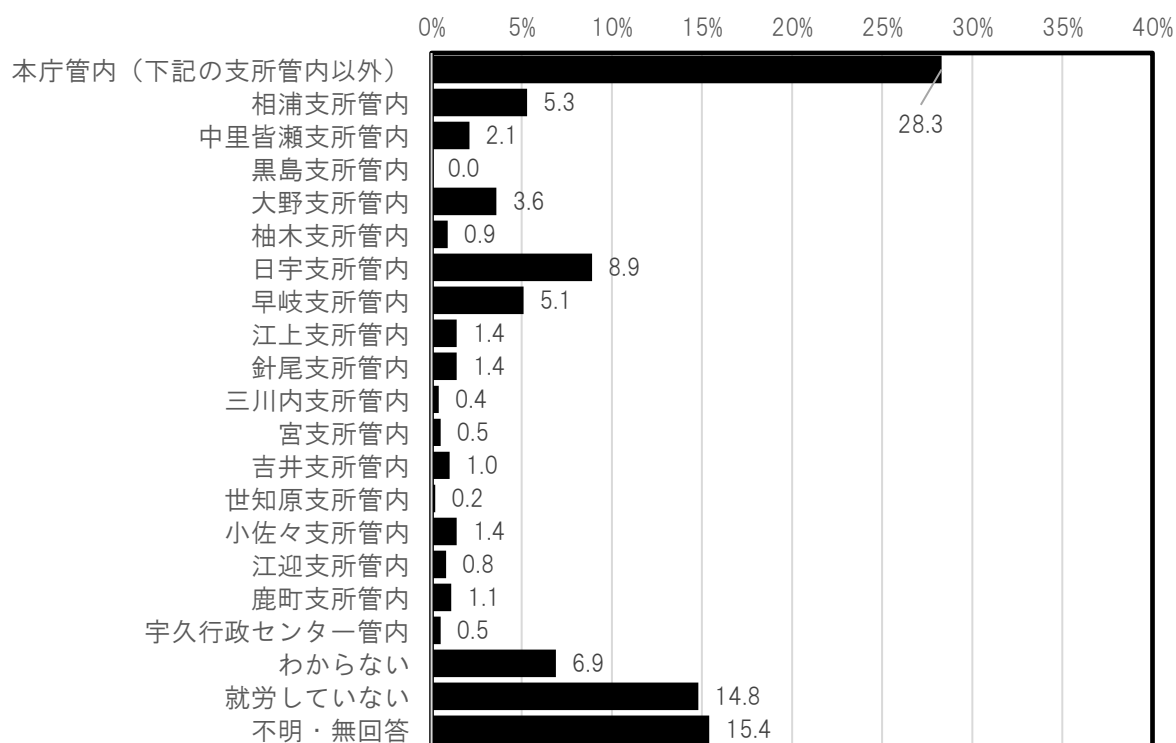
問 2【(母親) 保護者のお勤め先がある地域についてうかがいます。(各保護者の下に、番号を記入)】

「本庁管内（下記の支所管内以外）」が 28.3%で最も高くなっています。次いで「不明」が 15.4%、「就労していない」が 14.8%で続いています。

割合に変化はありませんが、全体的に就労先の回答率が上がっています。

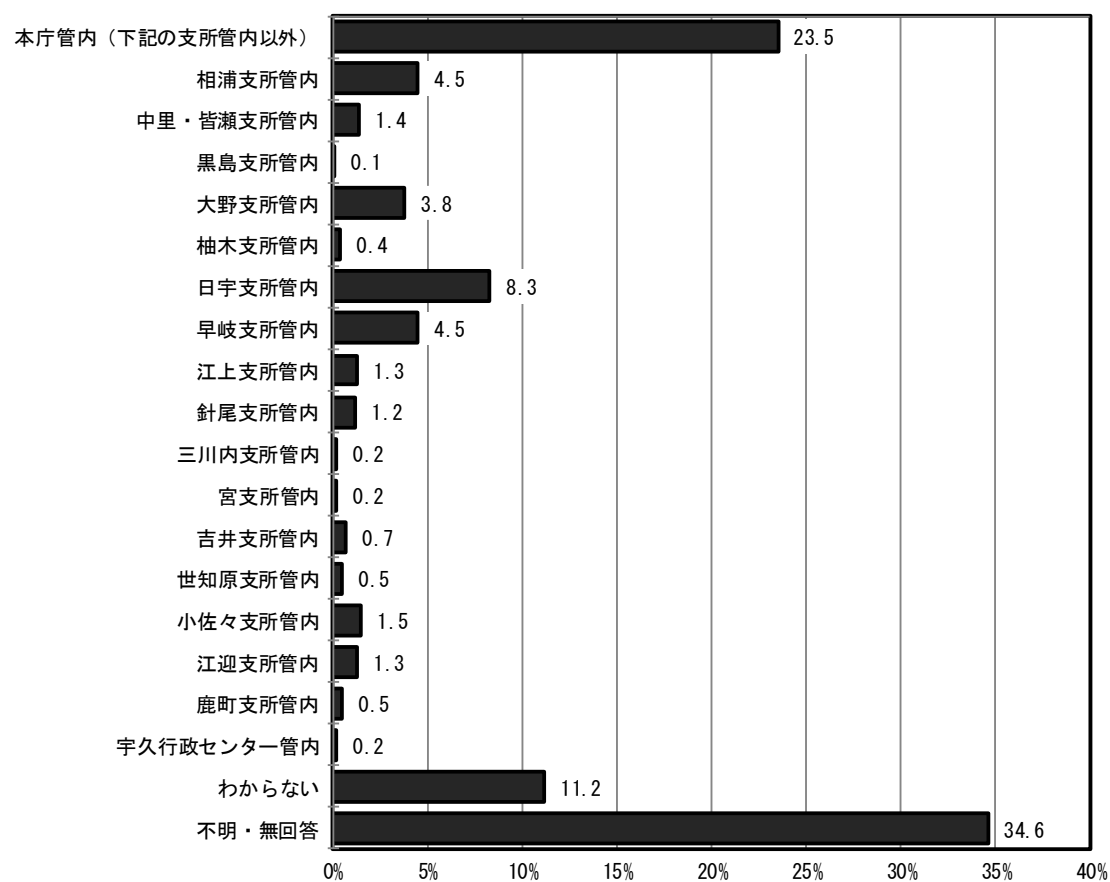
今回（令和 5 年度）

N=1,112



前回（平成 30 年度）

N=1,417



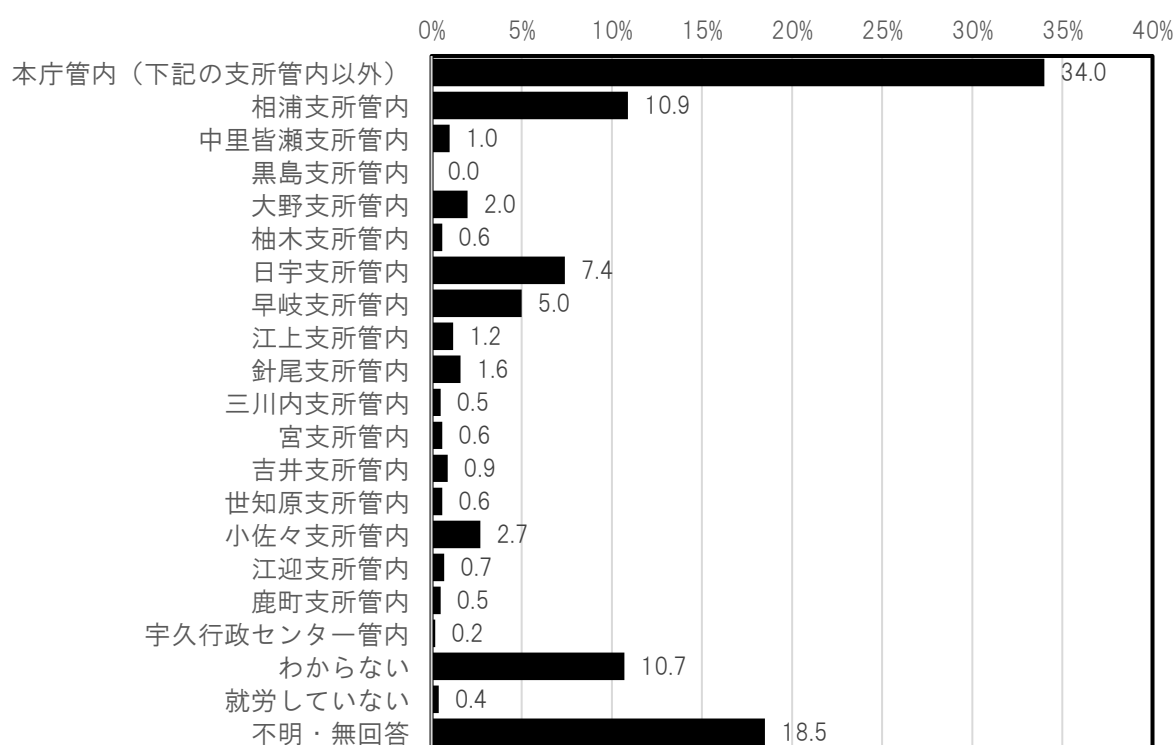
問 2【(父親) 保護者のお勤め先がある地域についてうかがいます。(各保護者の下に、番号を記入)】

「本庁管内（下記の支所管内以外）」が 34.0%で最も高くなっています。次いで「不明」が 18.5%、「相浦支所管内」が 10.9%で続いています。

前回と比較して大きな変化は見られません。

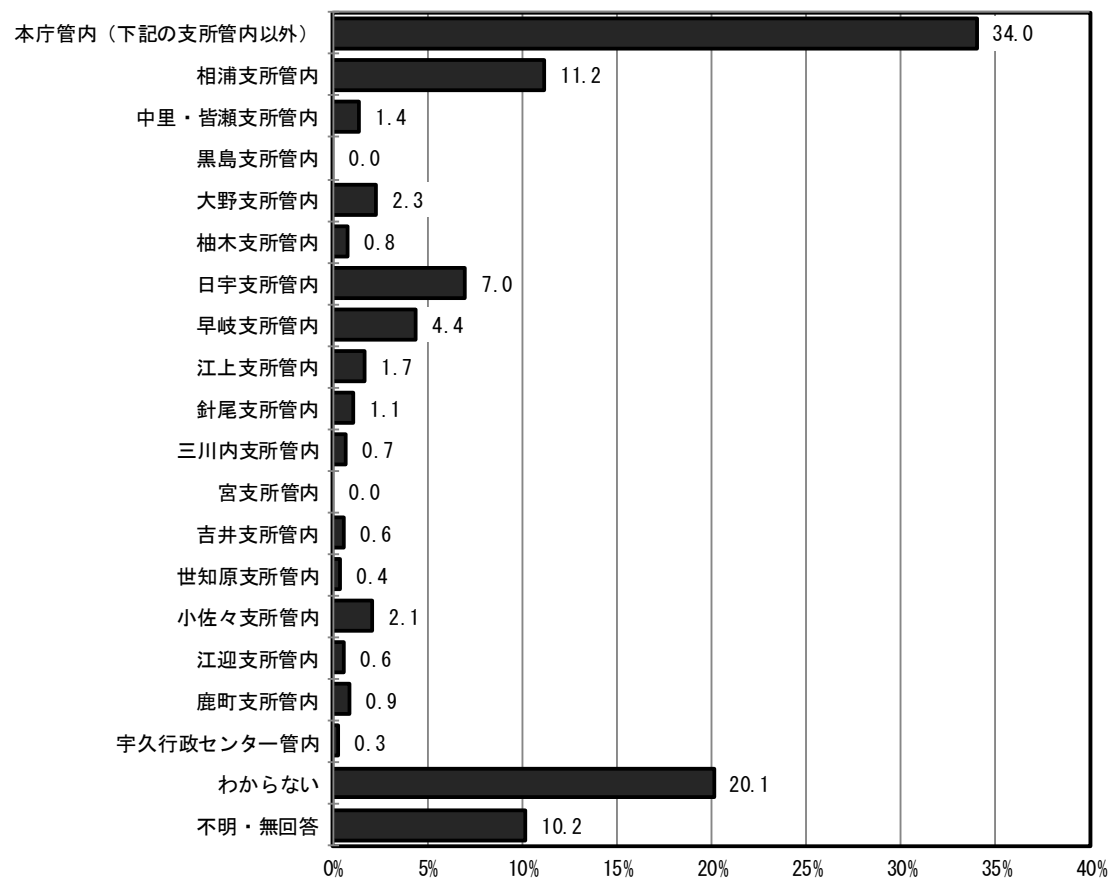
今回（令和 5 年度）

N=1,112



前回（平成 30 年度）

N=1,417



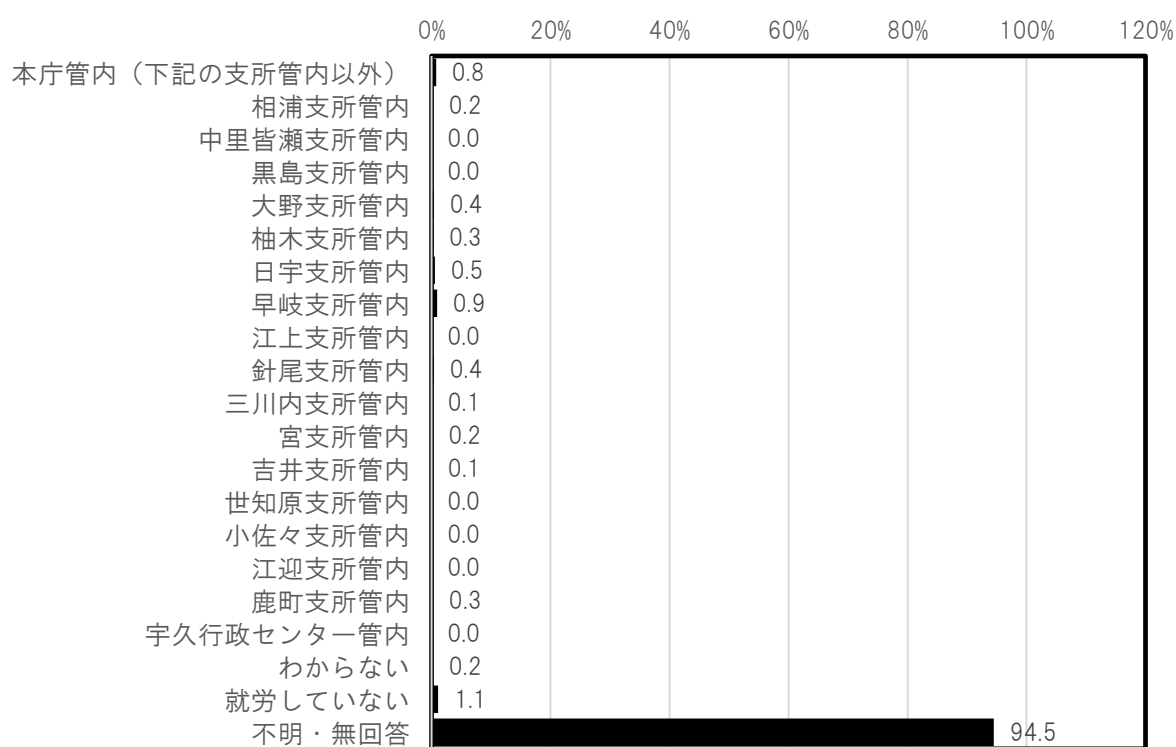
問 2 【(その他 1) 保護者のお勤め先がある地域についてうかがいます。(各保護者の下に、番号を記入)】

「就労していない」が 1.1%で最も高くなっています。次いで「早岐支所管内」が 0.9%、「本庁管内（下記の支所管内以外）」が 0.8%で続いています。

前回と比較して大きな変化は見られません。

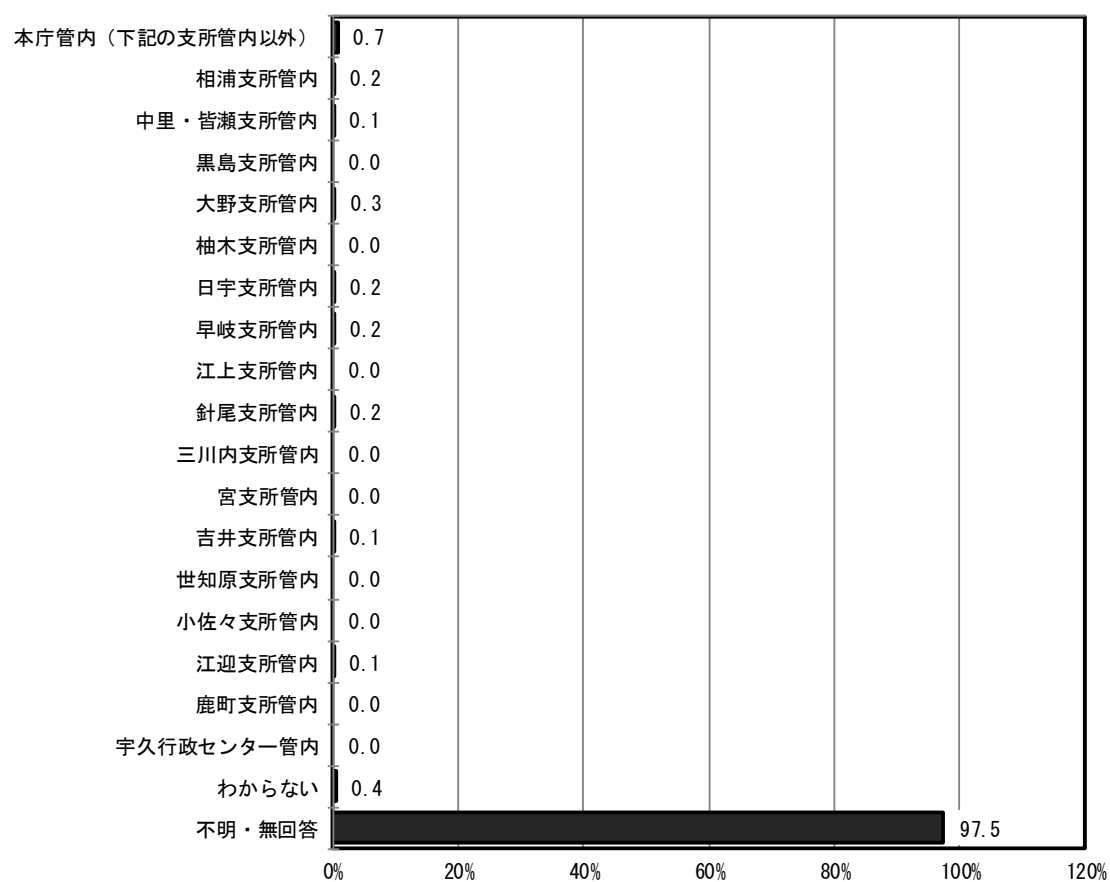
今回（令和 5 年度）

N=1,112



前回（平成 30 年度）

N=1,417



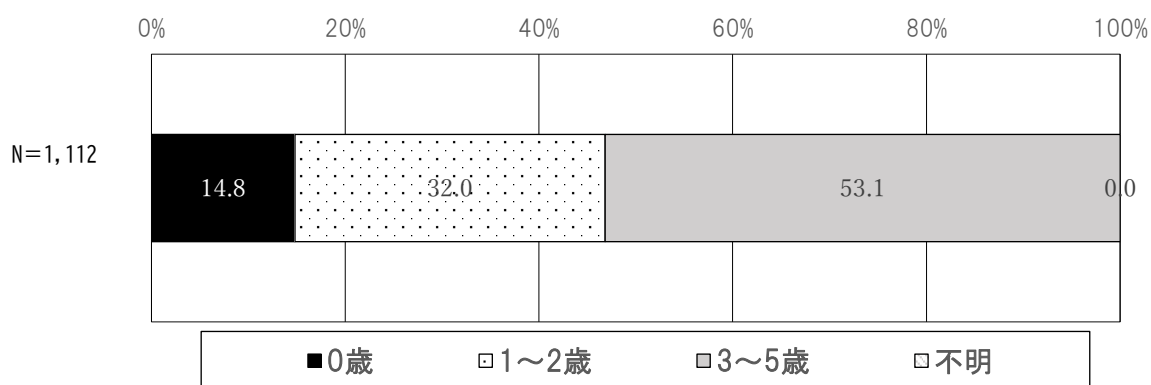
問3 お子様の年齢（あて名のお子様の生年月から算出）

※年齢算出基準日は12月1日

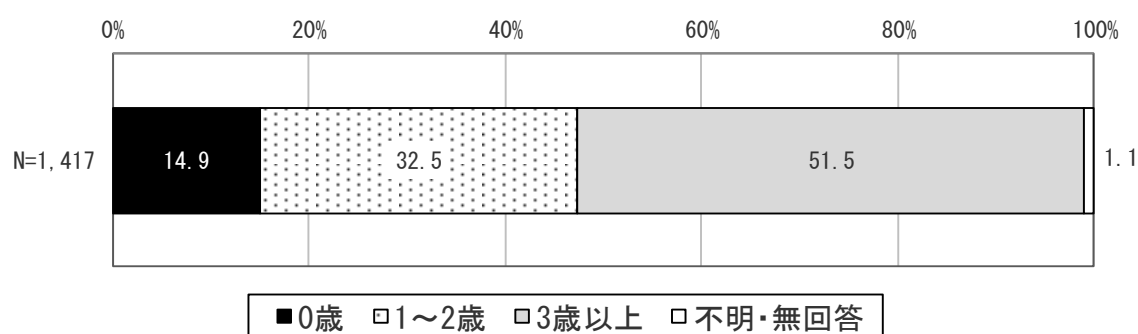
「3歳以上」が53.1%を占めています。「1～2歳」が32.0%、「0歳」が14.8%が続いています。

前回と比較して大きな変化は見られません。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）



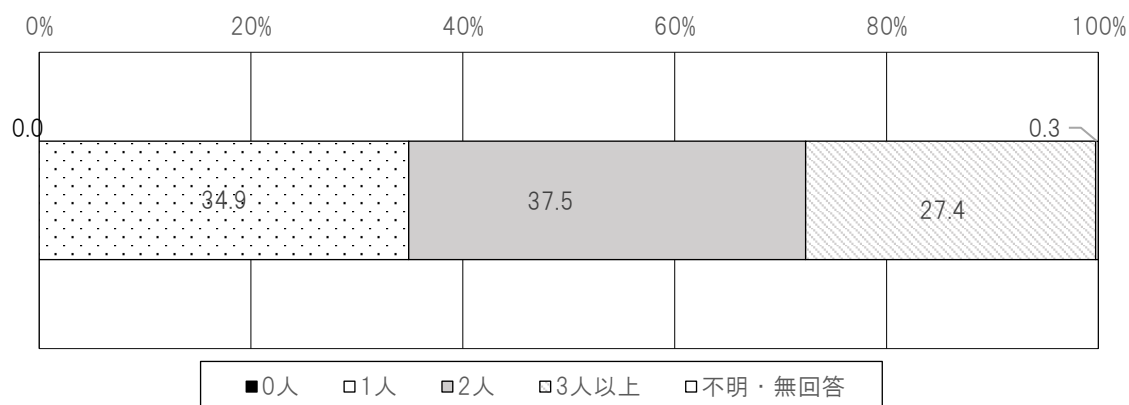
問4【あて名のお子様を含め、お子様は何人いらっしゃいますか。令和6年4月2日時点の年齢ごとに、人数を記入してください。】（数量）

「2人」が37.5%で最も高くなっています。次いで「1人」が34.9%、「3人以上」が27.4%で続いています。

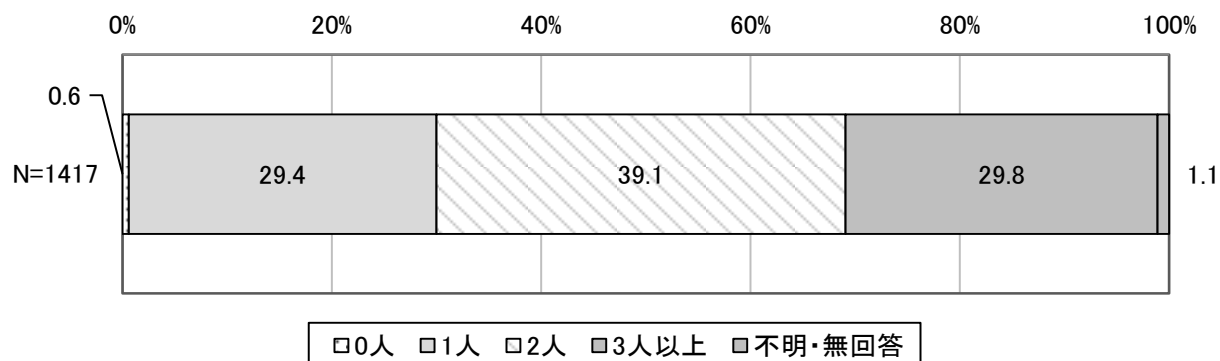
前回と比較して、世帯あたりの子どもの人数は減っています。

今回（令和5年度）

N=1,112



前回（平成30年度）

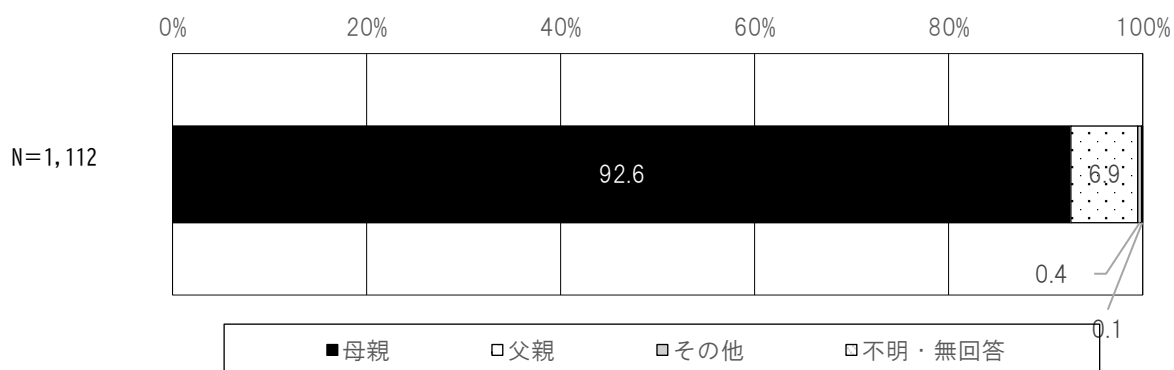


問5【この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。お子様からみたあなた（回答者）の関係でお答えください。（1つに○）】

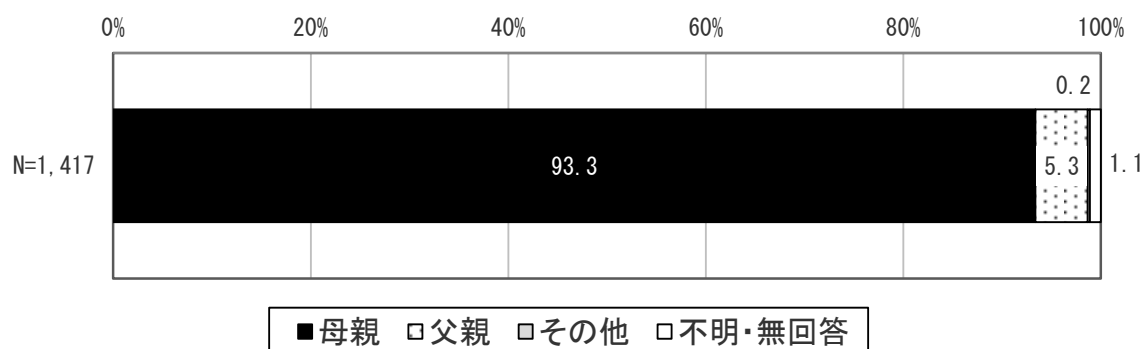
「母親」が92.6%で突出しています。

前回と比較して大きな変化は見られません。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

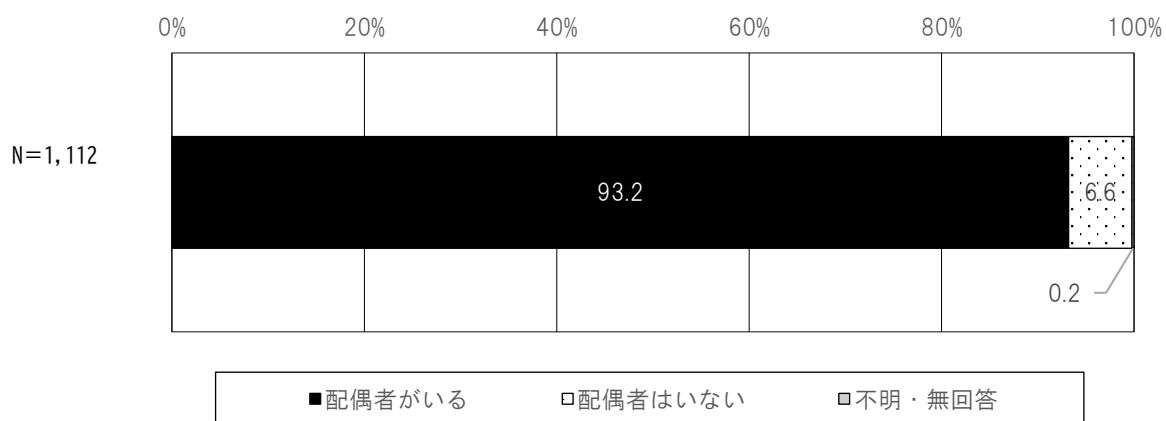


問 6【この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1
つに○)】

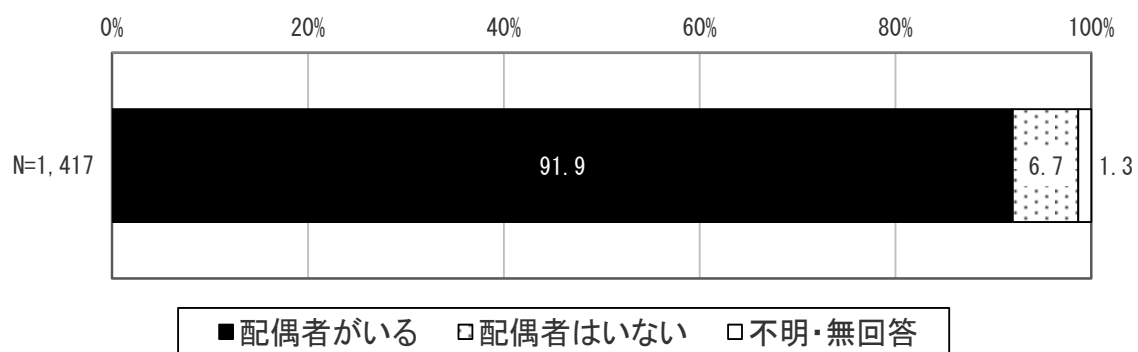
「配偶者がいる」が 93.2%で突出しています。

前回と比較して大きな変化は見られません。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）



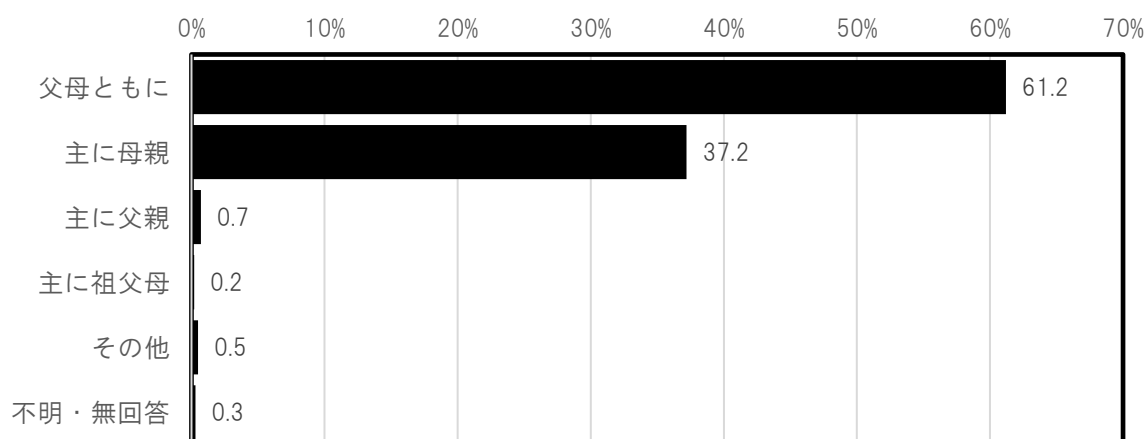
問 7 【お子様の子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子様からみた関係でお答えください。(1つに○)】

「父母ともに」が61.2%を占めています。「主に母親」が37.2%、「主に父親」が0.7%が続いています。

前回と比較して主に母親が減少し、父母ともに子育てをしている率が上がっています。

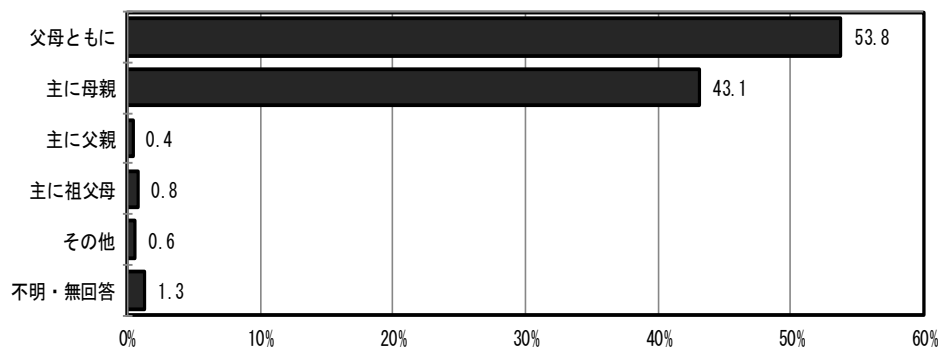
今回（令和5年度）

N=1,112



前回（平成30年度）

N=1,417



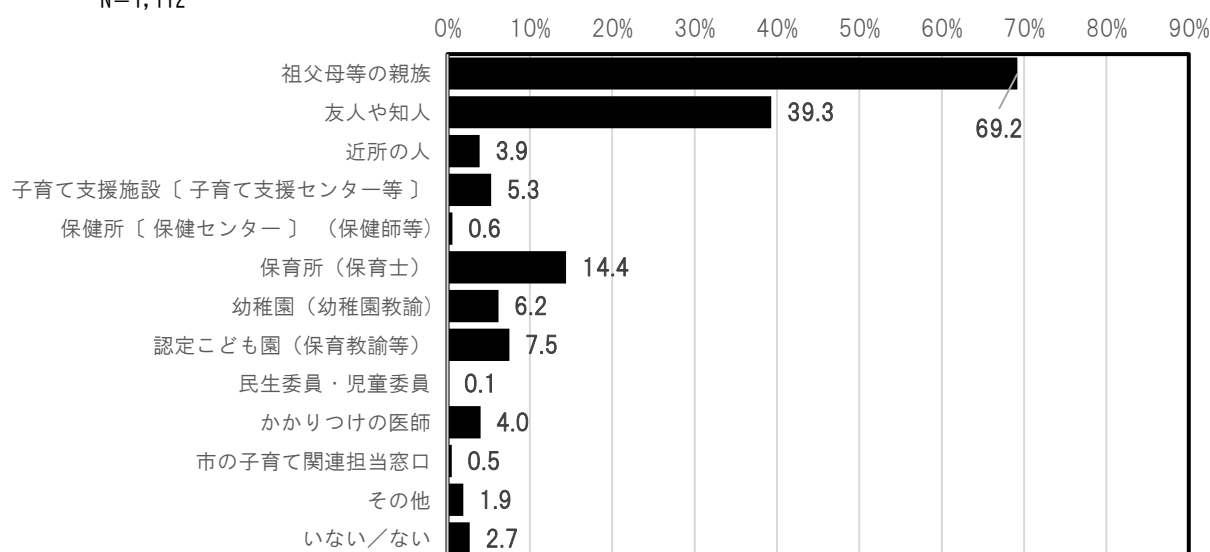
問 8 【お子様の子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）かをうかがいます。（あてはまるすべてに○）】

「祖父母等の親族」が 69.2% で突出しています。

前回と比較して、気軽に相談できる先の割合は全体的に減っています。特に「友人や知人」「幼稚園」の減少が顕著です。

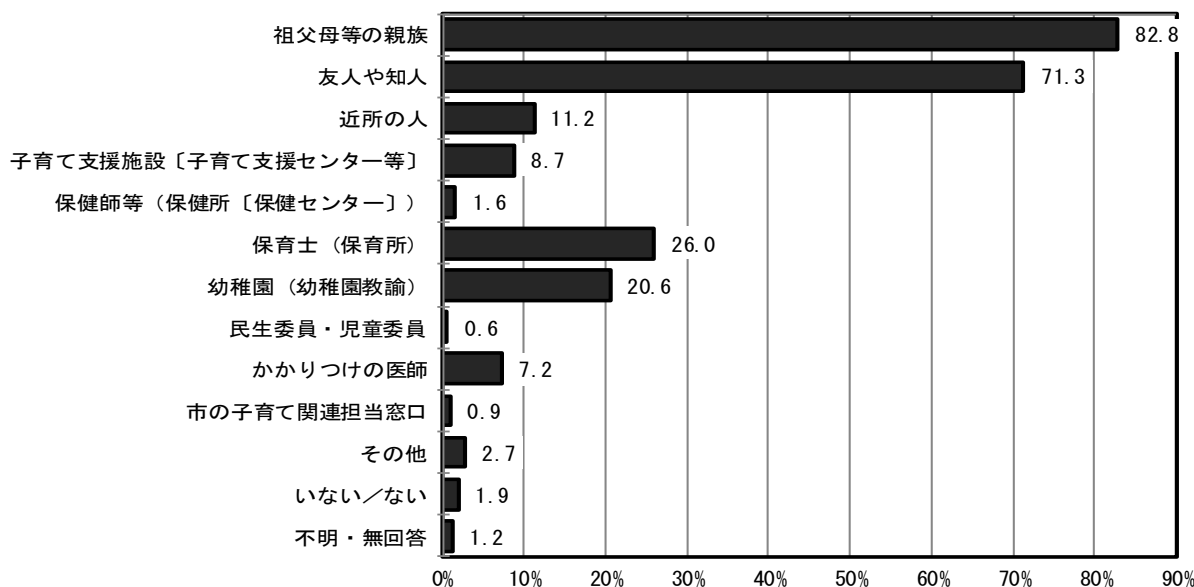
今回（令和 5 年度）

N=1,112



前回（平成 30 年度）

N=1,417



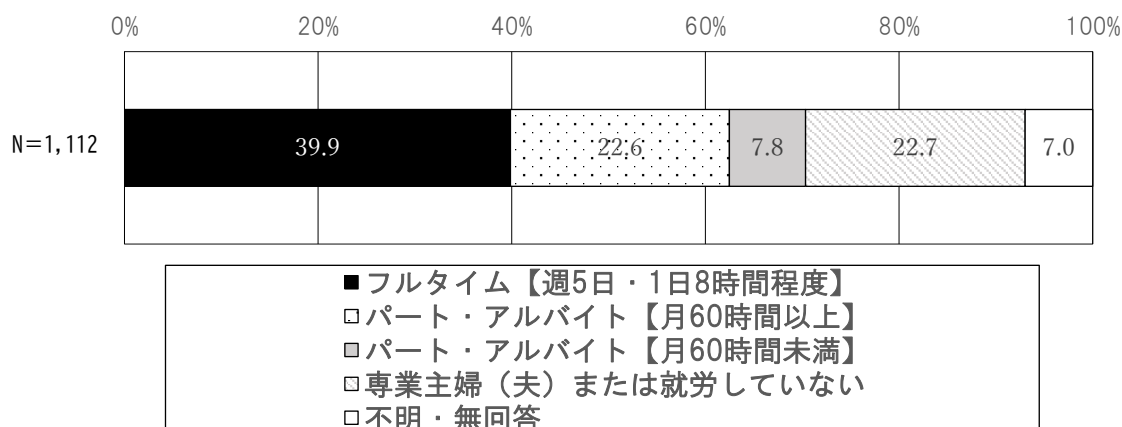
2. お子様の母親・父親の就労状況について

問9①(母親)【(現在の就労状況)あて名のお子様の保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)について、①現在の状況と②1年以内の希望(実現見込みがある)をお答えください。】

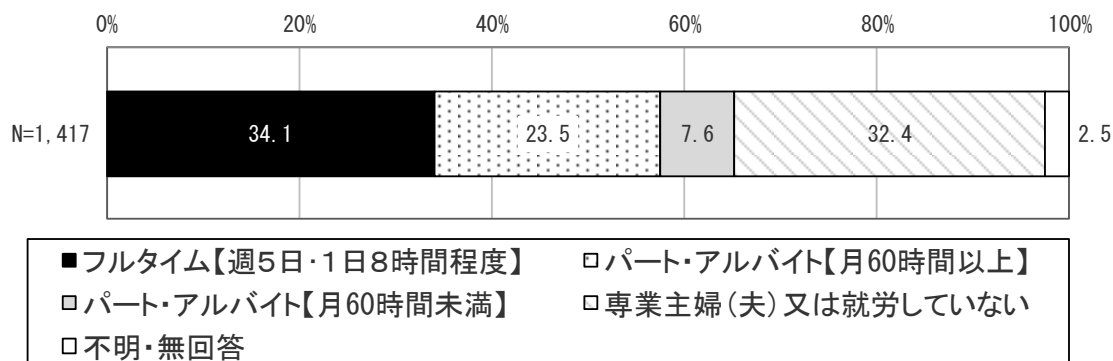
「フルタイム【週5日・1日8時間程度】」が39.9%と最も高くなっています。次いで「専業主婦(夫)又は就労していない」が22.7%、「パート・アルバイト【月60時間以上】」が22.6%と続いています。

前回と比較して「フルタイム」の割合が増加している一方「専業主婦」の割合が減少しています。

今回(令和5年度)



前回(平成30年度)

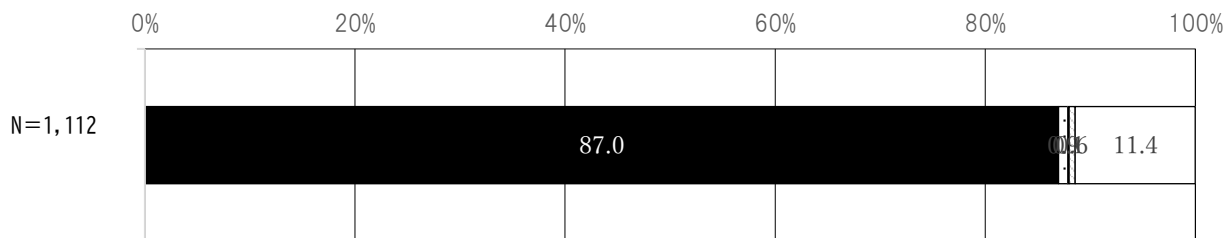


問 9 ①(父親)【(現在の就労状況)あて名のお子様の保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、①現在の状況と②1年以内の希望（実現見込みがある）をお答えください。】

「フルタイム【週5日・1日8時間程度】」が87.0%と突出しています。

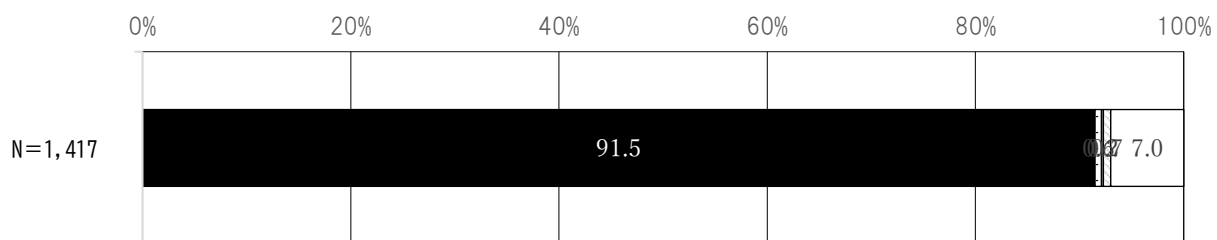
前回と比較して大きな変化は見られません。

今回（令和5年度）



- フルタイム【週5日・1日8時間程度】
- パート・アルバイト【月60時間以上】
- パート・アルバイト【月60時間未満】
- 専業主婦（夫）または就労していない
- 不明・無回答

前回（平成30年度）



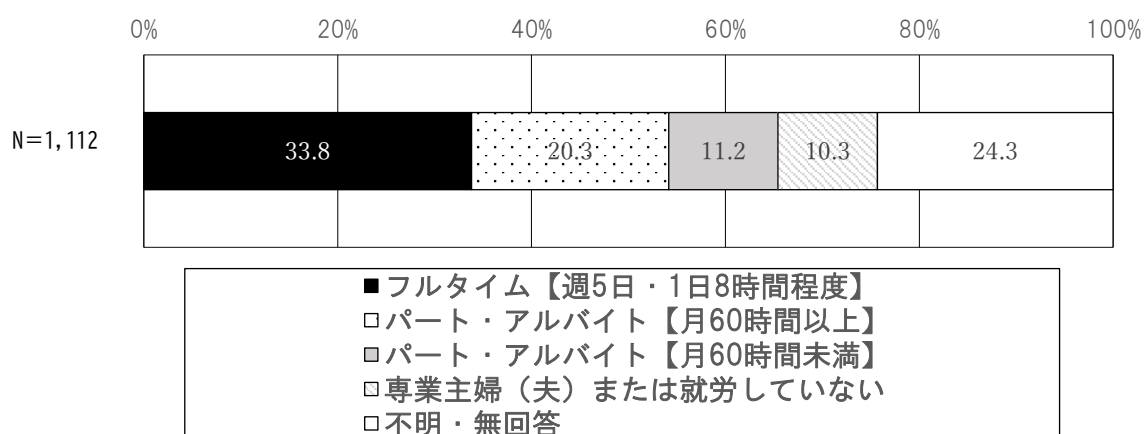
- フルタイム【週5日・1日8時間程度】
- パート・アルバイト【月60時間以上】
- パート・アルバイト【月60時間未満】
- 専業主婦（夫）または就労していない
- 不明・無回答

問9②(母親)【(1年以内の希望)あて名のお子様の保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)について、①現在の状況と②1年以内の希望(実現見込みがある)をお答えください。】

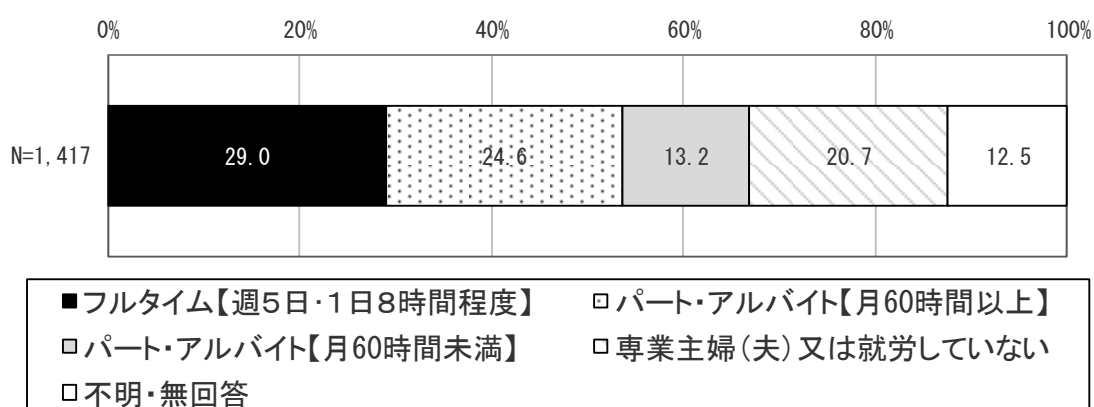
「フルタイム【週5日・1日8時間程度】」が33.8%と最も高くなっています。次いで「パート・アルバイト【月60時間以上】」が20.3%、「専業主婦(夫)又は就労していない」が11.2%と続いています。

前回と比較して、フルタイムで働きたい希望が増加し、専業主婦(就労しない)の希望が減少しています。

今回(令和5年度)



前回(平成30年度)

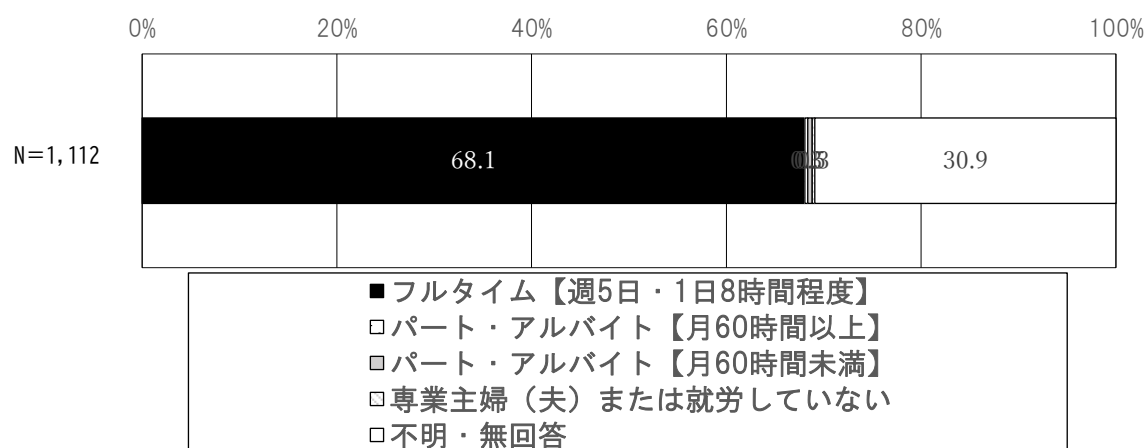


問9②(父親)【(1年以内の希望) あて名のお子様の保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)について、①現在の状況と②1年以内の希望(実現見込みがある)をお答えください。】

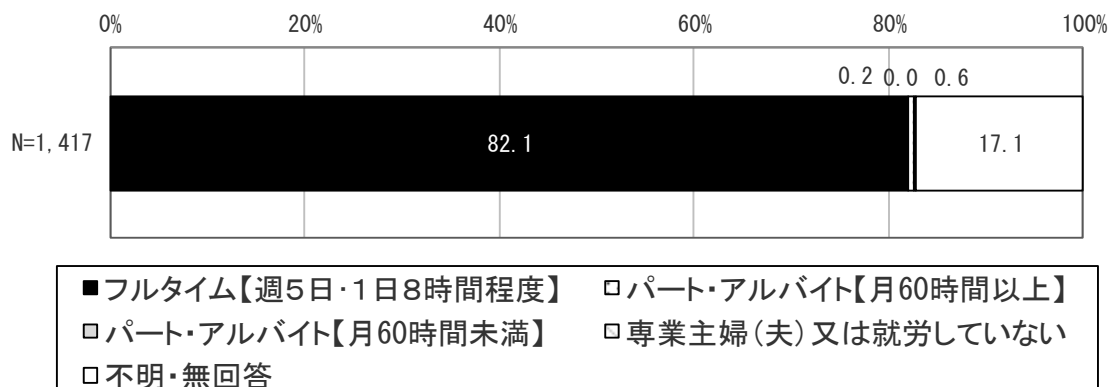
「フルタイム【週5日・1日8時間程度】」が68.1%と突出しています。

前回と比較して大きな変化は見られません。

今回(令和5年度)



前回(平成30年度)



問 9 の② 1年以内の希望で「4 専業主婦（夫）又は就労していない」を選択した方にうかがいます。

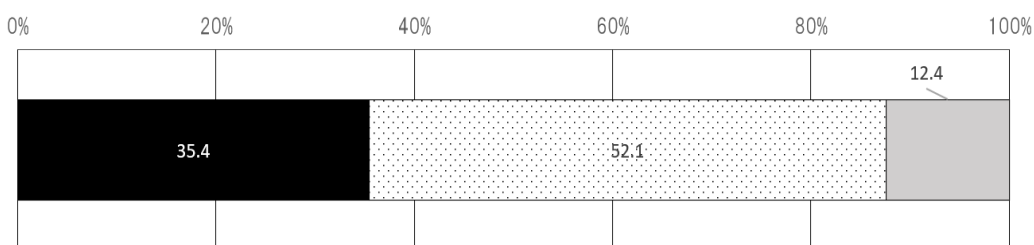
問10(母親)【1年よりも先、将来的な就労希望はありますか。(1つに○)】

「1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」が52.1%で突出しています。

前回と比較して、子育てや家事などに専念したい（就労希望なし）が増加しています。

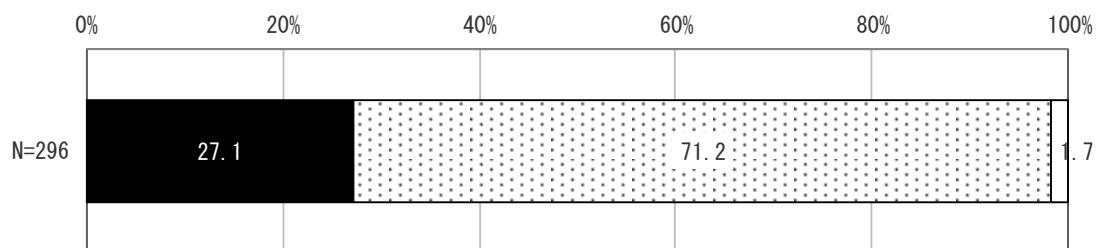
今回（令和5年度）

N= 486



- 子育てや家事などに専念したい(就労希望なし)
- 1年より先、一番下の子どもが●歳になった頃に就労したい
- 不明・無回答

前回（平成30年度）



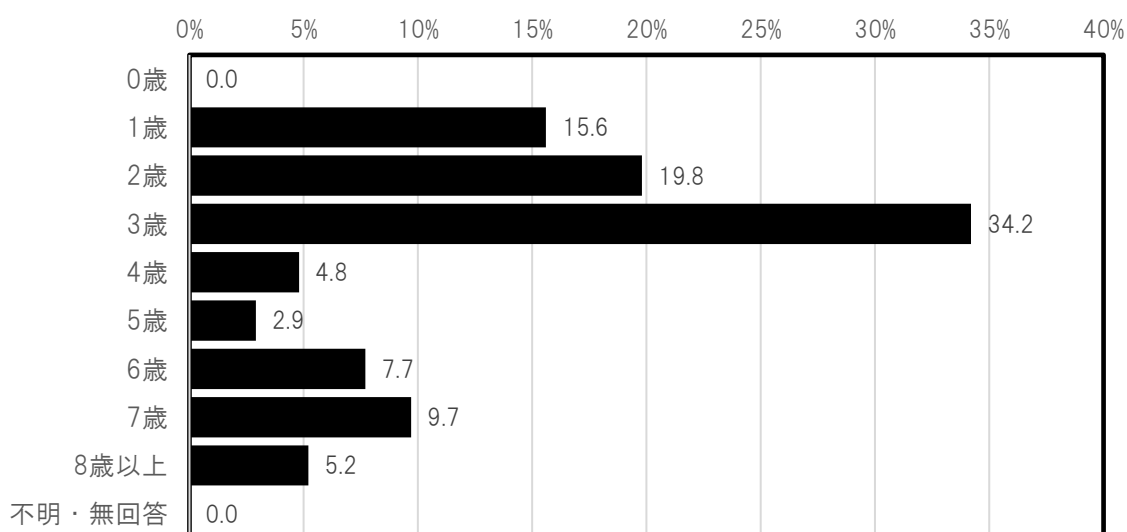
- 子育てや家事などに専念したい(就労希望なし)
- 1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい
- 不明・無回答

問10(母親)【(問10(母親)で②)就労を希望する際の子どもの年齢】 (数量)

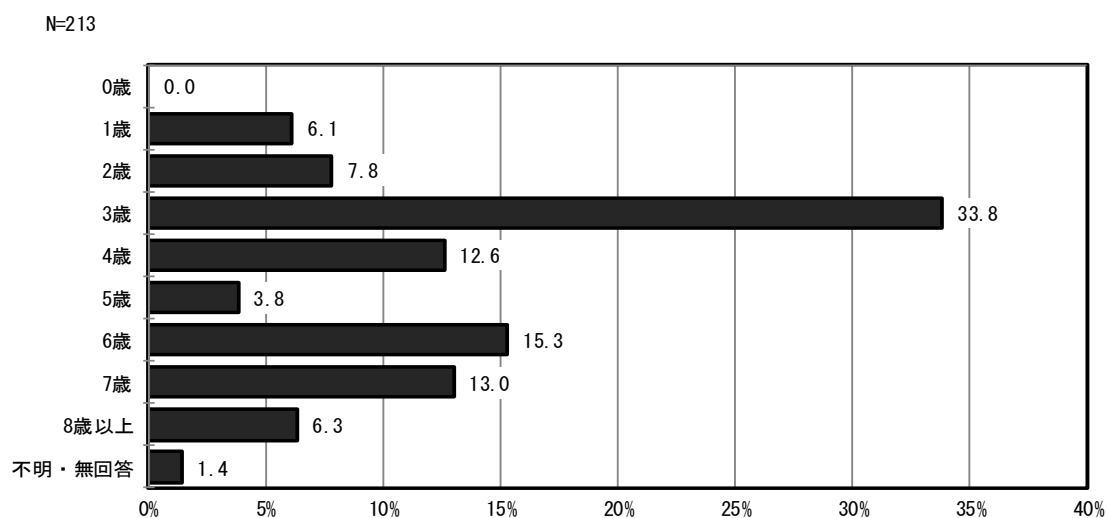
「3歳」が34.2%で最も高くなっています。次いで「2歳」が19.8%、「1歳」が15.6%で続いています。

前回と比較して、1歳・2歳で復帰したい割合が増加しています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）



問 9 の② 1 年以内の希望で「4 専業主婦（夫）又は就労していない」を選択した方にうかがいます。

問10(父親)【1 年よりも先、将来的な就労希望はありますか。（1 つに○）】

「子育てや家事などに専念したい（就労希望なし）が 2 件、「1 年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」が 1 件となっています。

問10(父親)【(問10(父親)で②)就労を希望する際の子どもの年齢】（数量）

「7 歳」が 1 件となっています。

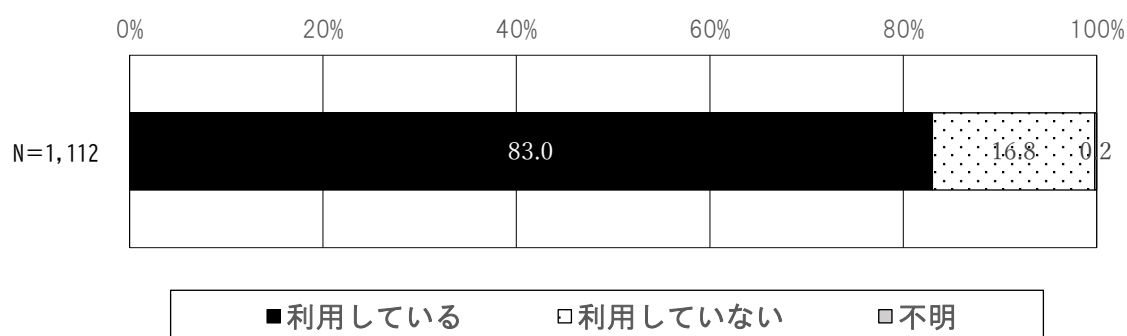
3. お子様の平日の定期的(月単位)な教育・保育事業の利用状況について

問11【お子様は現在、幼稚園や保育所などを定期的に利用されていますか。(1つに○)】

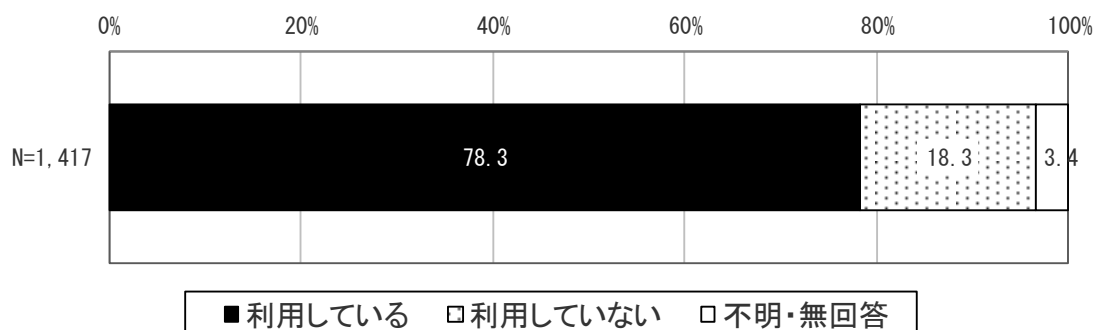
「利用している」が83.0%と突出しています。

前回と比較して「利用している」がわずかに増加しています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）



問 11 で「1. 利用している」を選択した方にうかがいます。

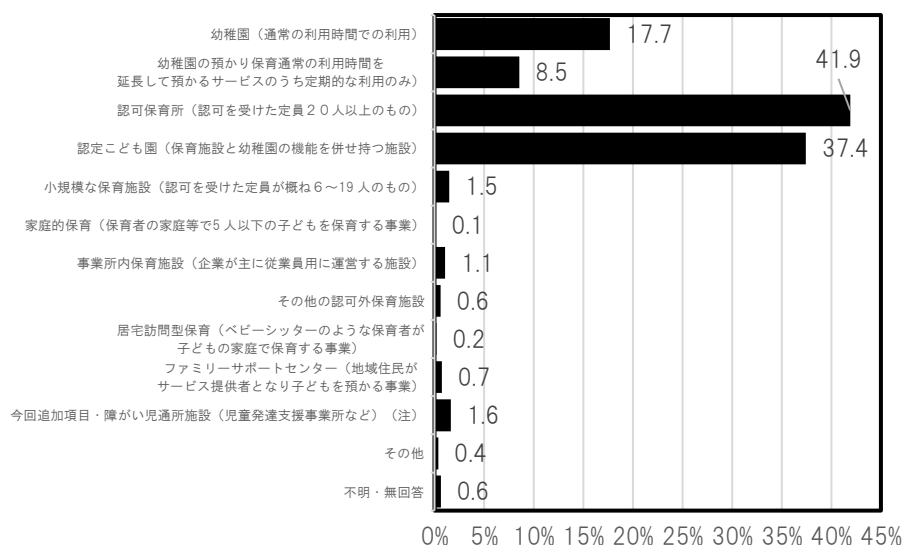
問11-1【(問11で①)年間を通じて「定期的に」利用している施設・サービス等をお答えください。(あてはまるすべてに○)】

「認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で行政の認可を受けたもの)」が41.9%と最も高くなっています。次いで「認定こども園(保育施設と幼稚園の機能をあわせ持つ施設)」が37.4%、「幼稚園(通常の開園時間の利用)」が17.7%と続いています。

前回と比較して「認定こども園」が僅かに増加し「幼稚園」が僅かに減少しています。

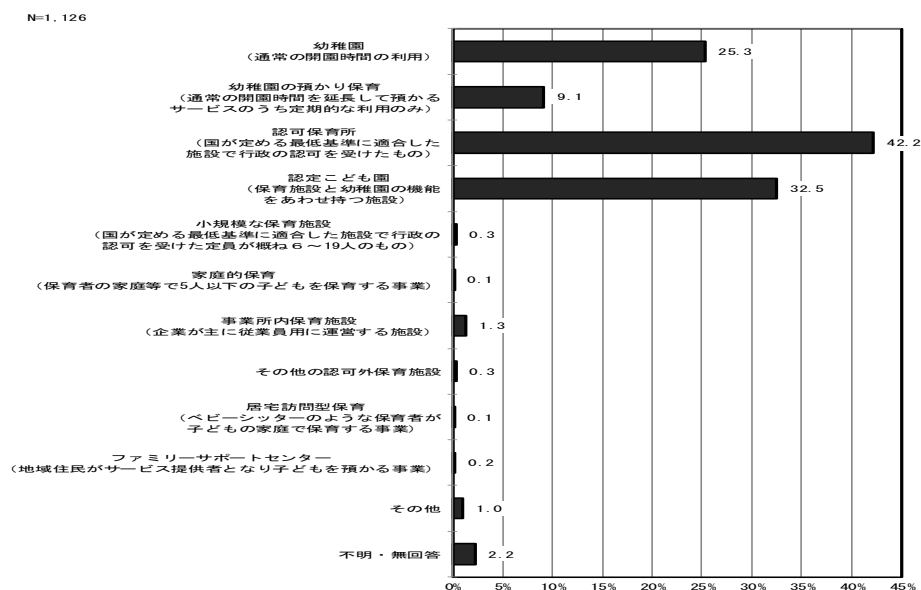
今回
(令和5年度)

N=923



前回
(平成30年度)

N=1,126



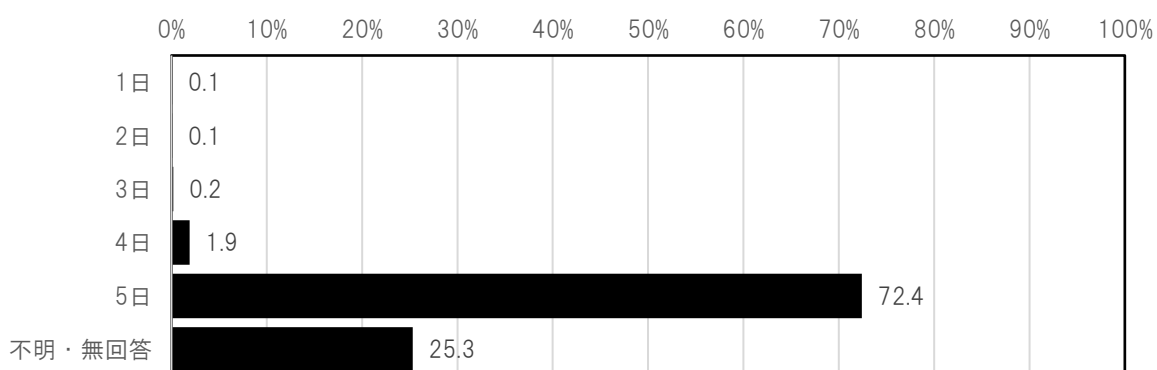
問11-2(現在の利用状況)【(週の利用日数)平日に定期的に利用している教育・保育施設等を、どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。】 (数量)

「5日」が72.4%で突出しています。

前回と比較して大きな変化は見られません。

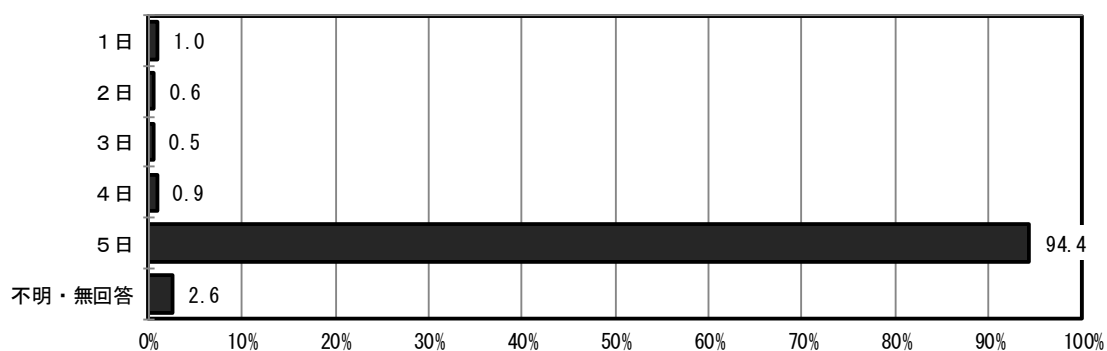
今回 (令和5年度)

N=923



前回 (平成30年度)

N=1,119



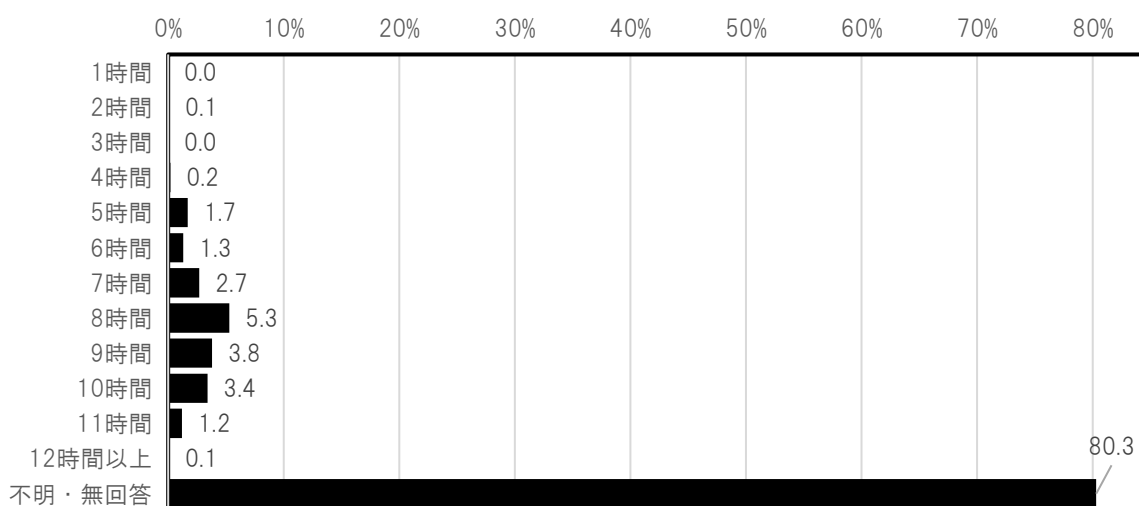
問11-2(現在の利用状況)【(1日の利用時間)平日に定期的に利用している教育・保育施設等を、どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。】 (数量)

「8時間」が5.3%で最も高くなっています。次いで「9時間」が3.8%、「10時間」が3.4%で続いています。

データ上の違いはありますが、前回と比較して大きな変化は見られません。

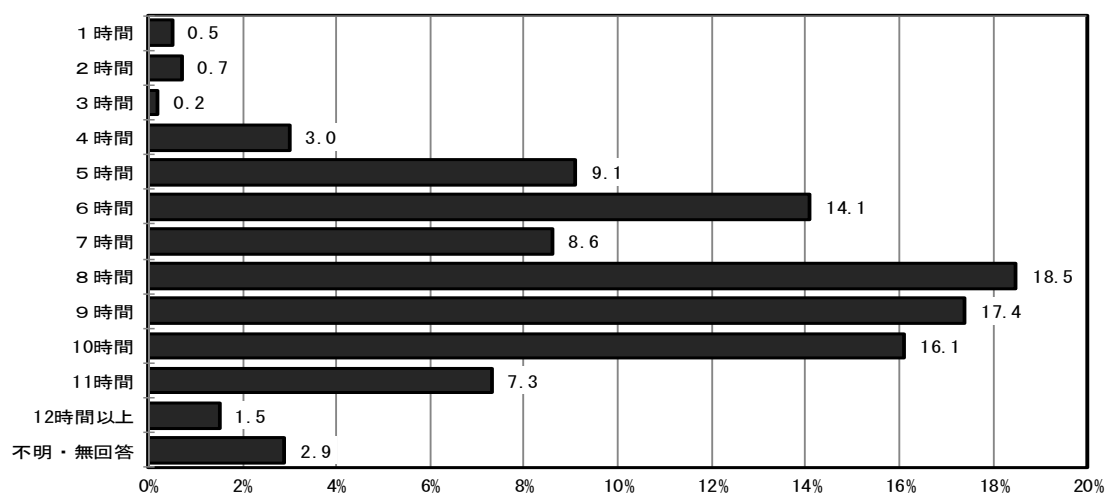
今回 (令和5年度)

N=923



前回 (平成30年度)

N=1,119

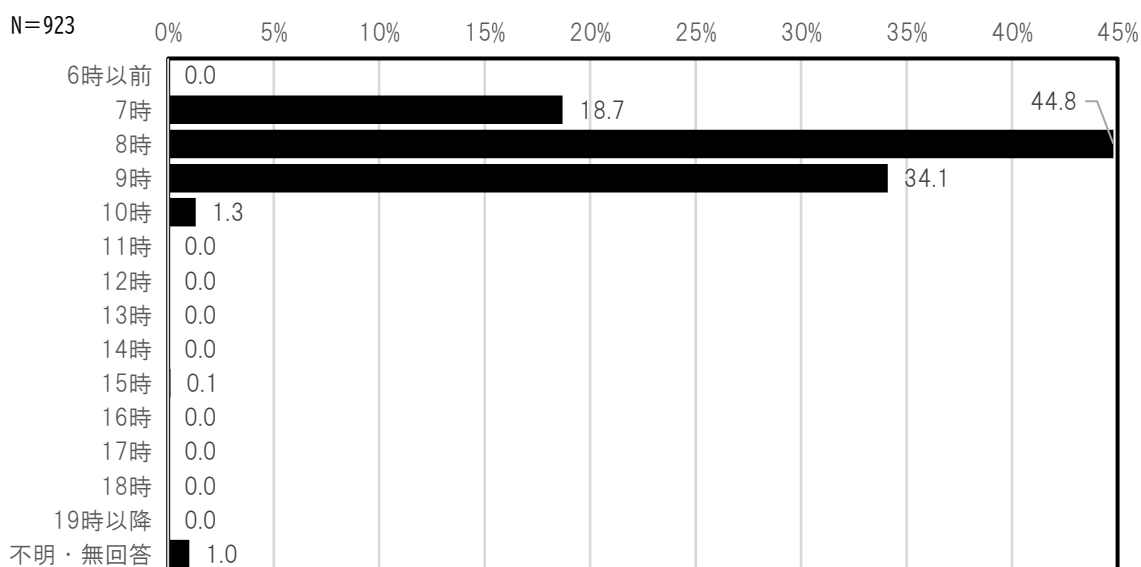


問11-2(現在の利用状況)【(1日の利用時間帯(開始)) 平日に定期的に利用している教育・保育施設等を、どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。】 (数量)

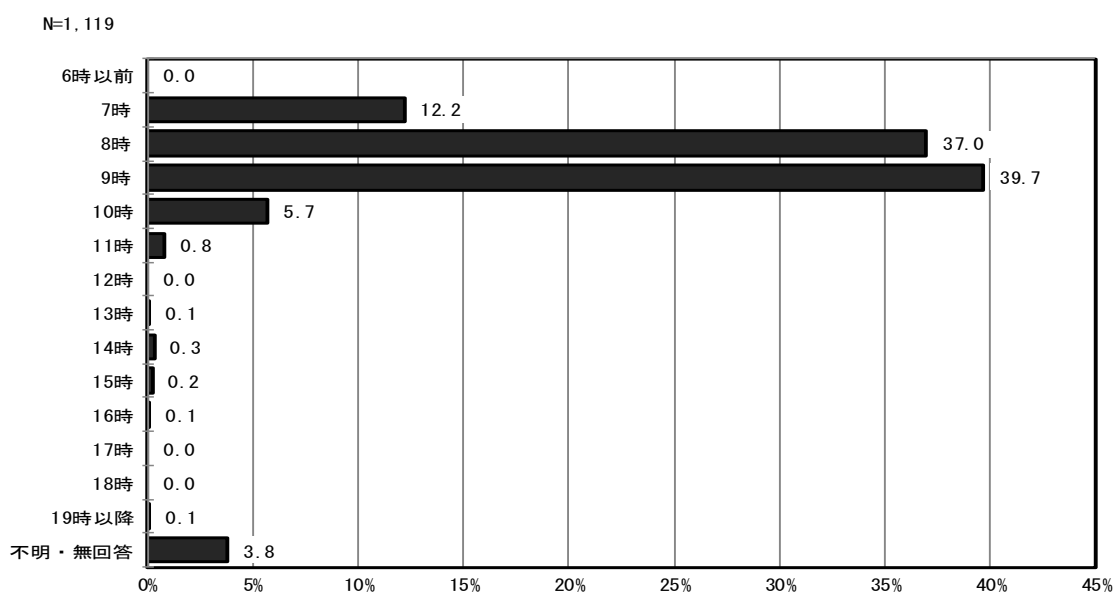
「8時」が44.8%で最も高くなっています。次いで「9時」が34.1%、「7時」が18.7%が続いています。

前回と比較して、利用希望の開始時間のピークが9時から8時になっています。

今回 (令和5年度)



前回 (平成30年度)



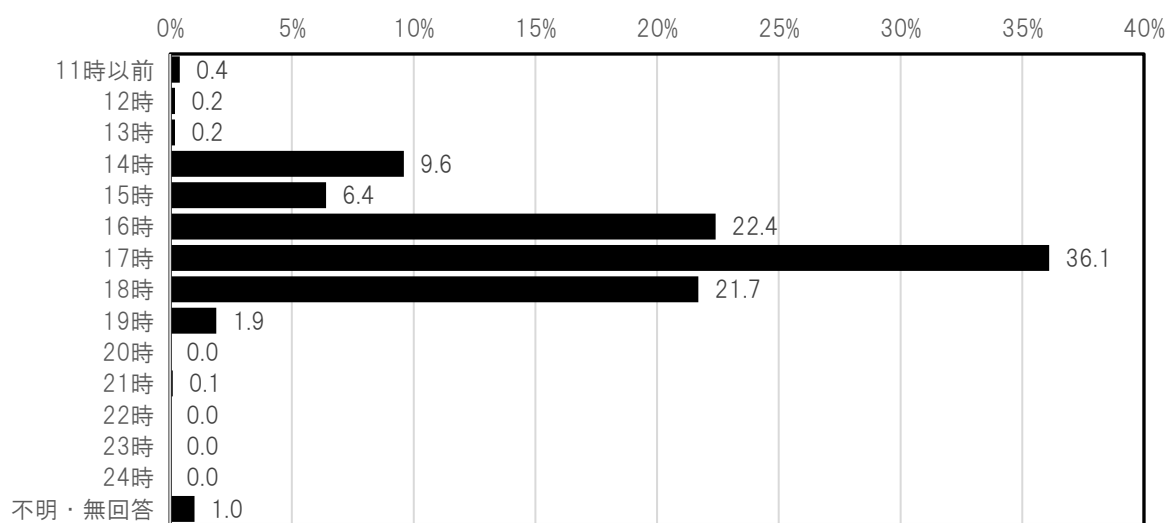
問11-2(現在の利用状況)【(1日の利用時間帯(終了)) 平日に定期的に利用している教育・保育施設等を、どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。】 (数量)

「17 時」が 36.1%で最も高くなっています。次いで「16 時」が 22.4%、「17 時」が 21.7%で続いています。

前回と比較して、利用希望の終了時間が早くなっています。

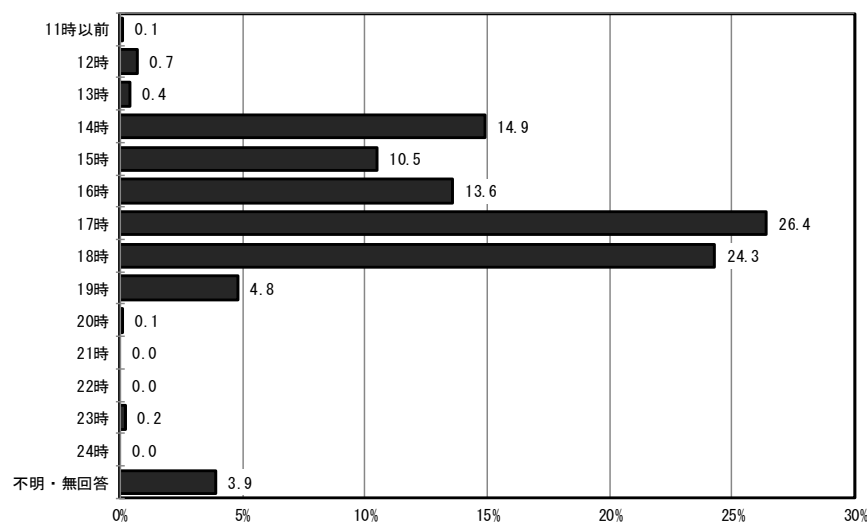
今回 (令和 5 年度)

N=923



前回 (平成 30 年度)

N=1,119



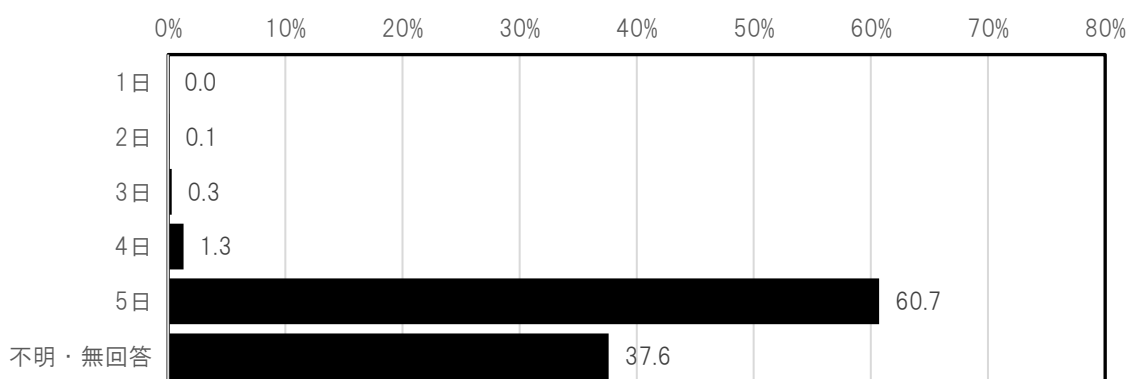
問11-2(希望する利用時間等)【(週の利用日数)平日に定期的に利用している教育・保育施設等を、どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。】 (数量)

「5日」が60.7%で突出しています。

前回と比較して大きな変化は見られません。

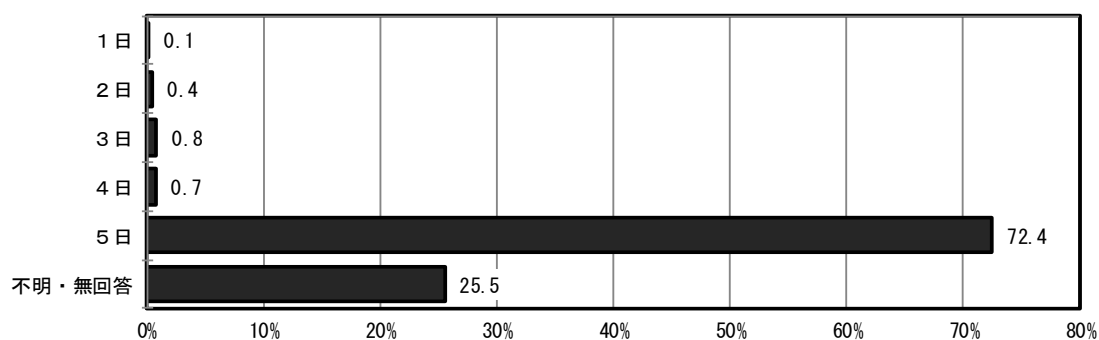
今回 (令和5年度)

N=923



前回 (平成30年度)

N=1,119



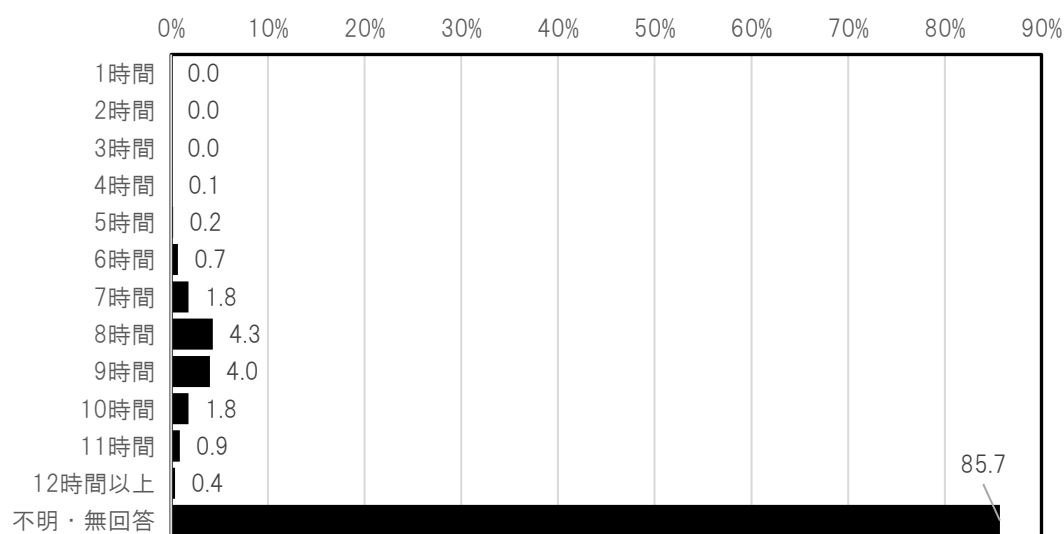
問11-2(希望する利用時間等)【(1日の利用時間)平日に定期的に利用している教育・保育施設等を、どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。】 (数量)

「8時間」が4.3%で最も高くなっています。次いで「9時間」が4.0%、「7時間と10時間」が1.8%で続いています。

データ上の違いはありますが、前回と比較して大きな変化は見られません。

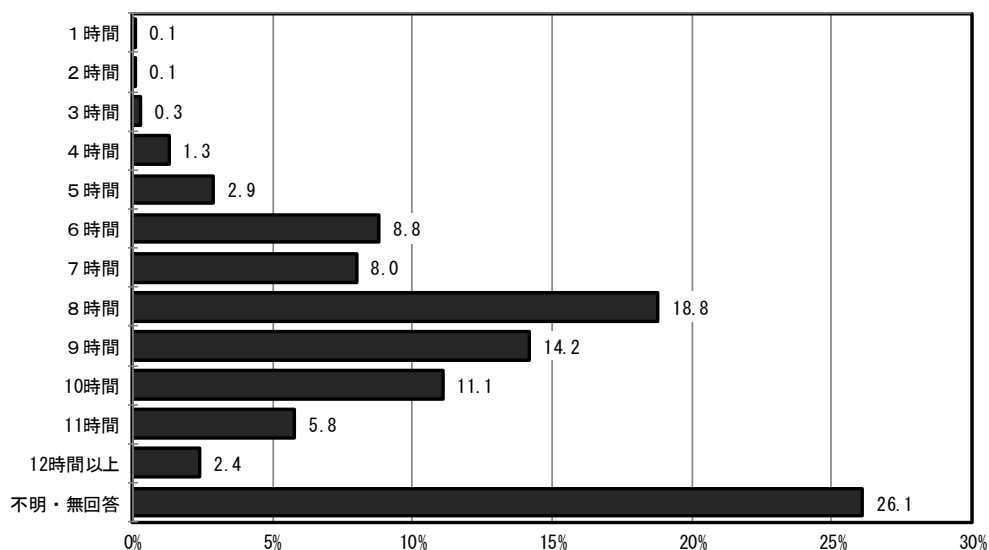
今回 (令和5年度)

N=923



前回 (平成30年度)

N=1,119



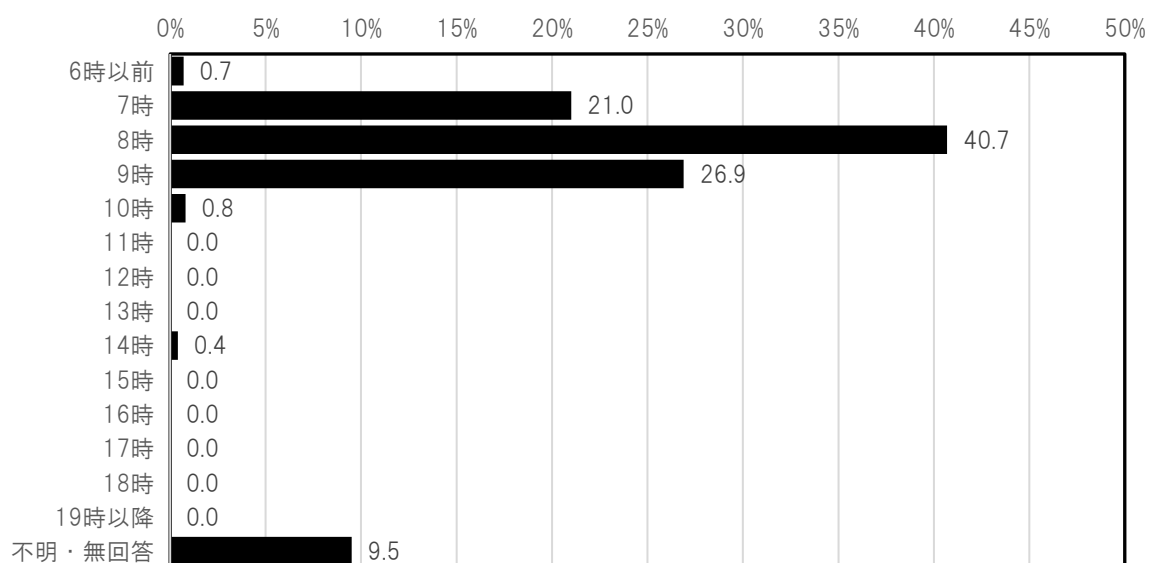
問11-2(希望する利用時間等)【(1日の利用時間帯(開始))平日に定期的に利用している教育・保育施設等を、どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。】(数量)

「8時」が40.7%で最も高くなっています。次いで「9時」が26.9%、「7時」が21.0%が続いています。

前回と比較して、利用希望の開始時間のピークが9時から8時になっています。

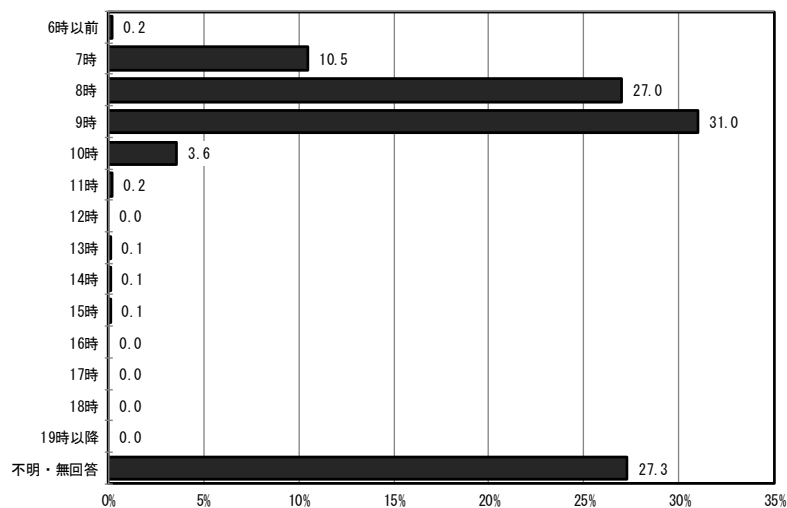
今回(令和5年度)

N=923



前回(平成30年度)

N=1,119



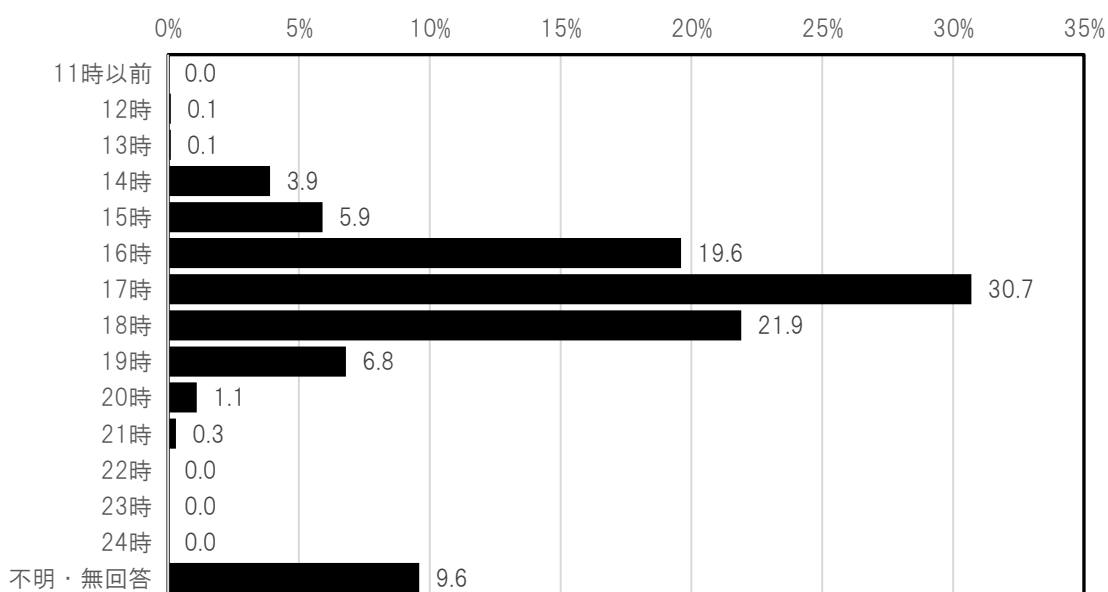
問11-2(希望する利用時間等)【(1日の利用時間帯(終了))平日に定期的に利用している教育・保育施設等を、どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。】 (数量)

「17 時」が 30.7%で最も高くなっています。次いで「18 時」が 21.9%、「16 時」が 19.6%で続いています。

前回と比較して大きな変化は見られません。

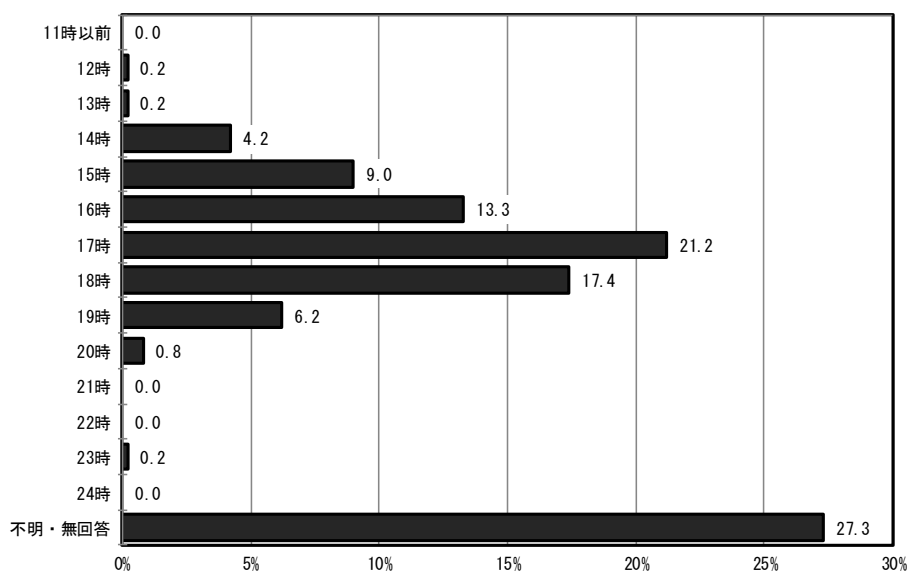
今回 (令和 5 年度)

N=923



前回 (平成 30 年度)

N=1,119

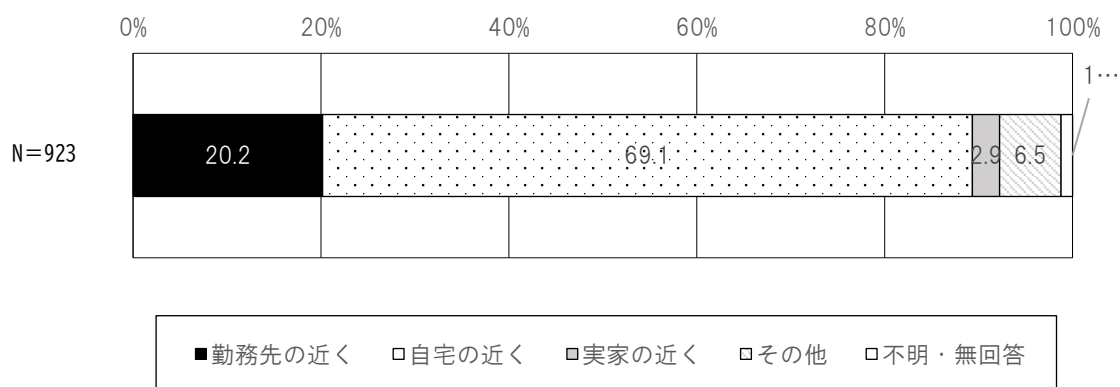


問11-3【(問11で①)現在利用している教育・保育施設等の場所についてお答えください。(1つに○)】

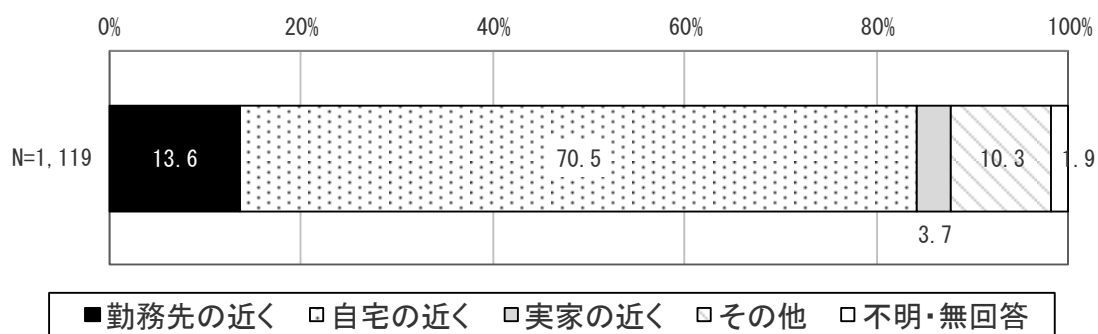
「自宅の近く」が69.1%で突出しています。

前回と比較して「勤務先の近く」を利用している率が増加しています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）



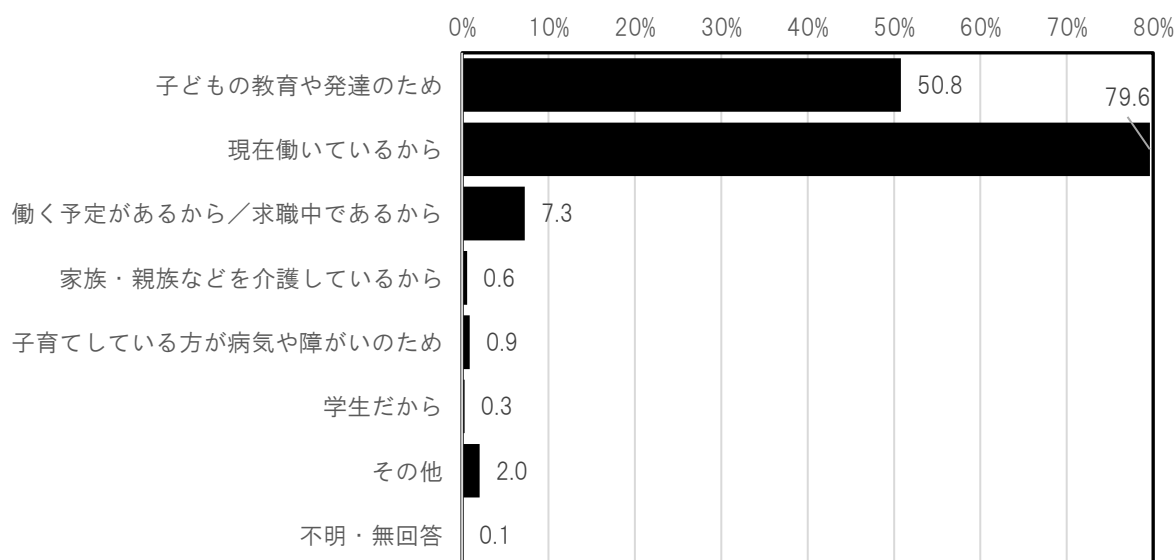
問11-4【(問11で①) 平日に定期的に教育・保育施設等を利用されている理由についてお聞きします。(あてはまるすべてに○)】

「現在働いているから」が79.6%で突出しています。

前回と比較して「子どもの教育や発達のため」の割合が減少しています。

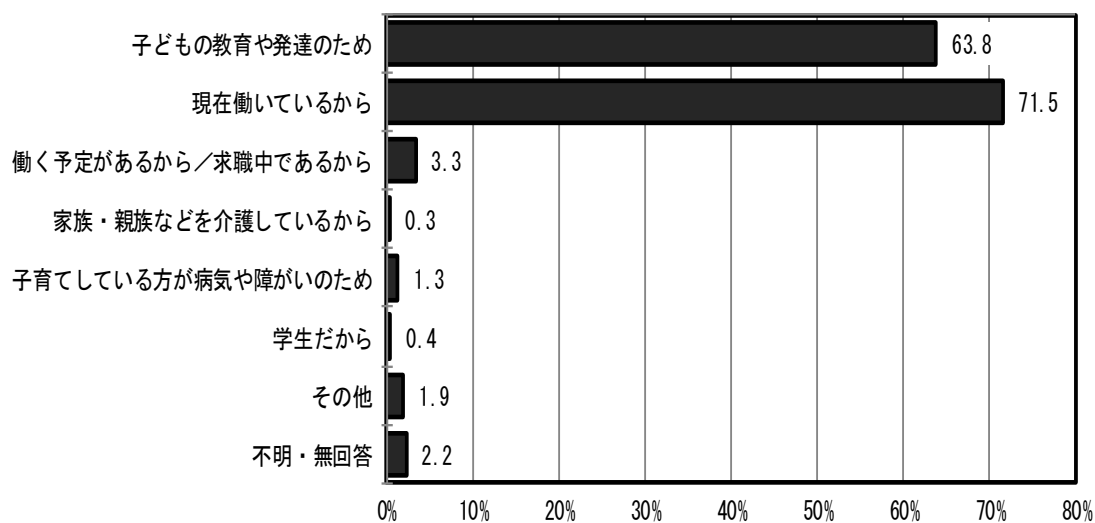
今回（令和5年度）

N=889



前回（平成30年度）

N=1,126



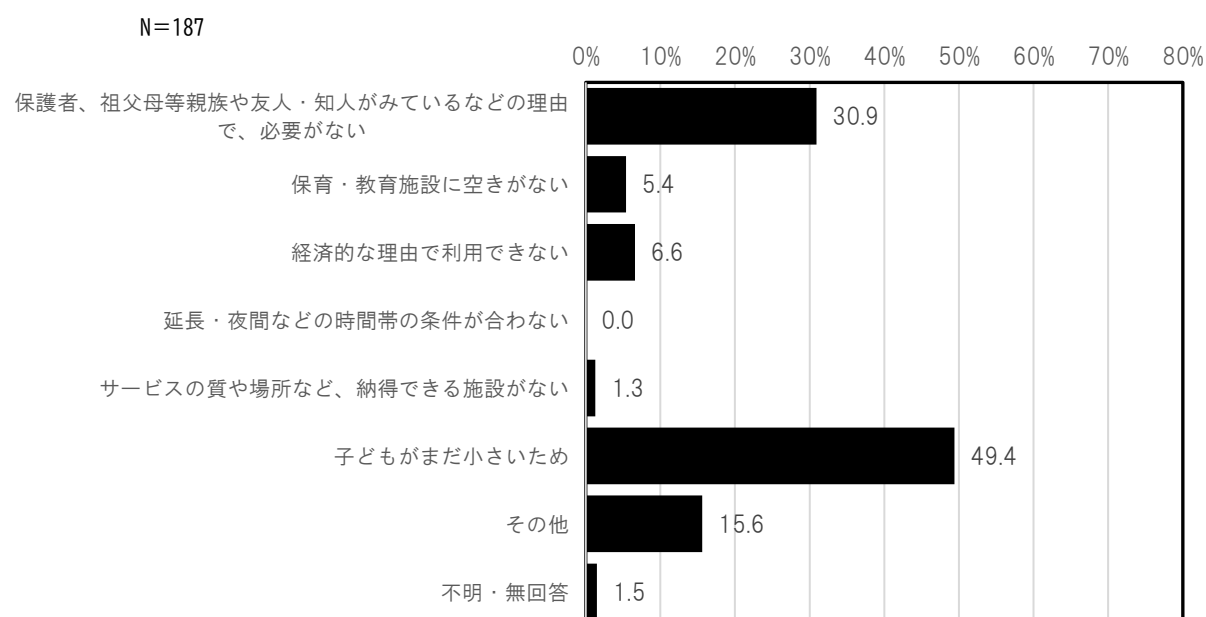
問 11 で「2. 利用していない」を選択した方にうかがいます。

問11-5【利用していない理由は何ですか。（あてはまるすべてに○）】

「子どもがまだ小さいため」が 49.4%でもっとも多く、「保護者、祖父母等親族や友人・知人がみているなどの理由で、必要がない」が 30.9%となっています。

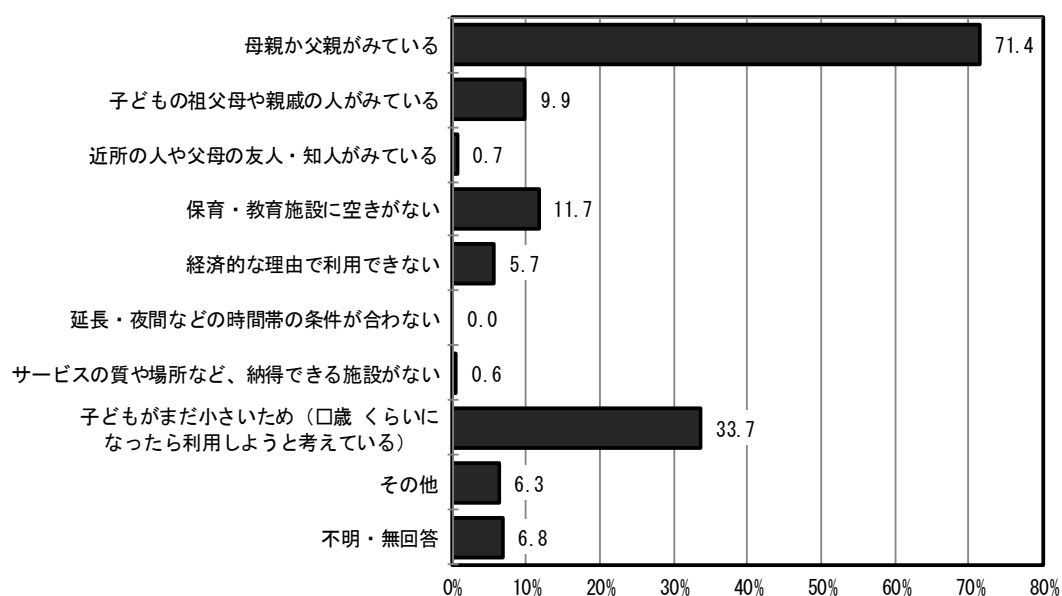
前回と比較して「保育・教育施設に空きがない」の割合が減少しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

N=275



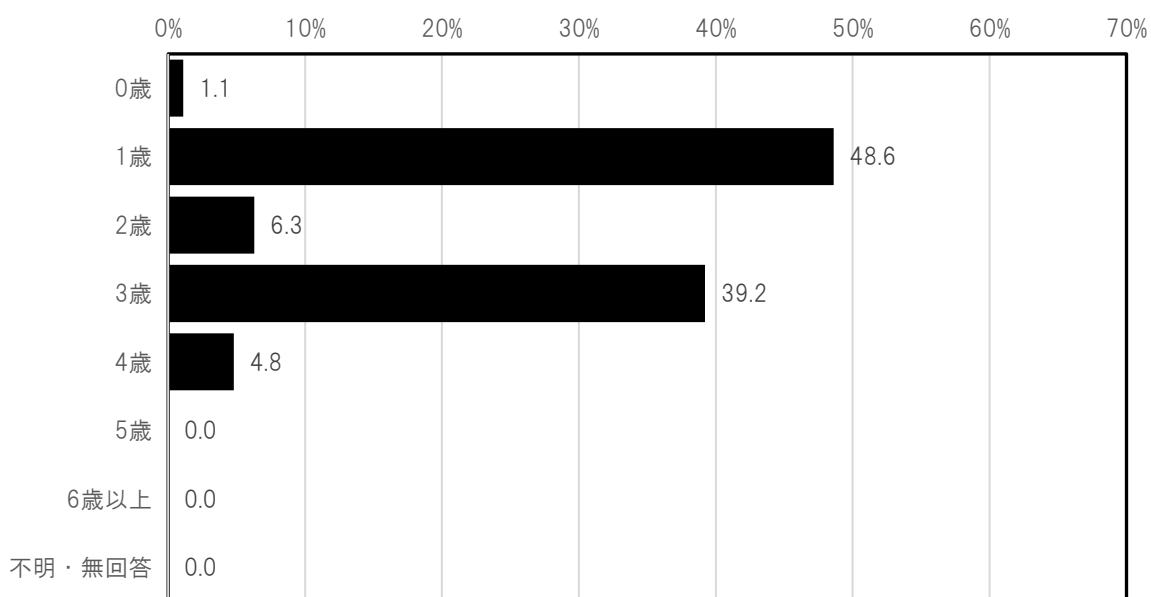
問11-5【(問11-5で⑥)教育・保育事業の利用を考える子どもの年齢】（数量）

「1歳」が48.6%を占めています。「3歳」が39.2%、「2歳」が6.3%が続いています。

前回と比較して1歳から利用したい割合が増加しています。

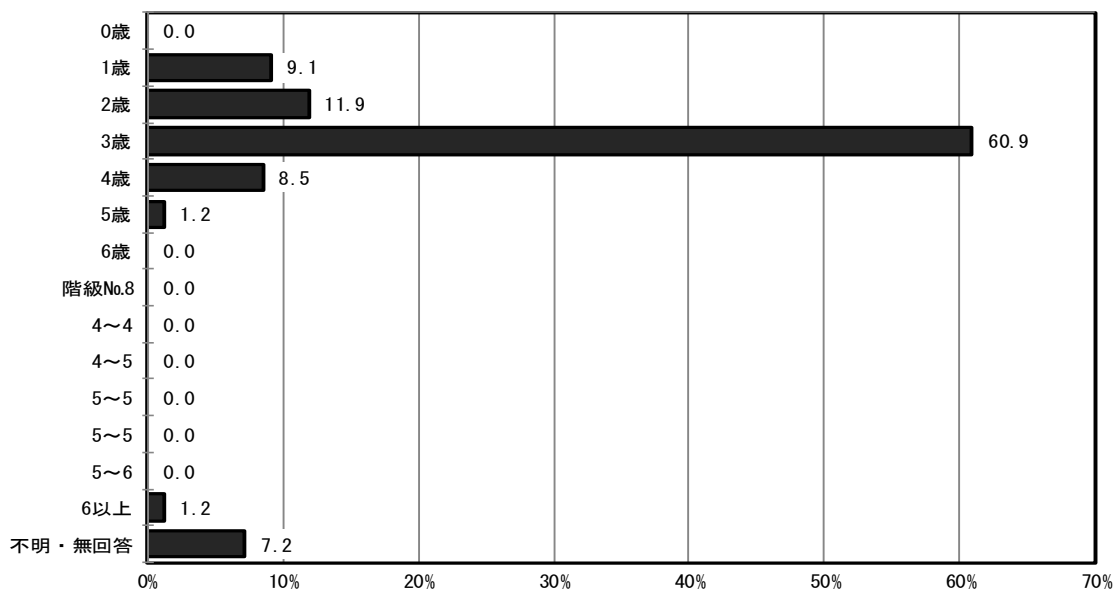
今回（令和5年度）

N=93



前回（平成30年度）

N=96



問12【現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子様の平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える施設・サービス等をお答えください。（あてはまるすべてに○）】

「認定こども園（保育施設と幼稚園の機能を併せ持つ施設）」が 40.6%で最も高くなっています。次いで「認可保育所（認可を受けた定員 20 人以上のもの）」が 39.1%「幼稚園（通常の利用時間での利用）」が 29.5%で続いています。

前回と比較して「幼稚園」の割合が減少し、「小規模な保育施設」「居宅訪問型保育」「ファミリーサポートセンター」の割合が増加しています

今回（令和 5 年度）

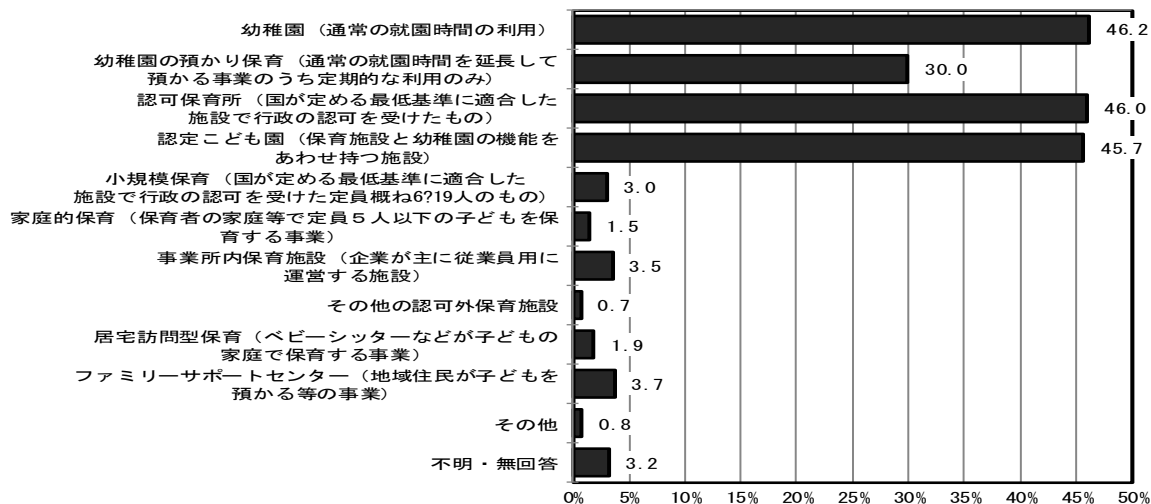
N=1,112

0% 5% 10% 15% 20% 25% 30% 35% 40% 45% 50%



前回（平成 30 年度）

N=1,417

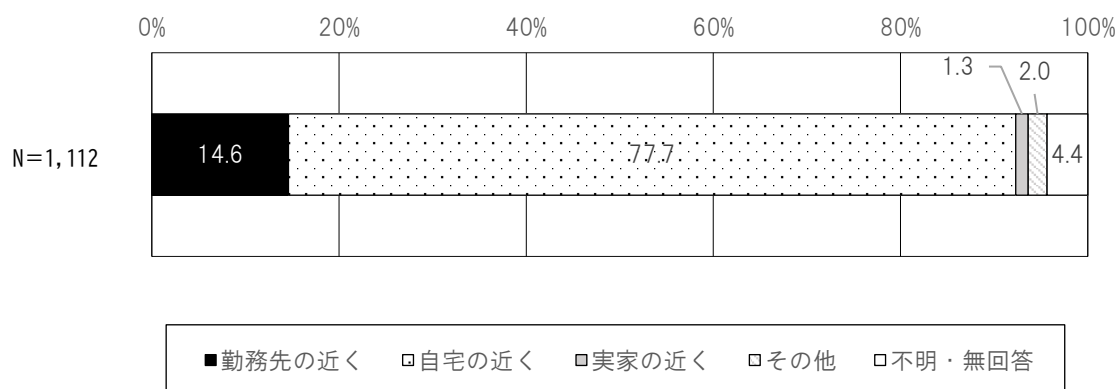


問12-1【問12の教育・保育施設等を利用したい場所はどこですか。(1つに○)】

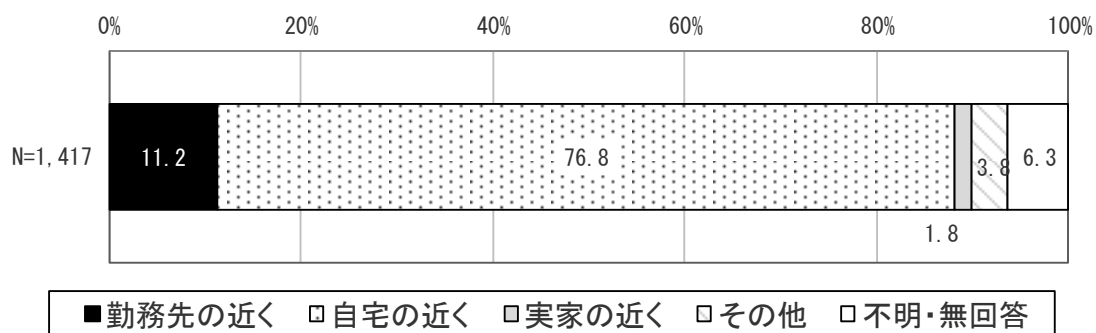
「自宅の近く」が77.7%で突出しています。

前回と比較して「勤務先の近く」が僅かに増加しています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）



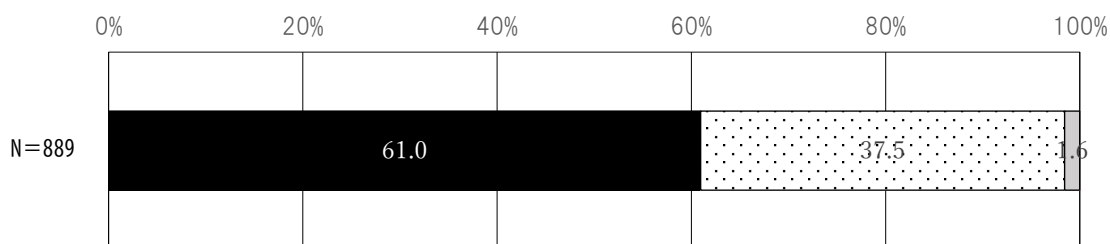
問 12 で「1. 幼稚園」「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけた方で、かつ「3」～「10」のいずれかにも○をした方にうかがいます。

問12-2【幼稚園や幼稚園の預かり保育を強く希望しますか。（1つに○）】

「はい」が 61.0%で突出しています。

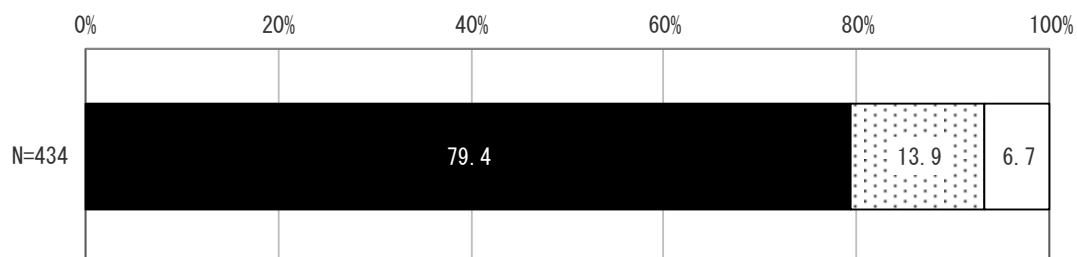
前回と比較して強く希望する割合は減少しています。

今回（令和 5 年度）



■はい □いいえ □不明

前回（平成 30 年度）



■はい □いいえ □不明・無回答

4. お子様の地域の子育て支援事業の利用状況について

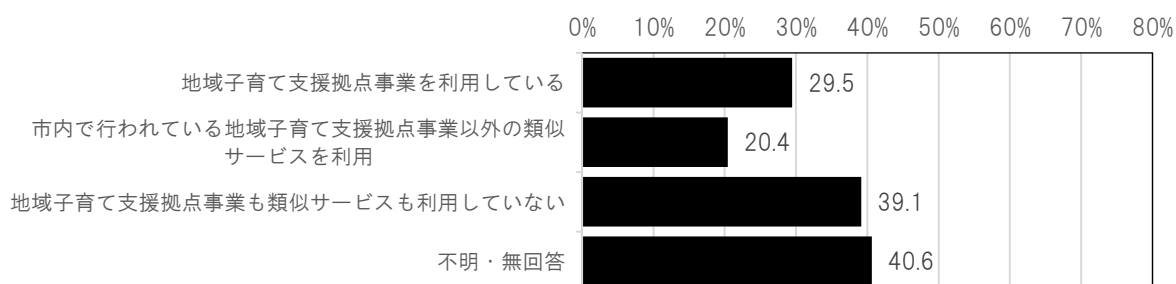
問13【お子様は現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場の提供 例：子育て支援センター等）を利用していますか。（あてはまるすべてに○）】

「地域子育て支援拠点事業も類似サービスも利用していない」が 39.1%を占めています。「地域子育て支援拠点事業を利用している」が 29.5%、「市内で行われている地域子育て支援拠点事業以外の類似サービスを利用」が 20.4%で続いています。

前回と比較して地域子育て支援拠点を利用している割合は増加しています。

今回（令和5年度）

N=1,112

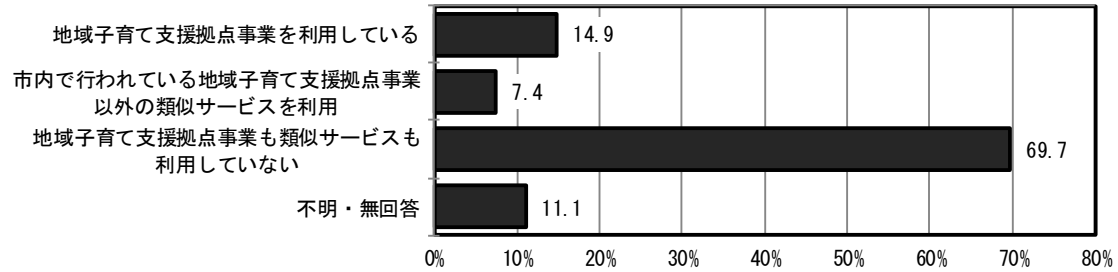


【市内で行われている地域子育て支援拠点事業以外の類似サービスを利用の具体例を抜粋】

幼稚園の未就園児教室
幼稚園の未就学児教室
幼稚園、認定こども園
相浦幼稚園、あえるばしょ
公民館「ママほっと」
九文幼稚園 こどもの城
よんぶらこ
ちびの輪、幼稚園の未就園児教室、
たんぽぽの会
いしだけ広場、相浦児童センター

前回（平成 30 年度）

N=1,417



【市内で行われている地域子育て支援拠点事業以外の類似サービスを利用の具体例を抜粋】

子育てサークル

未就園児教室

児童センター

わくわくキッズクラブ

ちゅうりっぷ教室

ちびの輪、子育て井戸端会議

桜の聖母ニコニコサークル

九文幼稚園の「こどもの城」

みなとこども園のわくわく広場

たんぽぽ教室

佐世保市幼児教育センター

子育てサークルにこにこくらぶ、ぴよぴよくらぶ

ぽっぽくらぶ

幼稚園のなかよし教室

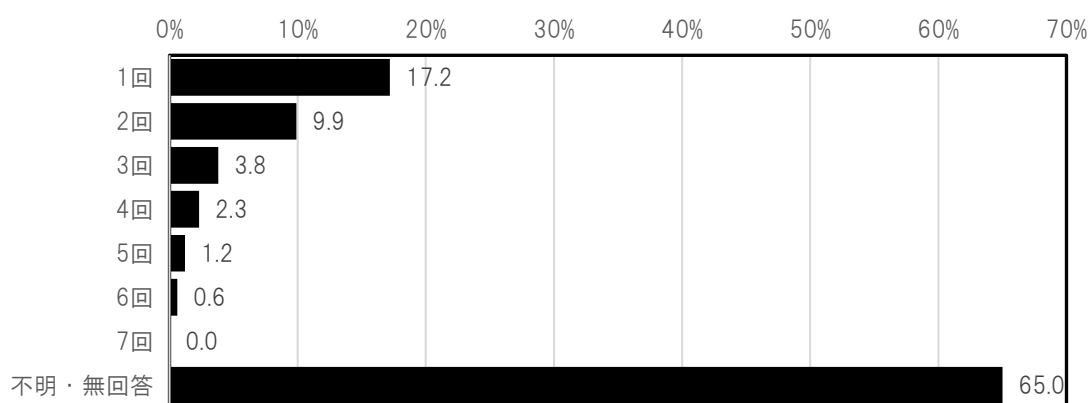
問13：1【(問13で①地域子育て支援拠点事業を利用している) 1 週あたり回数】（数量）

「1 回」が 17.2%で最も高くなっています。次いで「2 回」が 9.9%、「3 回」が 3.8%が続いています。

前回と比較して大きな変化は見られませんでした。

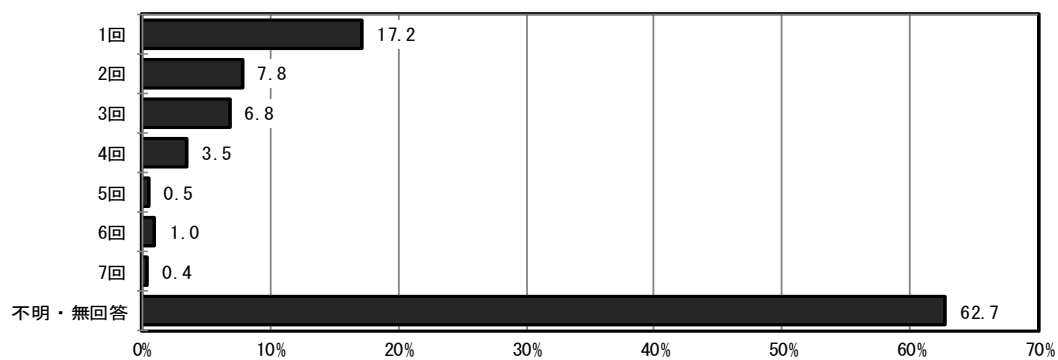
今回（令和 5 年度）

N=151



前回（平成 30 年度）

N=216



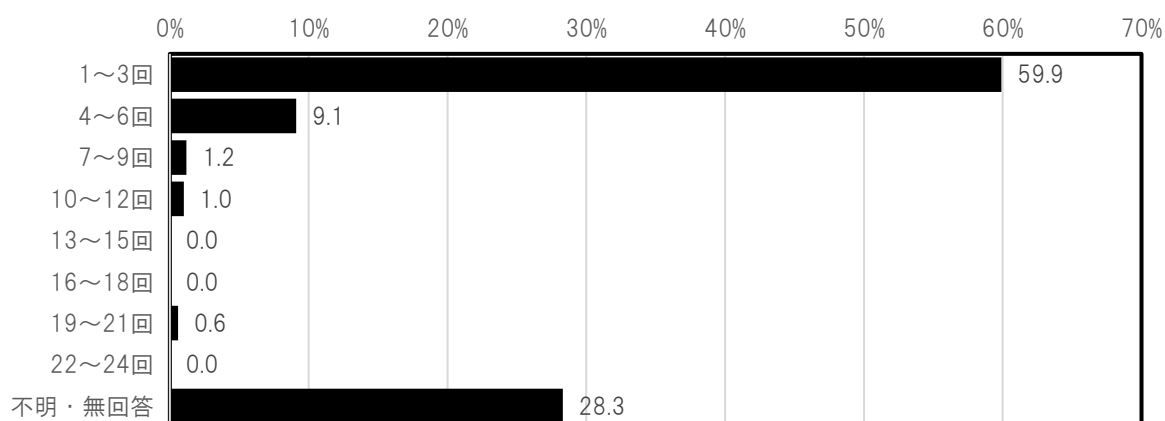
問13：1【(問13で①地域子育て支援拠点事業を利用している) 1か月あたり回数】(数量)

「1～3回」が59.9%を占めています。「4～6回」が9.1%、「7～9回」が1.2%が続いています。

前回と比較して4～6回の割合が増加しています。

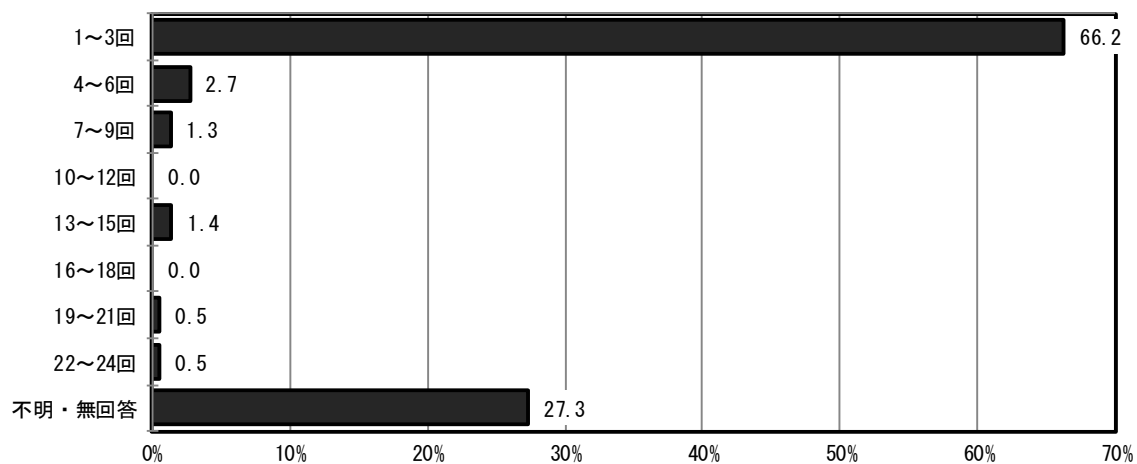
今回（令和5年度）

N=151



前回（平成30年度）

N=216



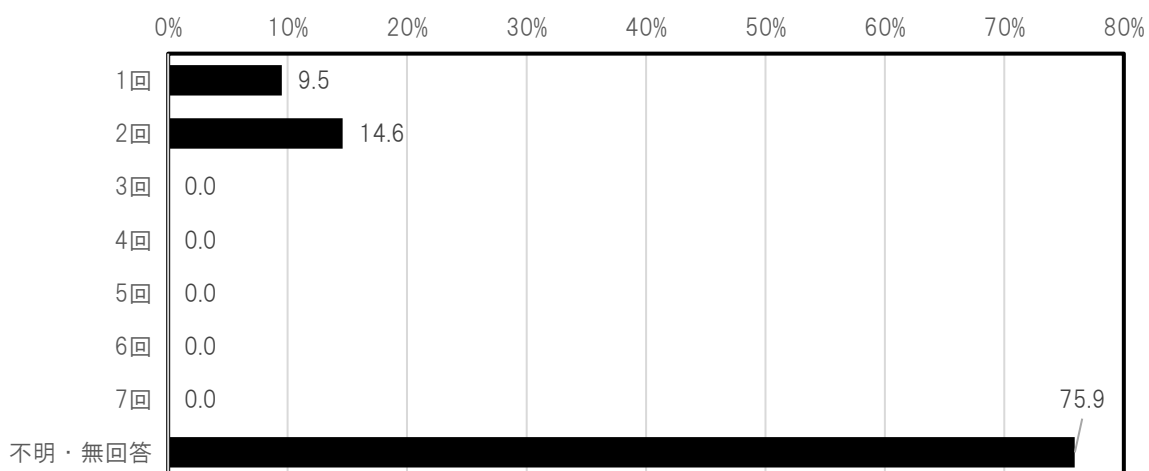
問13：2【(問13で②市内で行われている地域子育て支援拠点事業以外の類似サービスを利用) 1 週あたり回数】（数量）

「2 回」が 14.6%で最も高くなっています。次いで「1 回」が 9.5%が続いています。

前回と比較して「週に 1 回」の割合が減少しています。

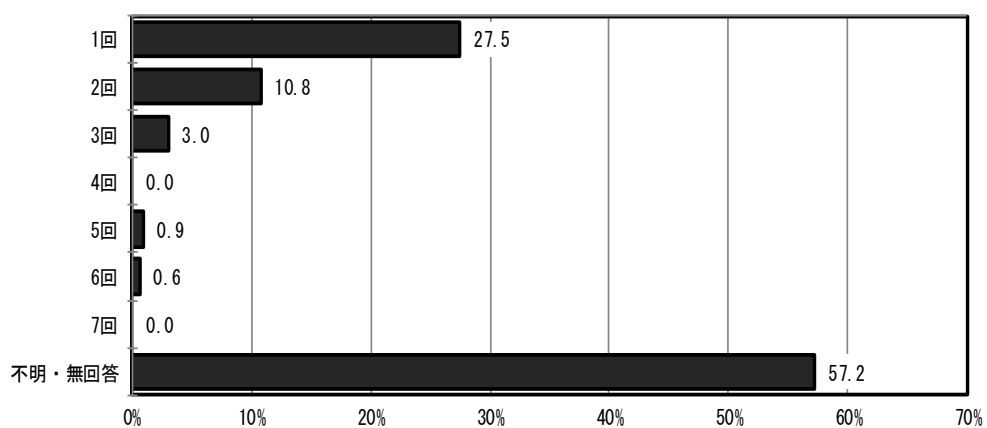
今回（令和 5 年度）

N=36



前回（平成 30 年度）

N=107



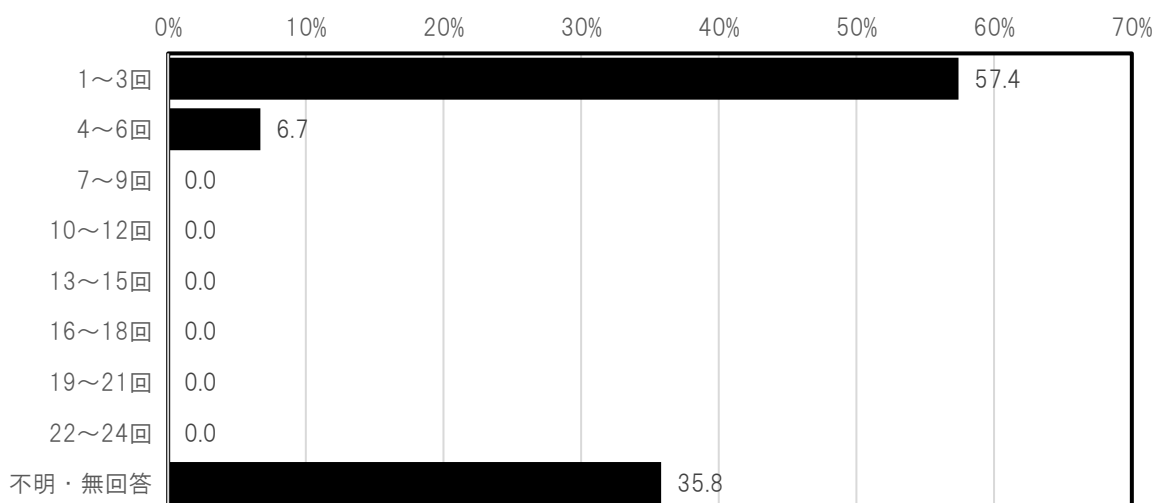
問13：2【(問13で②市内で行われている地域子育て支援拠点事業以外の類似サービスを利用) 1か月あたり回数】（数量）

「1～3回」が57.4%を占めています。「4～6回」が6.7%、で続いています。

前回僅かにあった「7～9回」以上の回答がありませんでした。

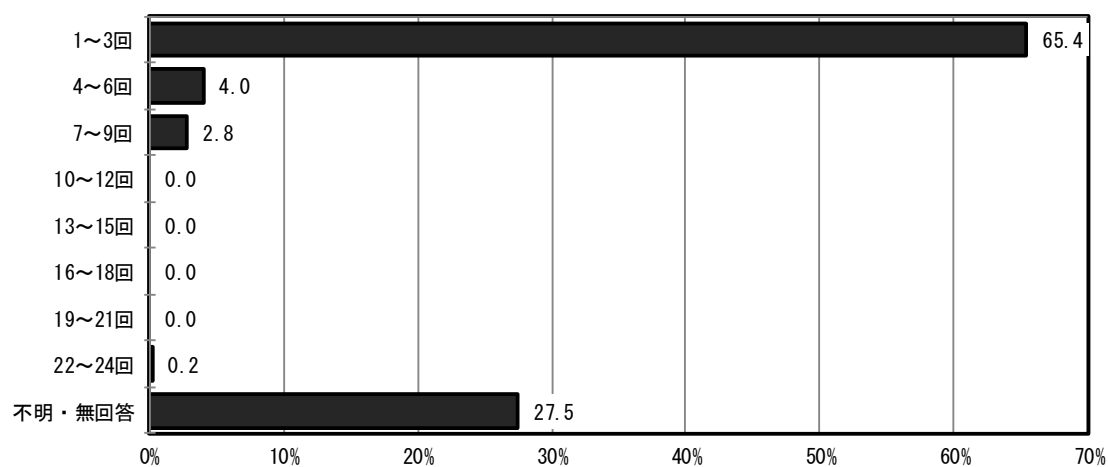
今回（令和5年度）

N=36



前回（平成30年度）

N=107

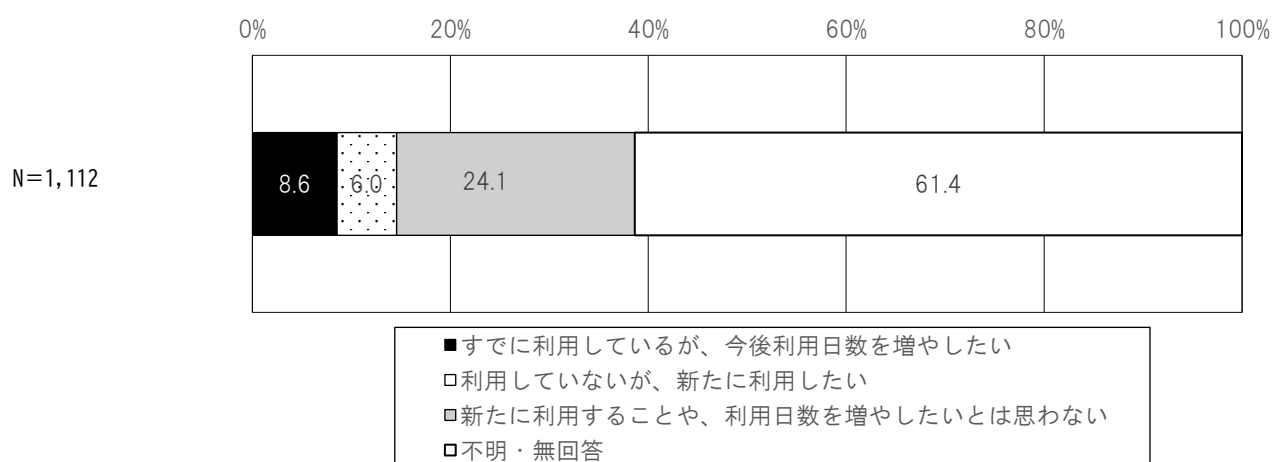


問14【問13のような事業について、これからの利用意向についてうかがいます。(1つに○)】

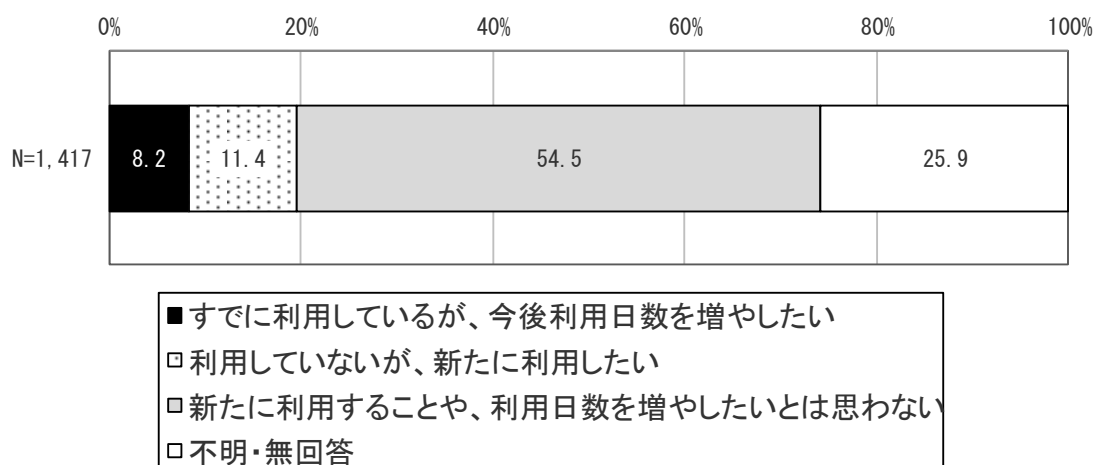
「新たに利用することや、利用日数を増やしたいとは思わない」が 24.1%を占めています。
「すでに利用しているが、今後日数を増やしたい」が 8.6%、「利用していないが、新たに利用したい」が 6.0%で続いています。

前回と比較して「すでに利用しているが、今後日数を増やしたい」が増加しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）



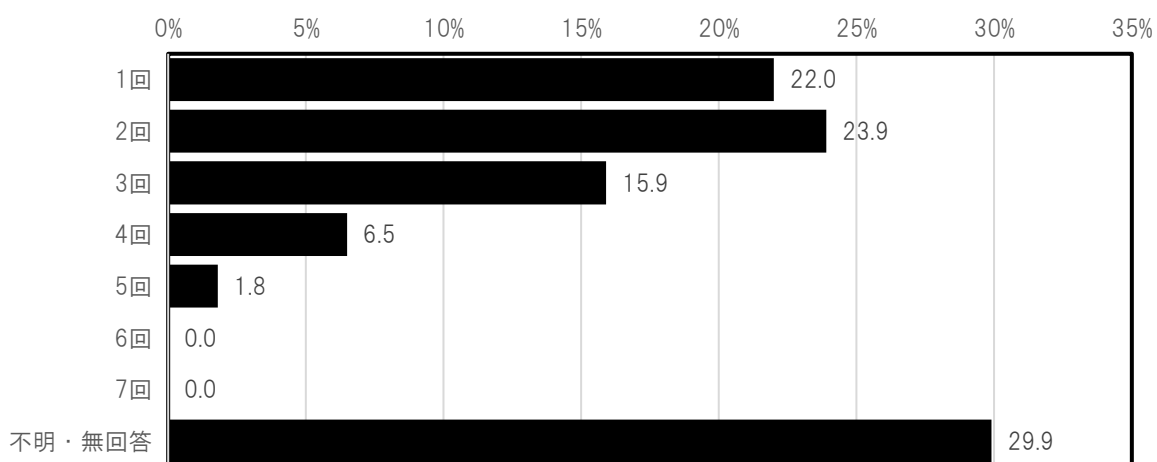
問14：1【(問14で①すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい) 1週あたり回数】 (数量)

「2回」が23.9%で最も高くなっています。次いで「1回」が22.0%、「3回」が15.9%が続いています。

前回と比較して大きな変化は見られませんでした。

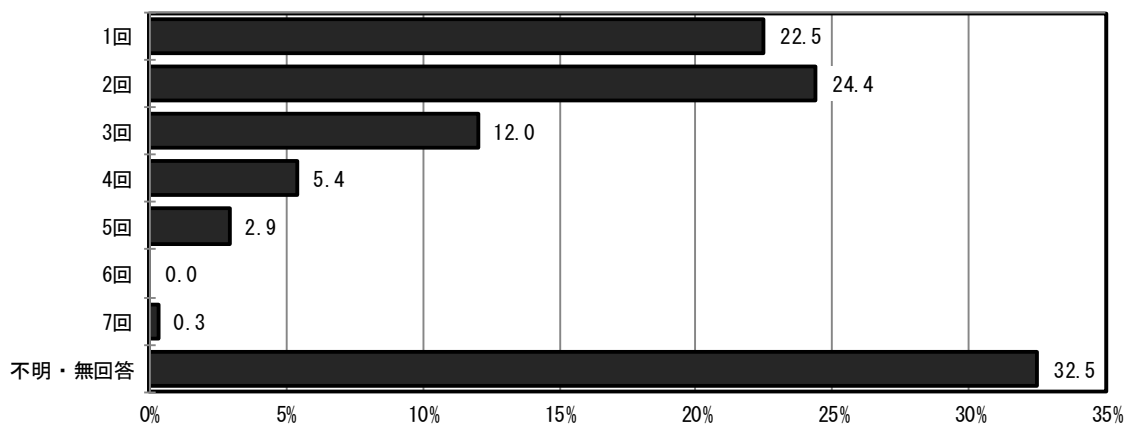
今回 (令和5年度)

N=95



前回 (平成30年度)

N=117



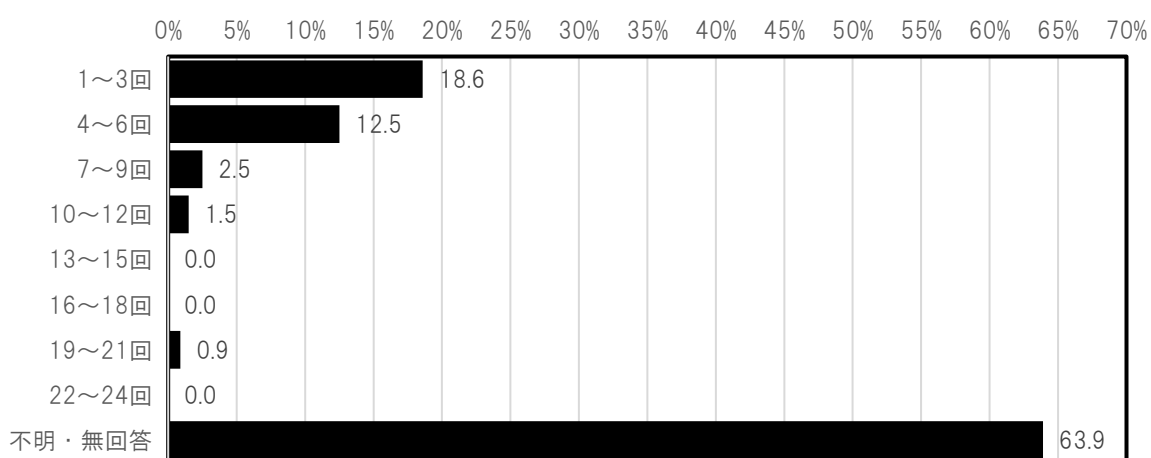
問14：1【(問14で①すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい) 1か月あたり回数】 (数量)

「1～3回」が18.6%で最も高くなっています。次いで「4～6回」が12.5%、「7～9回」が2.5%が続いています。

前回と比較して「1～3回」「13～15回」の割合は減少し「4～6回」の割合は実質増加しています。

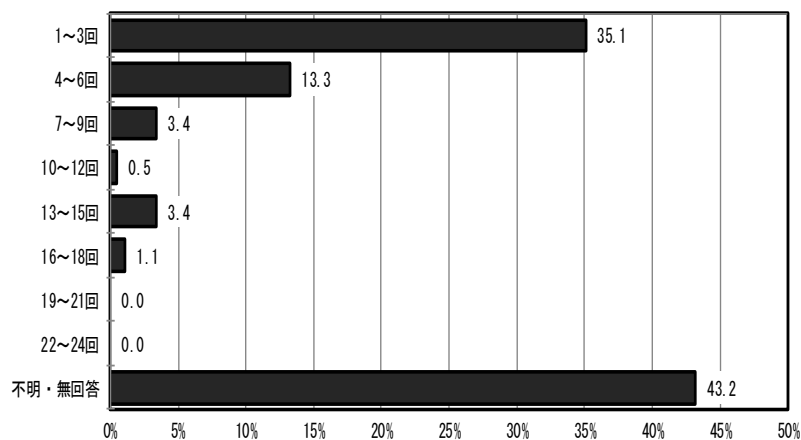
今回（令和5年度）

N=95



前回（平成30年度）

N=117



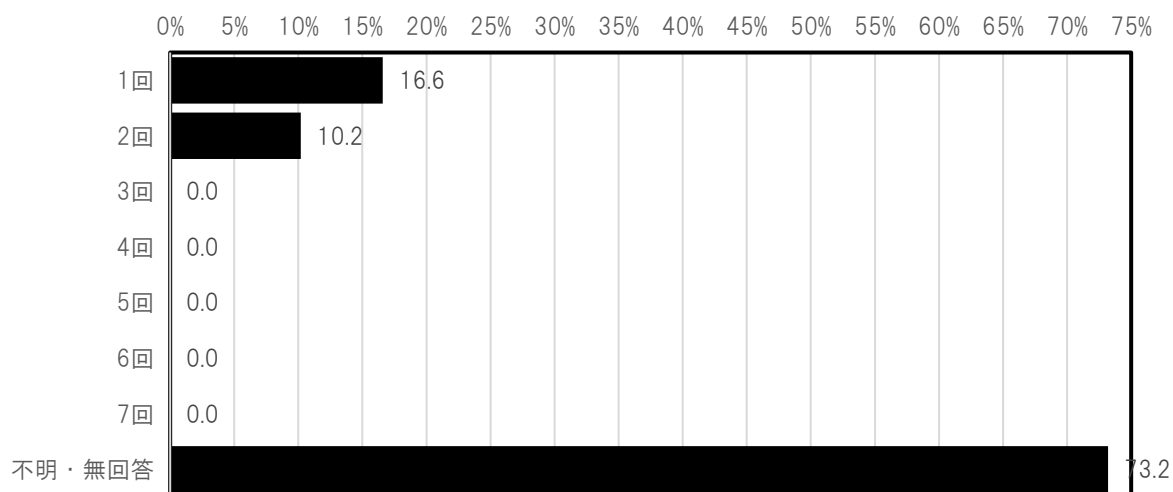
問14：2【(問14で②利用していないが、新たに利用したい) 1 週あたり回数】 (数量)

「1 回」が 16.6%で最も高くなっています。次いで「2 回」が 10.2%が続いています。

前回あった「3 回以上」の回答がありませんでした。

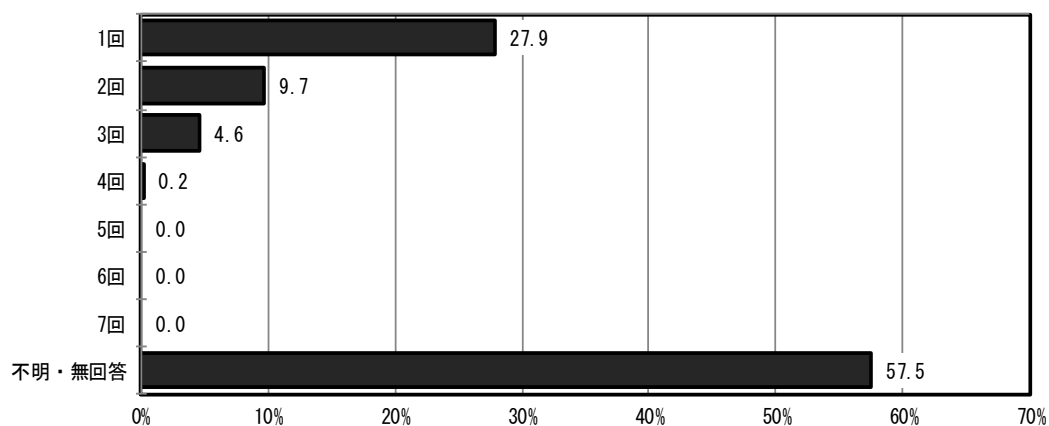
今回（令和 5 年度）

N=67



前回（平成 30 年度）

N=163



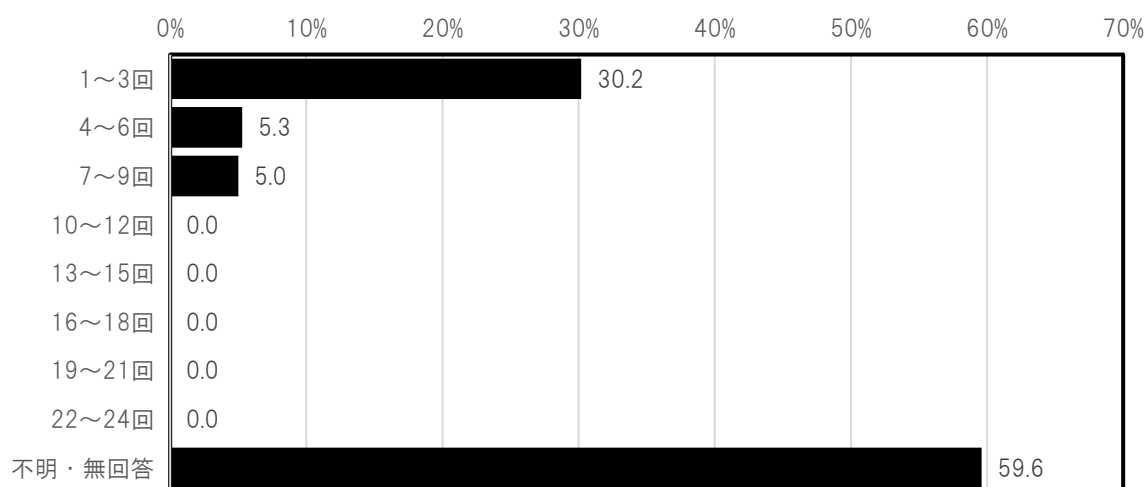
問14：2【(問14で②利用していないが、新たに利用したい) 1 か月あたり回数】（数量）

「1～3 回」が 30.2%を占めています。「4～6 回」が 5.3%、「7～9 回」が 5.0%が続いています。

前回と比較して「1～3 回」の割合が減少しました。

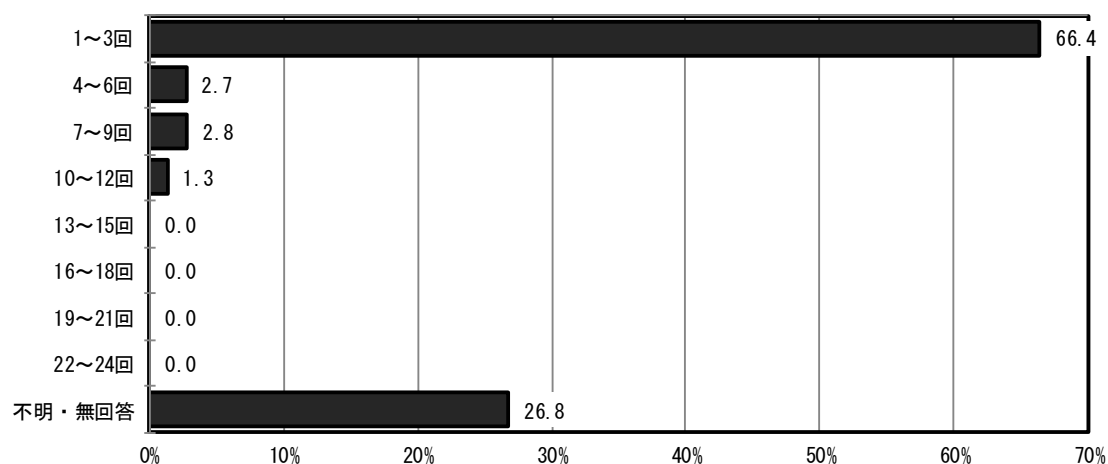
今回（令和 5 年度）

N=67



前回（平成 30 年度）

N=163



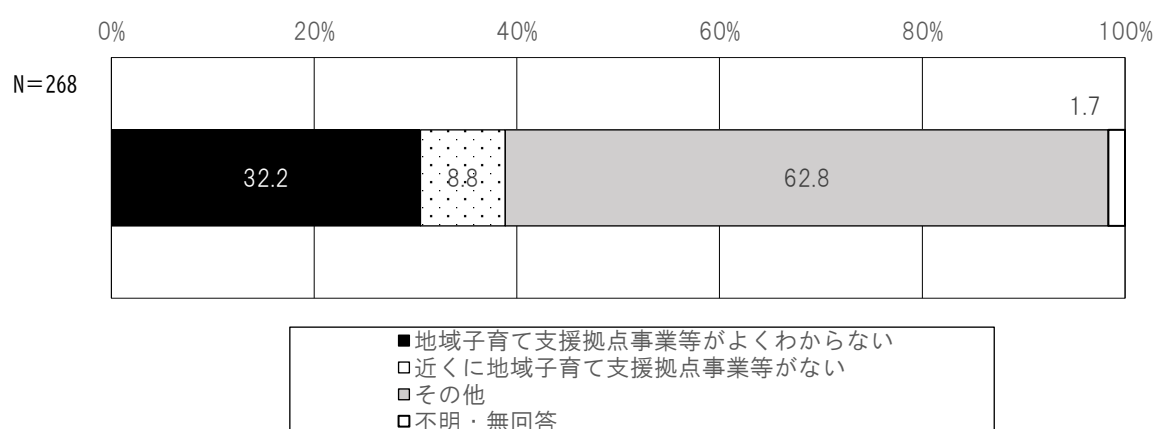
問 14 で「3. 新たに利用することや、利用日数を増やしたいとは思わない」を選択した方に
うかがいます。

問15【そのように思った理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)】

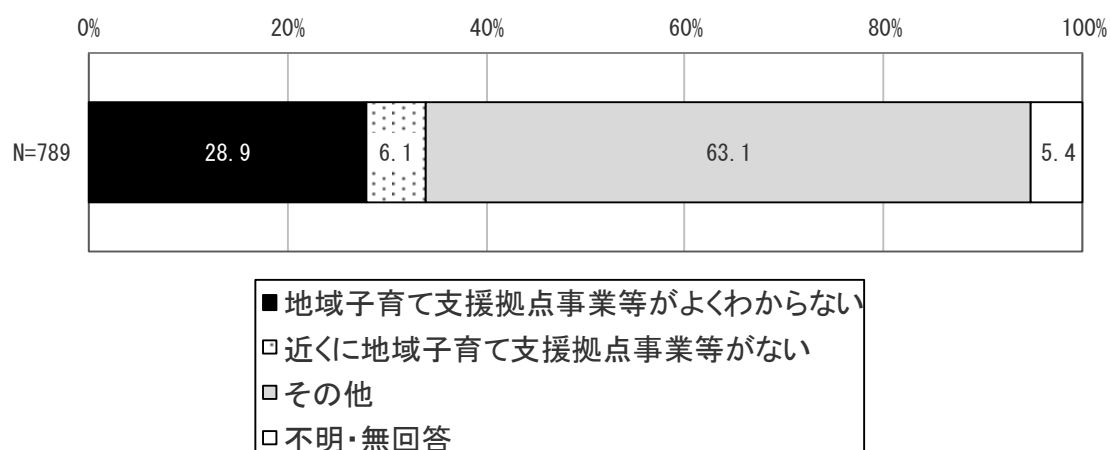
「地域子育て支援拠点事業等がよくわからない」が 32.2%で最も高くなっています。次いで
「近くに地域子育て支援拠点事業等がない」が 8.8%で続いています。

前回と比較して「地域子育て支援拠点事業等がよくわからない」「近くに地域子育て支援拠点事業
等がない」ともに割合が増加しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）



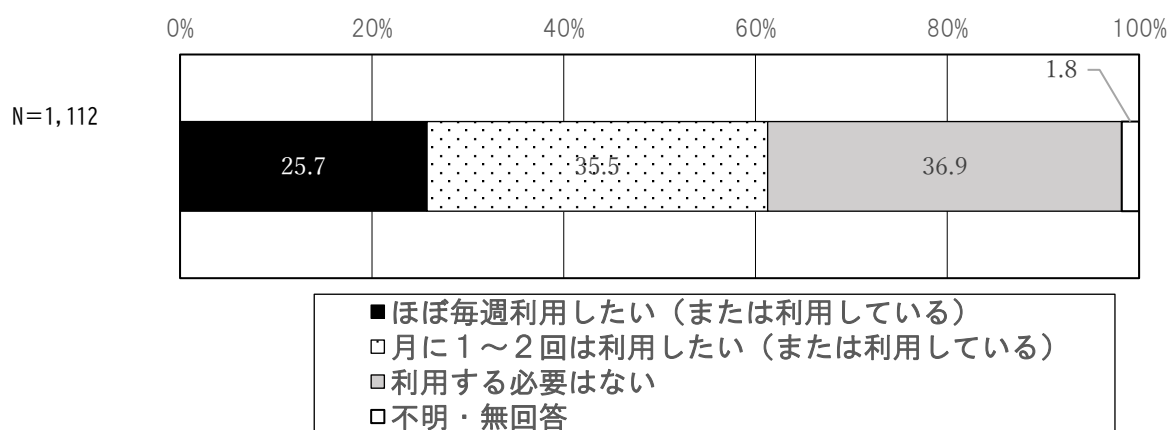
5. お子様の土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問16(1) (土曜日) 【お子様について、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園、保育所、認定こども園、その他の保育施設等の定期的な利用希望（継続利用も含む）はありますか。】

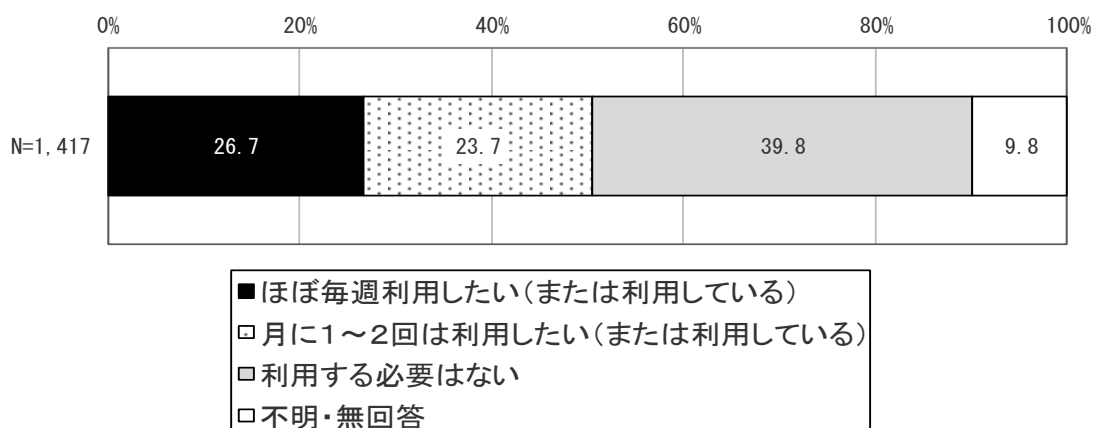
「利用する必要はない」が 36.9% で最も高くなっています。次いで「月に 1～2 回は利用したい（または利用している）」が 35.5%、「ほぼ毎週利用したい（または利用している）」が 25.7% で続いています。

前回と比較して「月に 1～2 回利用したい」の割合が増加しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）



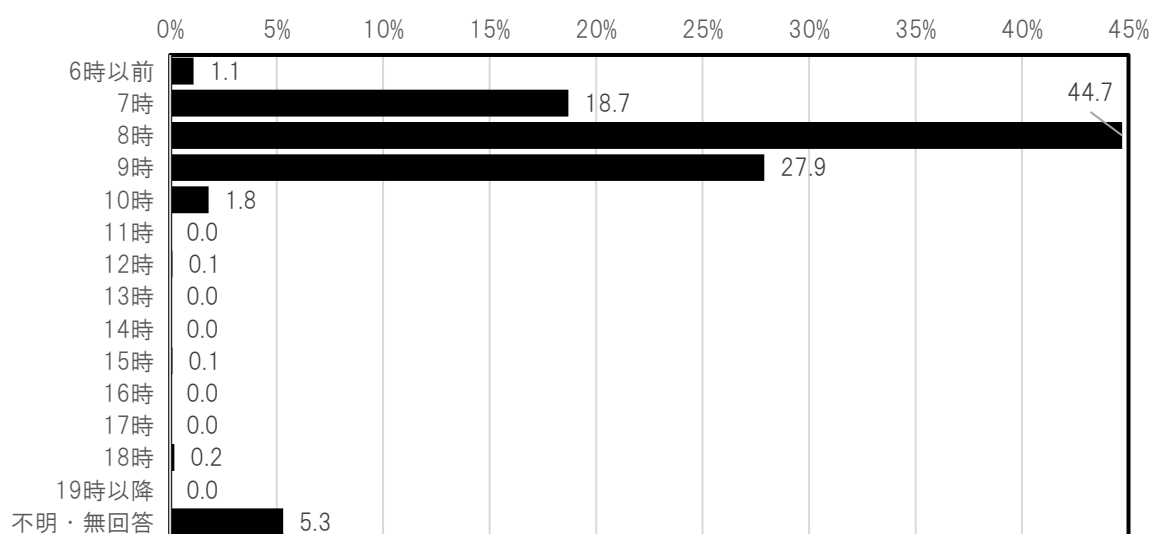
問16(1)：1（土曜日）【(利用したい時間帯(開始時間)) お子様について、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園、保育所、認定こども園、その他の保育施設等の定期的な利用希望（継続利用も含む）はありますか。】（数量）

「8時」が44.7%で最も高くなっています。次いで「9時」が27.9%、「7時」が18.7%が続いています。

前回と比較して、利用したい希望の開始時間が9時から8時と早くなっています。

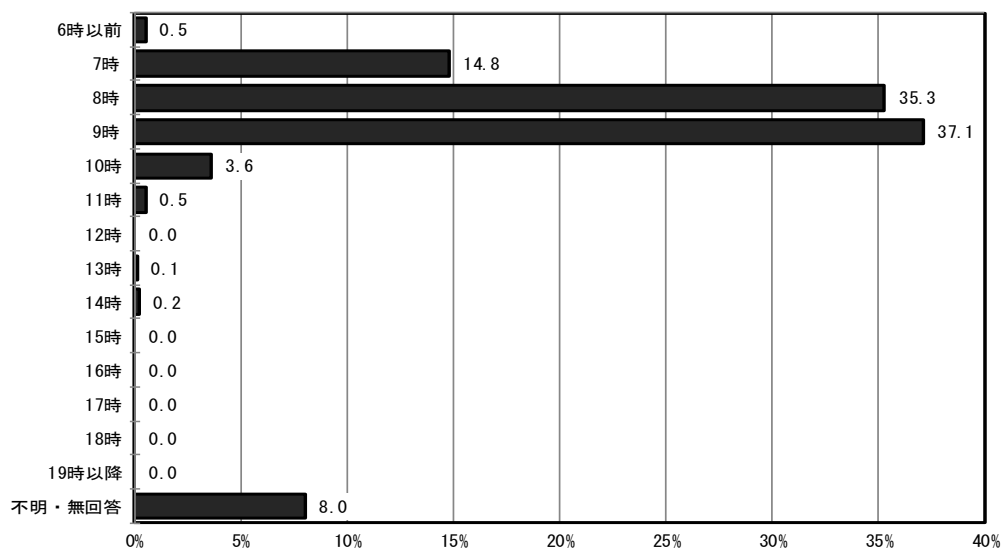
今回（令和5年度）

N=681



前回（平成30年度）

N=720



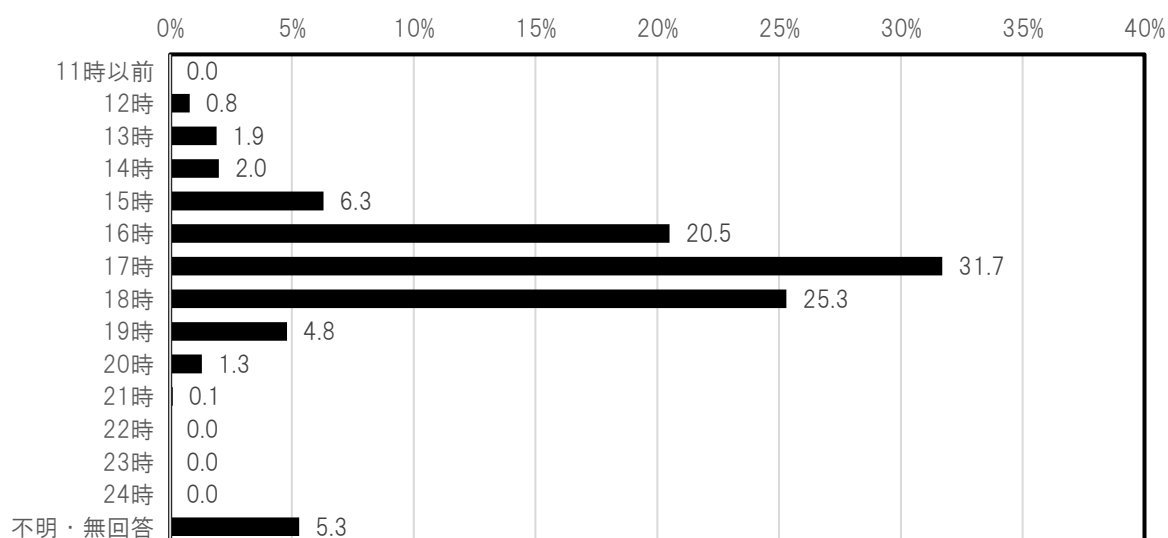
問16(1)：1（土曜日）【(利用したい時間帯(終了時間)) お子様について、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園、保育所、認定こども園、その他の保育施設等の定期的な利用希望（継続利用も含む）はありますか。】（数量）

「17 時」が 35.6%で最も高くなっています。次いで「18 時」が 25.0%、「16 時」が 12.6%で続いています。

前回と比較して、利用したい希望の終了時間は若干早くなっています。

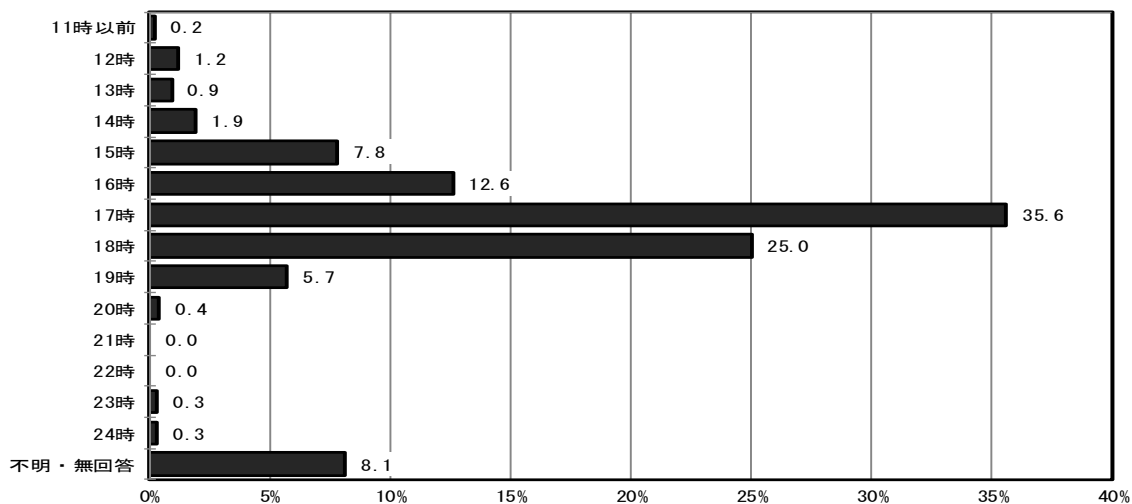
今回（令和 5 年度）

N=681



前回（平成 30 年度）

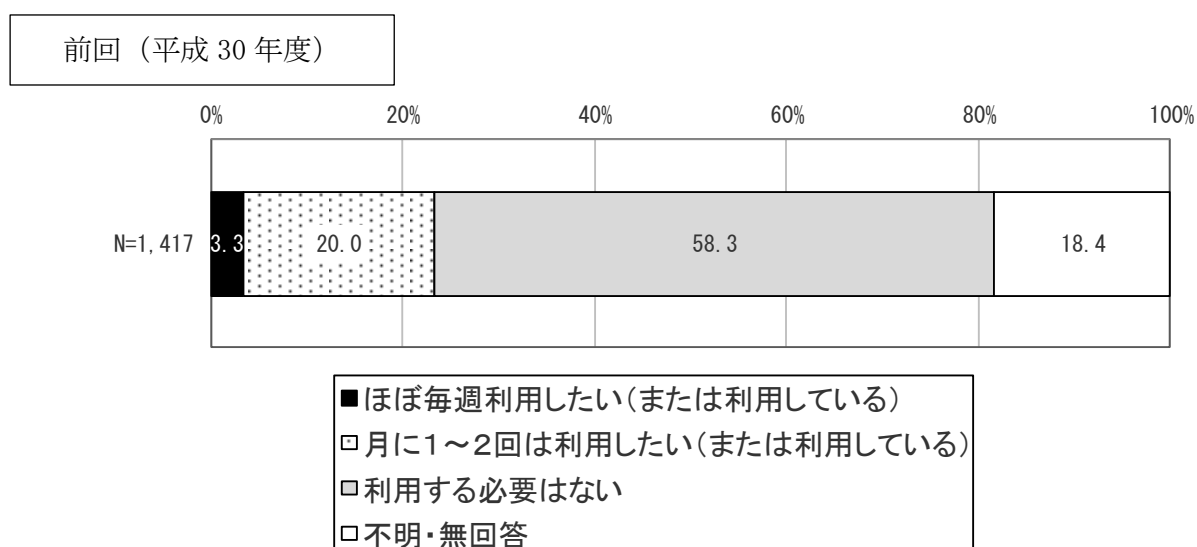
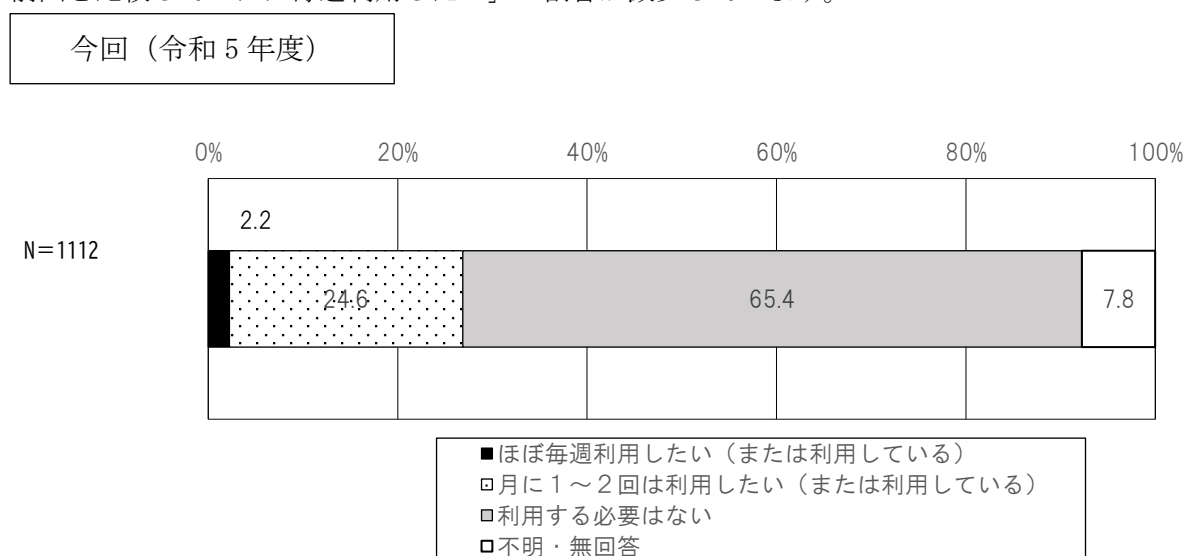
N=720



問16(2) (日曜日・祝日)【お子様について、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園、保育所、認定こども園、その他の保育施設等の定期的な利用希望（継続利用も含む）はありますか。】

「利用する必要はない」が 65.4%を占めています。「月に1～2回は利用したい（または利用している）」が 24.6%、「ほぼ毎週利用したい（または利用している）」が 2.2%で続いています。

前回と比較して「ほぼ毎週利用したい」の割合が減少しています。



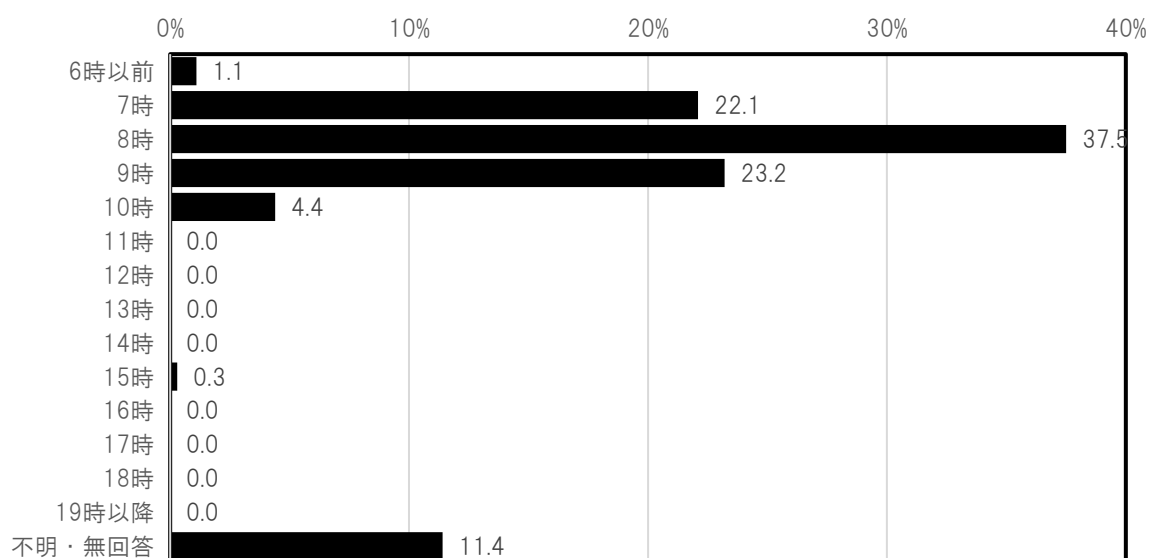
問16(2)：1（日曜日・祝日）【(利用したい時間帯(開始時間))お子様について、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園、保育所、認定こども園、その他の保育施設等の定期的な利用希望（継続利用も含む）はありますか。】（数量）

「8時」が37.5%で最も高くなっています。次いで「9時」が23.2%、「7時」が22.1%が続いています。

前回と比較して、利用したい希望の開始時間が9時から8時と早くなっています。

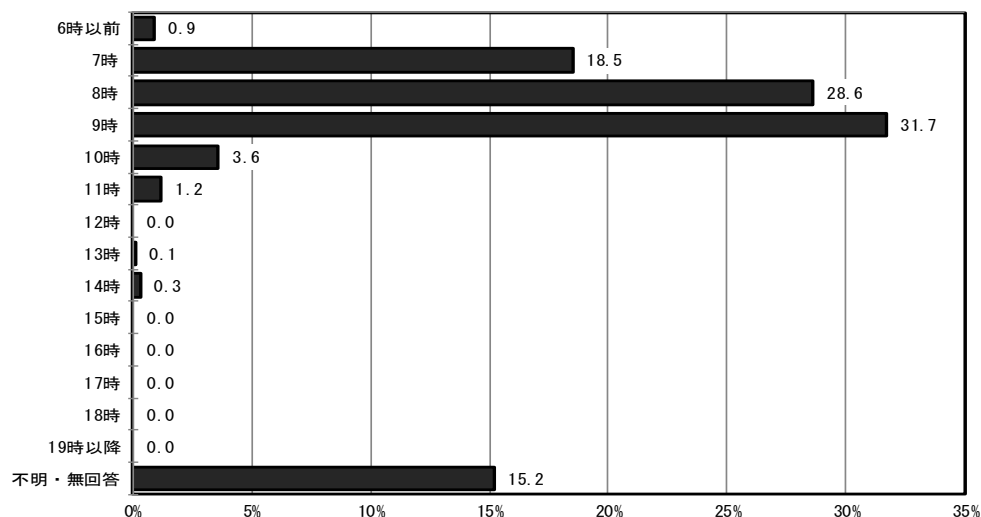
今回（令和5年度）

N=299



前回（平成30年度）

N=334



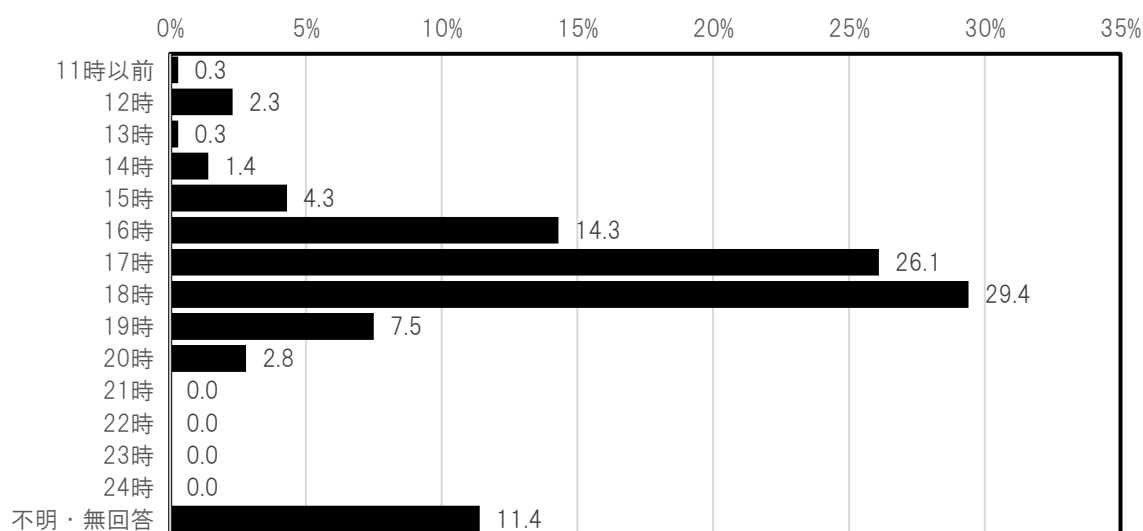
問16(2)：1（日曜日・祝日）【(利用したい時間帯(終了時間))お子様について、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園、保育所、認定こども園、その他の保育施設等の定期的な利用希望（継続利用も含む）はありますか。】（数量）

「18 時」が 29.4%で最も高くなっています。次いで「17 時」が 26.1%、「16 時」が 14.3%で続いています。

前回と比較して、利用したい希望の終了時間が 17 時から 18 時と遅くなっています。

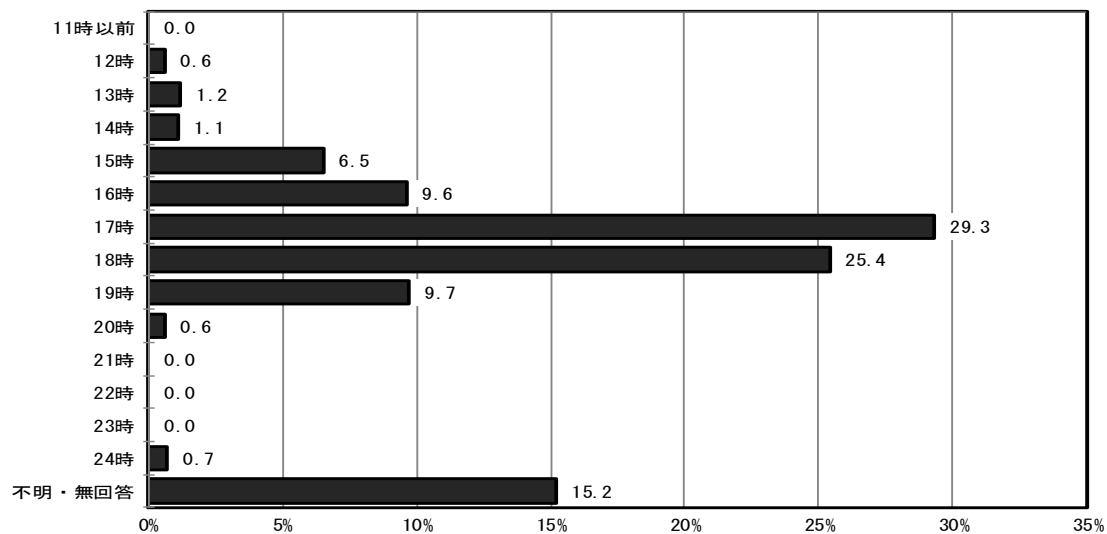
今回（令和 5 年度）

N=299



前回（平成 30 年度）

N=334



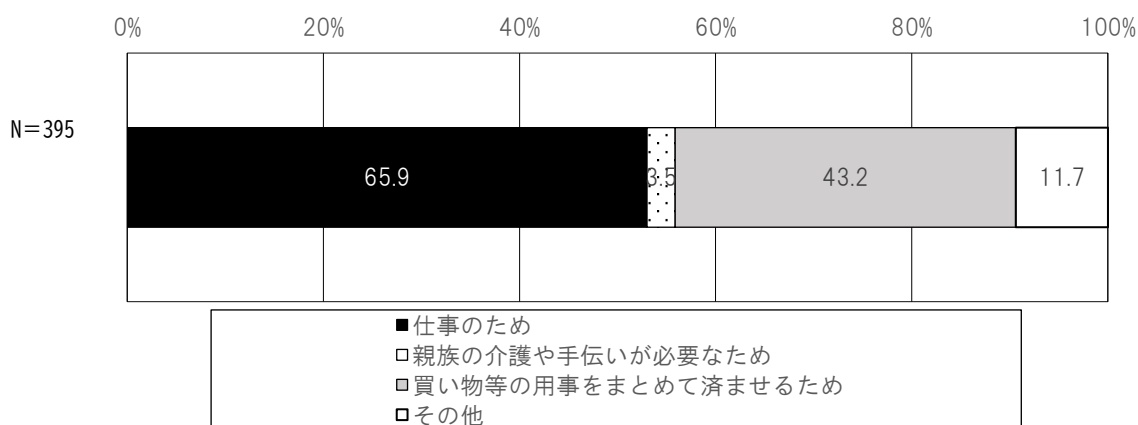
問 16 で「2. 月に 1 ～ 2 回は利用したい(または利用している)」を選択した方にうかがいます。

問17【毎週ではなく、月に 1 ～ 2 回利用したい理由をお答えください。(あてはまるすべてに○)】

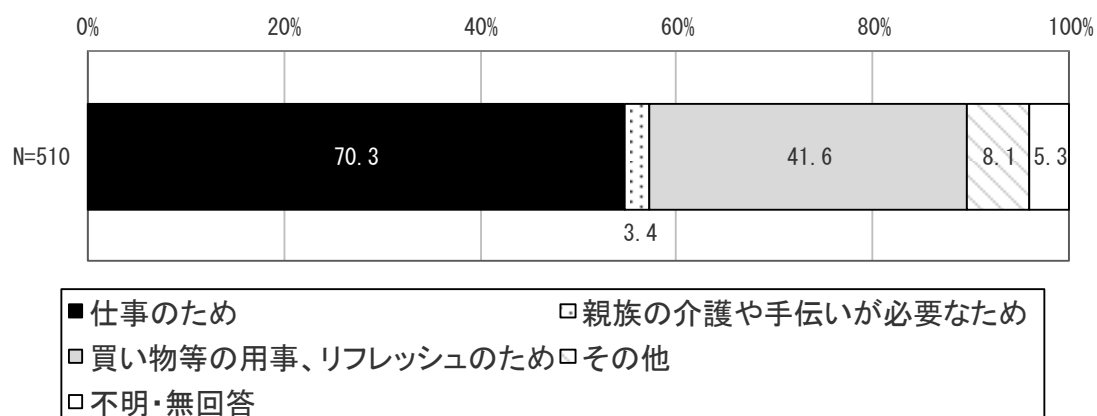
「仕事のため」が 65.9%で突出しています。

前回と比較して、大きな変化は見られませんでした。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）



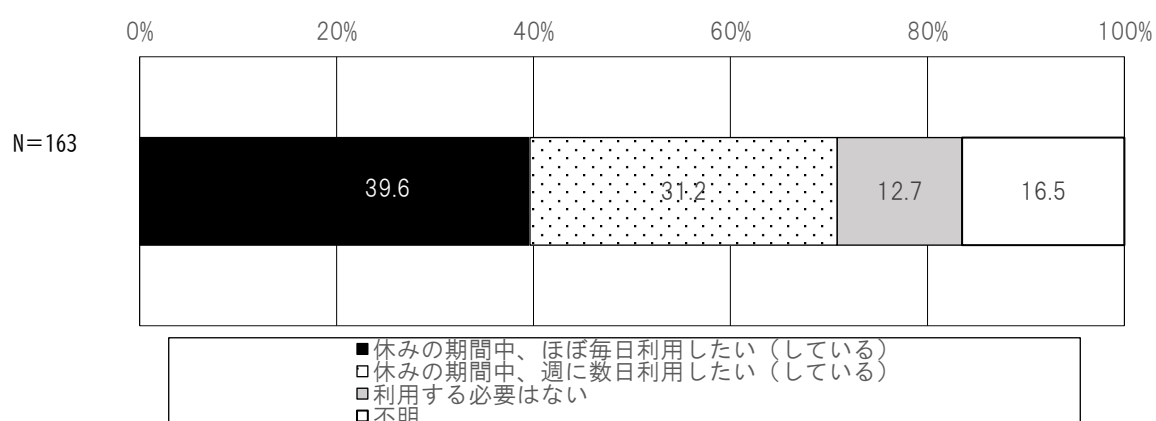
「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問18【幼稚園が夏休み・冬休みなど長期休園中の保育事業の利用を希望しますか。】

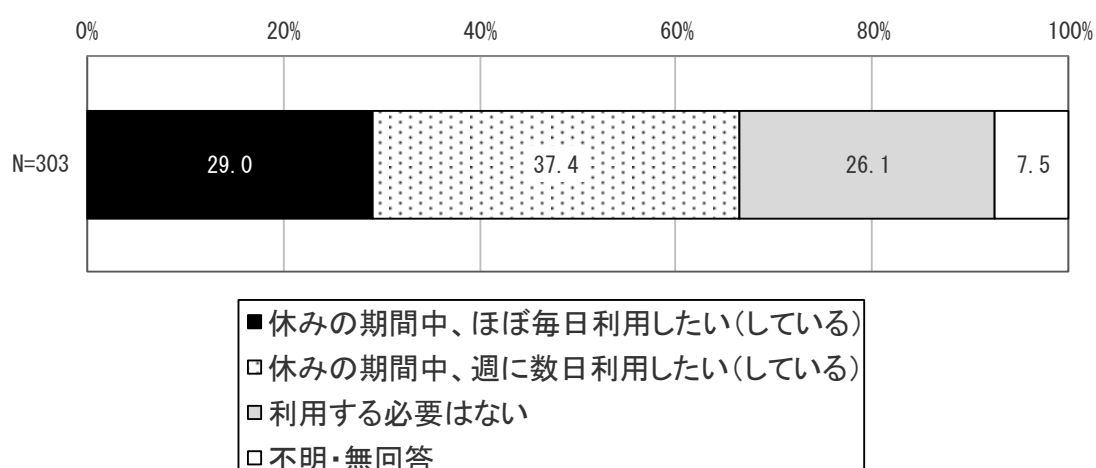
「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい（している）」が 39.6%で最も高くなっています。次いで「休みの期間中、週に数日利用したい（している）」が 31.2%、「利用する必要はない」が 12.7%で続いています。

前回と比較して「ほぼ毎日利用したい」の割合が増加し「利用する必要はない」が減少しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）



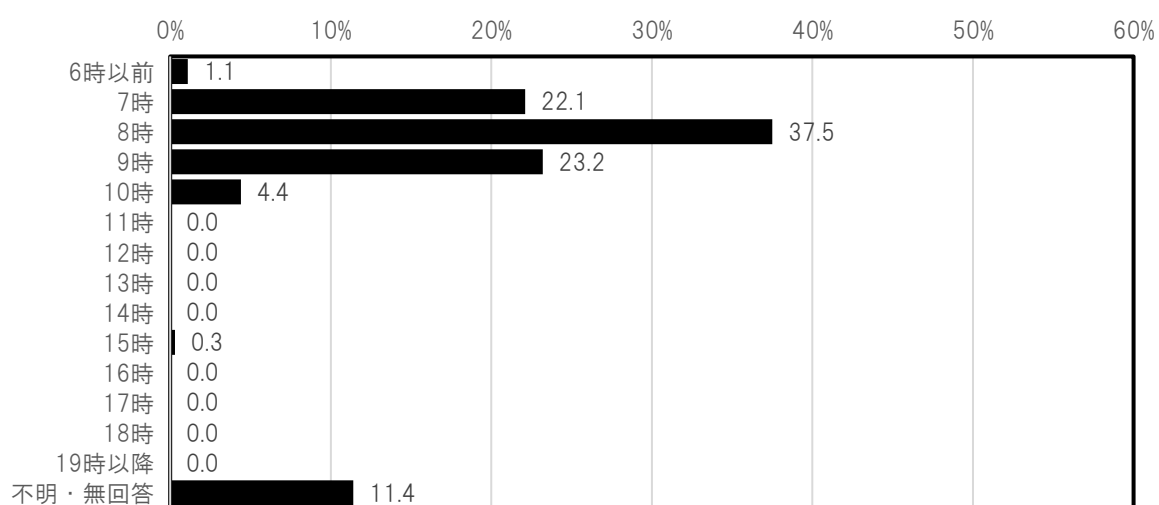
問18：1【(問18で「①休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」か「②休みの期間中、週に数日利用したい」)利用したい時間帯(開始時間)】 (数量)

「8時」が37.5%で最も高くなっています。次いで「9時」が23.2%、「7時」が22.1%が続いています。

前回と比較して、利用したい希望の開始時間が9時から8時と早くなっています。

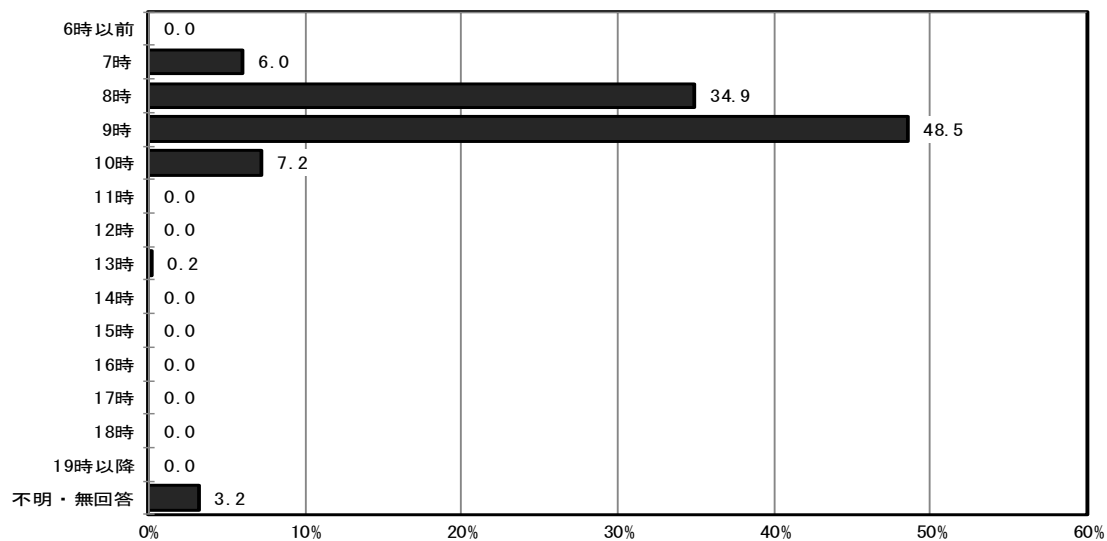
今回（令和5年度）

N=299



前回（平成30年度）

N=201



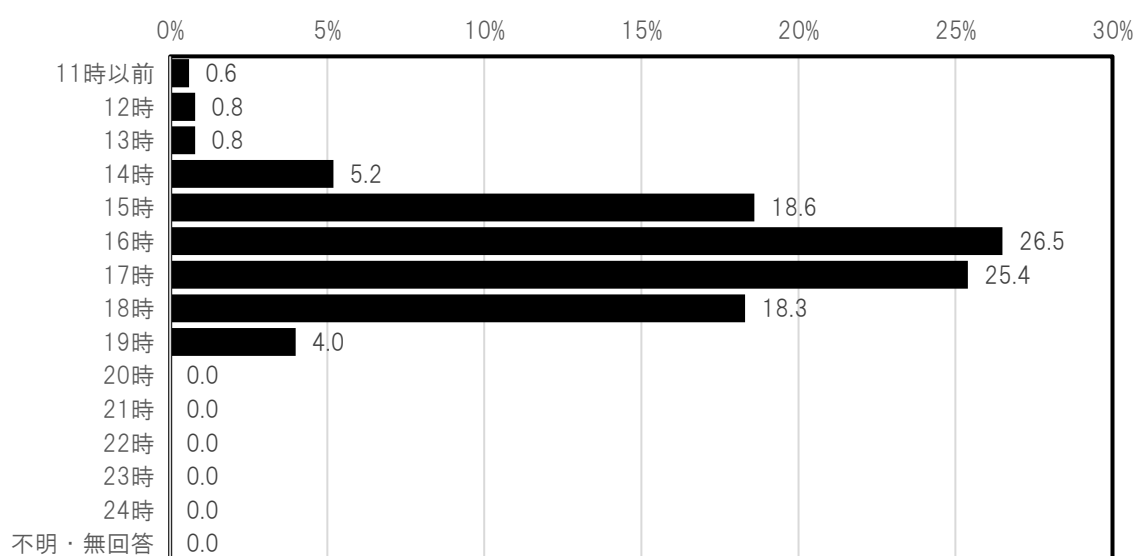
問18：1【(問18で「①休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」か「②休みの期間中、週に数日利用したい」)利用したい時間帯(終了時間)】 (数量)

「16 時」が 26.5%で最も高くなっています。次いで「16 時」が 25.4%、「15 時」が 18.6%で続いています。

前回と比較して、利用したい希望の終了時間のうち「15 時」が減少「16 時」が増加しています。

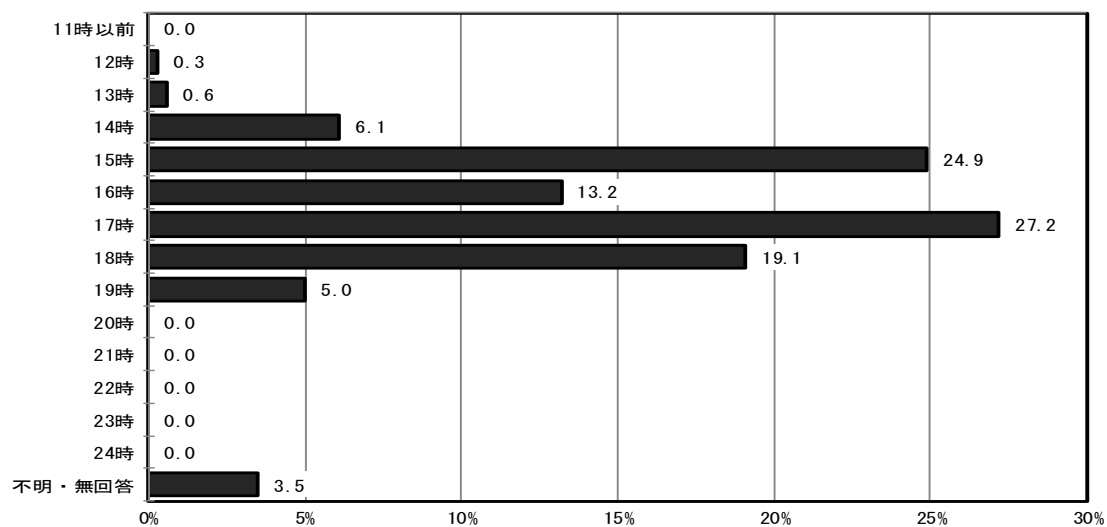
今回（令和 5 年度）

N=116



前回（平成 30 年度）

N=201



問 18 で「2. 休みの期間中、週に数日利用したい(している)」を選択した方にうかがいます。

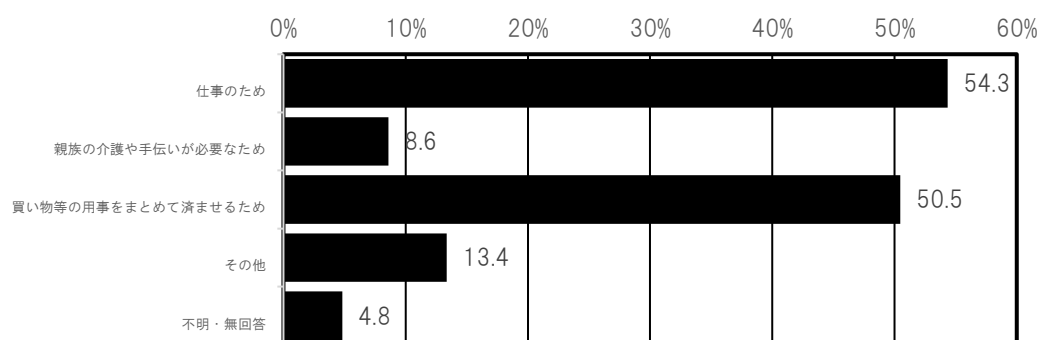
問19【毎日ではなく、週に数日利用したい理由をお答えください。(あてはまるすべてに○)】

「仕事のため」が 54.3%を占めています。「買い物等の用事、リフレッシュのため」が 50.5%、「親族の介護や手伝いが必要なため」が 8.6%で続いています。

前回と比較して、大きな変化は見られませんでした。

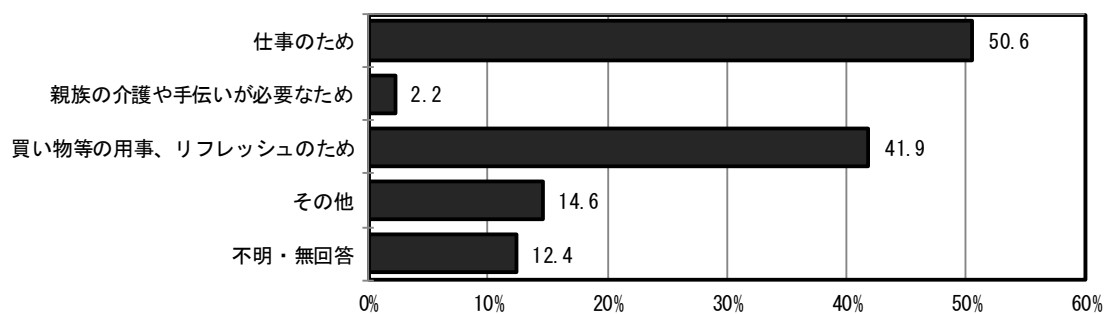
今回（令和 5 年度）

N=51



前回（平成 30 年度）

N=129



6. お子様の病気の際の対応について

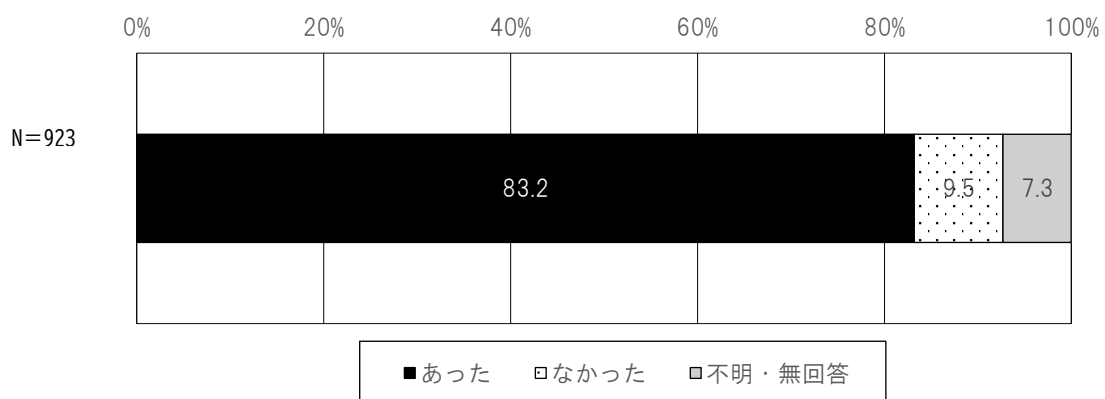
幼稚園や保育所など「平日の定期的な教育・保育事業を利用している方」（問11で「1. 利用している」を選択した方）にうかがいます。

問20【この1年間に、お子様が病気やケガで幼稚園・保育所等を休んだことはありますか。（1つに○）】

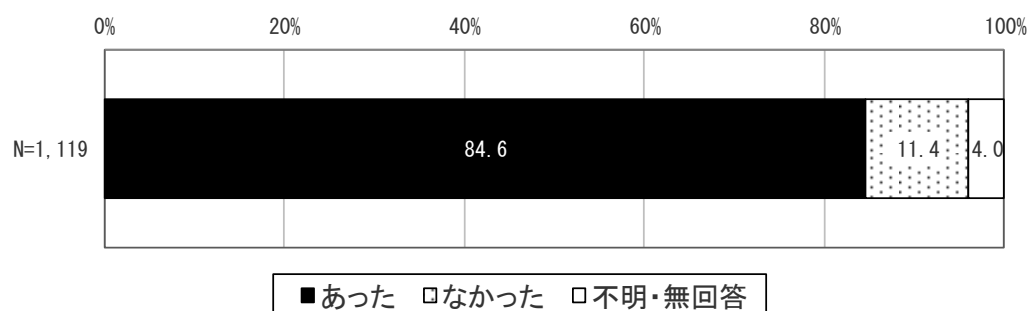
「あった」が83.2%で突出しています。

前回と比較して大きな変化はありませんでした。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）



問 20 で「1. あった」を選択した方にうかがいます。

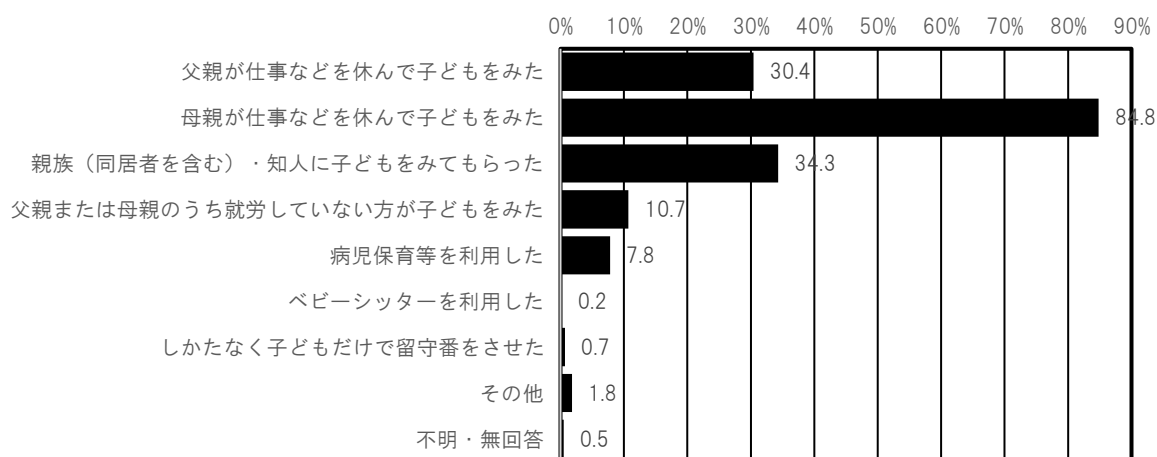
問20-1【この1年間に、お子様が病気やケガで幼稚園、保育所等を休んだとき、どう
されましたか。対処方法をお答えください。（あてはまるすべてに○）】

「母親が仕事などを休んで子どもをみた」が84.8%で突出しています。

前回と比較して「父親が仕事などを休んで子どもをみた」の割合が増加しています。

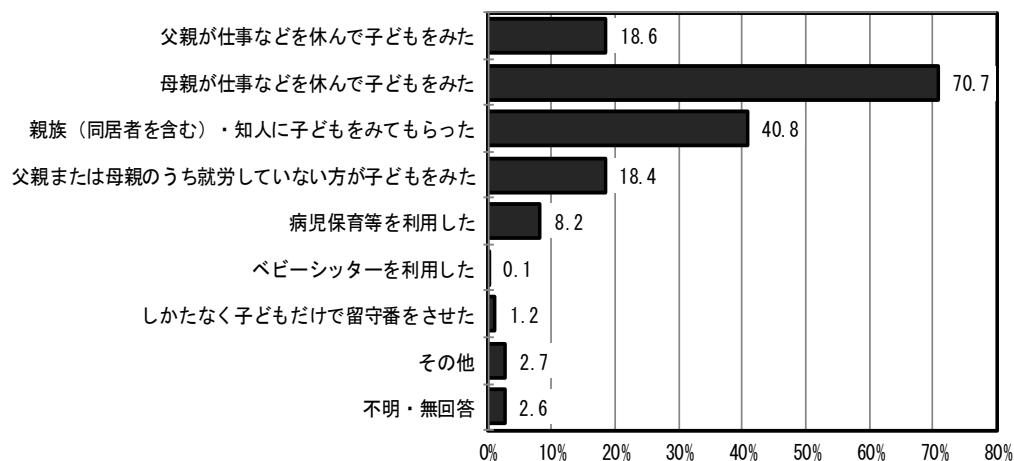
今回（令和5年度）

N=768



前回（平成30年度）

N=963



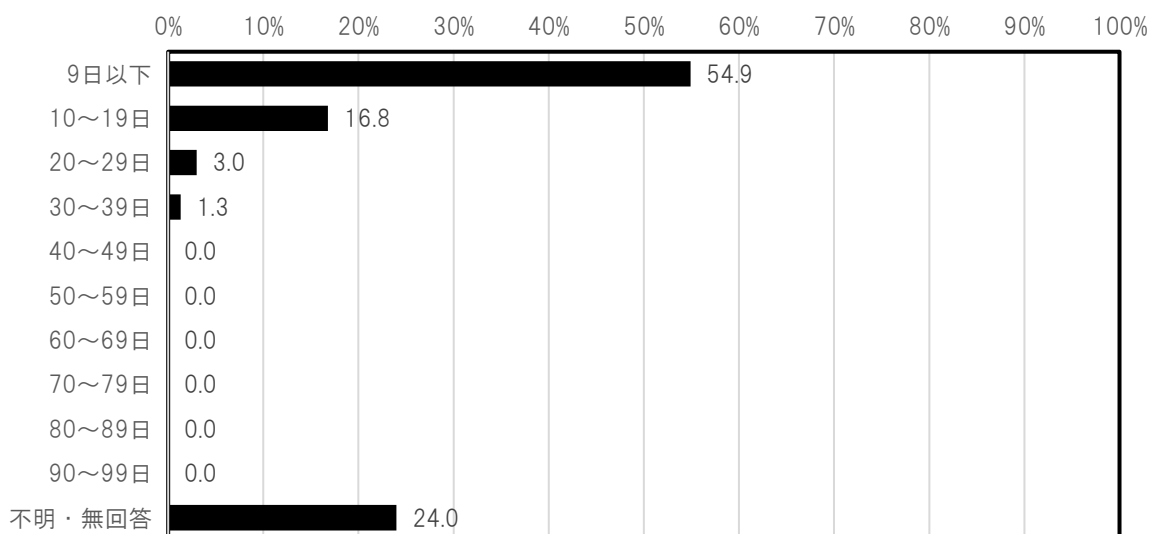
問20-1：1【(問20-1で①)(日数)父親が仕事などを休んで子どもをみた】（数量）

「9 日以下」が 54.9%で突出しています。

前回と比較して「10 日以上休んだ」の割合が増加しています。

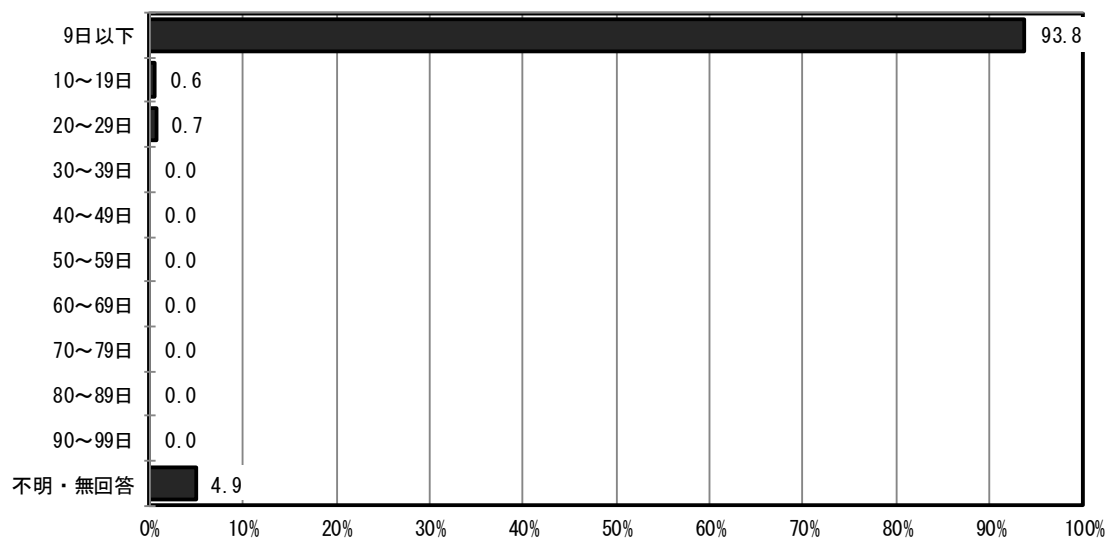
今回（令和 5 年度）

N=233



前回（平成 30 年度）

N=181



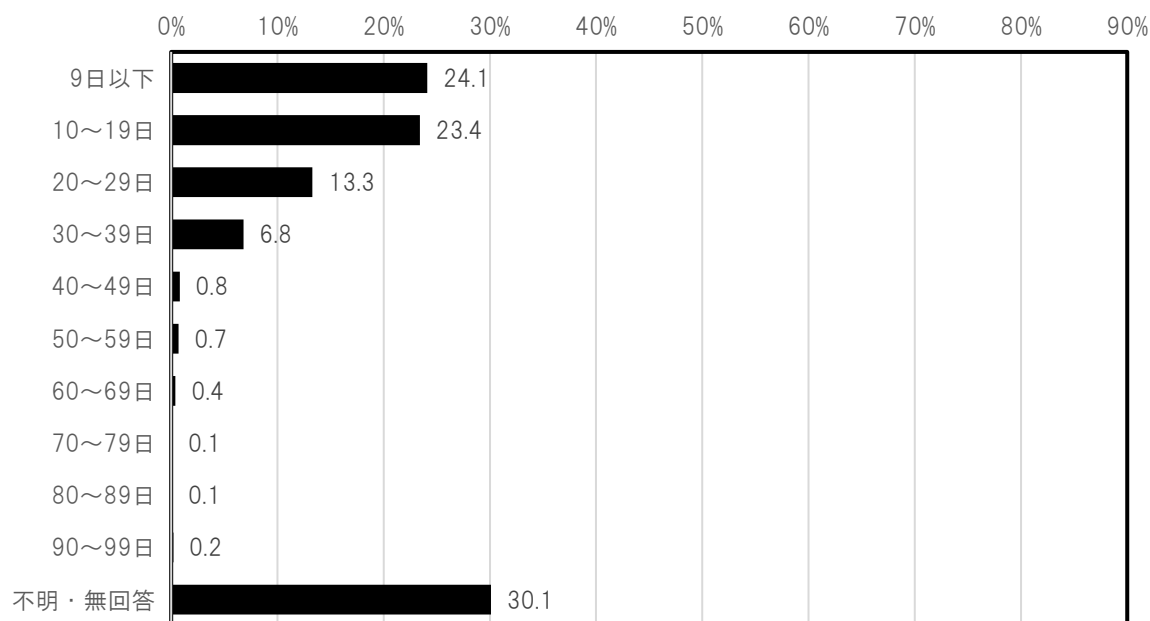
問20-1：2【(問20-1で②)(日数)母親が仕事などを休んで子どもをみた】(数量)

「9 日以下」が 24.1%、「10～19 日」が 23.4%、「20～29 日」が 13.3%と続いています。

前回と比較して、「10 日以上休んだ」の割合が増加しています。

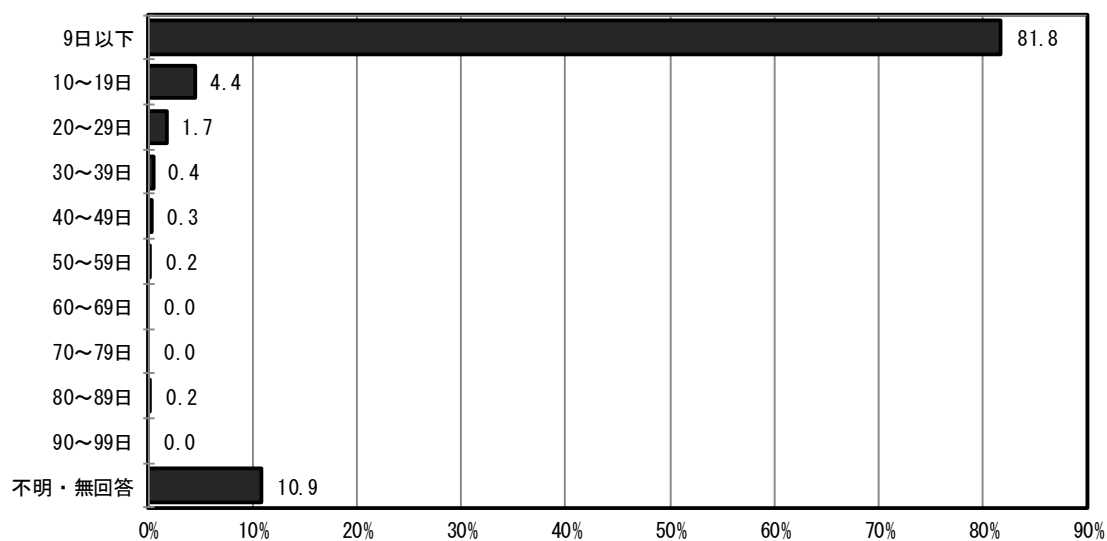
今回（令和 5 年度）

N=651



前回（平成 30 年度）

N=687

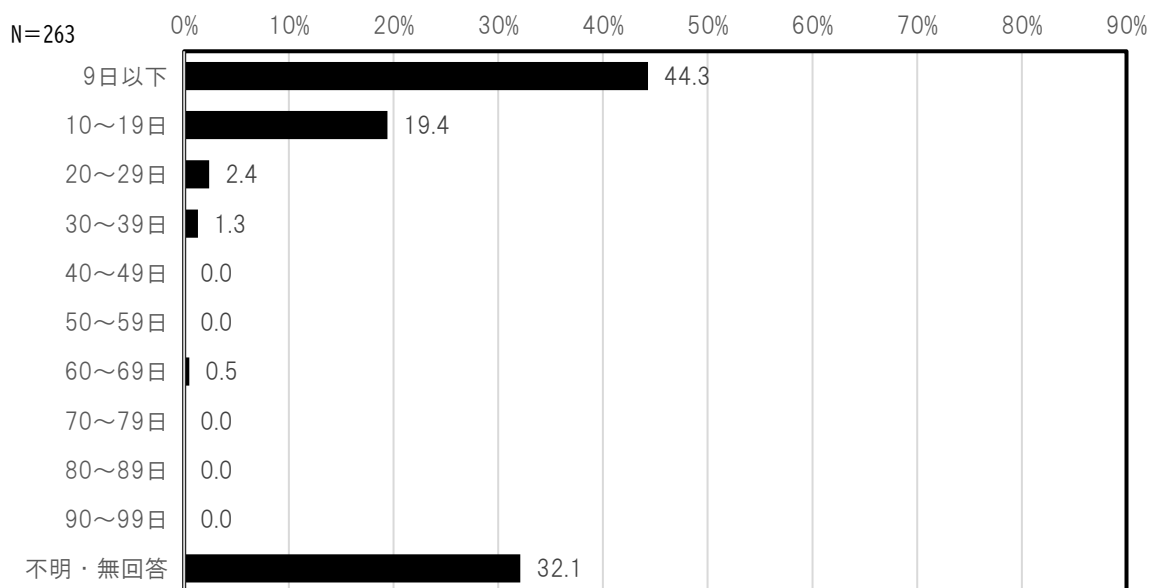


問20-1：3【(問20-1で③)(日数)親族(同居者を含む)・知人に子どもをみてもらった】
(数量)

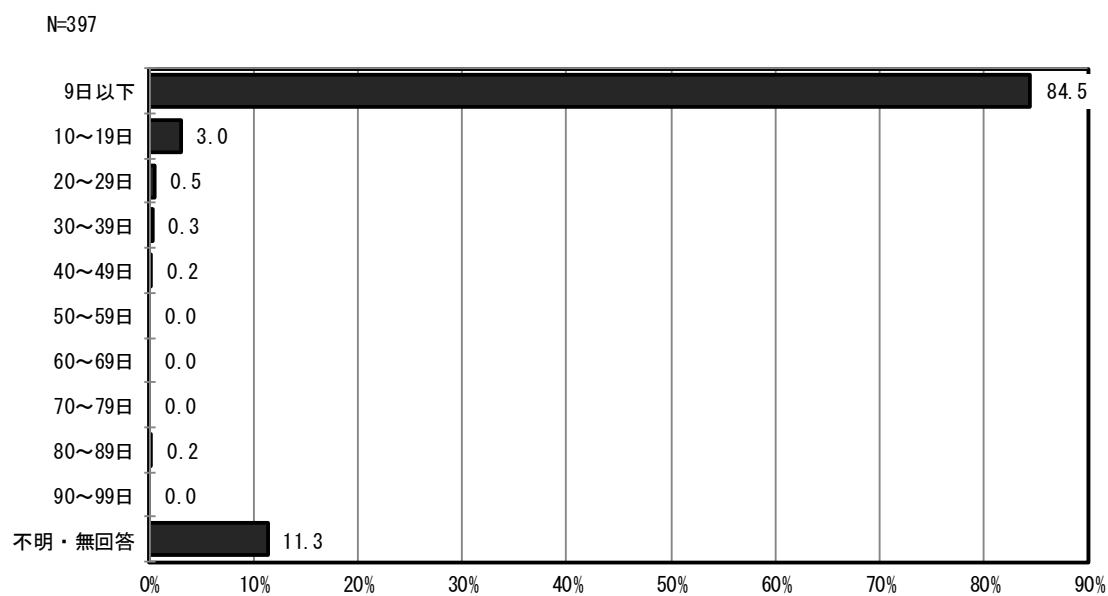
「9 日以下」が 44.3%で突出しています。

前回と比較して、「10 日以上休んだ」の割合が増加しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

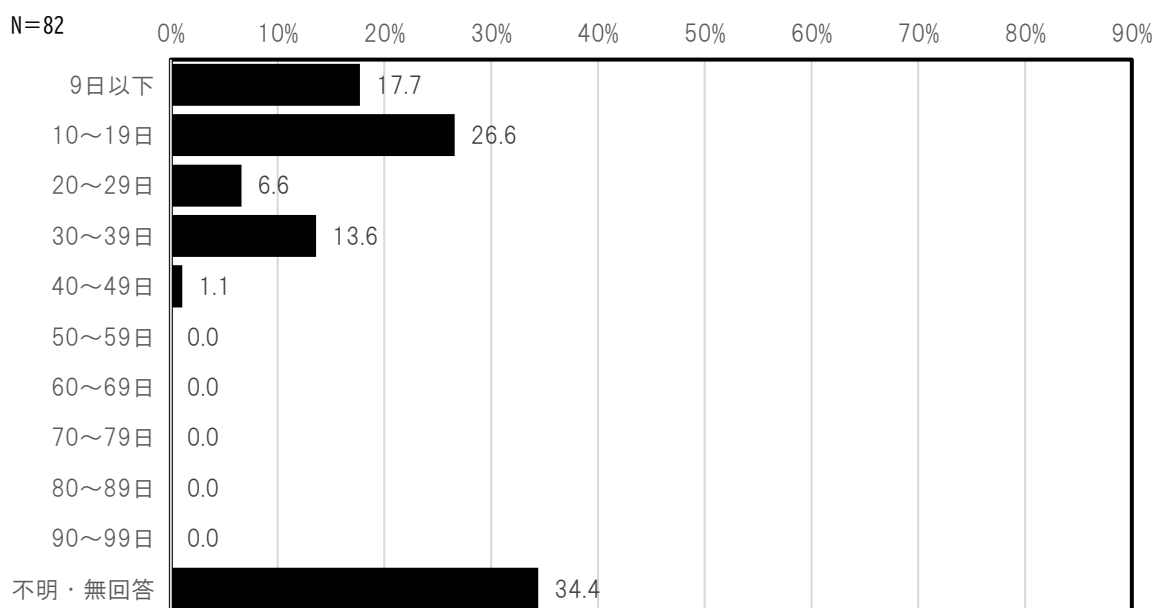


問20-1：4【(問20-1で④)(日数)父親または母親のうち就労していない方が子どもを
みた】(数量)

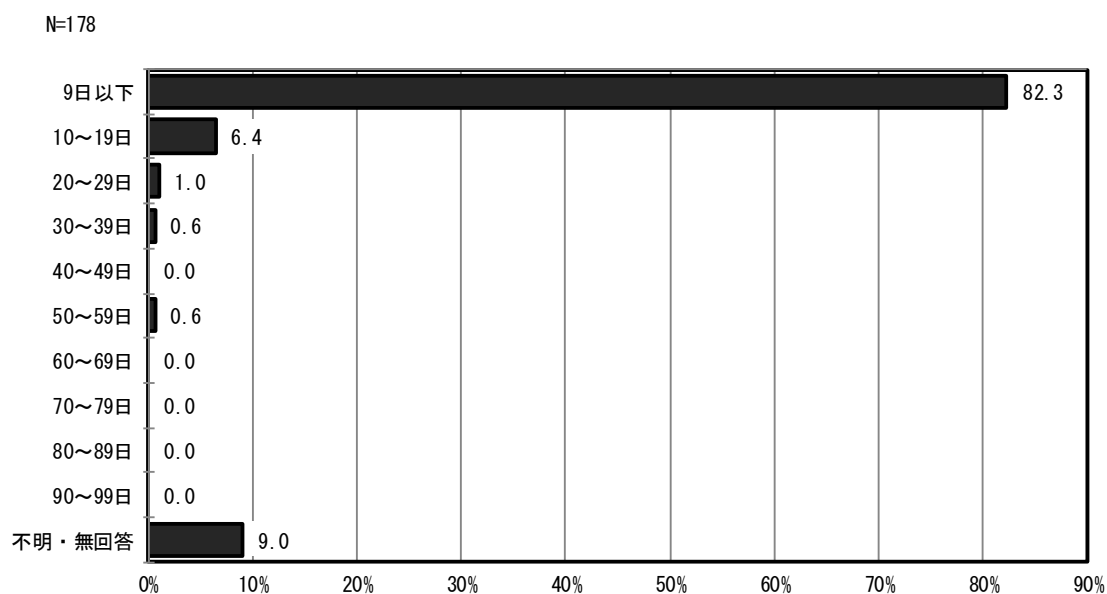
「10～19日」が26.6%で最も多く、次いで「9日以下」が17.7%となっています。

前回と比較して、「9日以下」の割合が減少し「10日以上休んだ」の割合が増加しています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

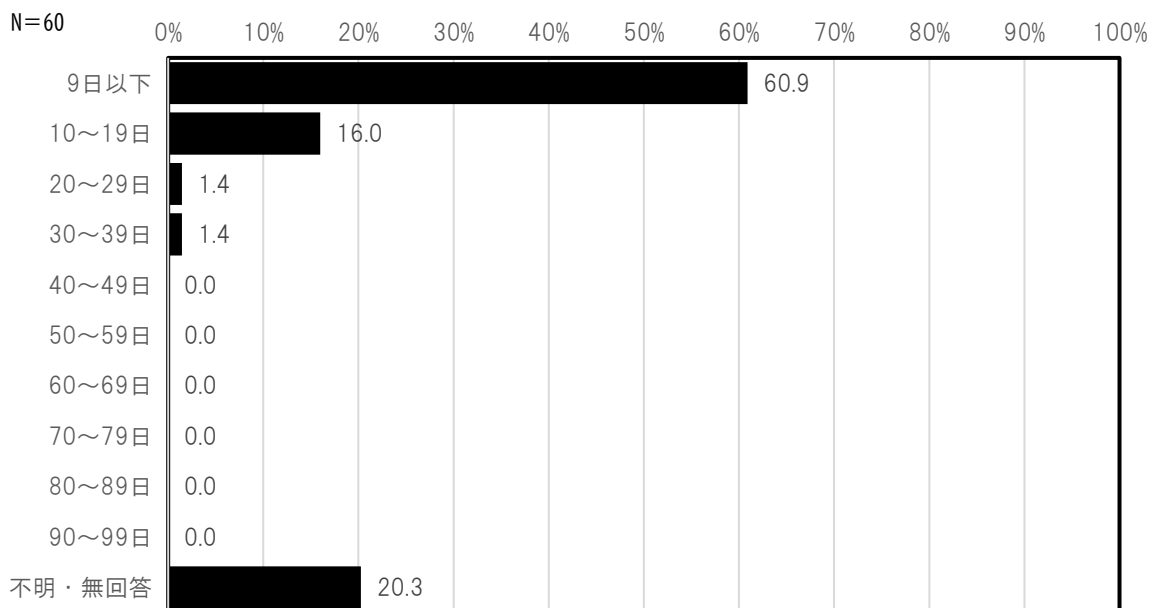


問20-1：5【(問20-1で⑤)(日数)病児保育等を利用した】（数量）

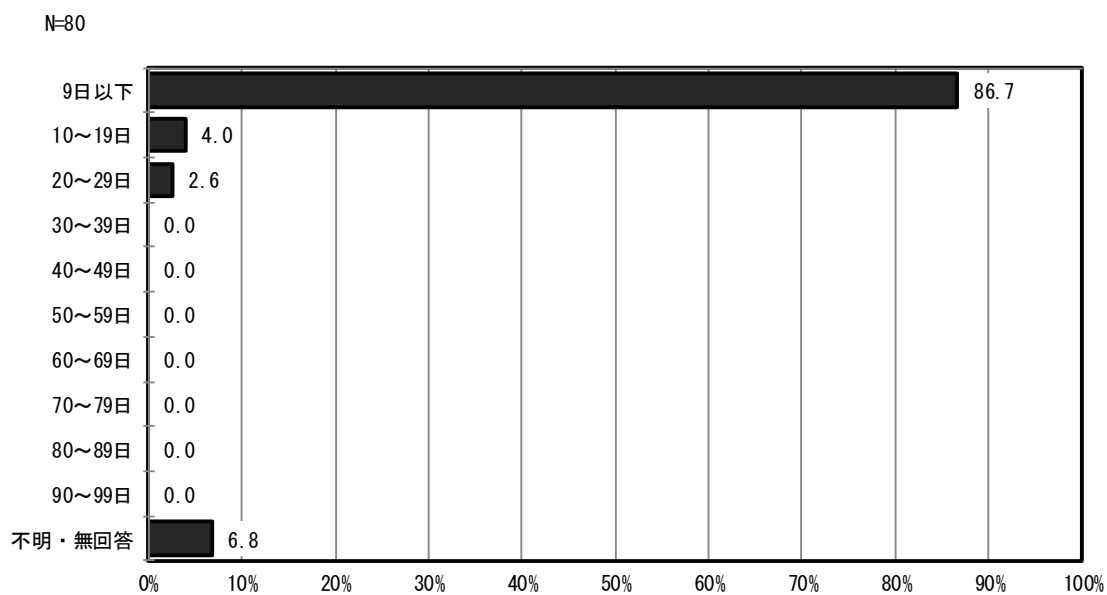
「9 日以下」が 60.9%で突出しています。

前回と比較して、「9 日以下」の割合が減少し「10 日以上休んだ」の割合が増加しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）



問20-1：6【(問20-1で⑥)(日数)ベビーシッターを利用した】（数量）

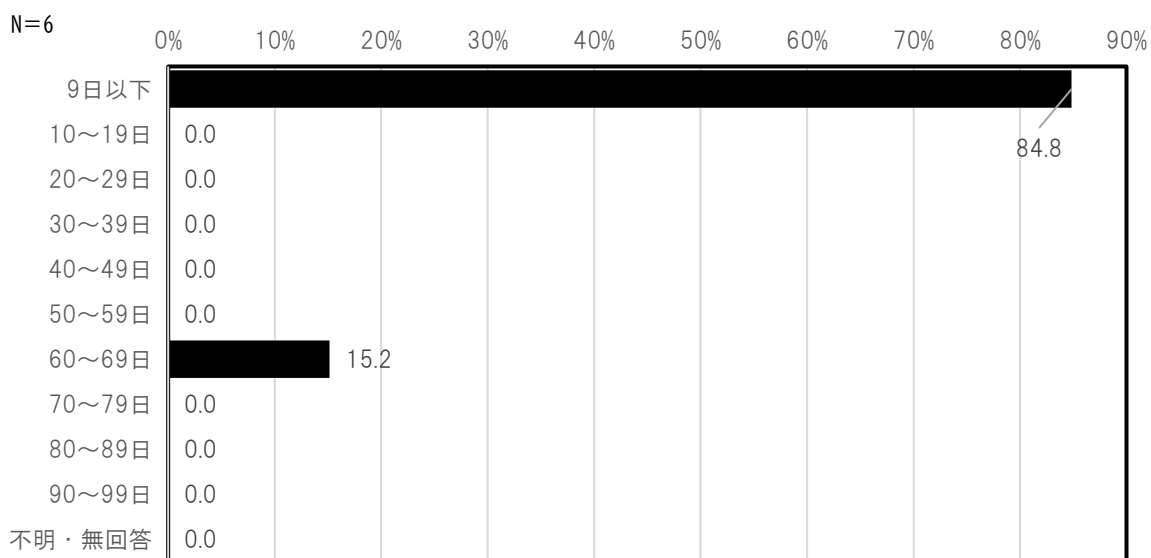
「9 日以下」が 1 件となっています。

問20-1：7【(問20-1で⑦)(日数)しかたなく子どもだけで留守番をさせた】（数量）

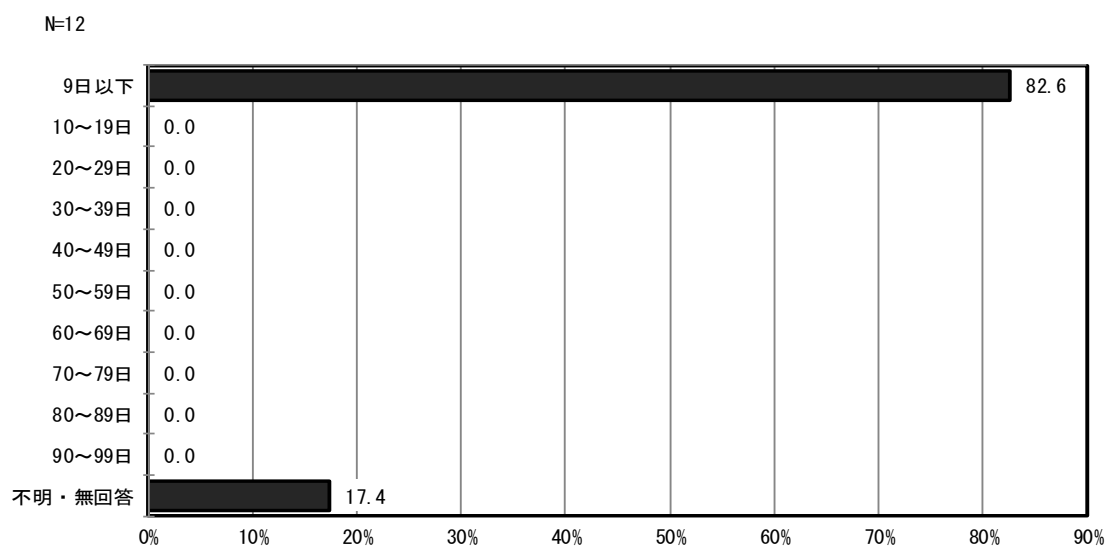
「9 日以下」が 84.8%で突出しています。

前回と比較して大きな変化は見られませんでした。（60 日と答えた方が 1 名いました）

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

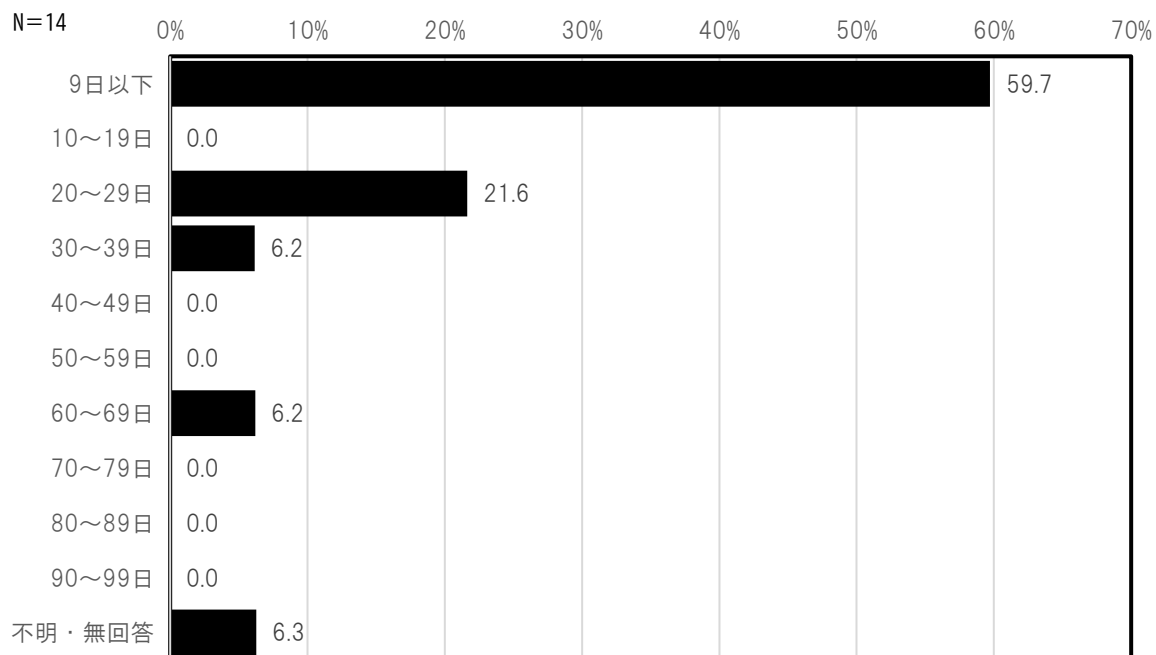


問20-1：8【(問20-1で⑧)(日数)その他】 (数量)

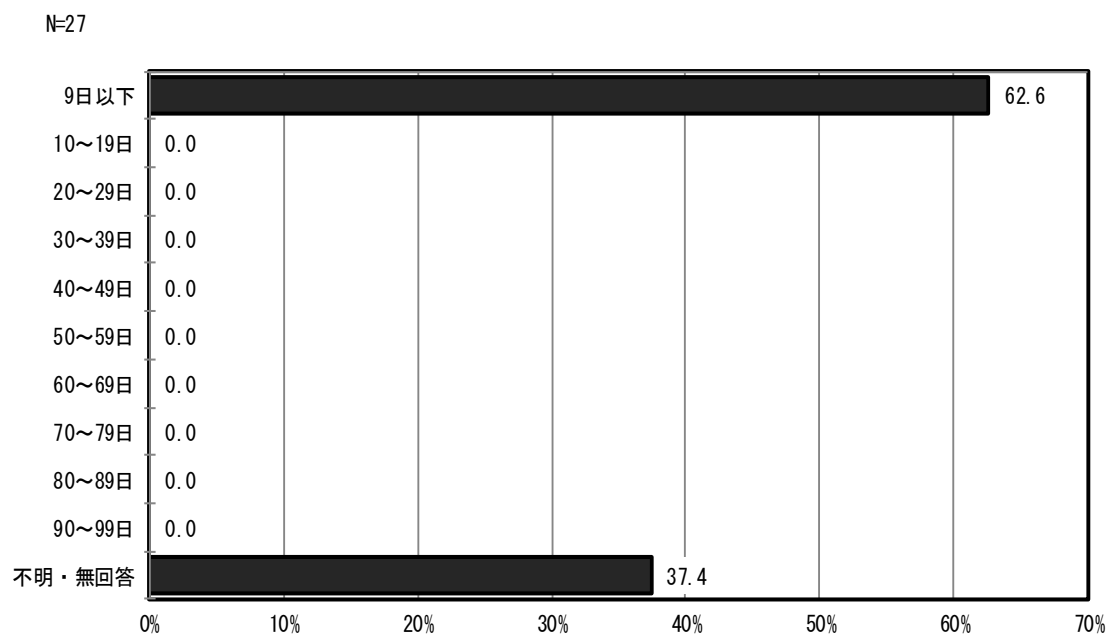
「9 日以下」が 59.7%と突出しています。

前回と比較して、「9 日以下」の割合が減少し「10 日以上休んだ」の割合が増加しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）



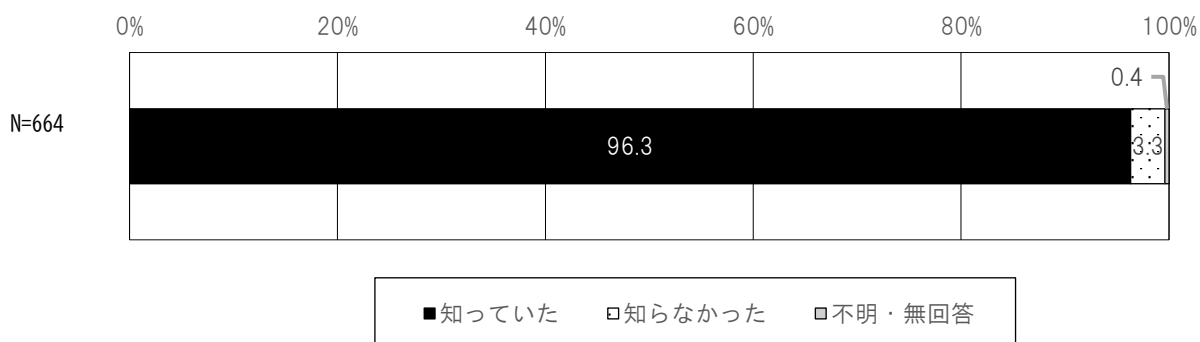
問 20-1 で「1. 父親が仕事などを休んで子どもをみた」または「2. 母親が仕事などを休んで子どもをみた」を選択した方にうかがいます。

問20-2【病児保育等の存在をご存知ですか。（1 つに○）】

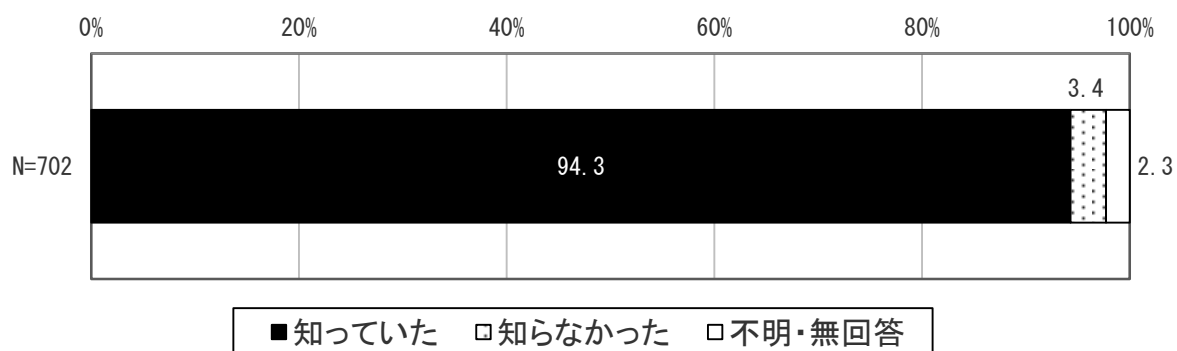
「知っていた」が 96.3%で突出しています。

前回と比較して大きな変化は見られませんでした。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）



7. お子様の「不定期」の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

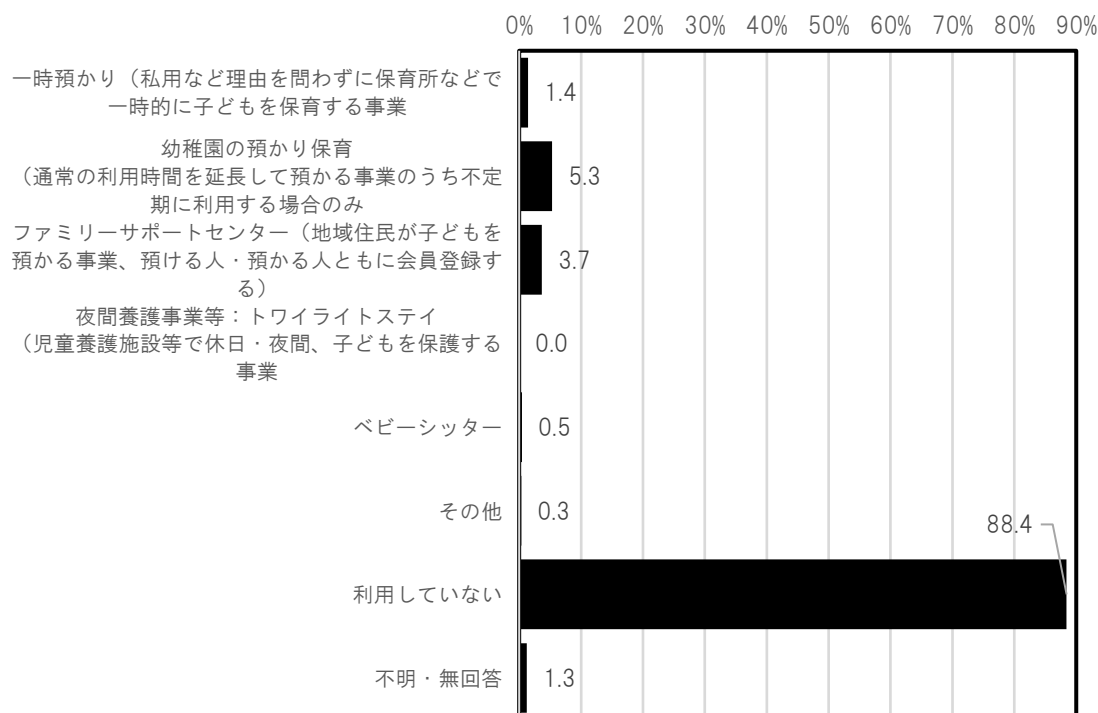
問21【お子様が、幼稚園、保育所、認定こども園への通園や病気の時以外に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の仕事など）で不定期に利用しているサービスはありますか。】

「利用していない」が88.4%で突出しています。

前回と比較して「幼稚園の預かり保育」の割合が減少し、「ファミリーサポートセンター」の割合が増加しています。

今回（令和5年度）

N=1112



【その他回答の内容】

職場の託児所

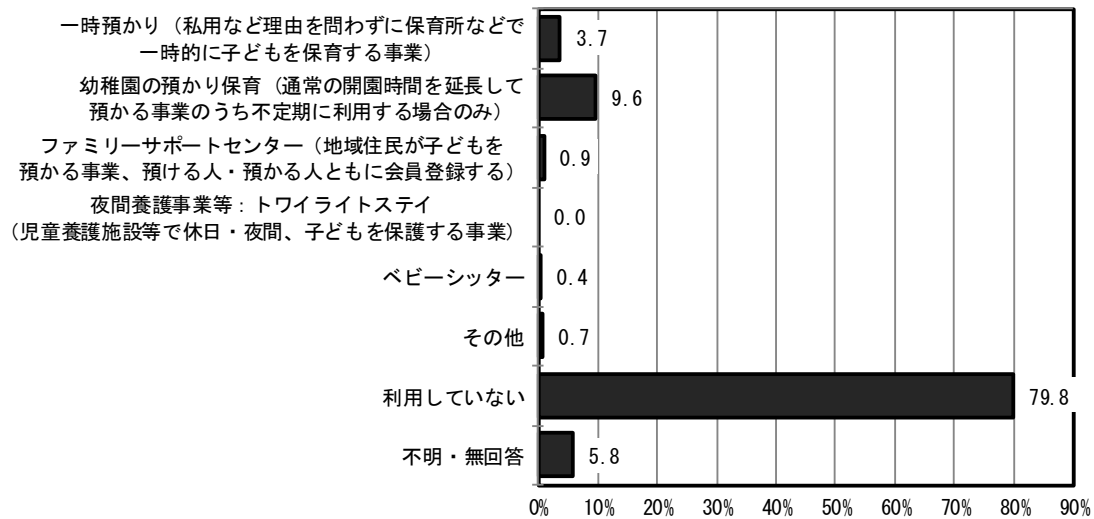
あゆみの家へのショートステイ、訪問レスパイト事業

入院時児童養護施設利用

育休中

前回（平成 30 年度）

N=1,417



【その他回答の内容】

母親に来てみてもらう

親族に預かってもらった

父か母が見ている

児童デイサービス

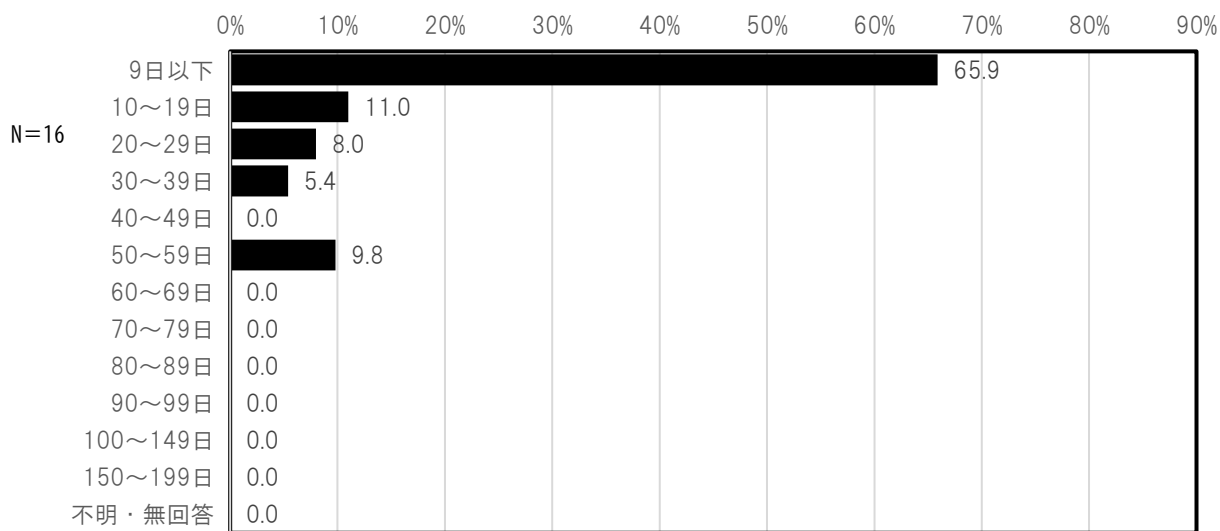
夫の会社の託児、一時保育

問21：1【(問21で①)(利用日数)一時預かり(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)】 (数量)

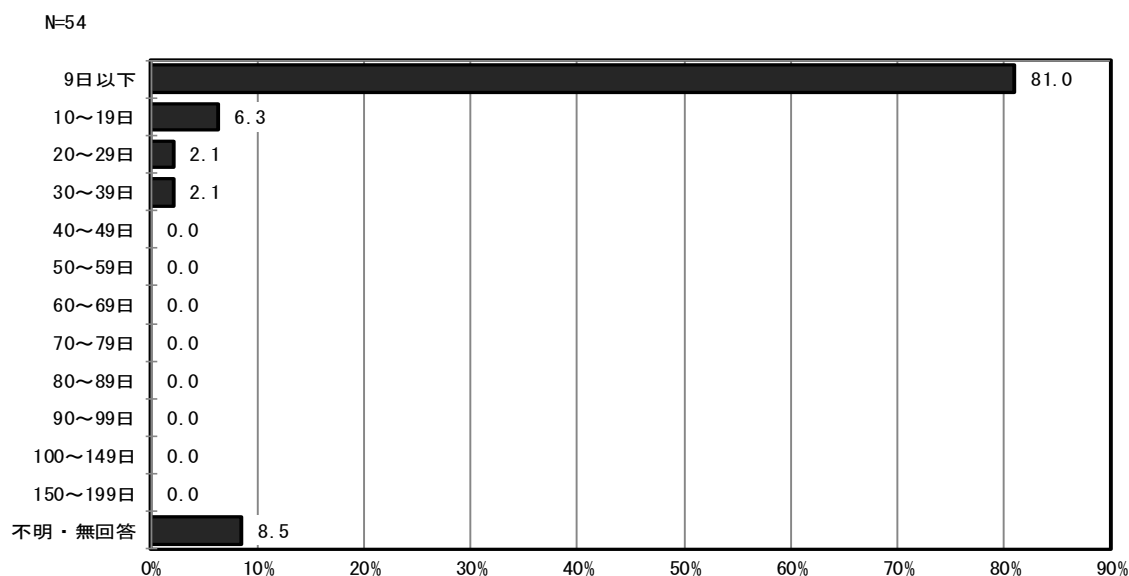
「9日以下」が65.9%で突出しています。

前回にはなかった、「50～59日」と答えた方がいました。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

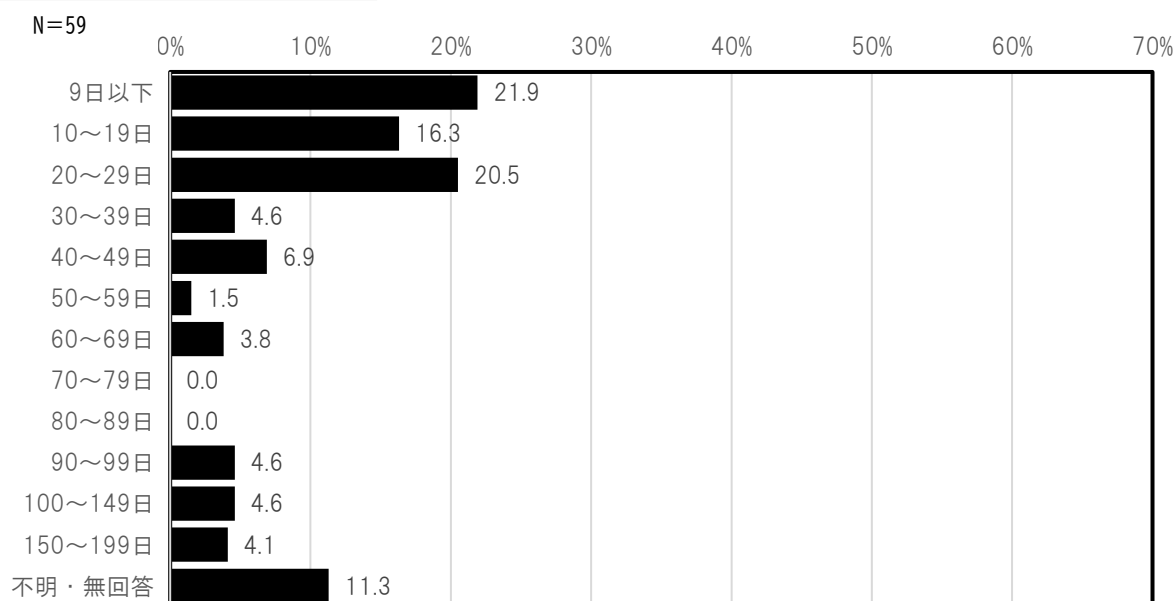


問21：2【(問21で②) (利用日数) 幼稚園の預かり保育(通常の開園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)】 (数量)
 事業のうち不定期に利用する場合のみ】 (数量)

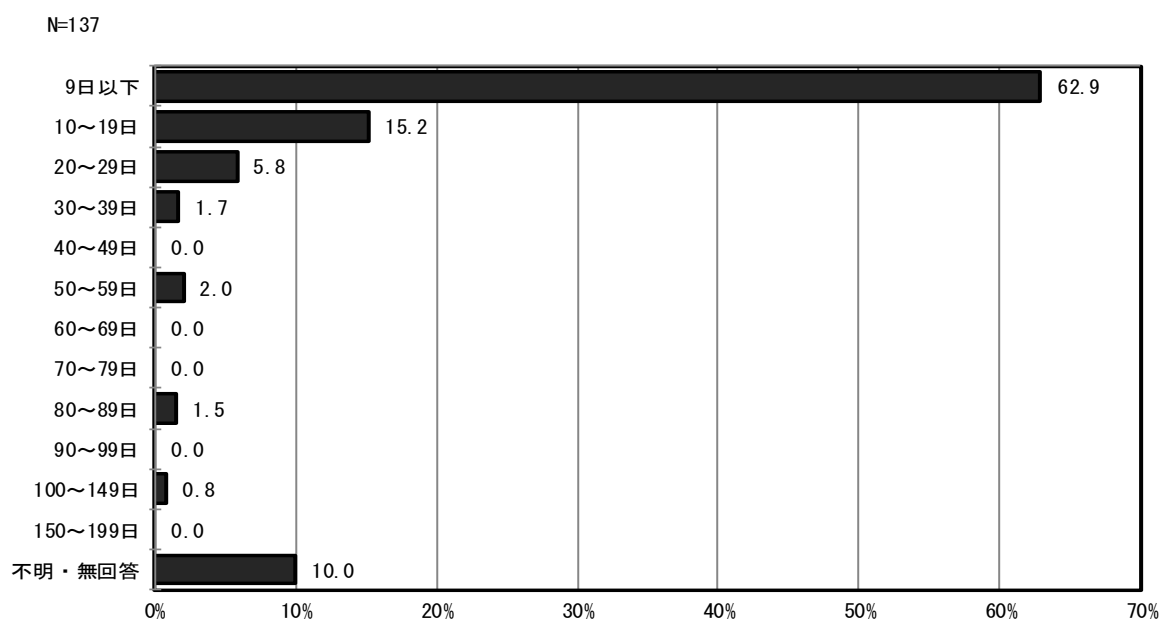
「9 日以下」が 21.9%を占めています。「20～29 日」が 20.5%、「10～19 日」が 16.3%で続いています。

前回と比較して、「9 日以下」の割合が減少し「20 日以上」の利用割合が増加しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

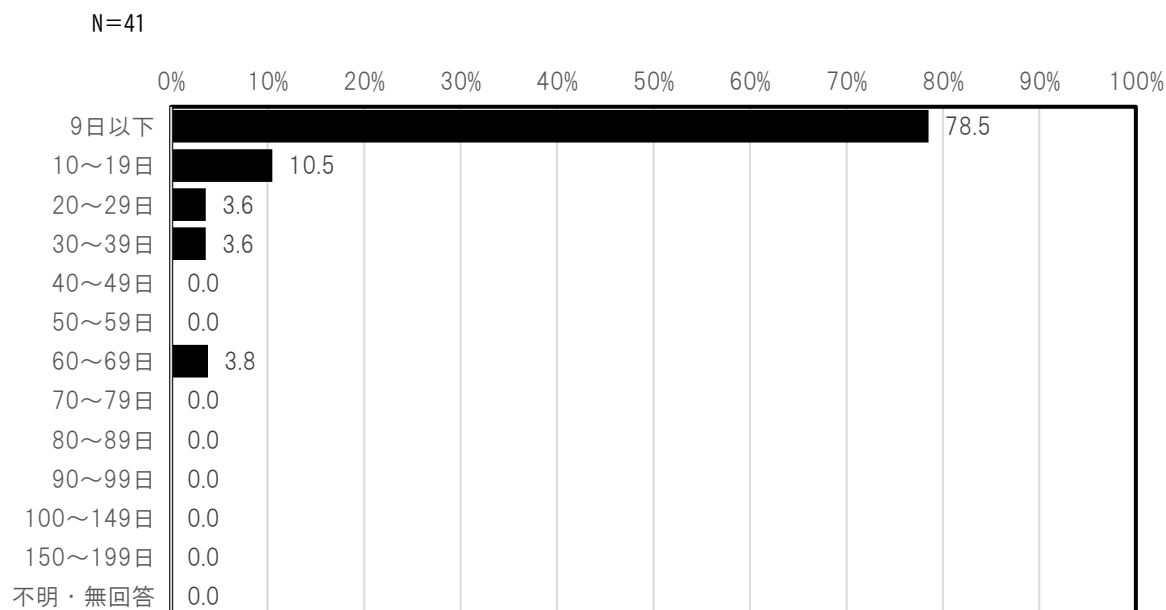


問21：3【(問21で③) (利用日数) ファミリーサポートセンター(地域住民が子どもを預かる事業、預ける人・預かる人ともに会員登録する)】 (数量)

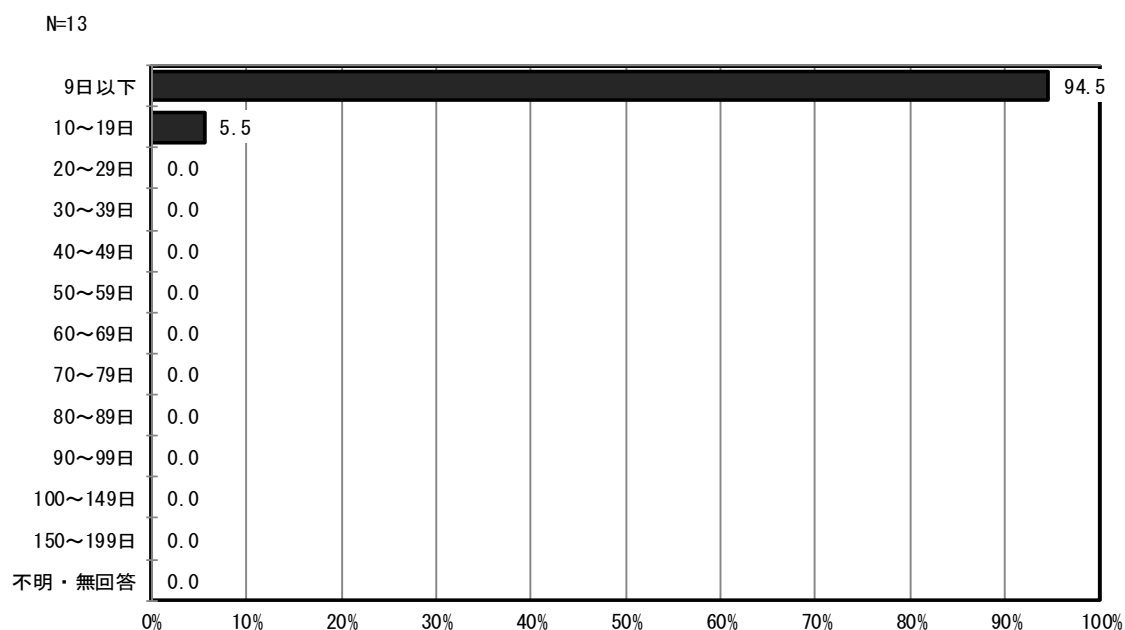
「9 日以下」が 78.5%で突出しています。

前回と比較して、「9 日以下」の割合が減少し「10 日以上」の利用割合が増加しています。

今回 (令和 5 年度)



前回 (平成 30 年度)



問21：4【(問21で④)(利用日数)夜間養護事業等：トワイライトステイ(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)】（数量）

前回も今回も回答はありませんでした。

問21：5【(問21で⑤)(利用日数)ベビーシッター】（数量）

今回（令和5年度）

「9日以下」が3件、「10～19日」が2件、「20～29日」が1件となっています。

前回（平成30年度）

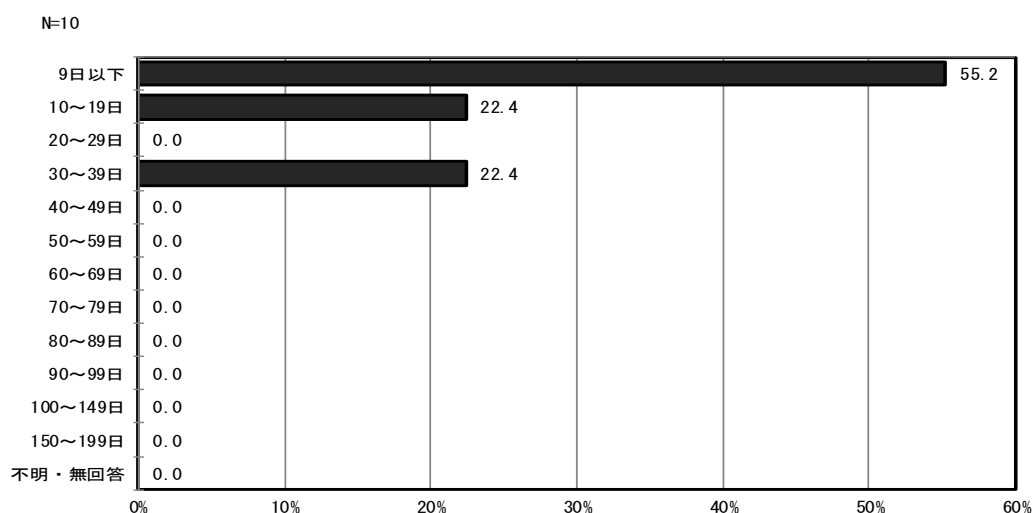
「9日以下」が4件、「20～29日」が1件となっています。

問21：6【(問21で⑥)(利用日数)その他】（数量）

今回（令和5年度）

「9日以下」が2件、「10～19日」が1件、「50～59日」が1件となっています。

前回（平成30年度）



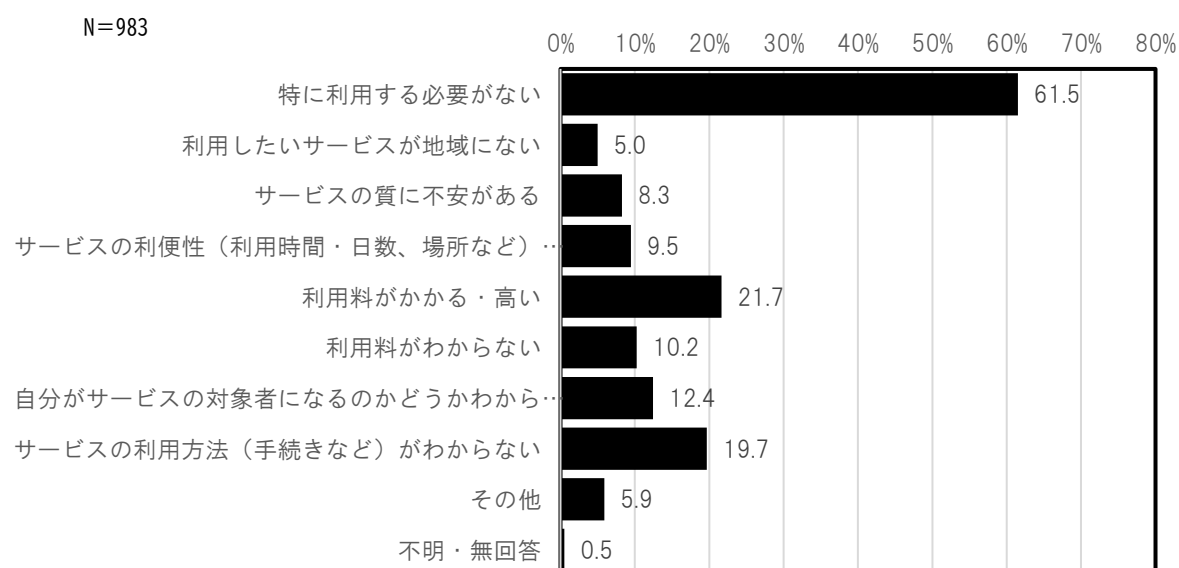
問 21 で「7. 利用していない」を選択した方にうかがいます。

問21-1【現在利用していない理由をお答えください。（あてはまるすべてに○）】

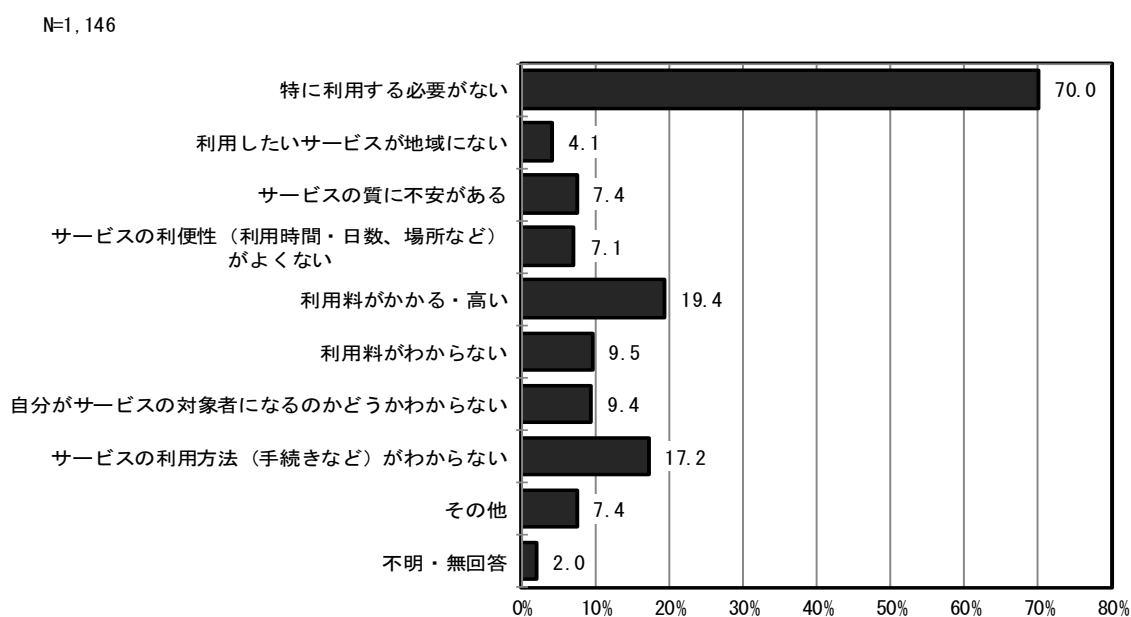
「特に利用する必要がない」が 61.5%を占めています。「利用料がかかる・高い」が 21.7%、「サービスの利用方法（手続きなど）がわからない」が 19.7%で続いています。

前回と比較して大きな変化は見られませんでした。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

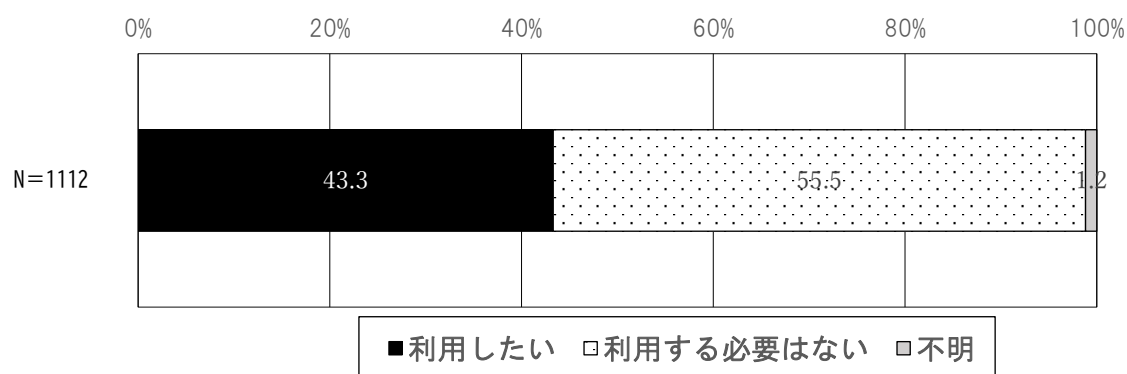


問22【保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の仕事など）のため、お子様の一時預かり等サービスを利用したいですか。（1つに○）】

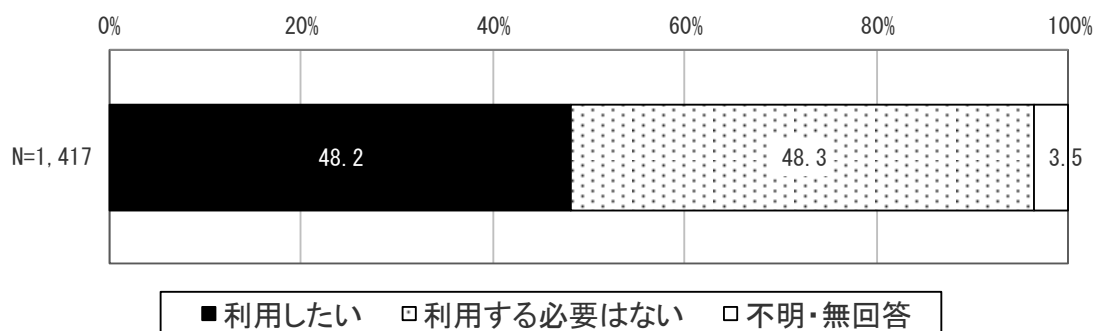
「利用する必要はない」が55.5%で最も高くなっています。次いで「利用したい」が43.3%で続いています。

前回と比較して、「利用したい」の割合が減少し「利用する必要はない」の割合が増加しています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）



問 22 で「1. 利用したい」を選択した方にうかがいます。

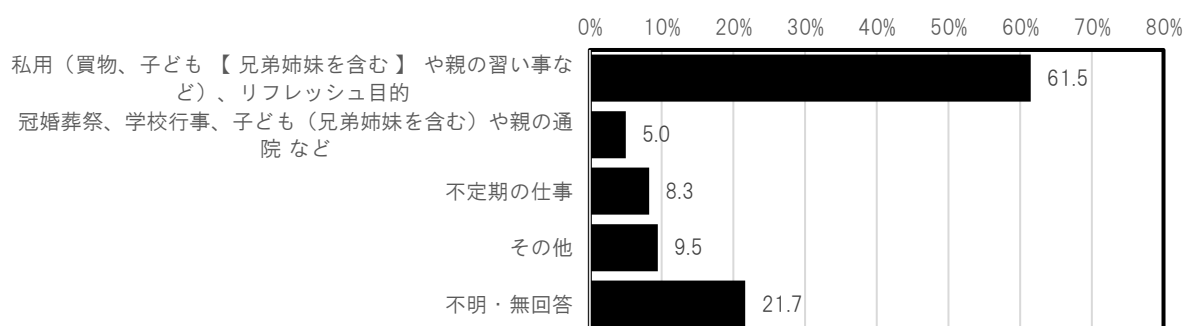
問22-1【利用したいと思うときはどんな時ですか。（あてはまるすべてに○）】

「私用（買物、子ども【兄弟姉妹を含む】や親の習い事など）、リフレッシュ目的」が 61.5% を占めています。「不定期の仕事」が 8.3%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 など」が 5.0%で続いています。

前回と比較して「私用」の割合が増加し「冠婚葬祭、学校行事、通院など」「不定期の仕事」の利用割合が減少しています。

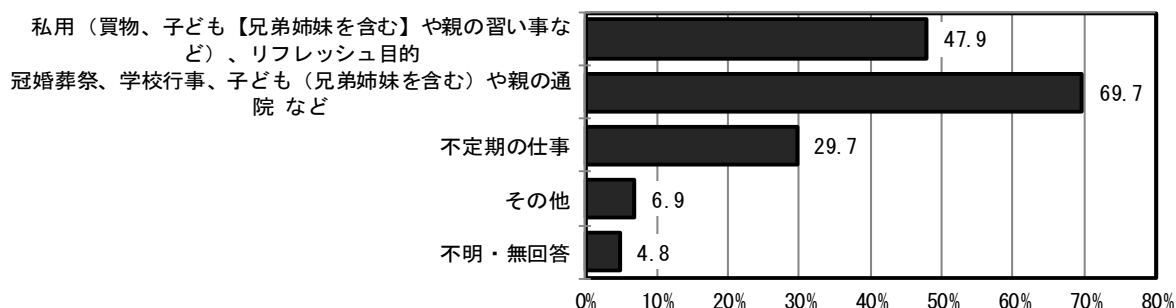
今回（令和 5 年度）

N=482



前回（平成 30 年度）

N=700

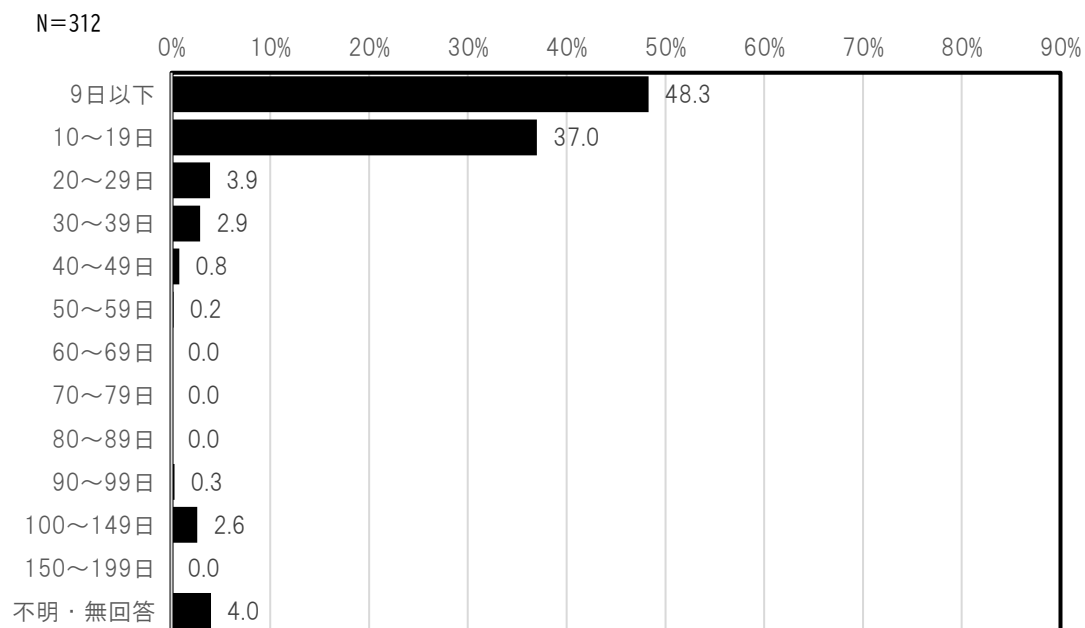


問22-1：1【(問22-1で①)(必要な日数)私用(買物、子ども【兄弟姉妹を含む】や親の習い事など)、リフレッシュ目的】(数量)

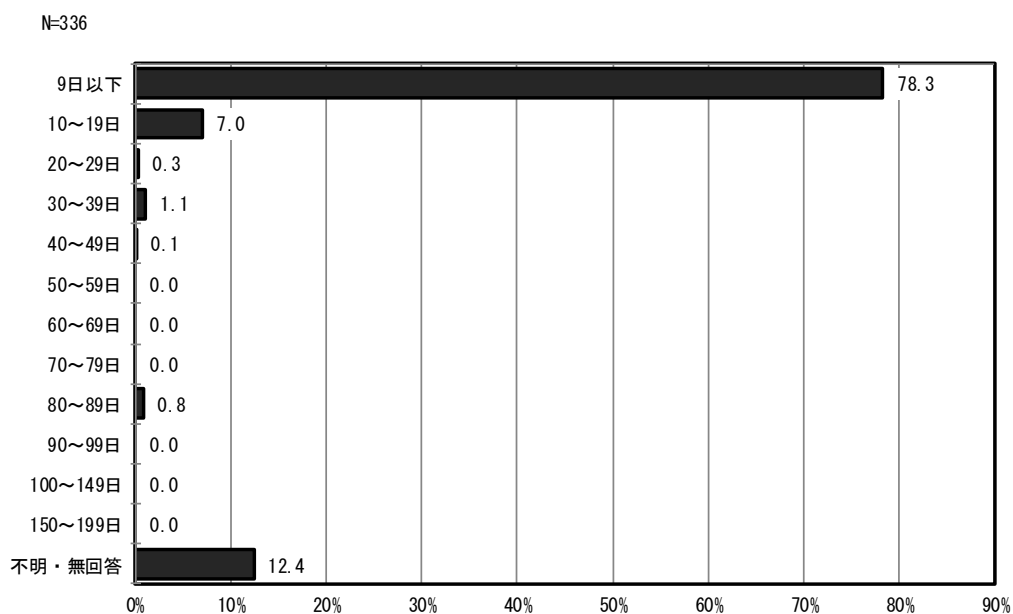
「9 日以下」が 48.3%で最も高くなっています。次いで「10～19 日」が 37.0%が続いています。

前回と比較して「9 日以下」の割合が減少し「10 日以上」の割合が増加しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

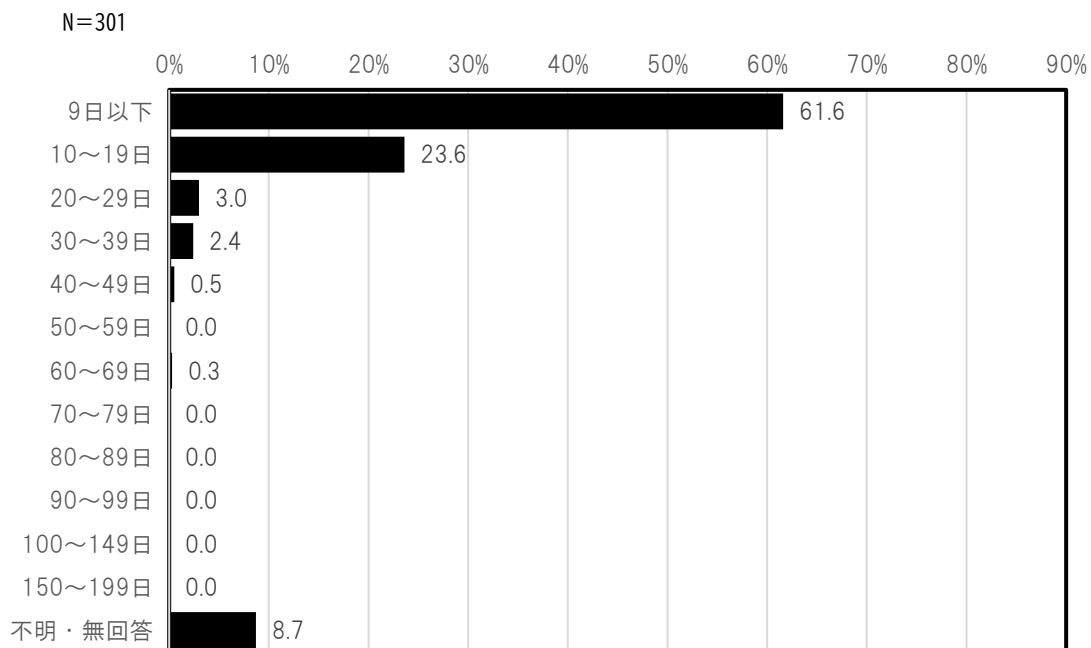


問22-1：2【(問22-1で②)(必要な日数)冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 など】(数量)

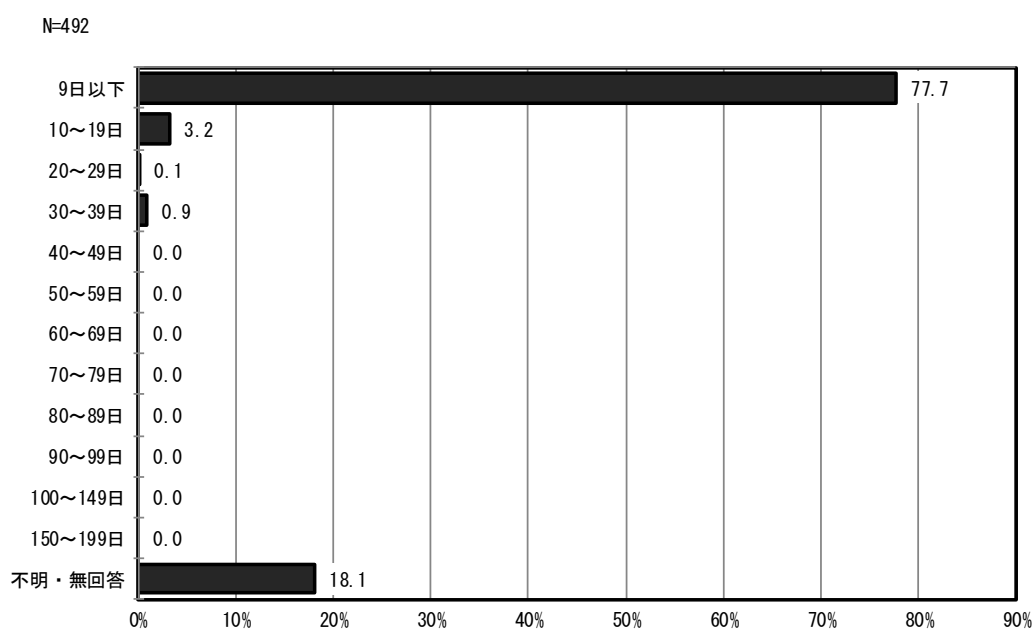
「9 日以下」が 61.6%で突出しています。

前回と比較して「9 日以下」の割合が減少し「10 日以上」の割合が増加しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

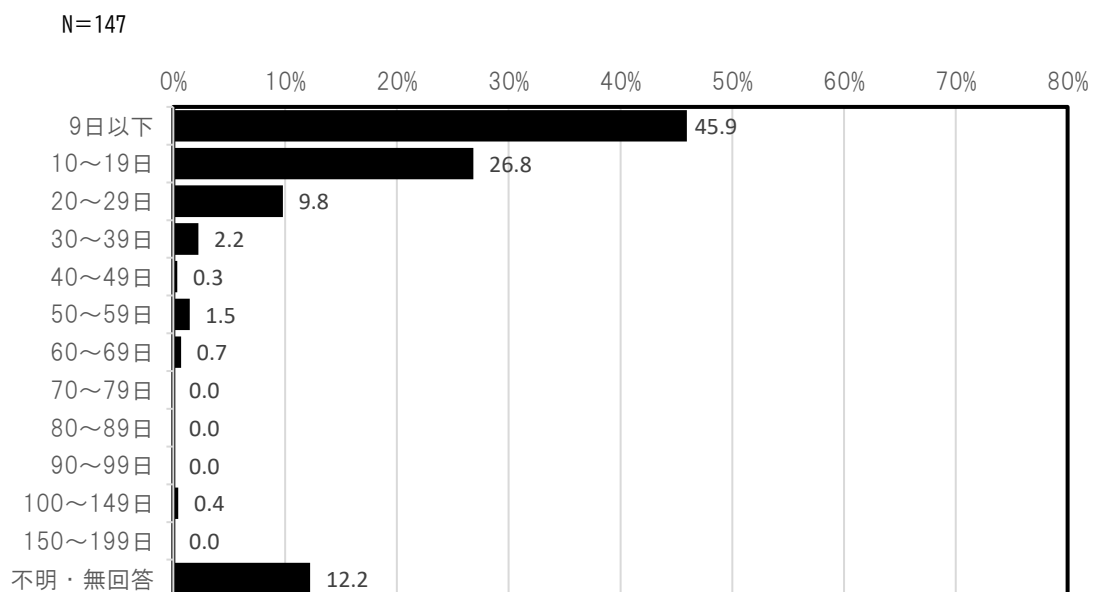


問22-1：3【(問22-1で③)(必要な日数)不定期の仕事】（数量）

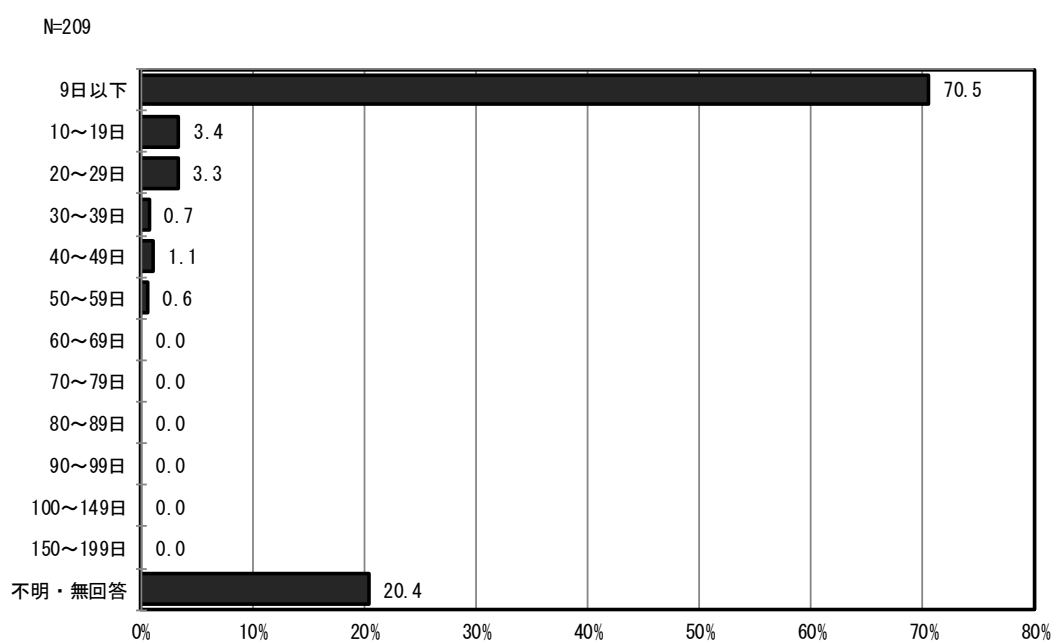
「9 日以下」が 45.9%で最も高くなっています。次いで「10～19 日」が 26.8%が続いています。

前回と比較して「9 日以下」の割合が減少し「10 日以上」の割合が増加しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

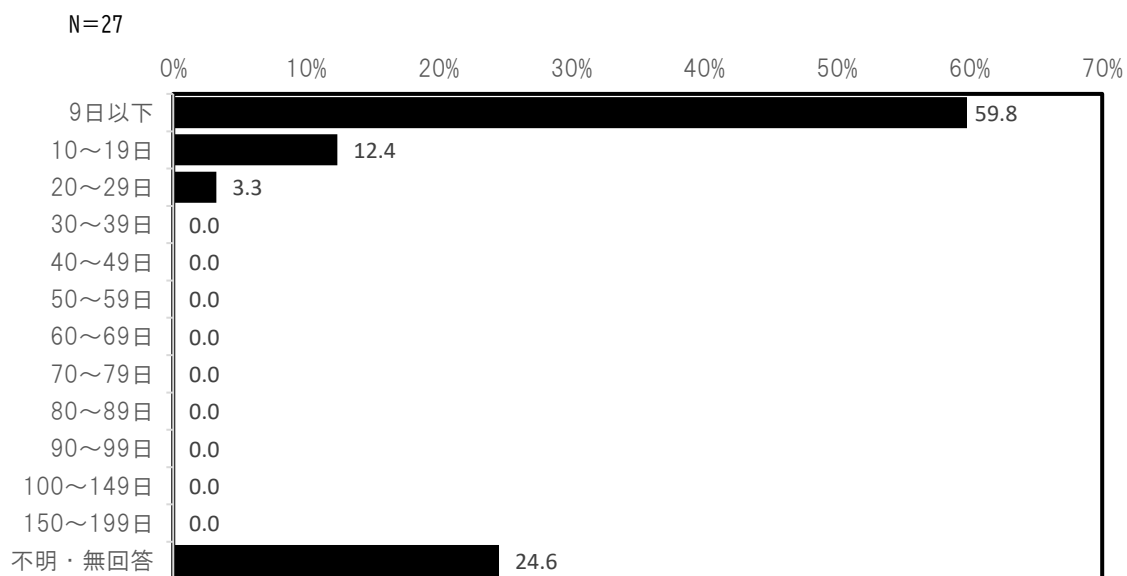


問22-1：4【(問22-1で④)(必要な日数)その他】(数量)

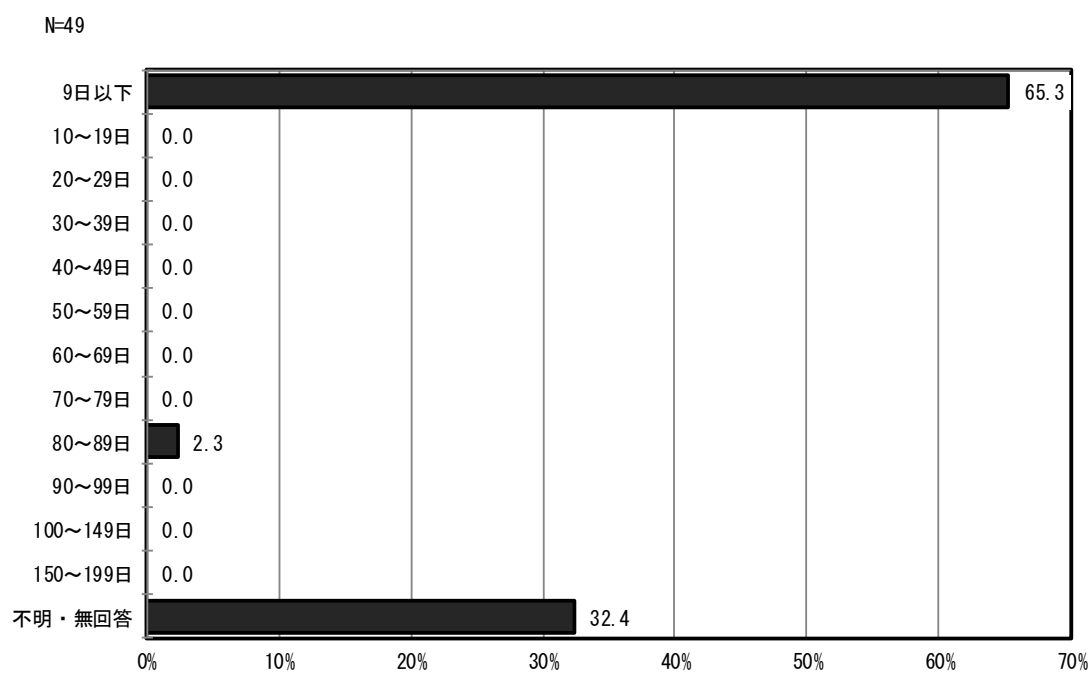
「9 日以下」が 59.8%を占めています。

前回と比較して「9 日以下」の割合が減少し「10 日以上」の割合が増加しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）



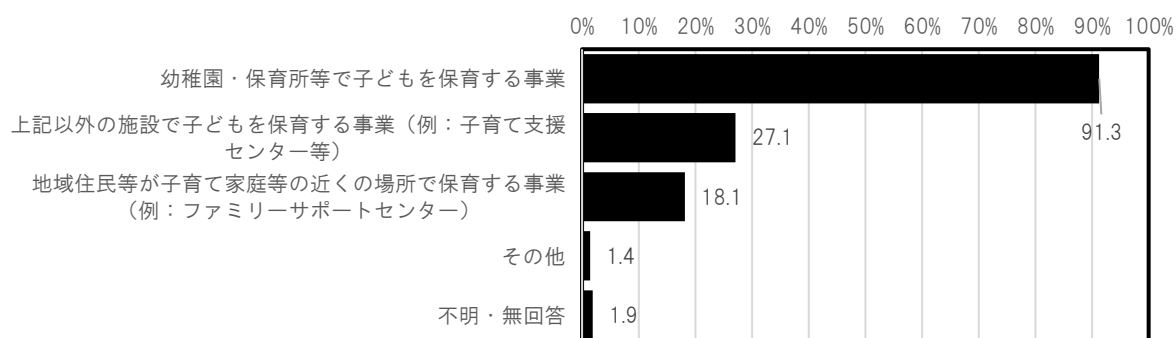
問22-2【(問22で①)問22-1の目的でお子様を預ける場合、どのような所に預けたいと思いますか。(あてはまるすべてに○)】

「幼稚園・保育所等で子どもを保育する事業」が91.3%で突出しています。

前回と比較して「子育て支援センター等」「ファミリーサポートセンター等」の割合が増加しています。

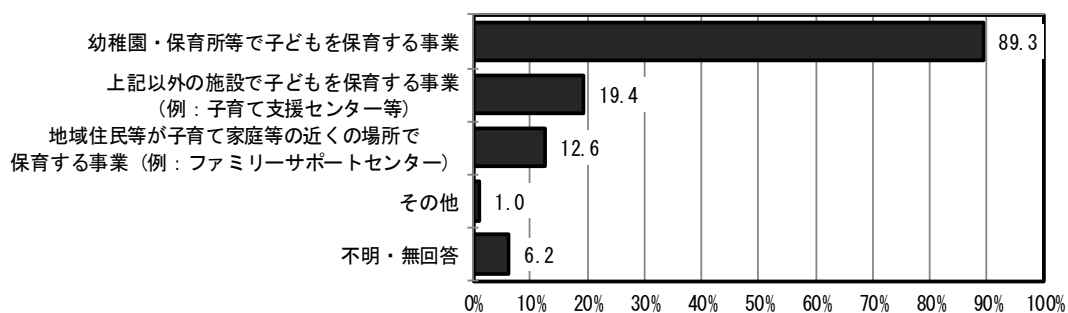
今回（令和5年度）

N=482



前回（平成30年度）

N=700

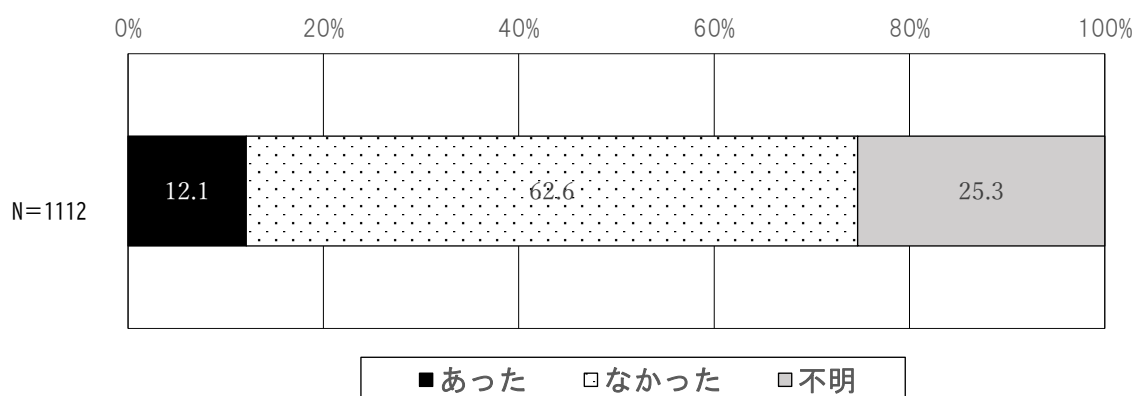


問23【この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の入院など)により、お子様を『泊りがけ』で家族以外にみてもらったことはありましたか。】

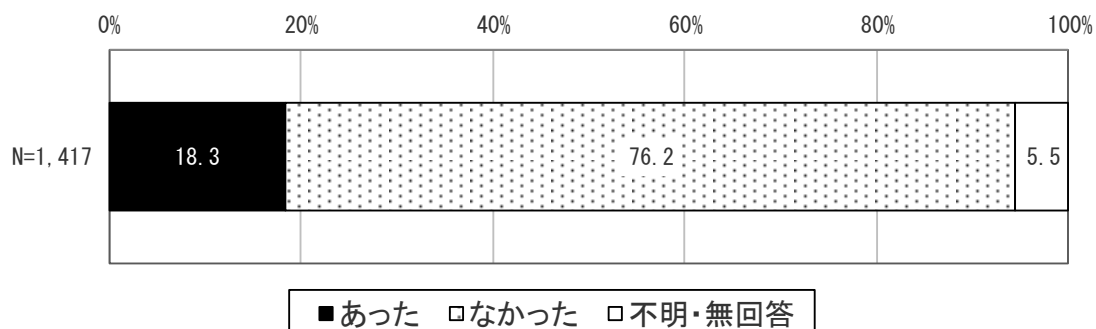
「なかった」が62.6%で突出しています。

前回と比較して「あった」の割合が若干減少しています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）



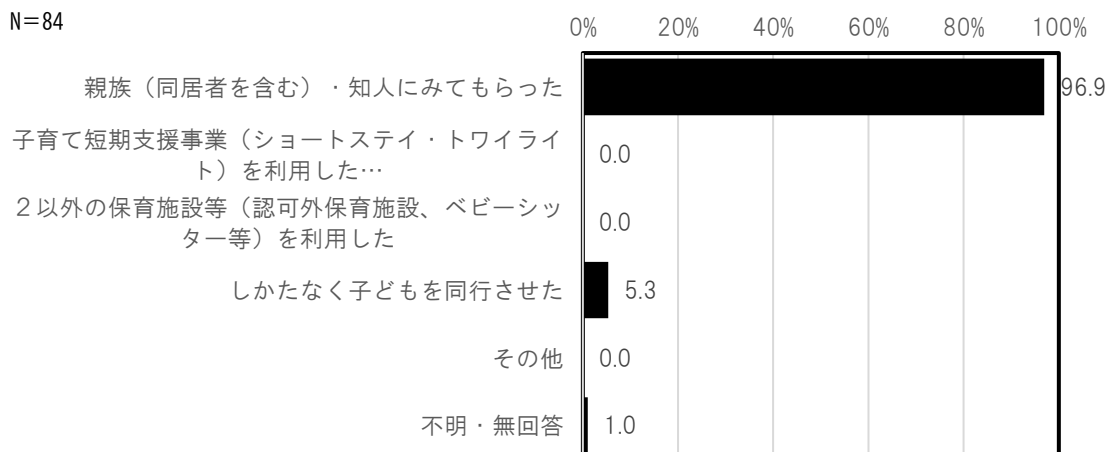
問23【(問23で①あった)対処方法】

「親族（同居者を含む）・知人にみてもらった」が96.9%で突出しています。

前回と比較して大きな変化は見られませんでした。

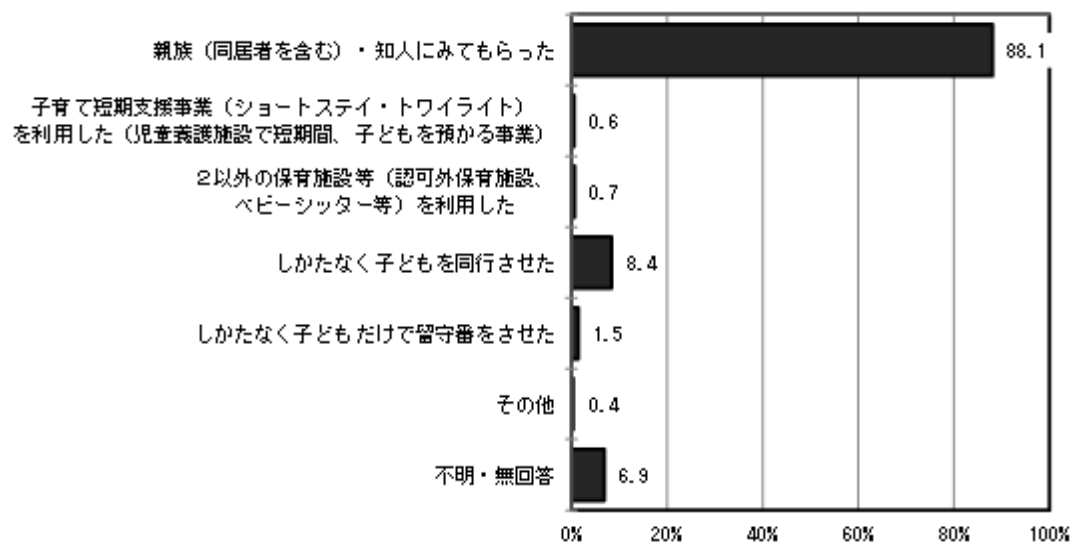
今回（令和5年度）

N=84



前回（平成30年度）

N=275



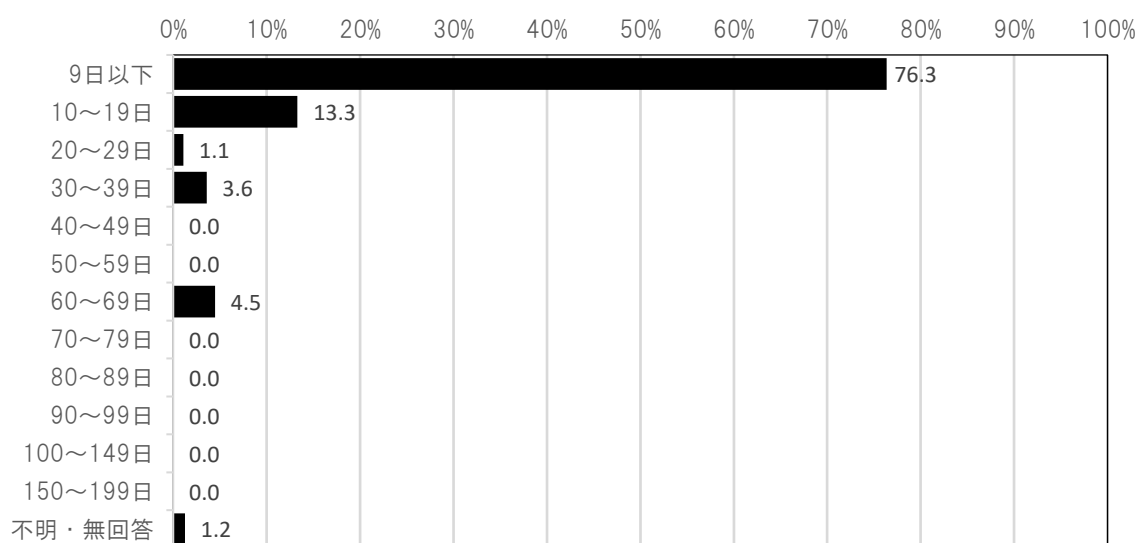
問23：1【(問23対処方法で①)(必要な日数)親族(同居者を含む)・知人にみてもらった】(数量)

「9 日以下」が 76.3%で突出しています。

前回と比較して「9 日以下」の割合が減少し「10 日以上」の割合が増加しています。

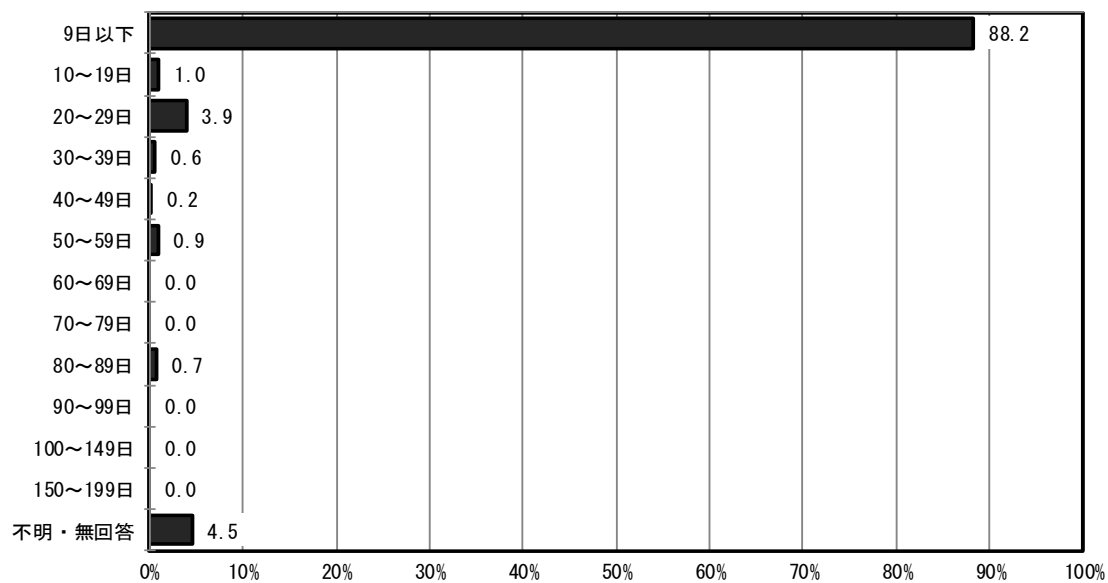
今回（令和 5 年度）

N=82



前回（平成 30 年度）

N=244



問23：2【(問23対処方法で②)(必要な日数)子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライト)を利用した(児童養護施設で短期間、子どもを預かる事業)】(数量)

今回(令和5年度)

回答はありませんでした。

前回(平成30年度)

「9日以下」が1件となっています。

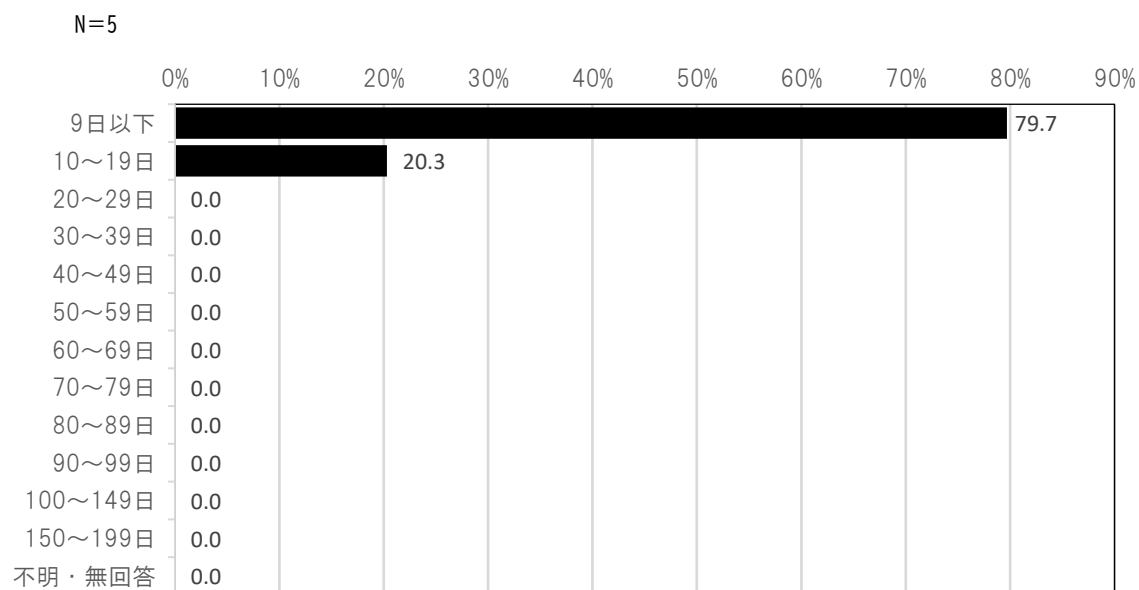
問23：3【(問23対処方法で③)(必要な日数)2以外の保育施設等(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した】(数量)

前回も今回も回答はありませんでした。

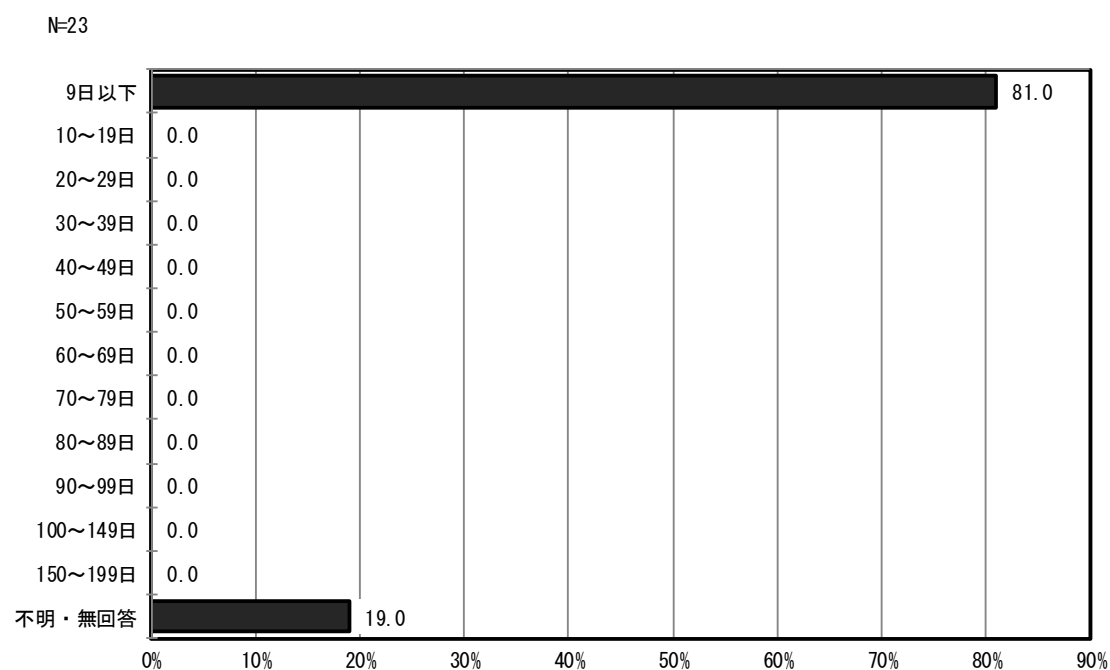
問23：4【(問23対処方法で④)(必要な日数)しかたなく子どもを同行させた】(数量)

「9日以下」が79.7%で突出しています。

今回(令和5年度)



前回（平成 30 年度）



問23：5【(問23対処方法で⑤)(必要な日数)その他】（数量）

今回（令和 5 年度）

回答はありませんでした。

前回（平成 30 年度）

「9 日以下」が 1 件となっています。

8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

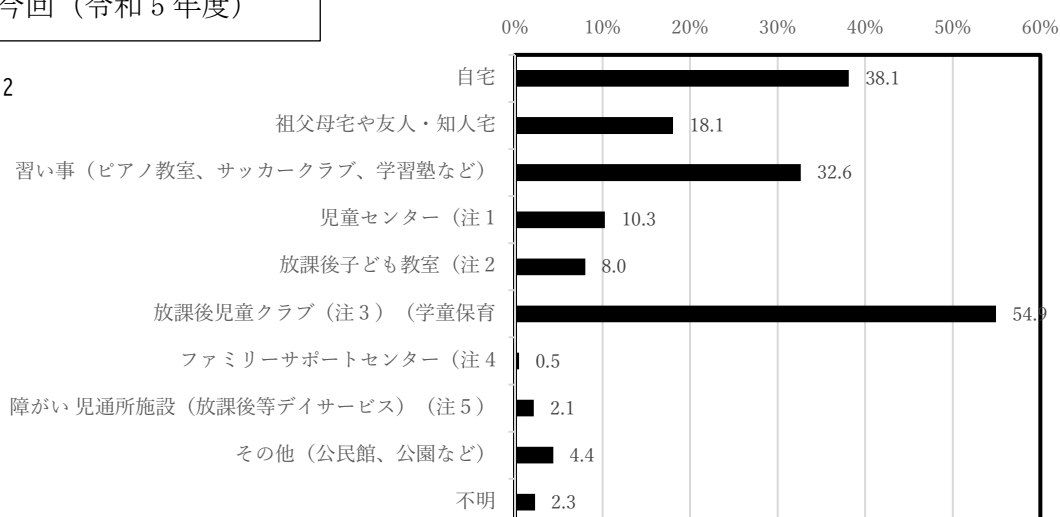
問24(1)(小学校低学年)【お子様が小学校に入ったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。】

「放課後児童クラブ(学童保育)」が54.9%と最も高くなっています。次いで「自宅」が38.1%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が32.6%と続いています。

前回と比較して「放課後子ども教室」の割合が減少し「放課後児童クラブ(学童保育)」の割合が増加しています。

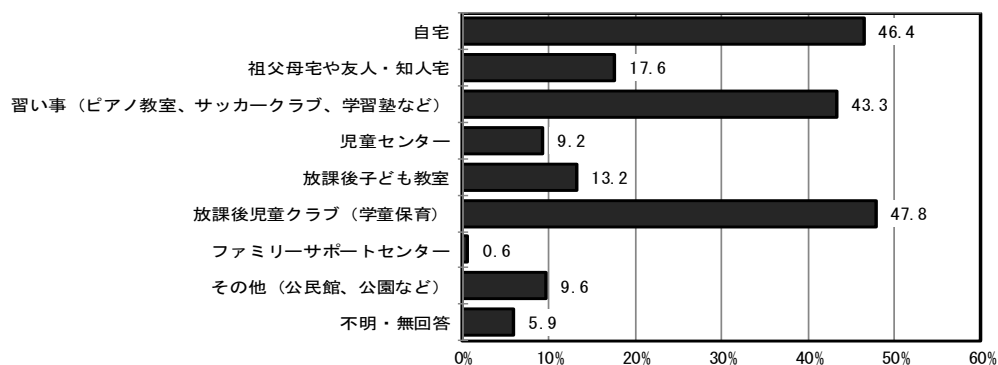
今回(令和5年度)

N=1,112



前回(平成30年度)

N=1,447



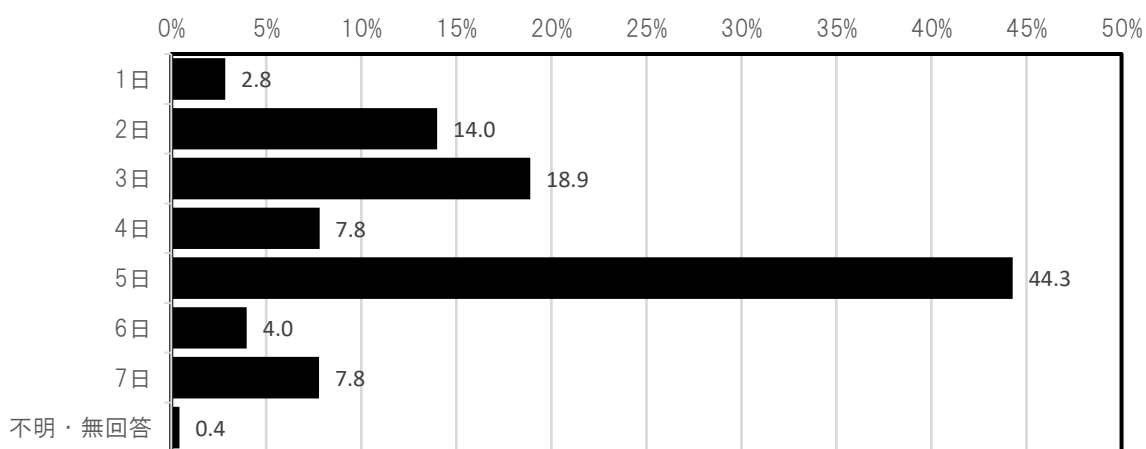
問24(1) : 1(小学校低学年)【(問24(1)で①自宅)(週当たり希望日数)】 (数量)

「5日」が44.3%で最も高くなっています。次いで「3日」が18.9%、「2日」が14.0%で続いています。

前回と比較して大きな変化は見られませんでした。

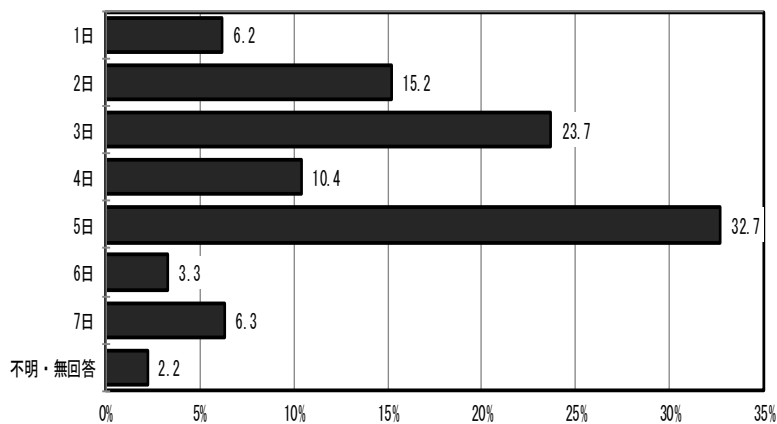
今回（令和5年度）

N=424



前回（平成30年度）

N=692



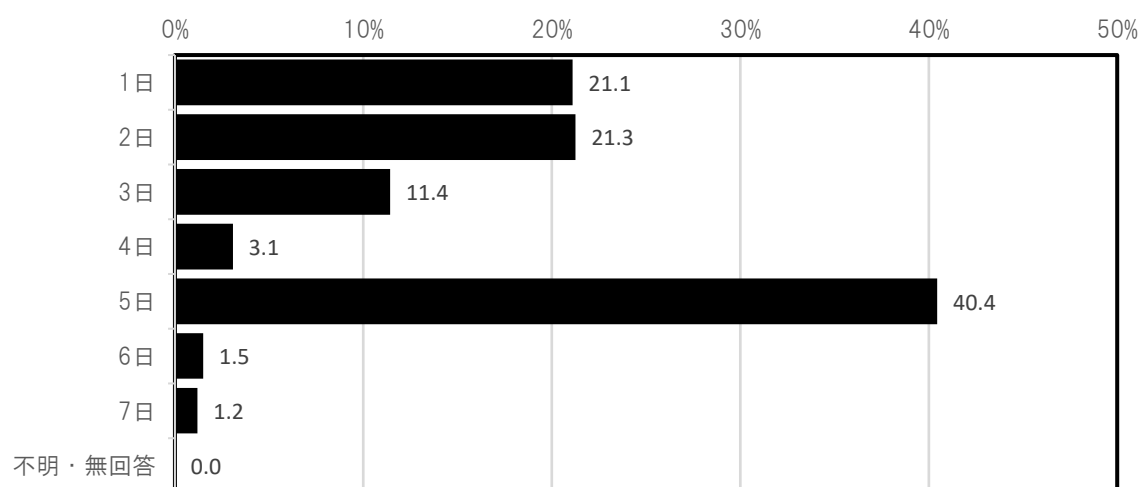
問24(1)：2(小学校低学年)【(問24(1)で②祖父母宅や友人・知人宅)(週当たり希望日数)】 (数量)

「5日」が40.4%で最も高くなっています。次いで「2日」が21.3%、「1日」が21.1%が続いています。

前回と比較して「1日」の割合が大きく減少し、「5日」の割合が大きく増加しています。

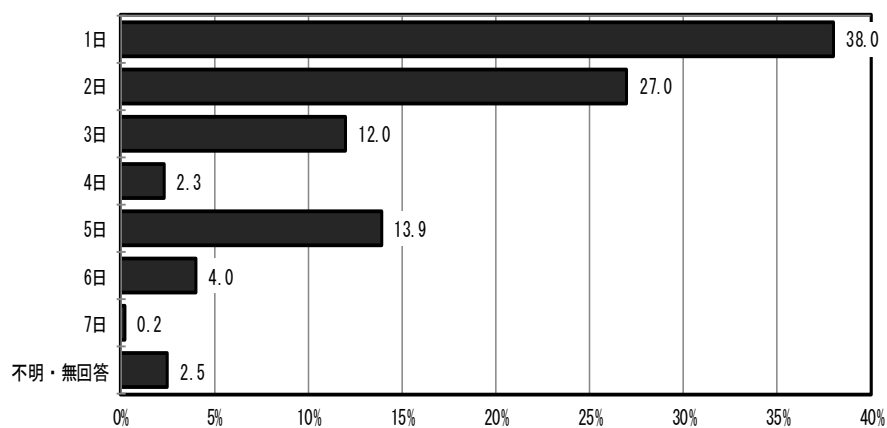
今回（令和5年度）

N=201



前回（平成30年度）

N=260



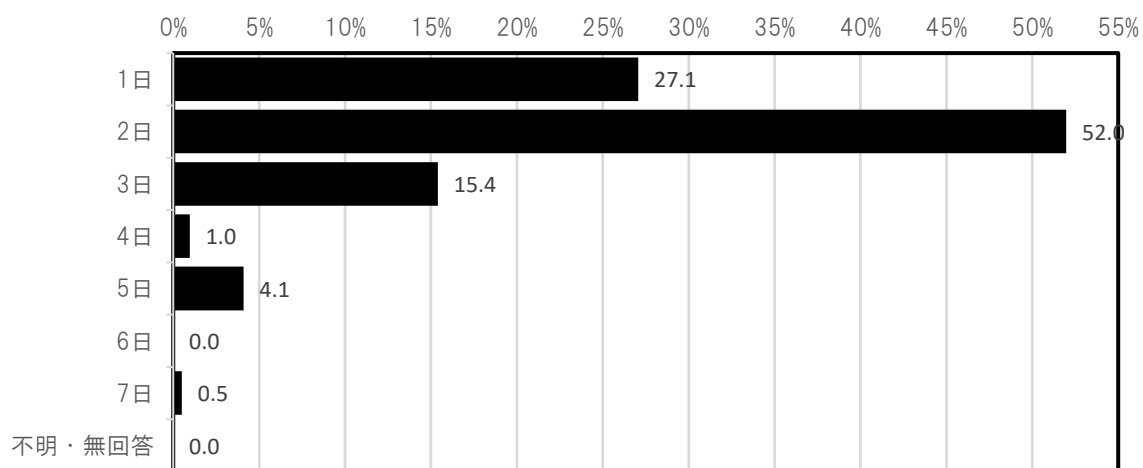
問24(1) : 3(小学校低学年)【(問24(1)で③習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など))(週当たり希望日数)

「2日」が52.0%で最も高くなっています。次いで「1日」が27.1%、「3日」が15.4%が続いています。

前回と比較して「1日」「4日」の割合が減少し「2日」「5日」の割合が増加しています。

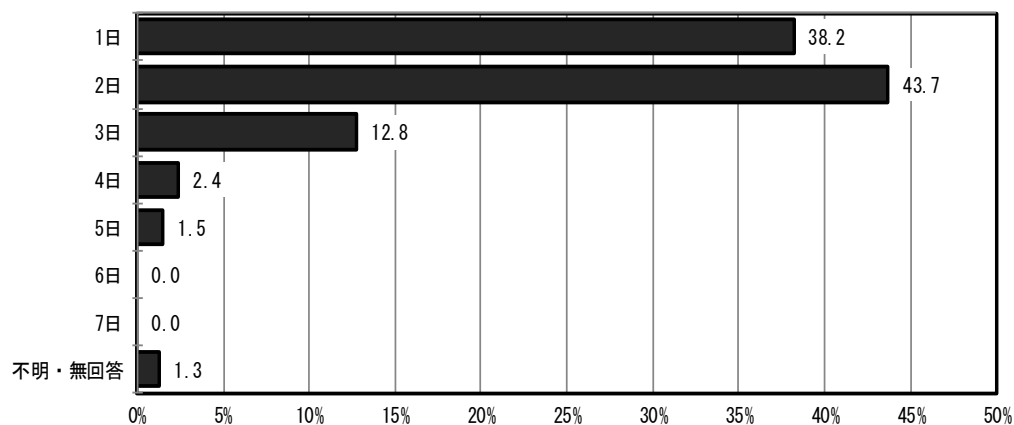
今回（令和5年度）

N=363



前回（平成30年度）

N=647



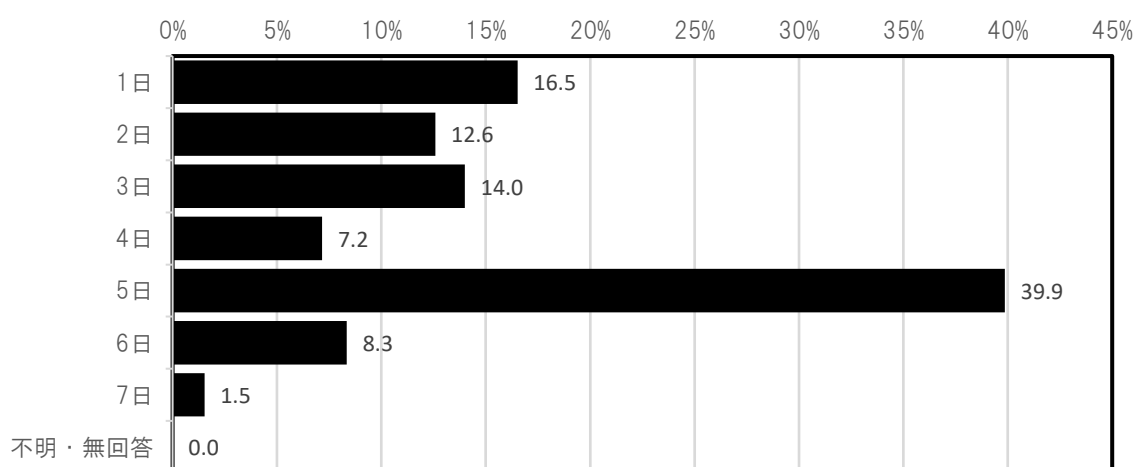
問24(1)：4(小学校低学年)【(問24(1)で④児童センター)(週当たり希望日数)児童センター】(数量)

「5日」が39.9%で最も高くなっています。次いで「1日」が16.5%、「3日」が14.0%で続いています。

前回と比較して「2日以下」の割合が減少し「4日以上」の割合が増加しています。

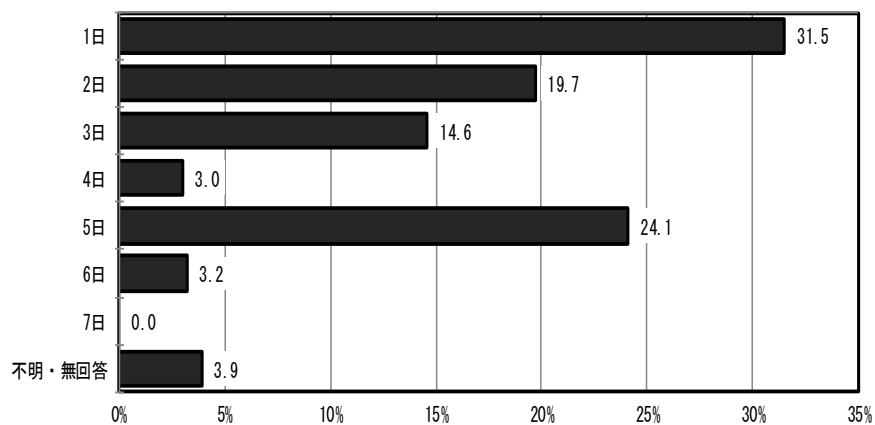
今回（令和5年度）

N=114



前回（平成30年度）

N=141



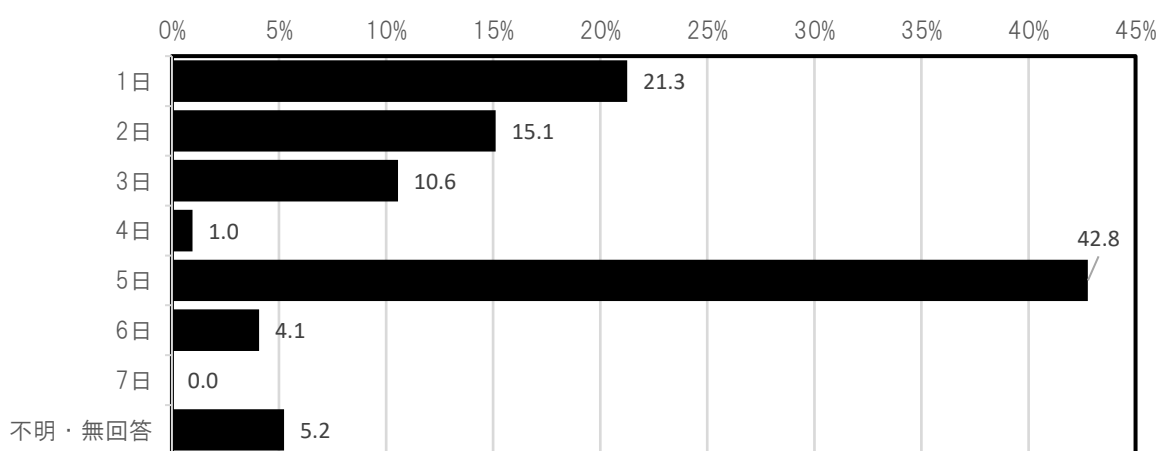
問24(1):5(小学校低学年)【(問24(1)で⑤放課後子ども教室)(週当たり希望日数)】
(数量)

「5日」が42.8%で最も高くなっています。次いで「1日」が21.3%、「2日」が15.1%が続いています。

前回と比較して「1日」の割合が減少し「2日」「5日」の割合が増加しています。

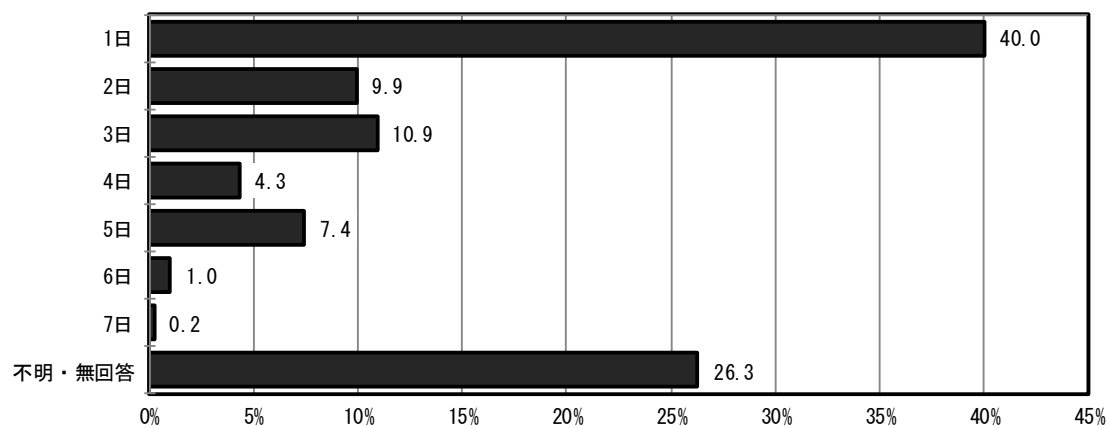
今回（令和5年度）

N=89



前回（平成30年度）

N=201

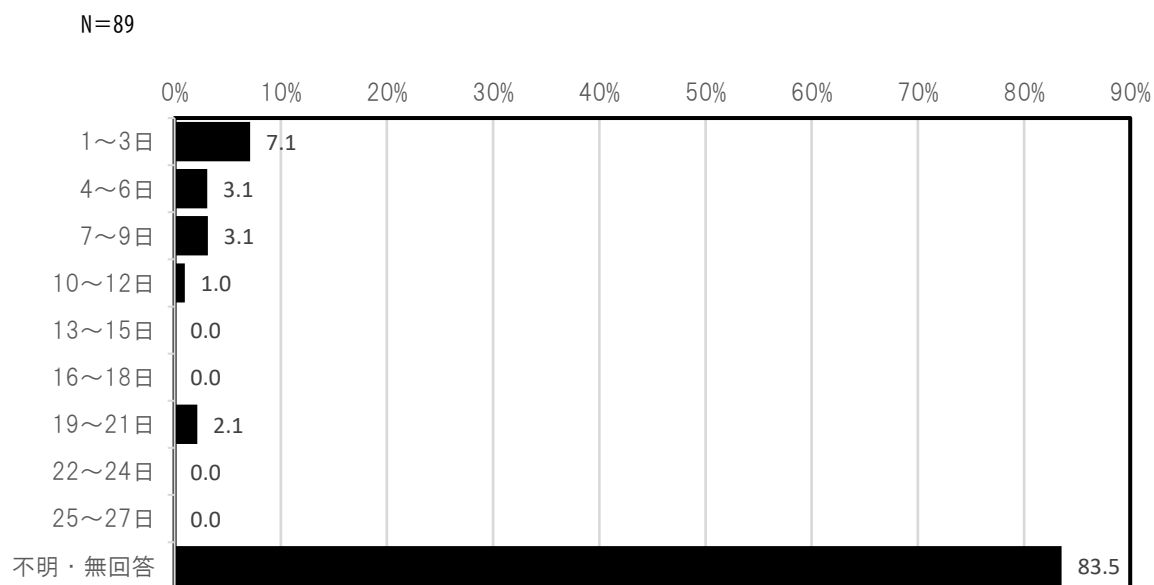


問24(1):5(小学校低学年)【(問24(1)で⑤放課後子ども教室)(月当たり希望日数)】
(数量)

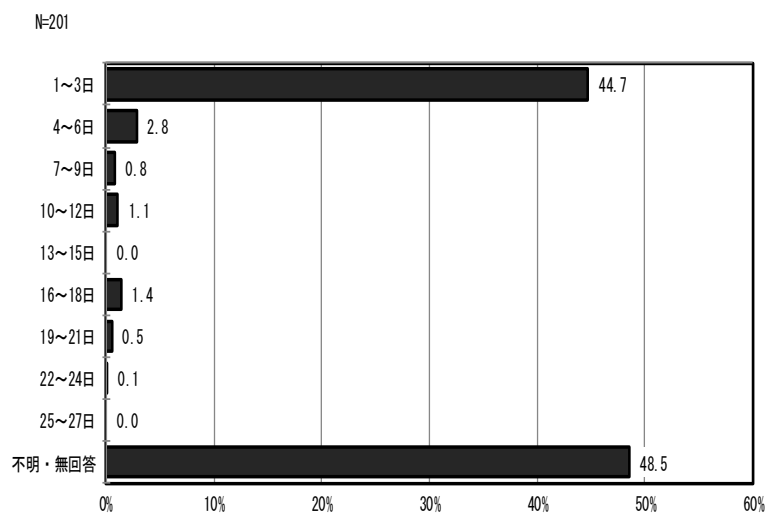
「1～3日」が7.1%で最も高くなっています。次いで「4～6日」と「7～9日」が各3.1%で続いています。

前回と比較して「1日～3日」の割合が大きく減少しています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）



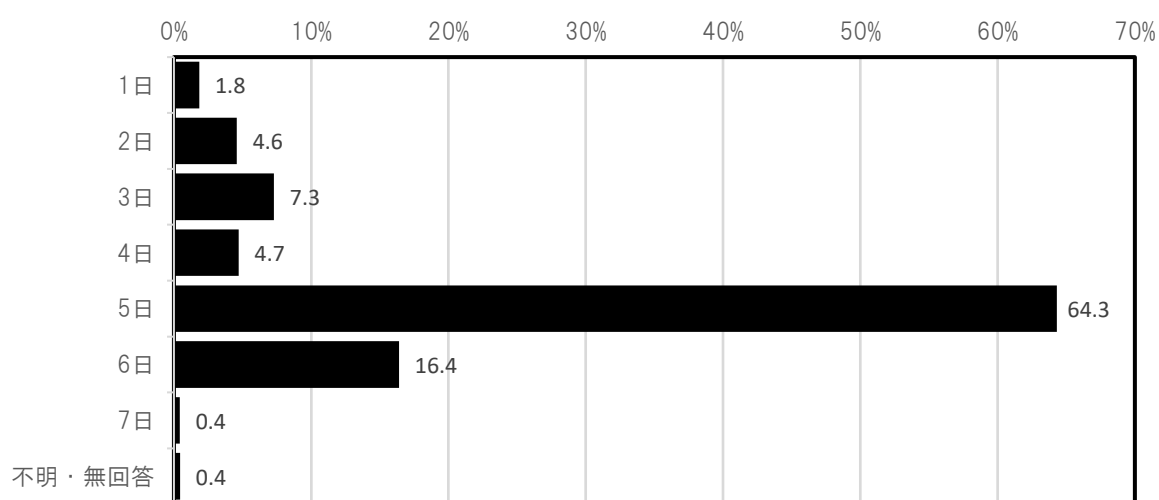
問24(1)：6(小学校低学年)【(問24(1)で⑥放課後児童クラブ(学童保育))(週当たり希望日数)】 (数量)

「5日」が64.3%を占めています。「6日」が16.4%、「3日」が7.3%が続いています。

前回と比較して傾向に大きな変化は見られませんでした。

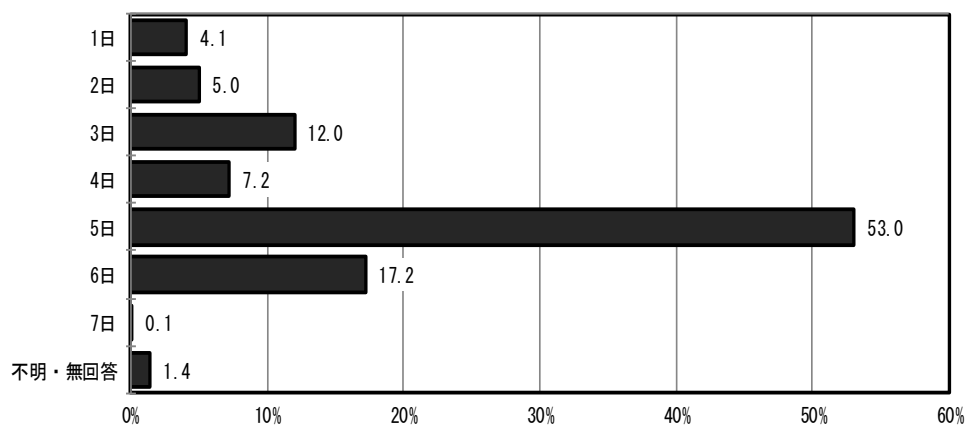
今回（令和5年度）

N=611



前回（平成30年度）

N=680



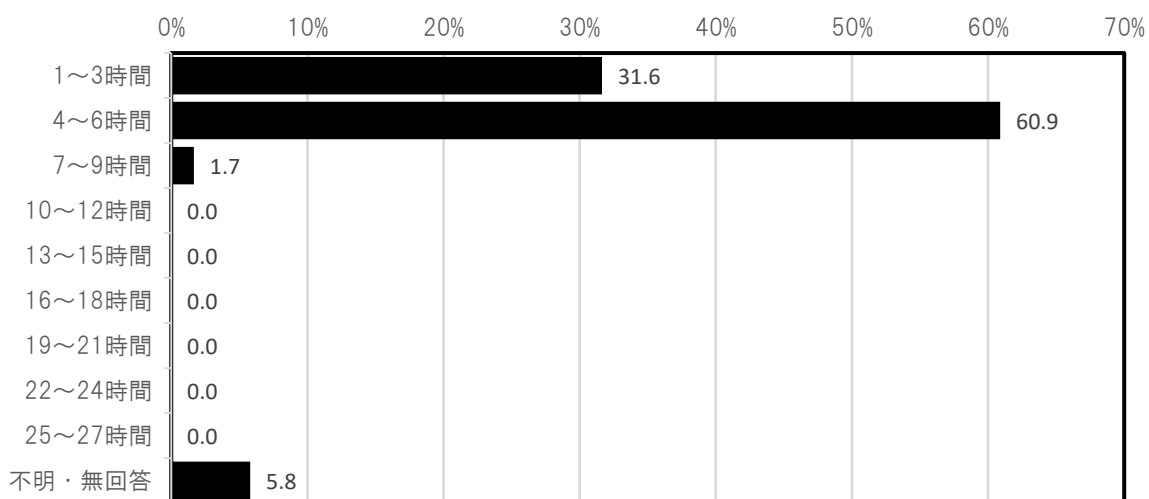
問24(1)：6(小学校低学年)【(問24(1)で⑥放課後児童クラブ(学童保育)) (利用している時間)】 (数量)

「4～6 時間」が 60.9%を占めています。「1～3 時間」が 31.6%、「7～9 時間」が 1.7%で続いています。

前回と比較して大きな変化はないと思われます（前回調査結果は時間ではなく、時刻と思われます）

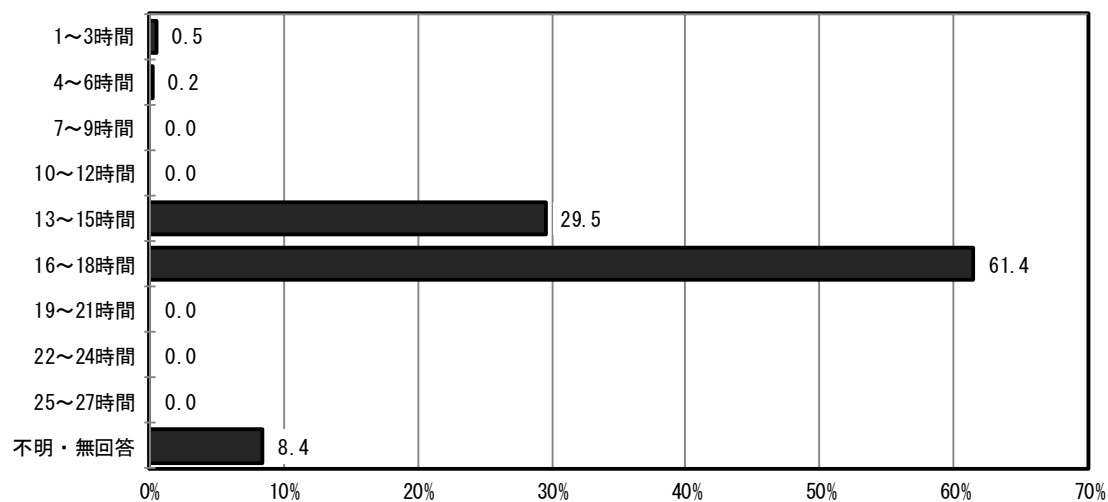
今回（令和 5 年度）

N=611



前回（平成 30 年度）

N=680



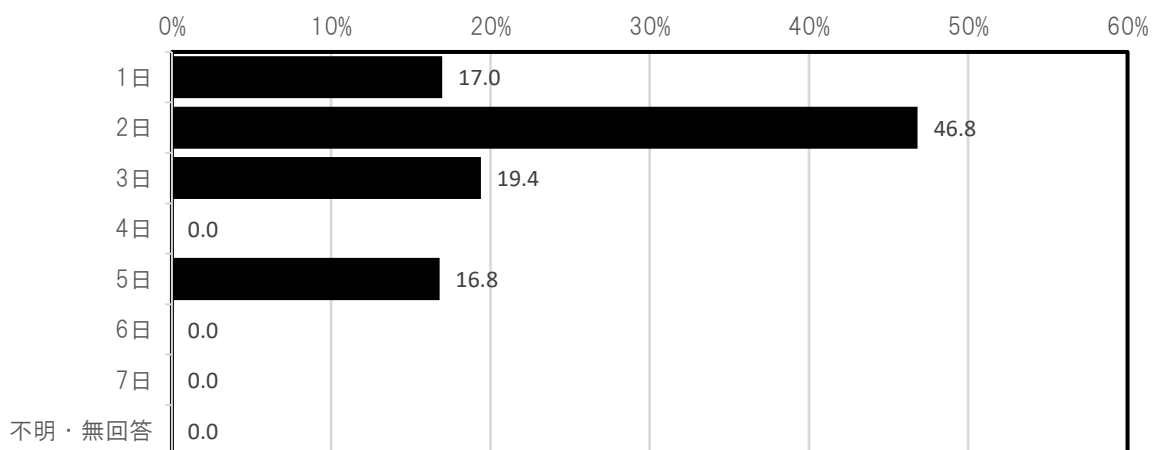
問24(1)：7(小学校低学年)【(問24(1)で⑦ファミリーサポートセンター)(週当たり希望日数)】 (数量)

「2日」が46.8%を占めています。「3日」が19.4%、「1日」が17.0%が続いています。

前回と比較して「1日」の割合が大きく減少しています。

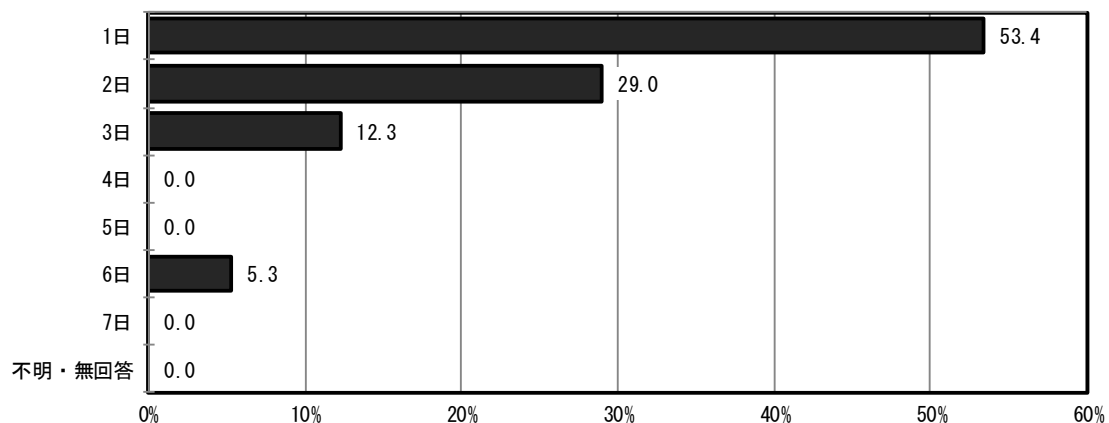
今回（令和5年度）

N=5



前回（平成30年度）

N=12

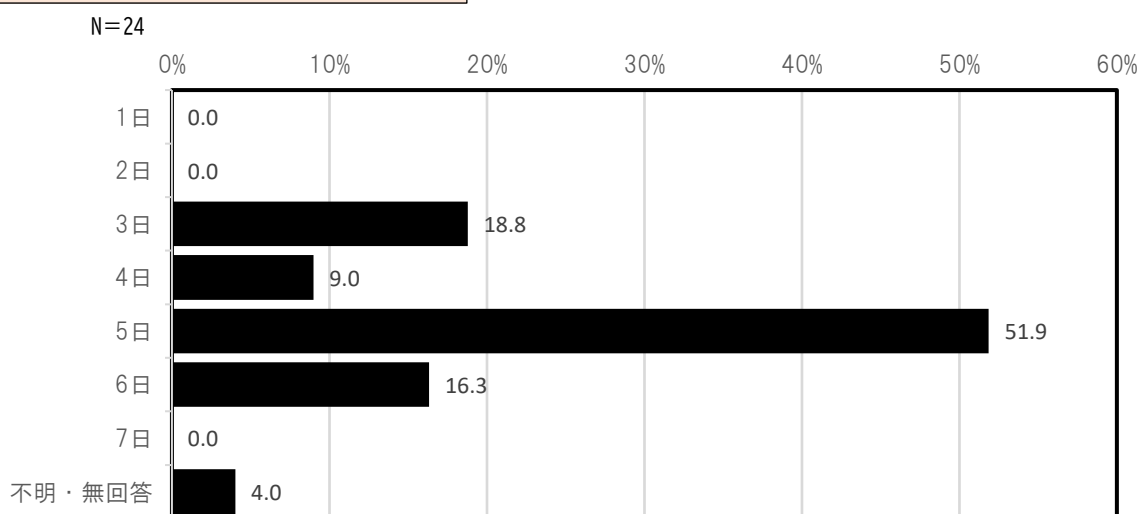


問24(1) : 8(小学校低学年)【(問24(1)で⑧障がい児通所施設(放課後等デイサービス)(週当たり希望日数)】 (数量)

「5日」が51.9%で最も高くなっています。次いで「3日」が18.8%、「6日」が16.3%が続いています。

障がい児通所施設のニーズとしては「2日以下」ではなく「3日以上」で特に「5日」を希望する声が最も多くなっています

今回(令和5年度)新設問

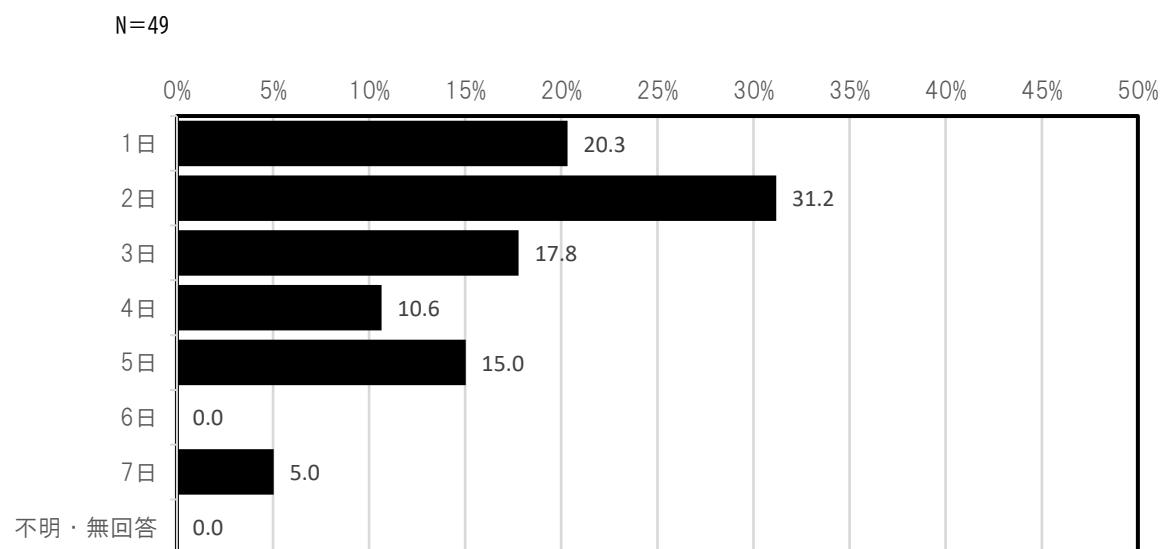


問24(1)：9(小学校低学年)【(問24(1)で⑨その他(公民館、公園など))(週当たり希望日数)】 (数量)

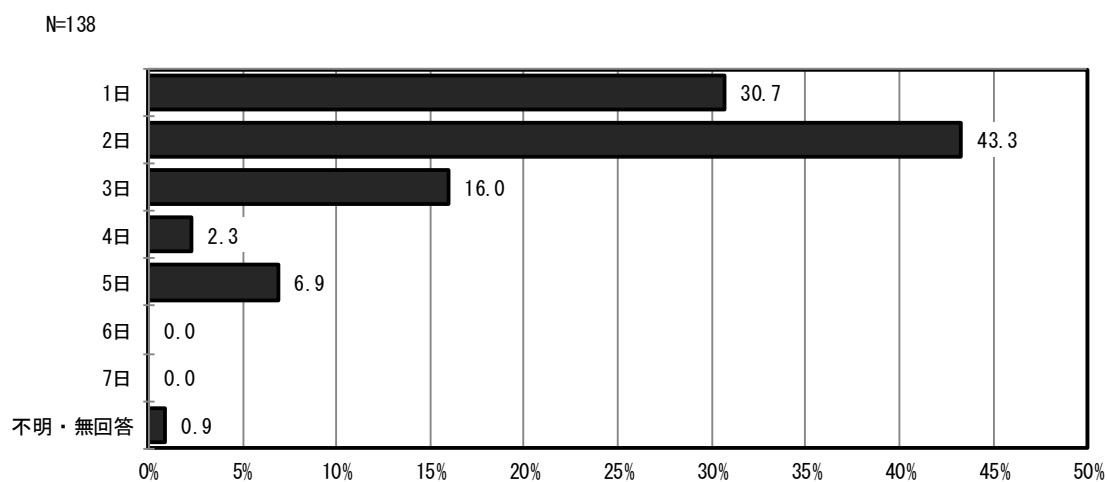
「2日」が31.2%で最も高くなっています。次いで「1日」が20.3%、「3日」が17.8%が続いています。

前回と比較して「2日以下」の割合が減少し「4日以上」の割合が増加しています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）



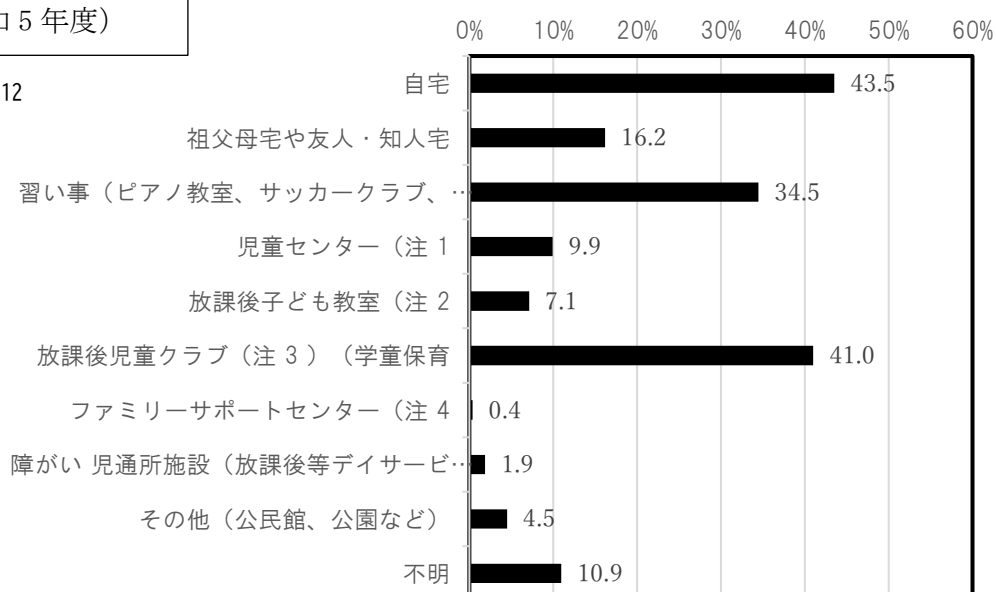
問24(2)(小学校高学年)【お子様が小学校に入ったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。】

「自宅」が43.5%を占めています。「放課後児童クラブ(学童保育)」が41.0%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が34.5%と続いています。

前回と比較して「放課後子ども教室」の割合が減少し、「放課後児童クラブ(学童保育)」の割合が大きく増加しています。

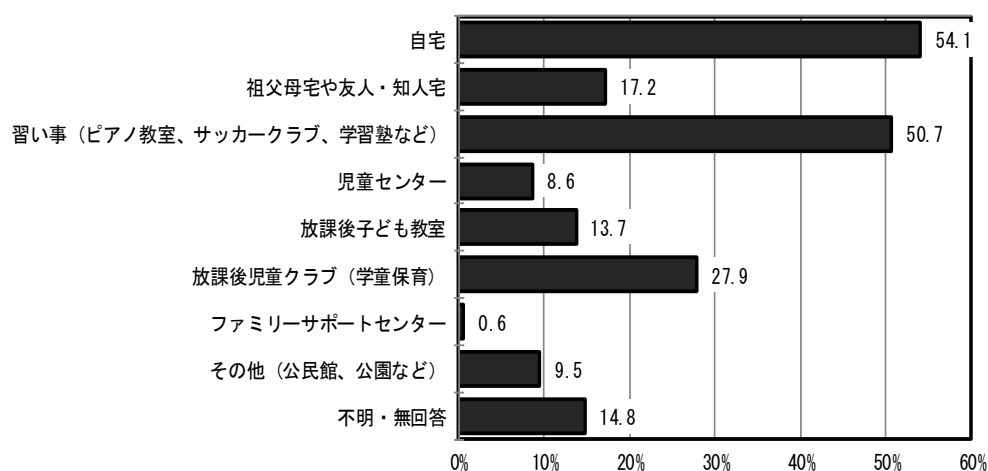
今回(令和5年度)

N=1,112



前回(平成30年度)

N=1,447



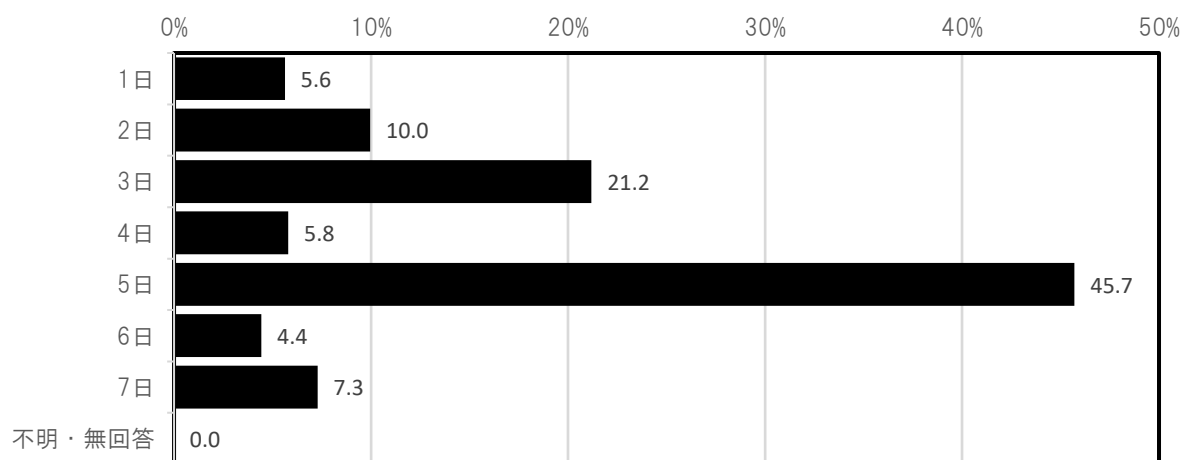
問24(2) : 1(小学校高学年)【(問24(2)で①自宅)(週当たり希望日数)】 (数量)

「5日」が45.7%で最も高くなっています。次いで「3日」が21.2%、「2日」が10.0%で続いています。

前回と比較して「4日以下」の割合が減少し「5日以上」の割合が増加しています。

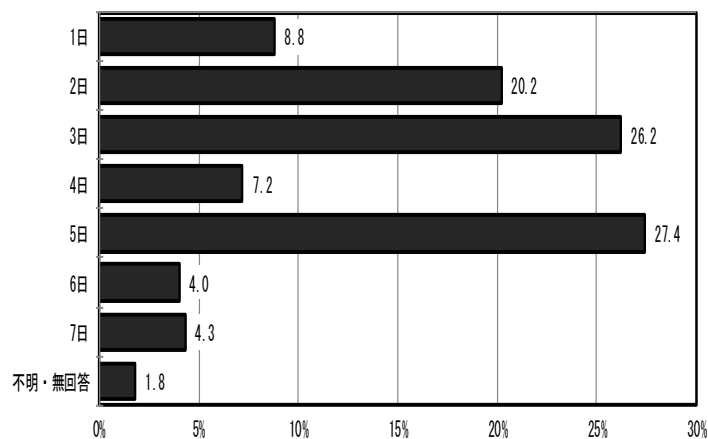
今回（令和5年度）

N=484



前回（平成30年度）

N=800

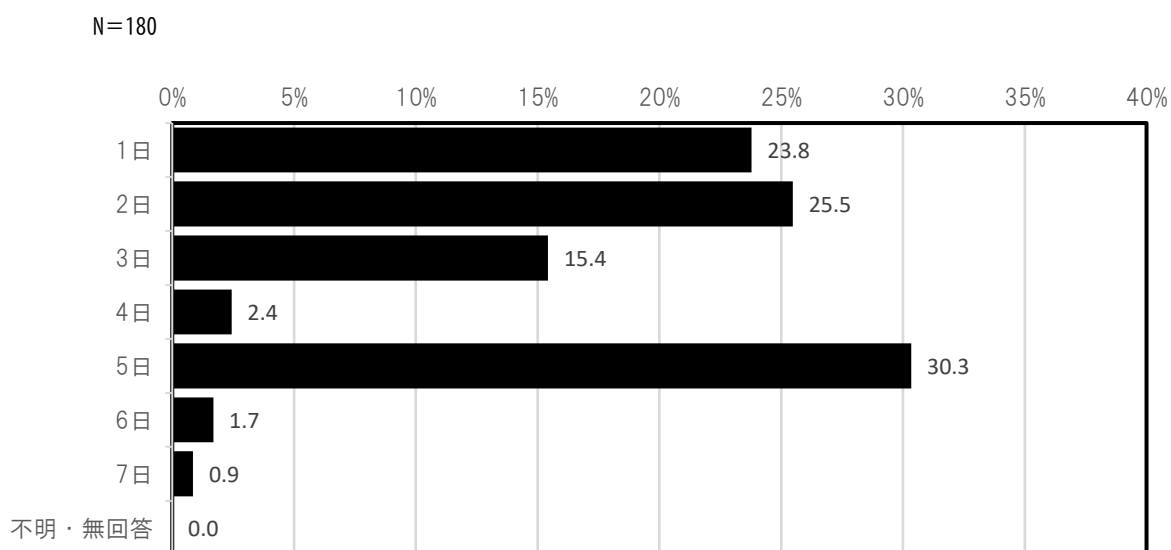


問24(2)：2(小学校高学年)【(問24(2)で②祖父母宅や友人・知人宅)(週当たり希望日数)】 (数量)

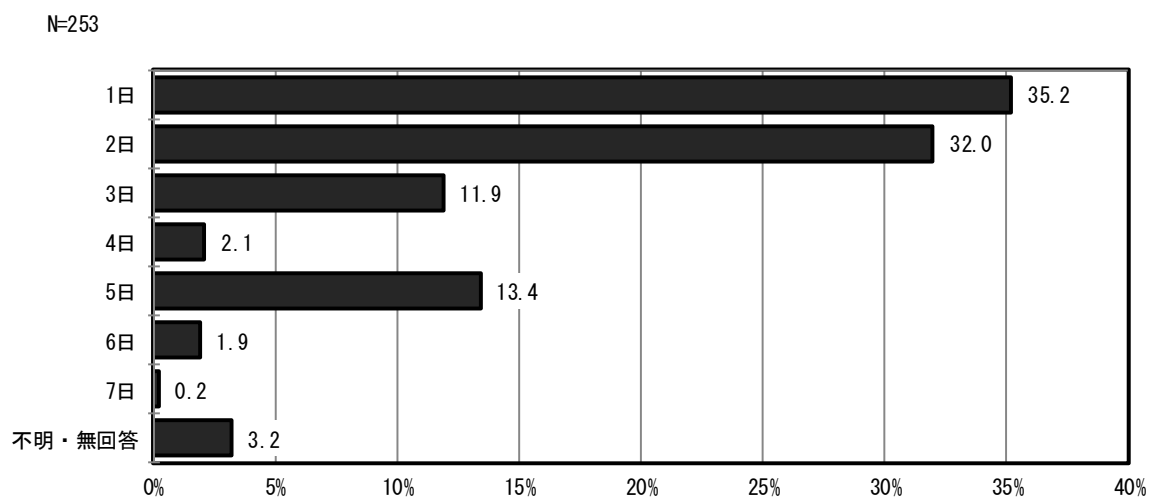
「5日」が30.3%で最も高くなっています。次いで「2日」が25.5%、「1日」が23.8%が続いています。

前回と比較して「2日以下」の割合が減少し「3日以上」の割合が増加しています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）



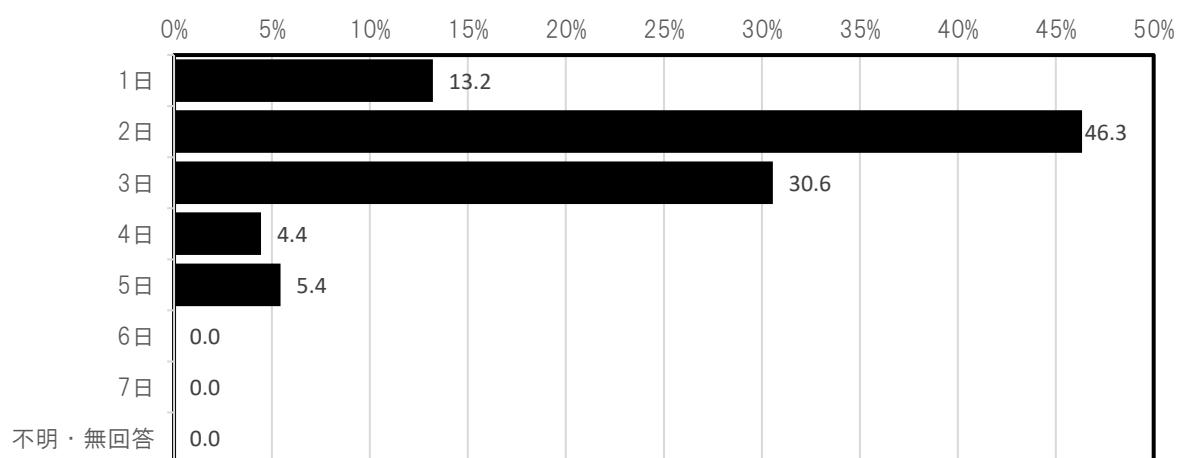
問24(2) : 3(小学校高学年)【(問24(2)で③習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など))(週当たり希望日数)】 (数量)

「2日」が46.3%で最も高くなっています。次いで「3日」が30.6%、「1日」が13.2%が続いています。

前回と比較して傾向に大きな変化は見られませんでした。

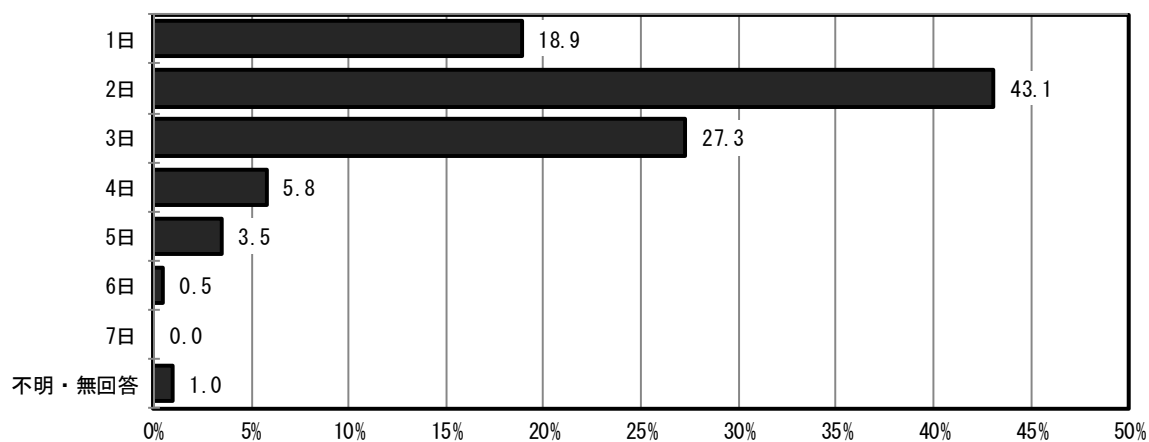
今回（令和5年度）

N=383



前回（平成30年度）

N=751



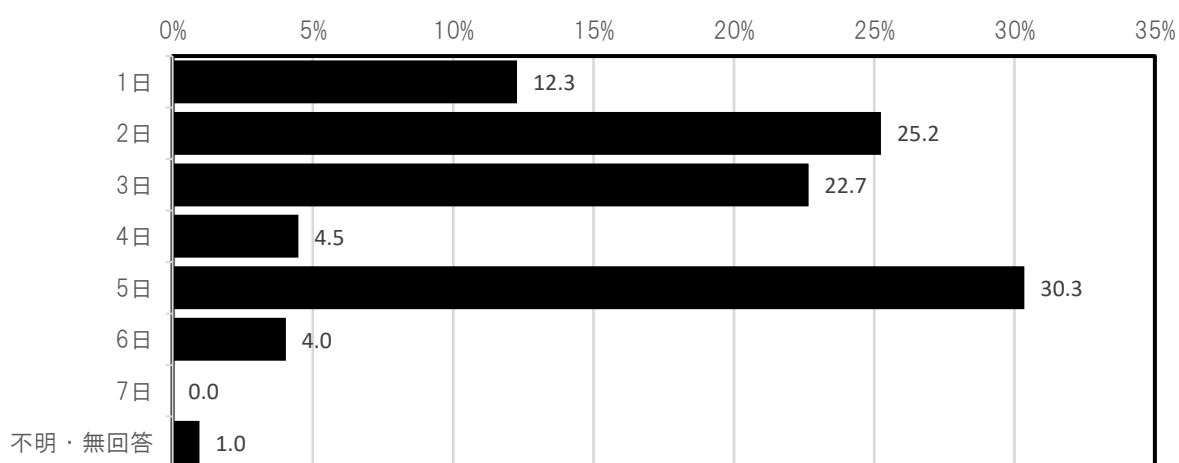
問24(2) : 4(小学校高学年)【(問24(2)で④児童センター)(週当たり希望日数)】(数量)

「5日」が30.3%で最も高くなっています。次いで「2日」が25.2%、「3日」が22.7%で続いています。

前回と比較して「1日」の割合が減少し「5日」の割合が増加しています。

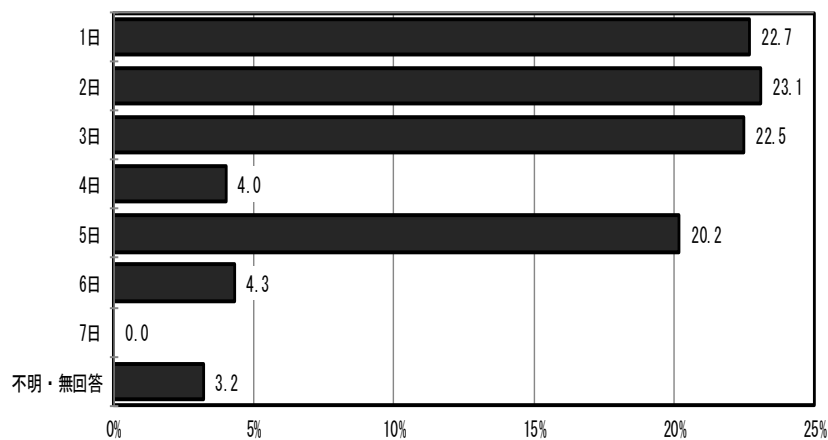
今回（令和5年度）

N=111



前回（平成30年度）

N=130



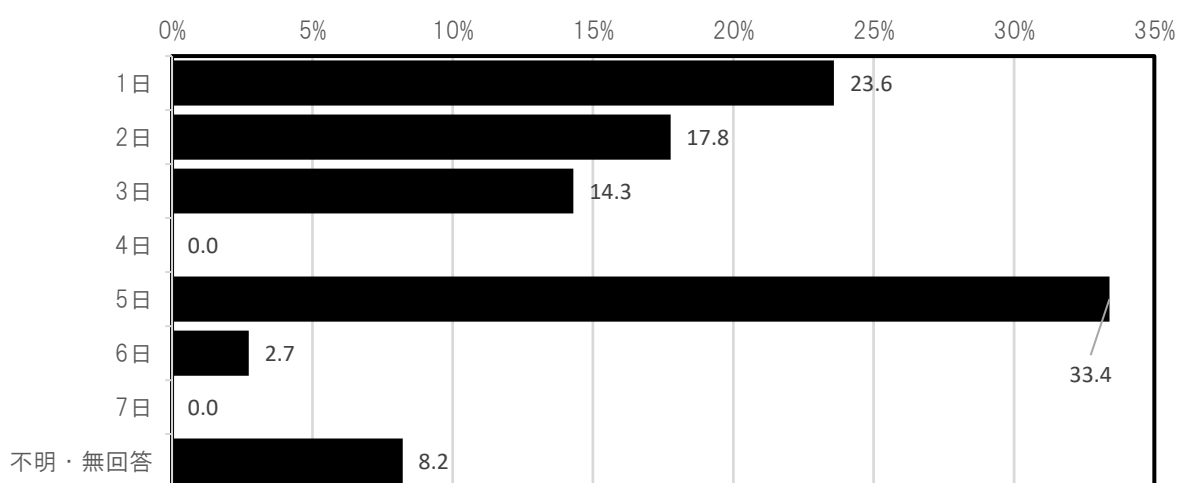
問24(2):5(小学校高学年)【(問24(2)で⑤放課後子ども教室)(週当たり希望日数)】
(数量)

「5日」が33.4%で最も高くなっています。次いで「1日」が23.6%、「2日」が17.8%で続いています。

前回と比較して「1日」の割合が減少し「5日」の割合が増加しています。

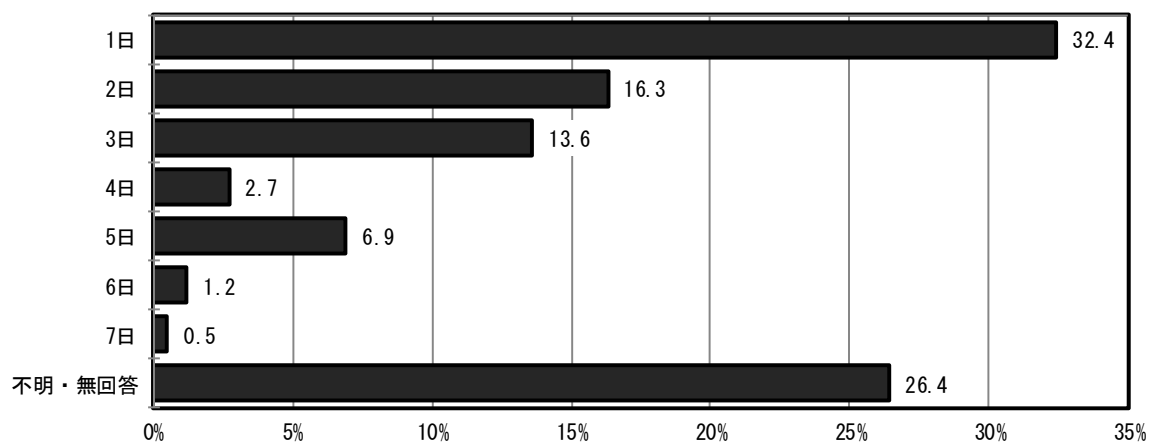
今回（令和5年度）

N=79



前回（平成30年度）

N=205

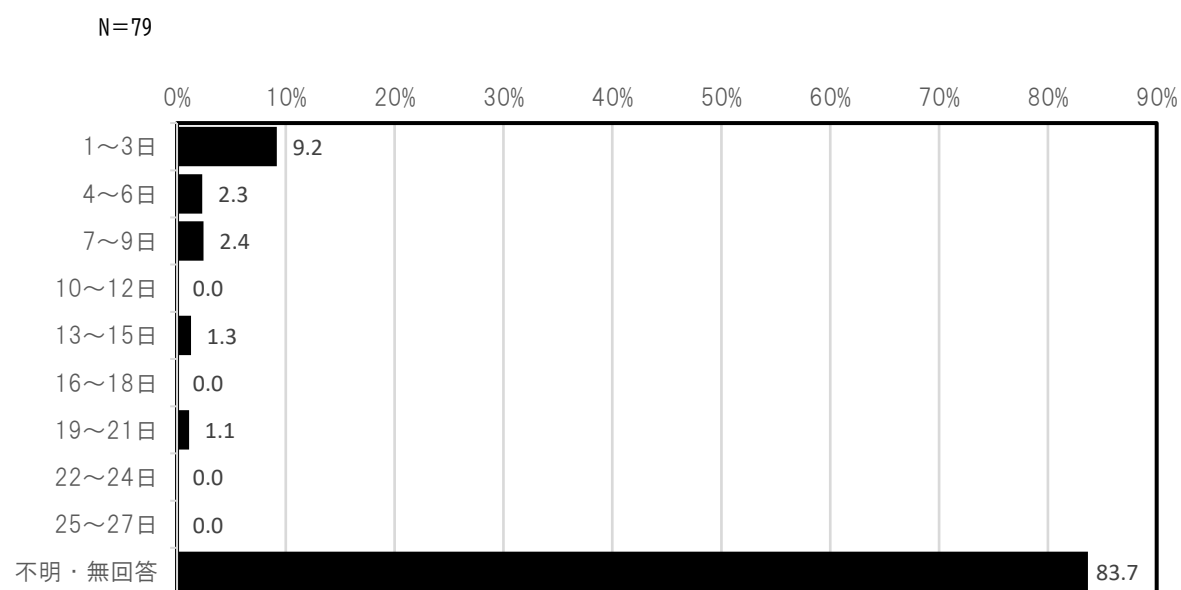


問24(2):5(小学校高学年)【(問24(2)で⑤放課後子ども教室)(月当たり希望日数)】
(数量)

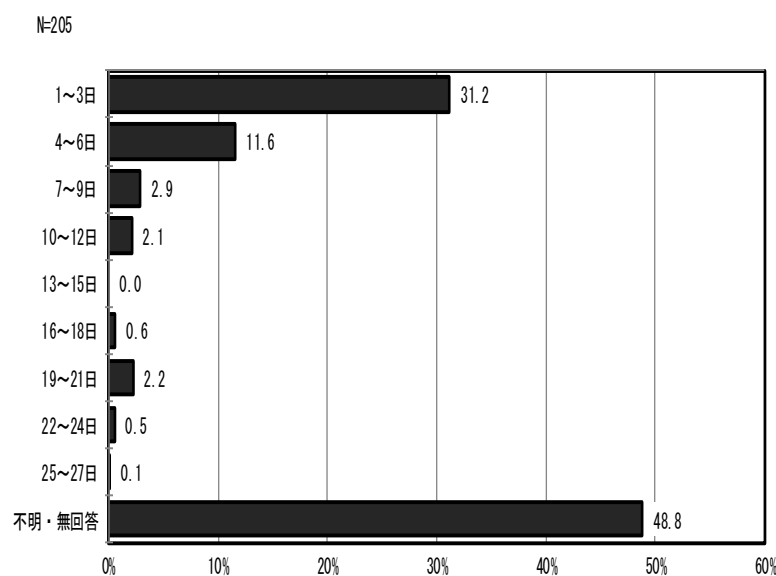
「1～3日」が9.2%で最も高くなっています。次いで「7～9日」が2.4%、「4～6日」が2.3%で続いています。

不明・無回答をのぞいた場合、前回と比較して「7日～9日」の割合が増加しています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）



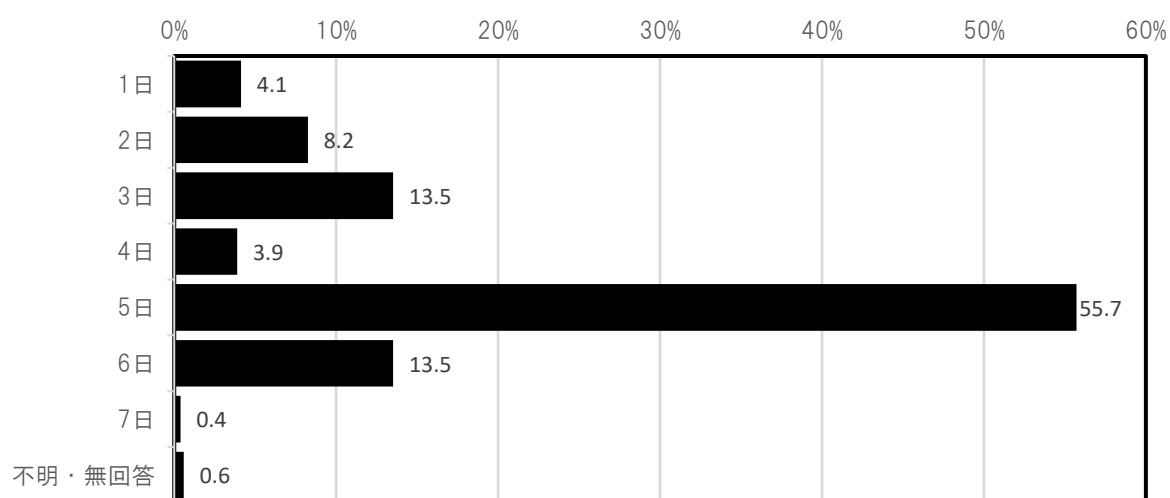
問24(2)：6(小学校高学年)【(問24(2)で⑥放課後児童クラブ(学童保育))(週当たり希望日数)】 (数量)

「5日」が55.7%で最も高くなっています。次いで「3日」と「6日」が各13.5%が続いています。

前回と比較して「4日以下」の割合が減少し「5日以上」の割合が増加しています。

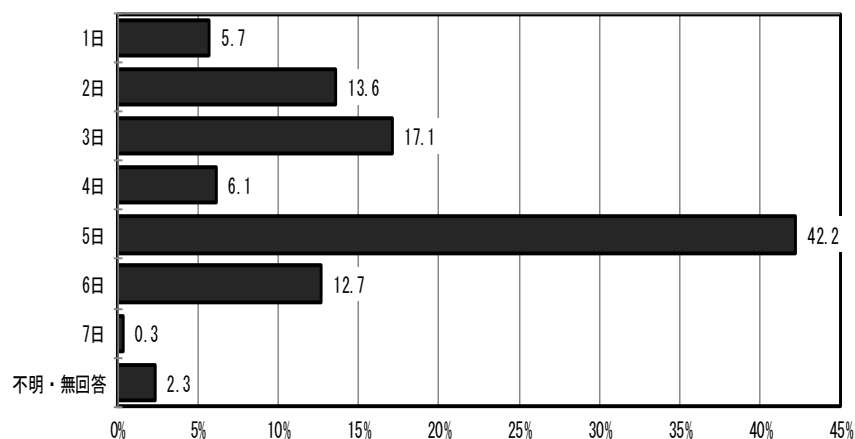
今回（令和5年度）

N=456



前回（平成30年度）

N=396

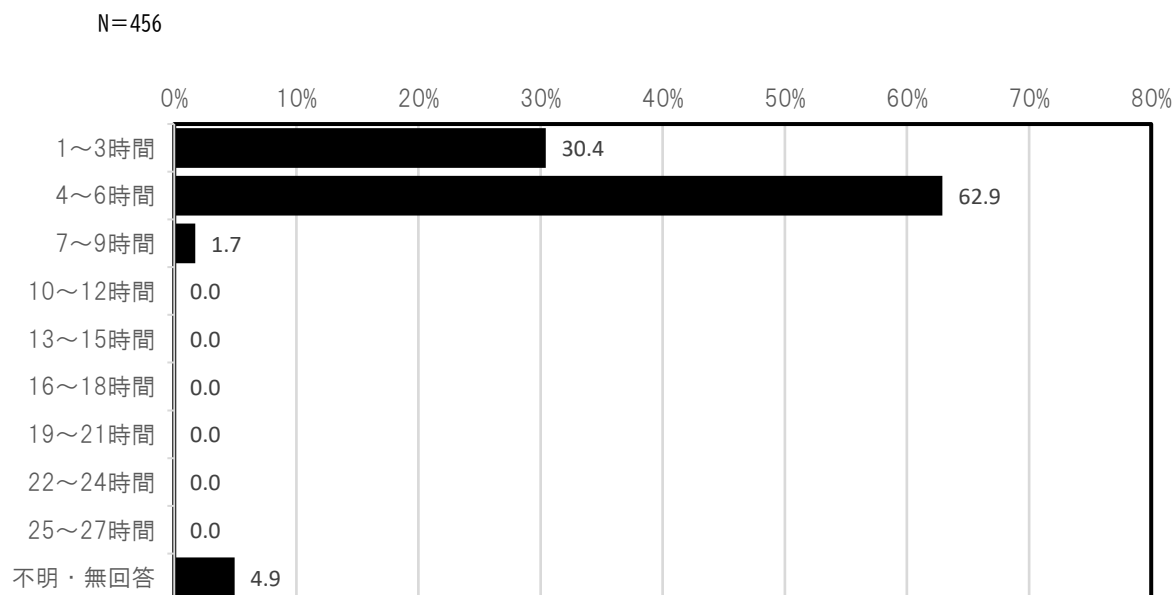


問24(2)：6(小学校高学年)【(問24(2)で⑥放課後児童クラブ(学童保育)) (利用したい時間)】 (数量)

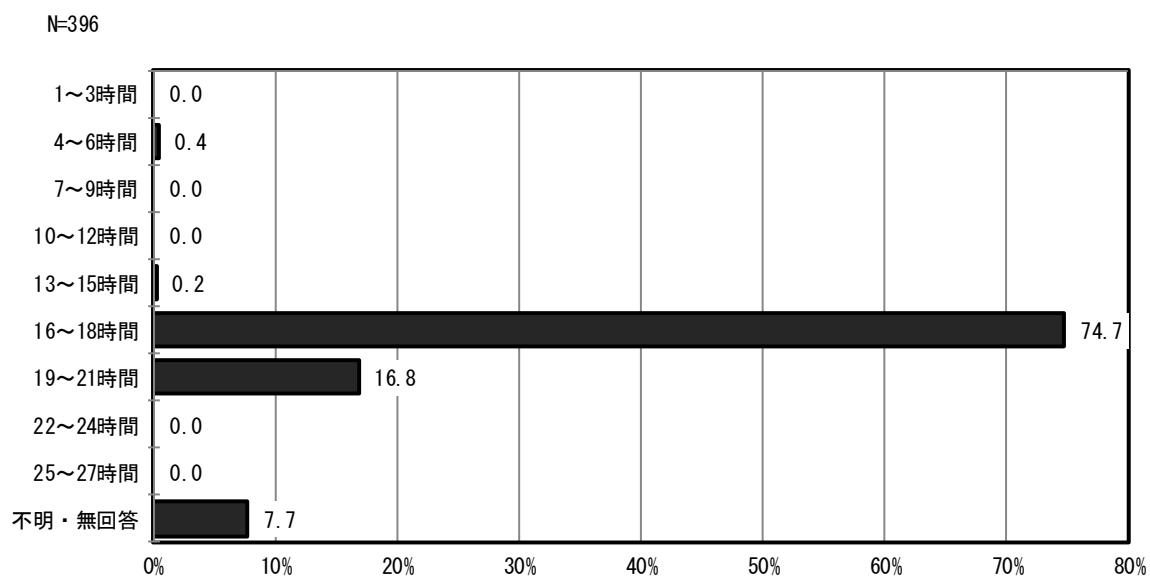
「4～6 時間」が 62.9%を占めています。「1～3 時間」が 30.4%で続いています。

データのとり方が異なりますが、前回と比較して長時間を希望する傾向にあります。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

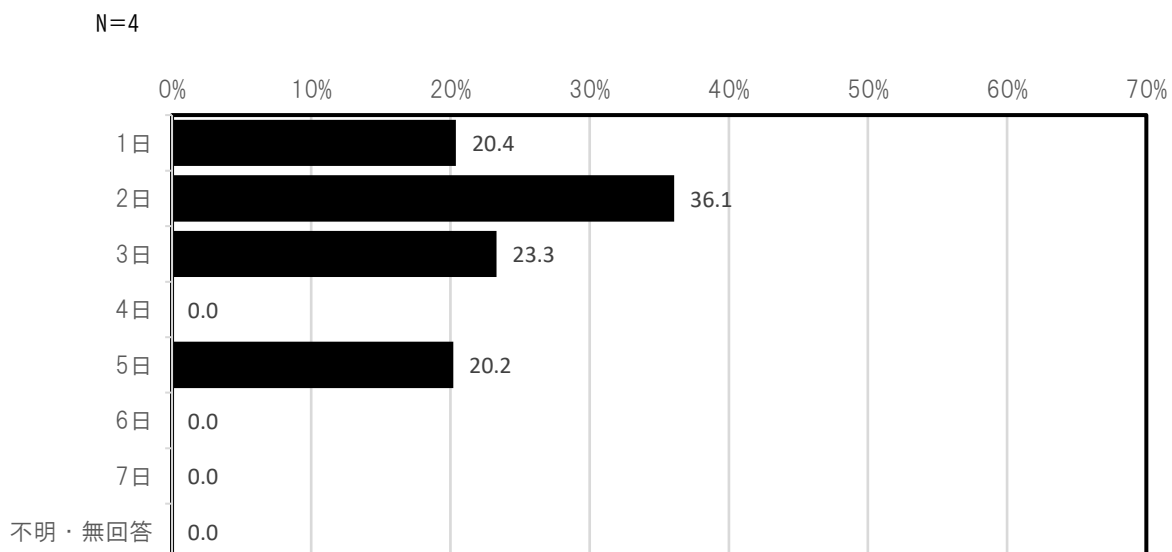


問24(2)：7(小学校高学年)【(問24(2)で⑦ファミリーサポートセンター)(週当たり希望日数)】 (数量)

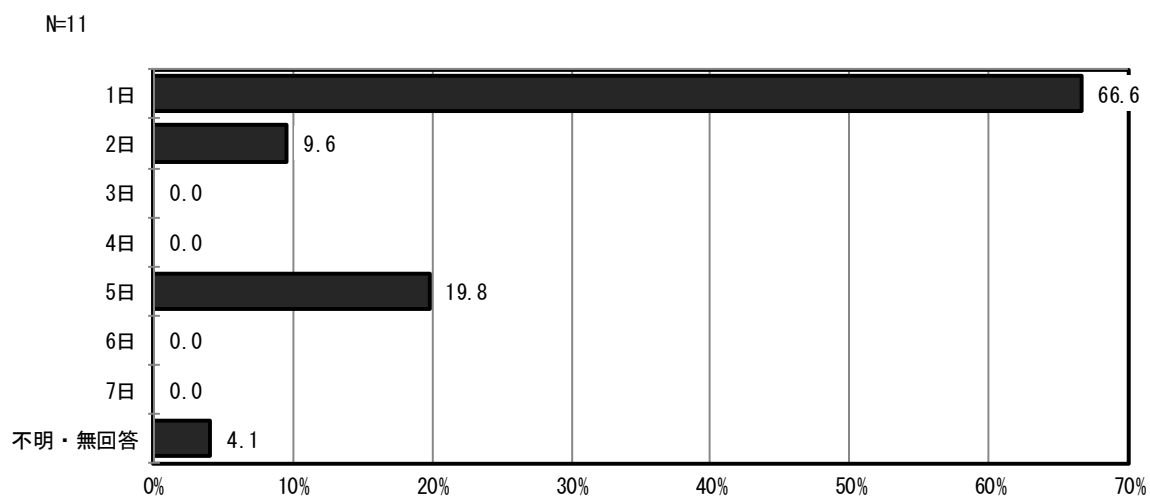
「2日」が36.1%を占めています。「3日」が23.3%、「1日」が20.4%が続いています。

前回と比較して「1日」の割合が減少し、「2日」「3日」「5日」の割合が増加しています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）



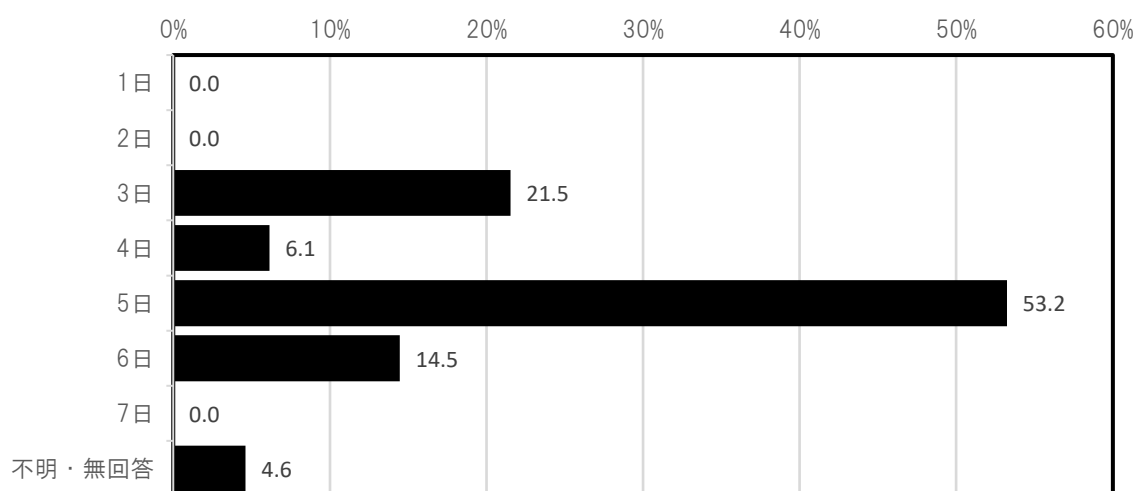
問24(2) : 8(小学校高学年)【(問24(2)で⑧障がい児通所施設(放課後等デイサービス)(週当たり希望日数)】(数量)

「5日」が53.2%で最も高くなっています。次いで「3日」が21.5%、「6日」が14.5%が続いています。

障がい児通所施設のニーズとしては「2日以下」ではなく「3日以上」で「5日」を希望する声が最も多くなっています

今回(令和5年度)新設問

N=21



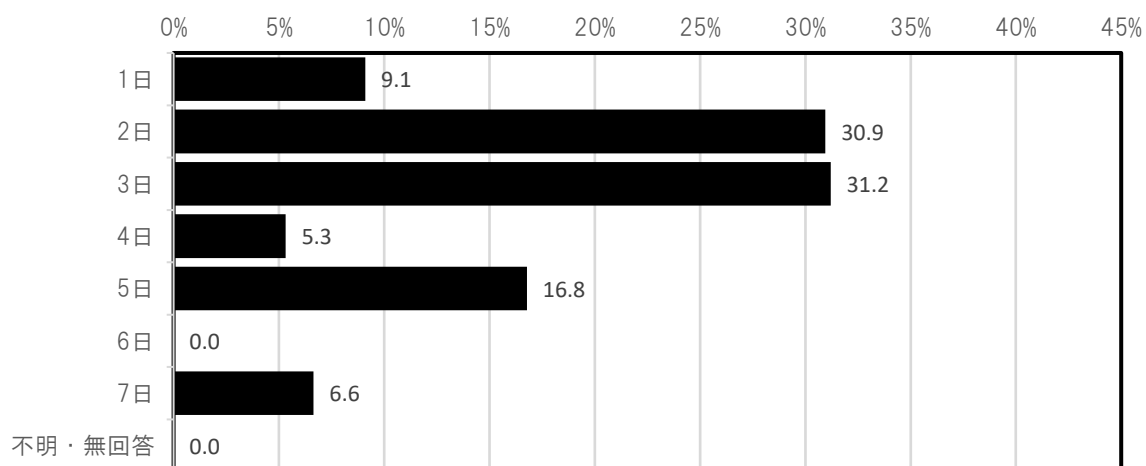
問24(2)：9(小学校高学年)【(問24(2)で⑨その他(公民館、公園など))(週当たり希望日数)】 (数量)

「3日」が31.2%で最も高くなっています。次いで「2日」が30.9%、「5日」が16.8%が続いています。

前回と比較して「2日以下」の割合が減少し「3日以上」の割合が増加しています。

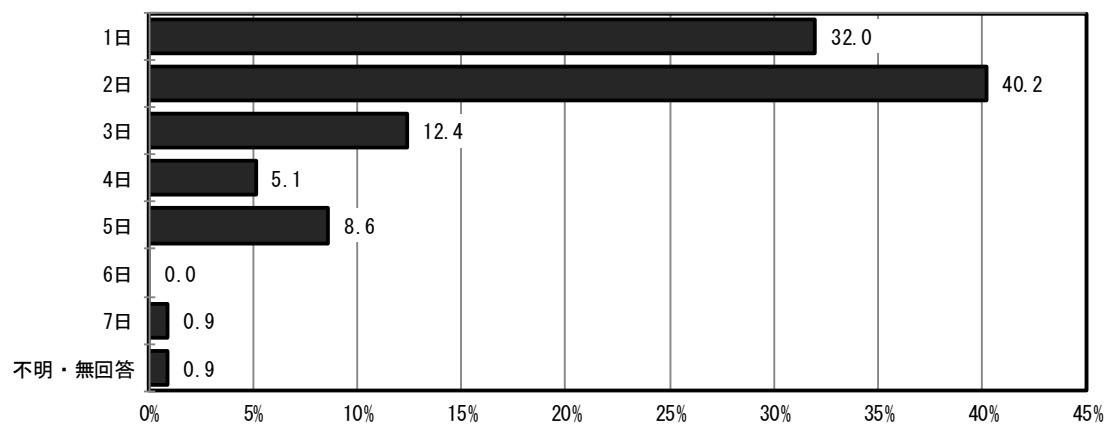
今回（令和5年度）

N=50



前回（平成30年度）

N=141



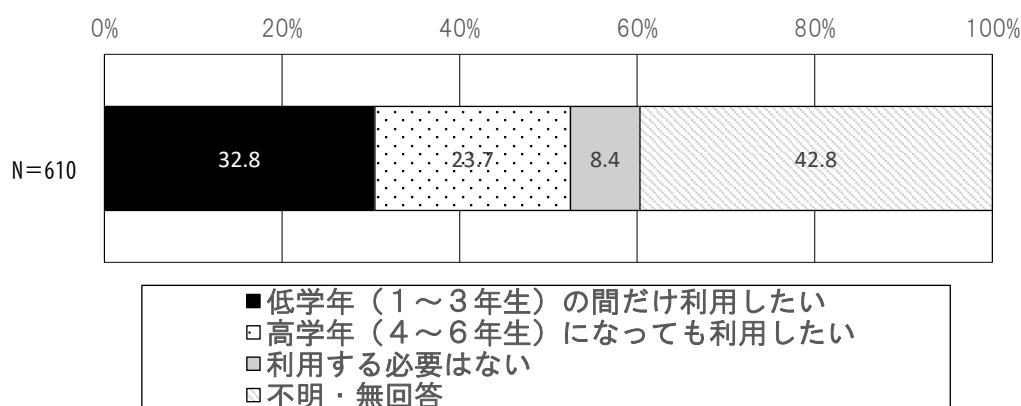
問 24(1)または(2)で「6. 放課後児童クラブ」を選択した方にうかがいます。

問24-1①(土曜日)【(利用希望の有無) 土曜日、日曜日・祝日、長期の休み(春・夏・冬休み)に放課後児童クラブが利用できるとしたら、それぞれの期間の利用希望の有無と利用したい時間帯(24時間制)をお答えください。】

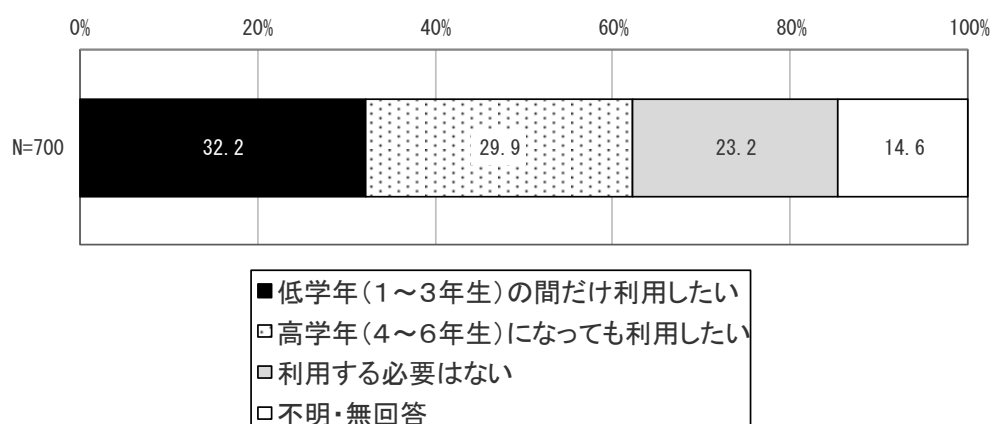
「低学年(1～3年生)の間だけ利用したい」が32.8%で最も高くなっています。次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が23.7%と続いて、「利用する必要はない」が8.4%となっています。

前回と比較して「低学年の間だけ利用したい」の割合が増加し、「利用する必要はない」の割合が減少しています。

今回(令和5年度)



前回(平成30年度)



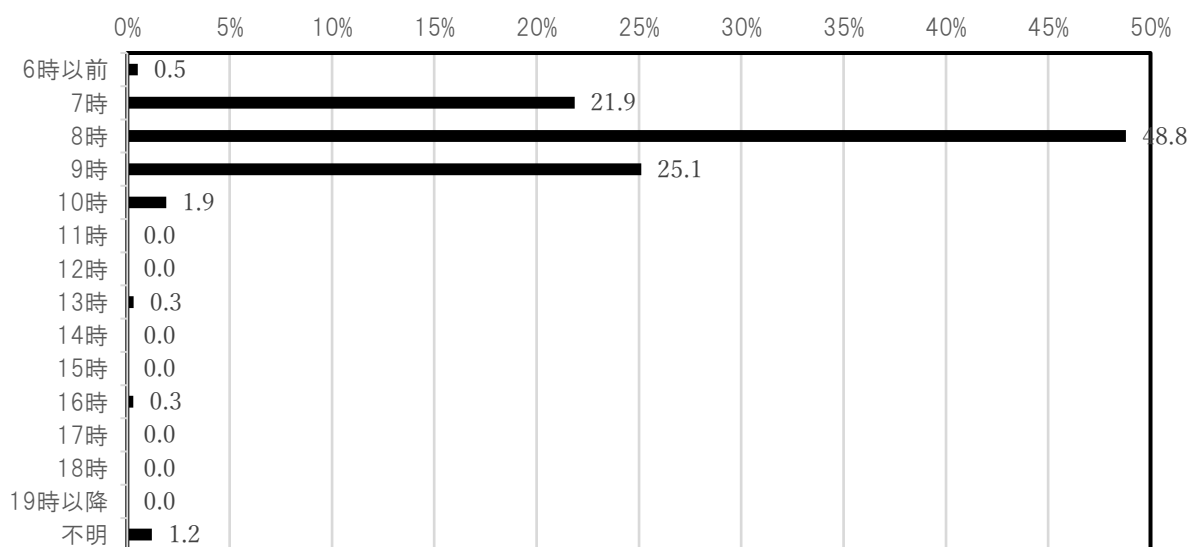
問24-1①：1(土曜日)【(問24-1①で①低学年の間だけ利用したい②高学年になっても利用したい)(開始時間)利用希望時間】 (数量)

「8時」が48.8%で最も高くなっています。次いで「9時」が25.1%、「7時」が21.9%が続いています。

前回と比較して「7時」の割合が増加しています。

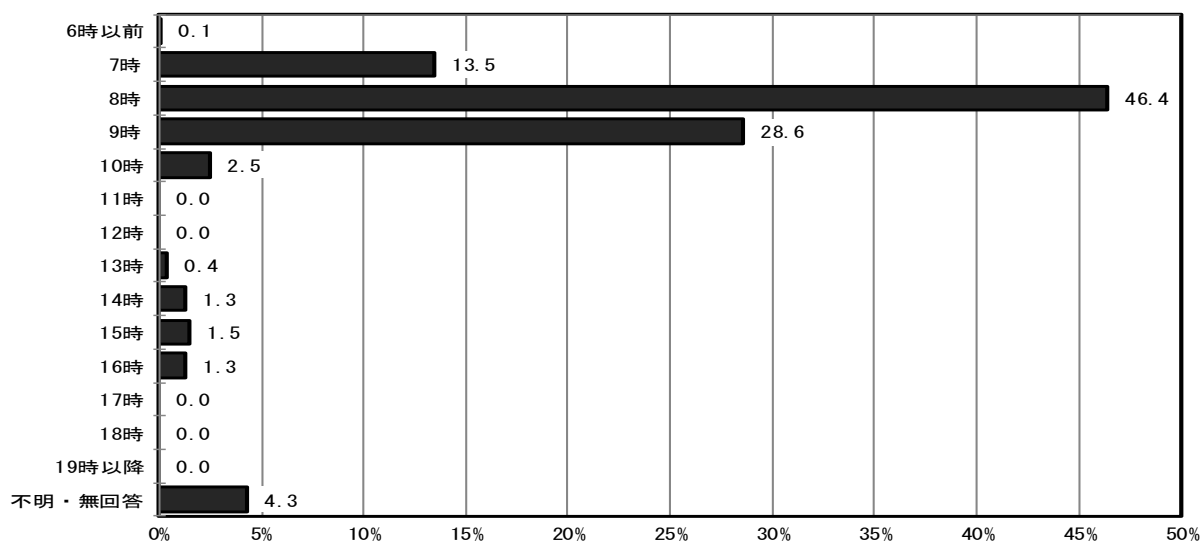
今回（令和5年度）

N=298



前回（平成30年度）

N=437



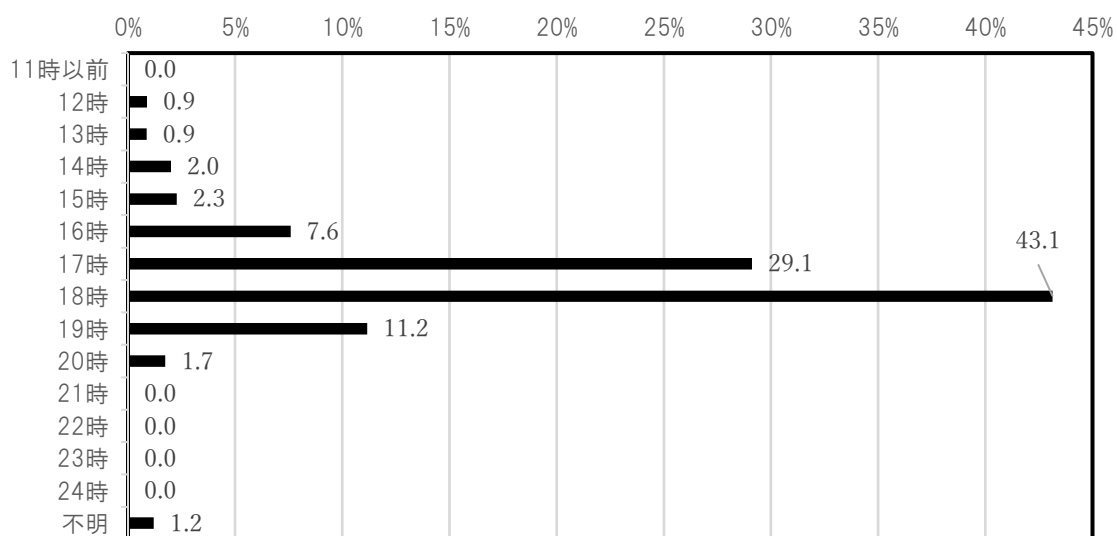
問24-1①：1（土曜日）【（問24-1①で①低学年の間だけ利用したい②高学年になっても利用したい）（終了時間）利用希望時間】（数量）

「18時」が43.1%で最も高くなっています。次いで「17時」が29.1%、「19時」が11.2%で続いています。

前回と比較して傾向に大きな変化は見られませんでした。

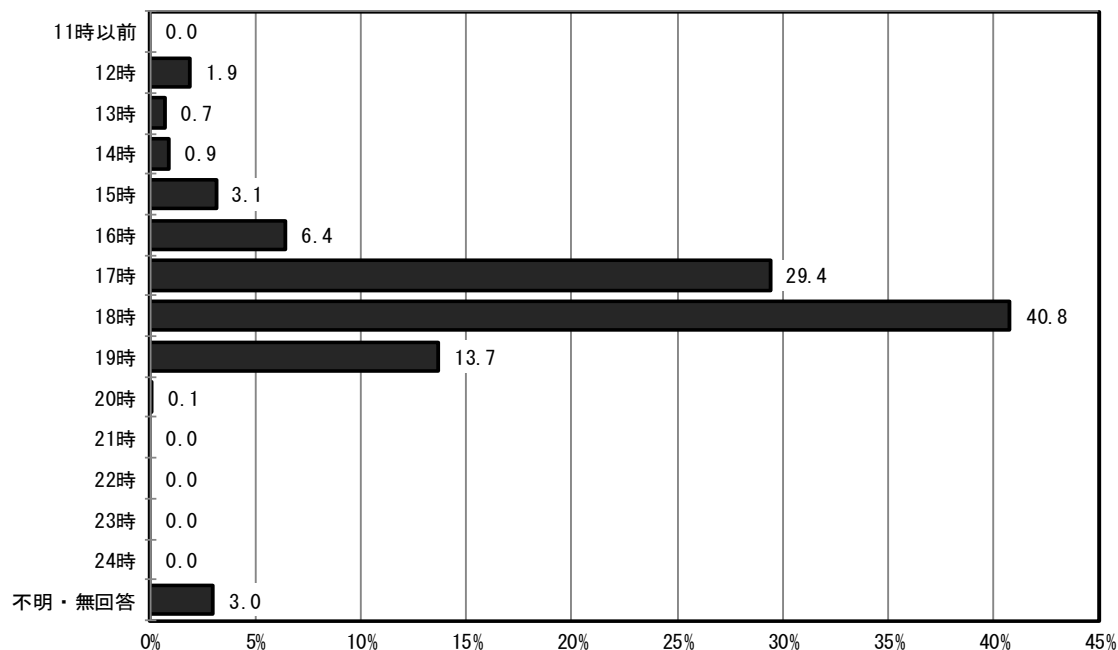
今回（令和5年度）

N=298



前回（平成30年度）

N=437



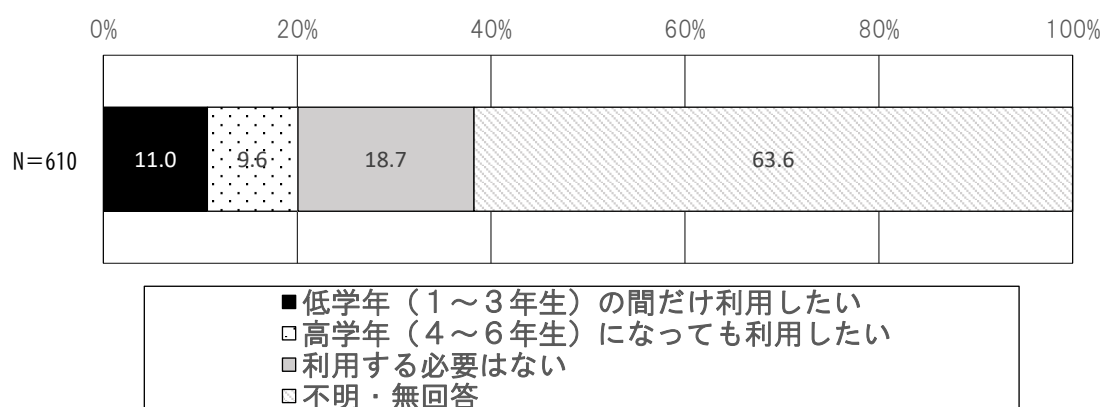
問 24(1)または(2)で「6. 放課後児童クラブ」を選択した方にうかがいます。

問24-1②(日曜日・祝日)【(利用希望の有無) 土曜日、日曜日・祝日、長期の休み(春・夏・冬休み)に放課後児童クラブが利用できるとしたら、それぞれの期間の利用希望の有無と利用したい時間帯(24時間制)をお答えください。】

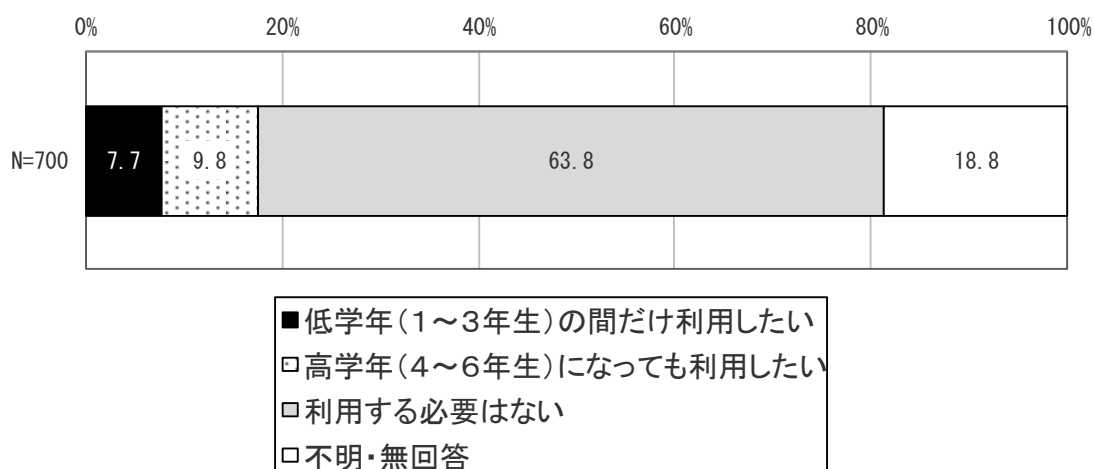
「低学年(1～3年生)の間だけ利用したい」が11.0%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が9.6%と利用したいが全体の20.6%、対して「利用する必要はない」が18.7%となっていて60%以上は不明か無回答となっています。

不明・無回答をのぞいた場合、前回と比較して「低学年の間だけ利用したい」の割合が増加し、「高学年になっても利用したい」がやや増加。「利用する必要がない」の割合が減少しています。

今回(令和5年度)



前回(平成30年度)



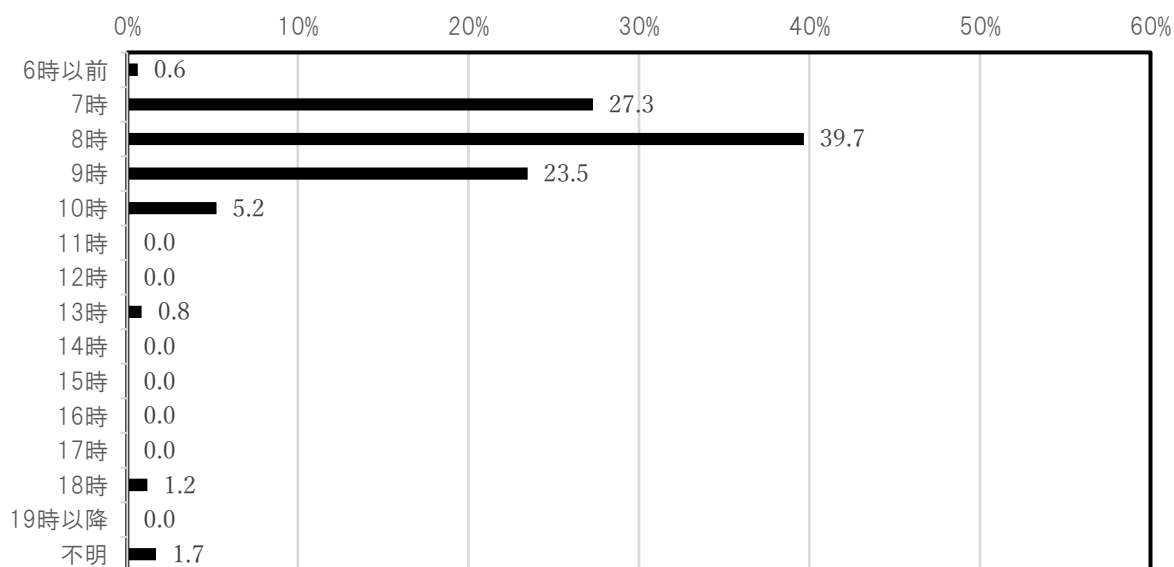
問24-1②：1（日曜日・祝日）【（問24-1②で①低学年の間だけ利用したい②高学年になっても利用したい）（開始時間）利用希望時間】（数量）

「8時」が39.7%を占めています。「7時」が27.3%、「9時」が23.5%が続いています。

前回と比較して「7時」の割合が増加し、「8時」の割合が減少しています。

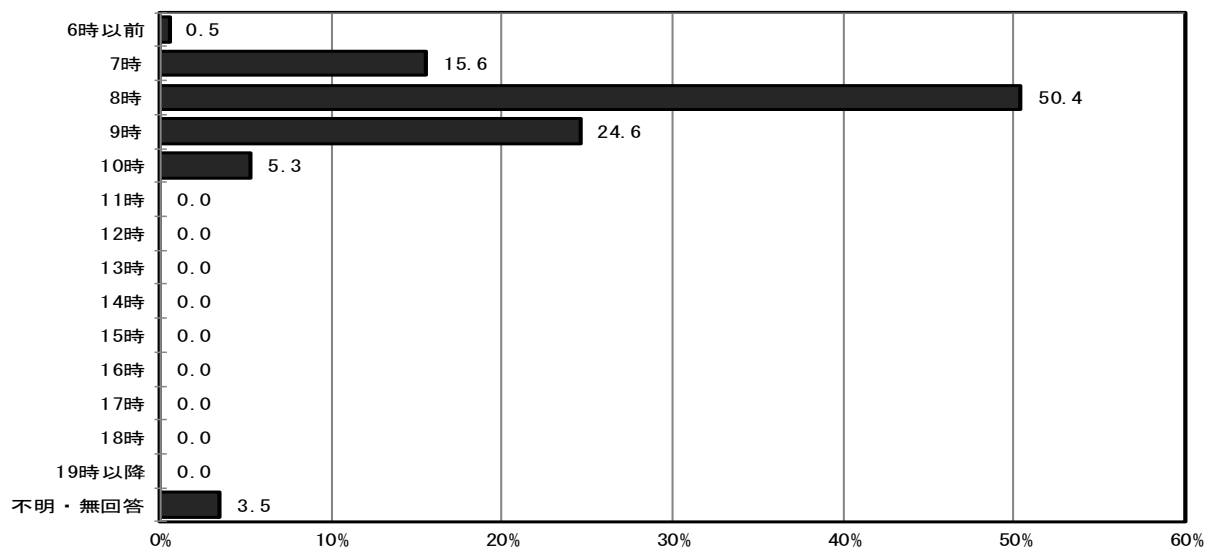
今回（令和5年度）

N=108



前回（平成30年度）

N=122

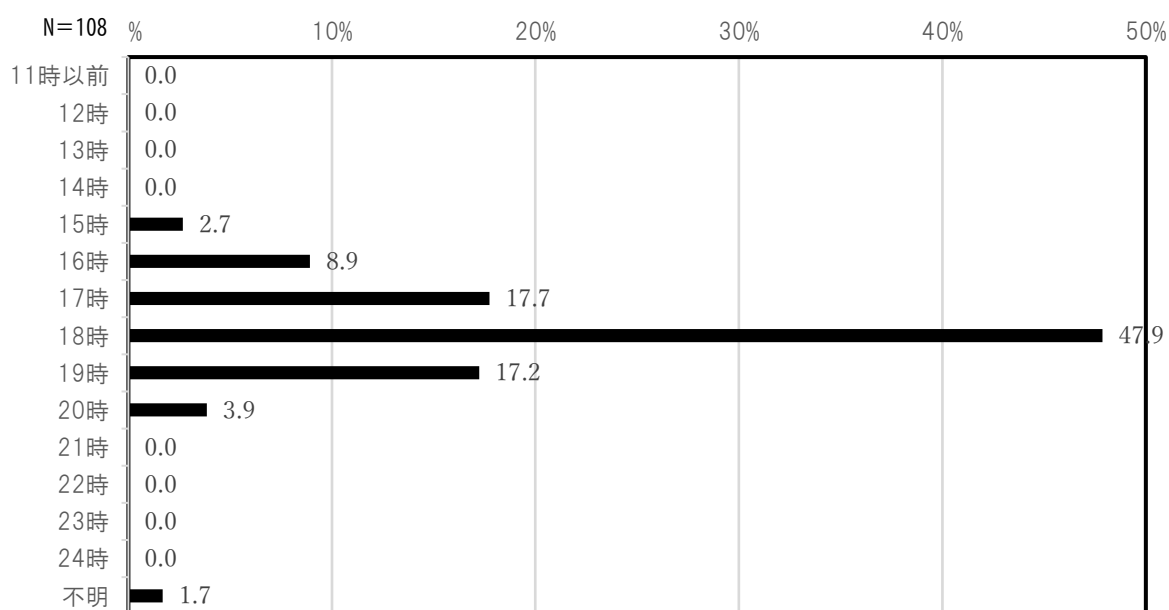


問24-1②：1（日曜日・祝日）【（問24-1②で①低学年の間だけ利用したい②高学年になっても利用したい）（終了時間）利用希望時間】（数量）

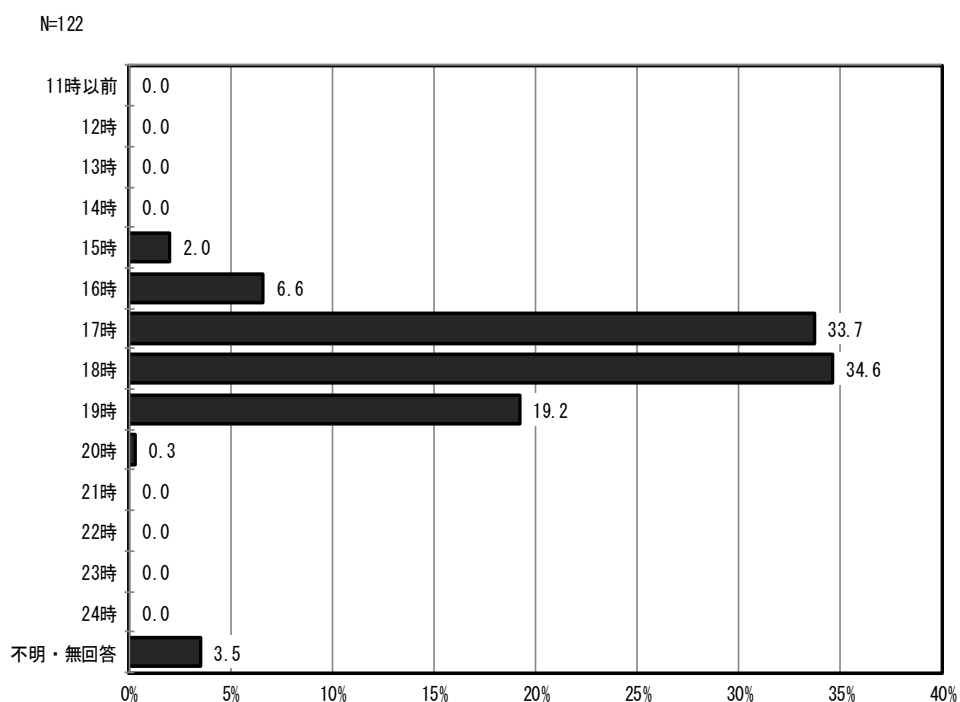
「18 時」が 47.9%で最も高くなっています。次いで「17 時」と「19 時」が各 17%台で続いています。

前回と比較して「17 時」の割合が大きく減少し、「18 時」の割合が増加しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

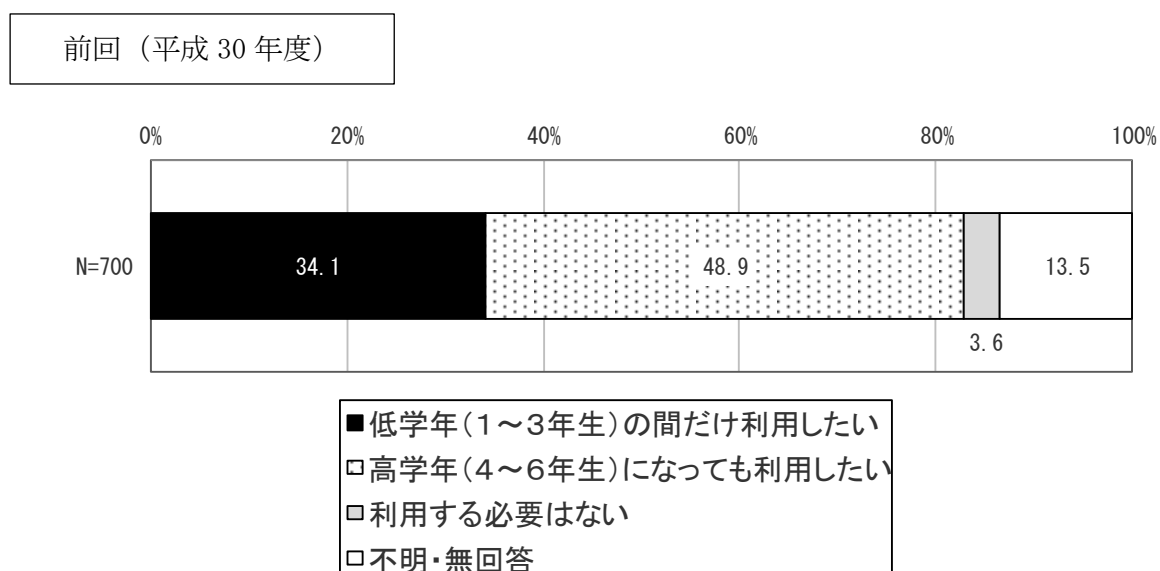
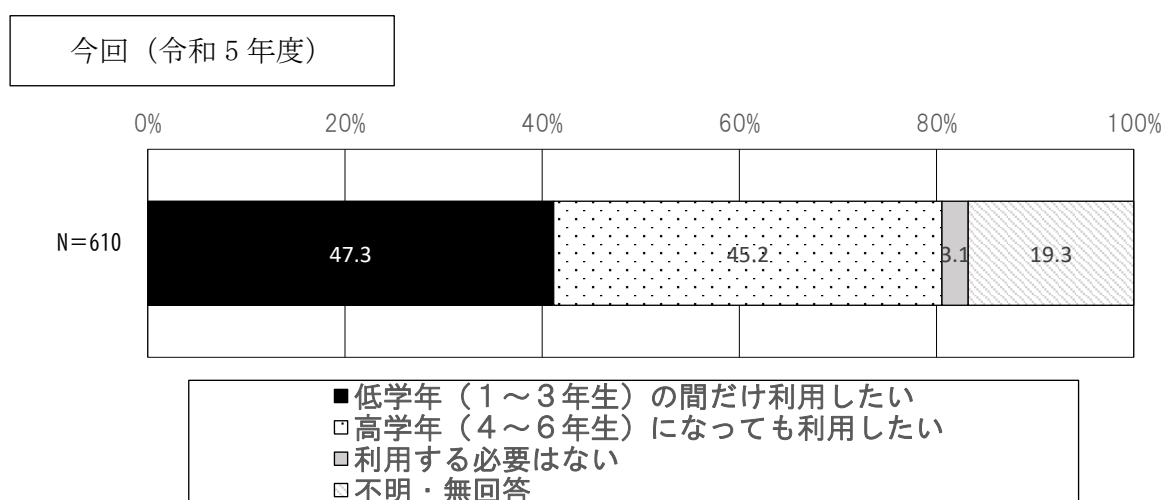


問 24(1)または(2)で「6. 放課後児童クラブ」を選択した方にうかがいます。

問24-1③(長期の休み)【(利用希望の有無) 土曜日、日曜日・祝日、長期の休み(春・夏・冬休み)に放課後児童クラブが利用できるとしたら、それぞれの期間の利用希望の有無と利用したい時間帯(24時間制)をお答えください。】

「低学年(1～3年生)の間だけ利用したい」が47.3%で最も高くなっています。次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が45.2%と続いて、「利用する必要はない」が3.1%となっています。

前回と比較して「低学年の間だけ利用したい」の割合が増加しています。



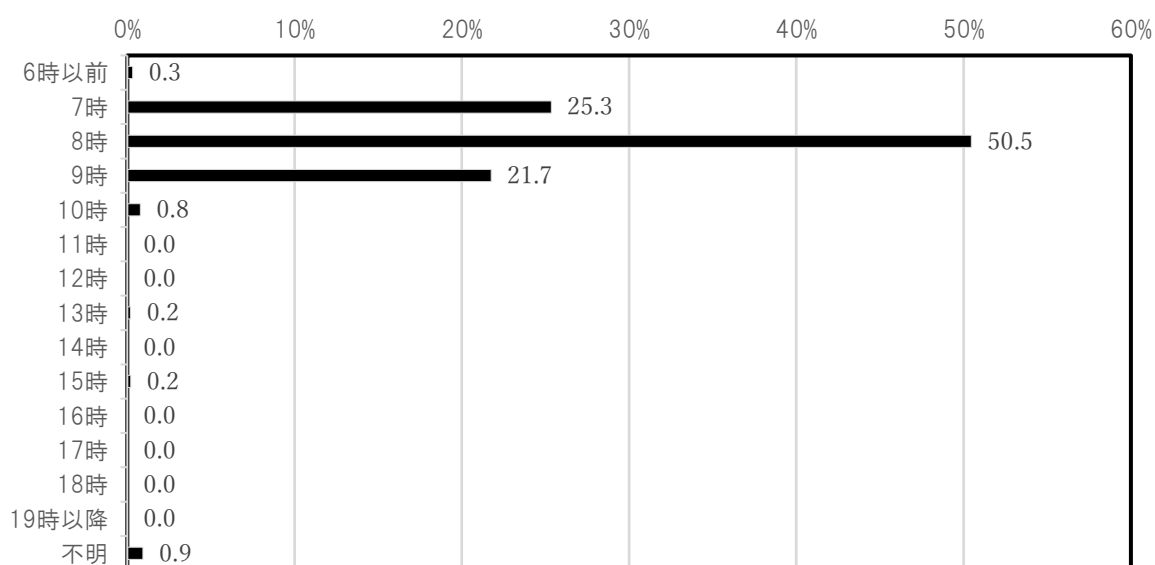
問24-1③：1(長期の休み)【(問24-1③で①低学年の間だけ利用したい②高学年になっても利用したい)(開始時間)利用希望時間】(数量)

「8時」が50.5%で最も高くなっています。次いで「7時」が25.3%、「9時」が21.7%が続いています。

前回と比較して「7時」の割合が増加し「9時」の割合が減少しています。

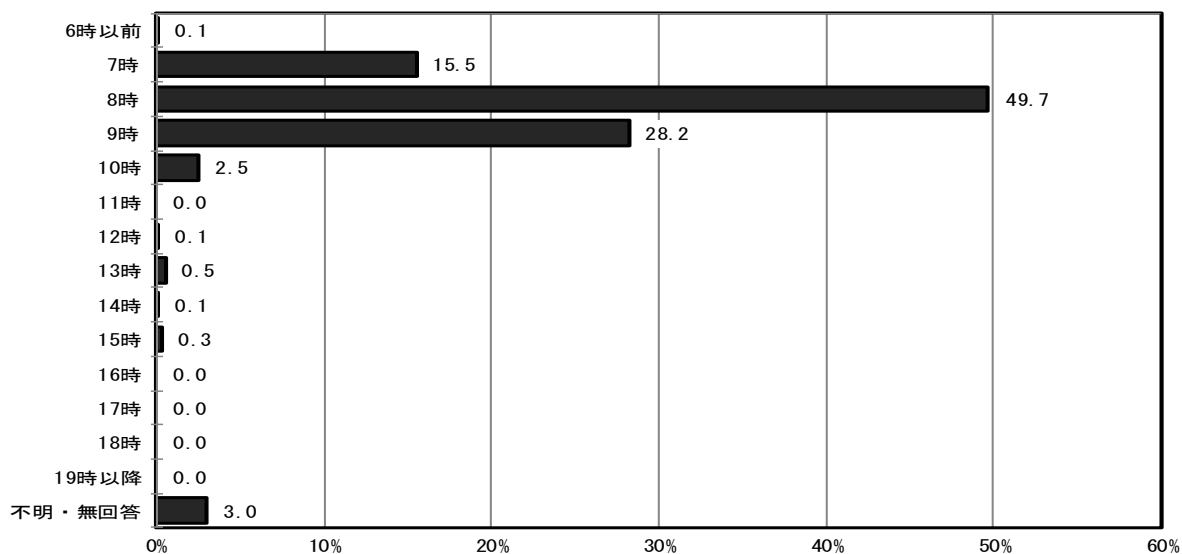
今回(令和5年度)

N=474



前回(平成30年度)

N=586



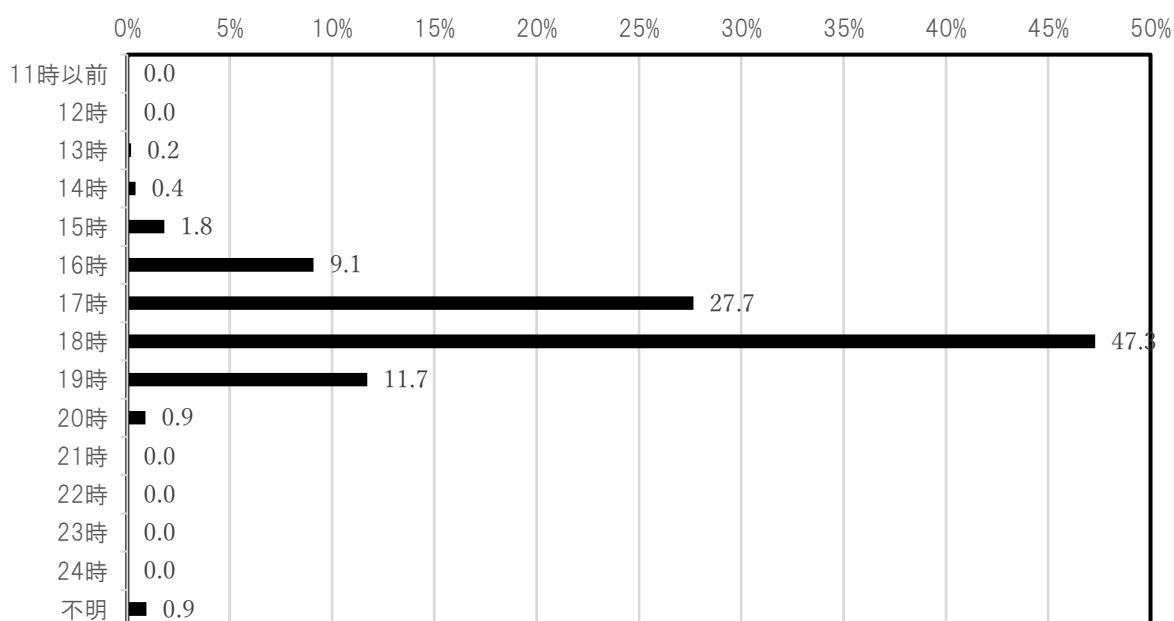
問24-1③：1(長期の休み)【(問24-1③で①低学年の間だけ利用したい②高学年になっても利用したい)(終了時間)利用希望時間】(数量)

「18時」が47.3%で最も高くなっています。次いで「17時」が27.7%、「19時」が11.7%が続いています。

前回と比較して「16時」の割合が増加しています。

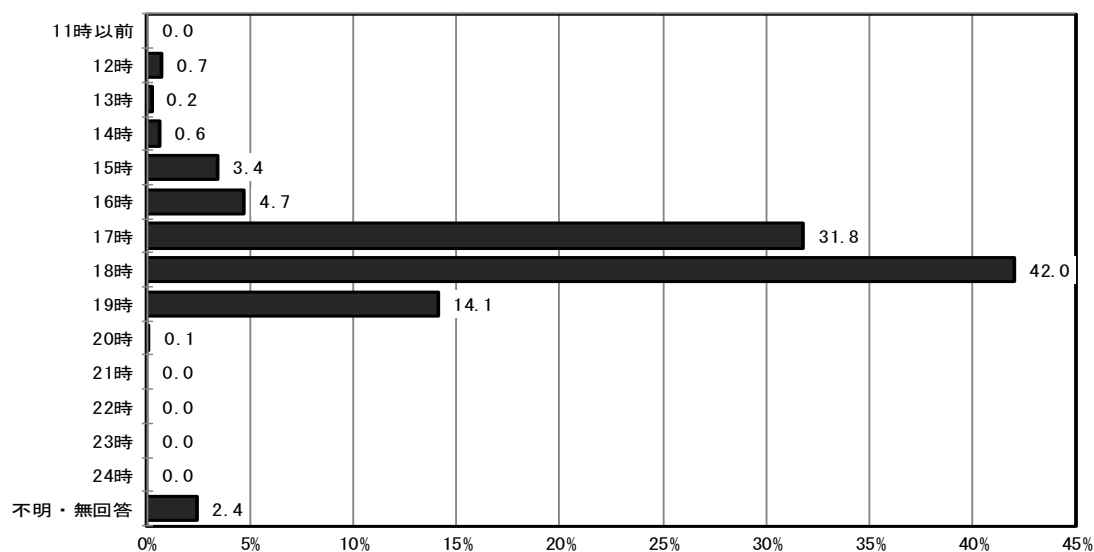
今回(令和5年度)

N=474



前回(平成30年度)

N=586



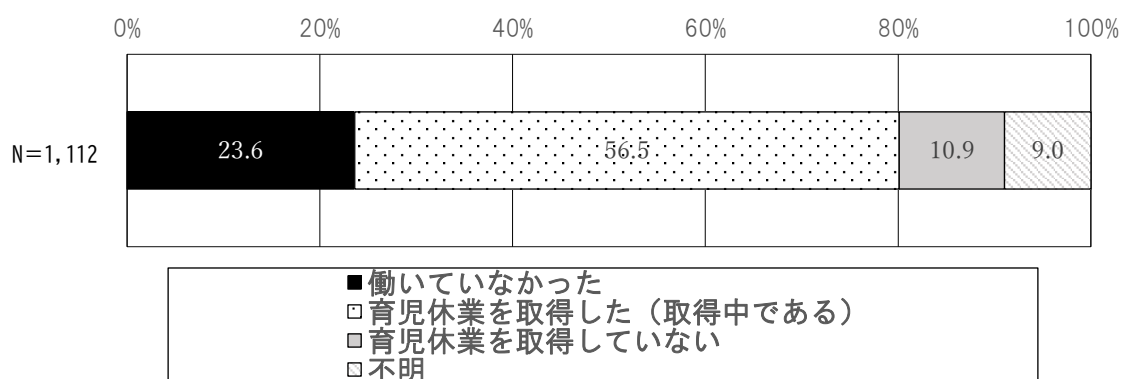
9. 育児休業や短時間勤務制度などの職場との両立について

問25(母親)【お子様が生まれた時(その後)、父母のどちらかまたは両方が育児休業を取得しましたか。】

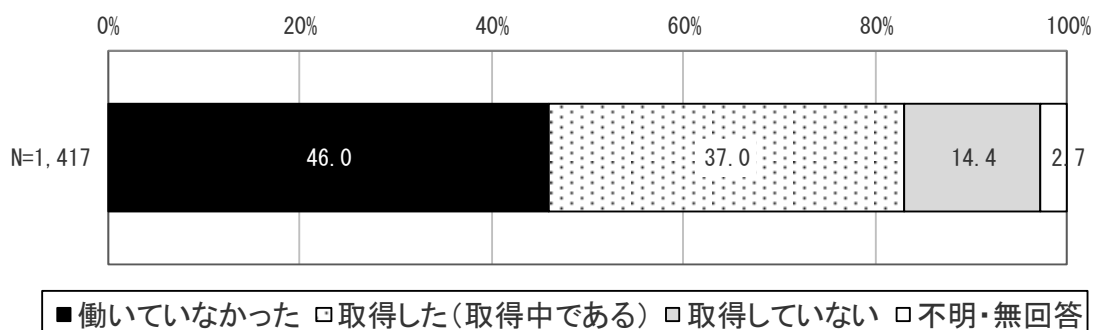
「取得した(取得中である)」が56.5%と最も高くなっています。次いで「働いていなかった」が23.6%、「取得していない」が10.9%と続いています。

前回と比較して「働いていなかった」「育児休業を取得していない」の割合が減少し、「育児休業を取得した」の割合が増加しています。

今回(令和5年度)



前回(平成30年度)



問25(母親)：1【(問25(母親)で③取得していない)取得していない理由】

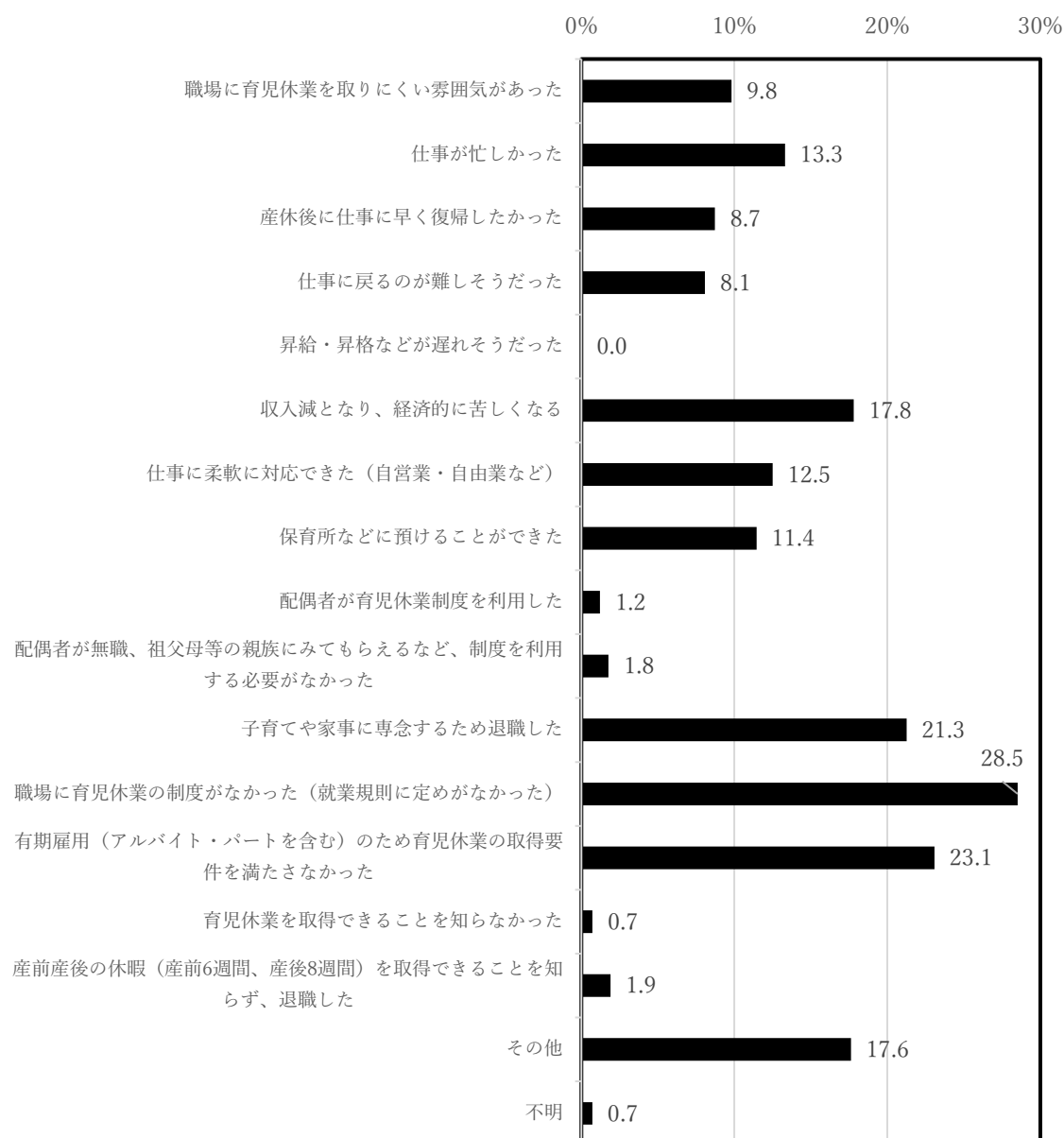
「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が28.5%と最も高くなっています。次いで「有期雇用(アルバイト・パートを含む)のため育児休業の取得要件を満たさなかった」が23.1%、「子育てや家事に専念するため退職した」が21.3%と続いています。

前回と比較して「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が主に減少しています。

「収入源となり、経済的に苦しくなる」「職場に育児休業の制度がなかった」「有期雇用の為育児休業の要件を満たさなかった」が主に増加しています。

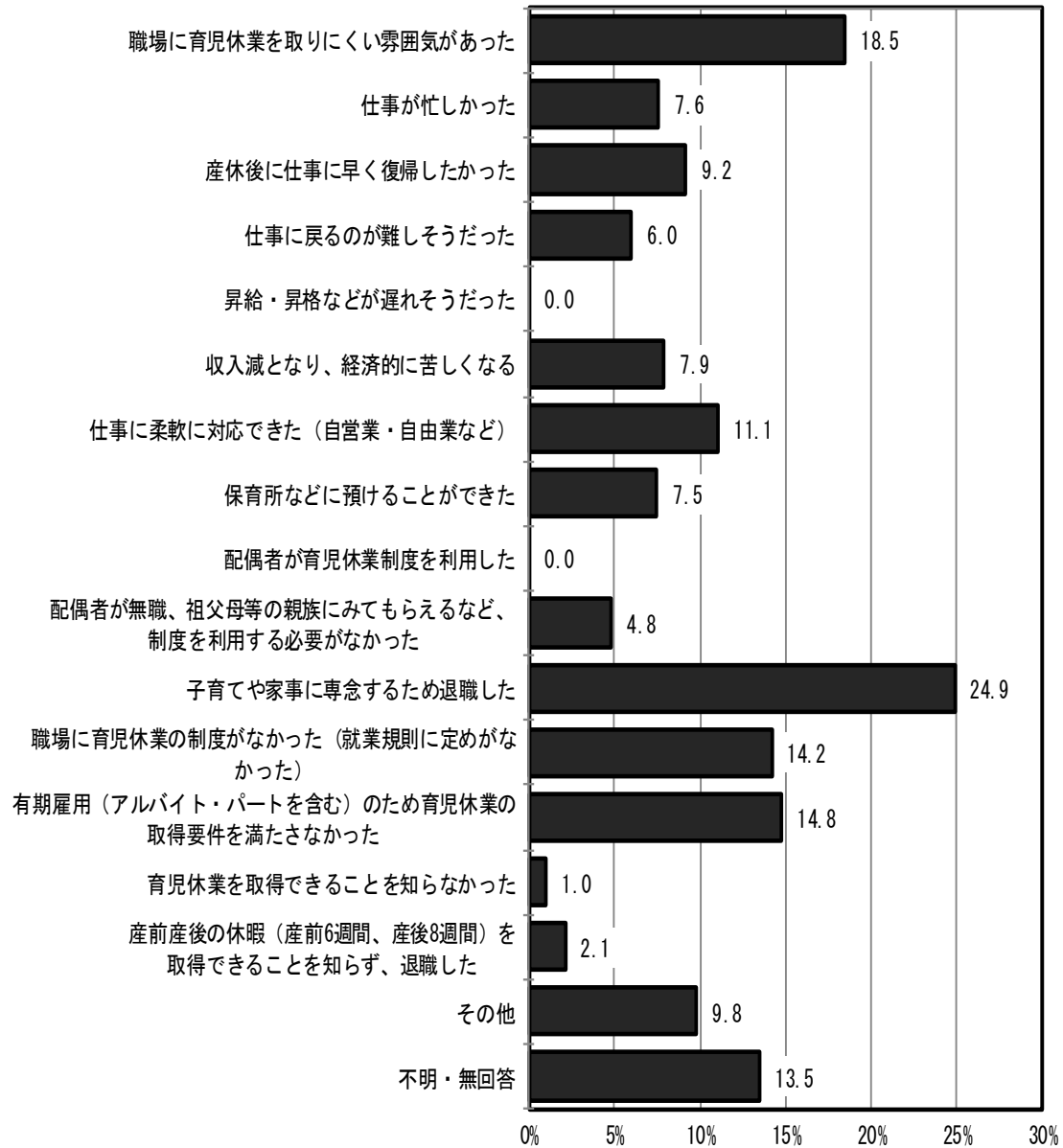
今回(令和5年度)

N=121



前回（平成 30 年度）

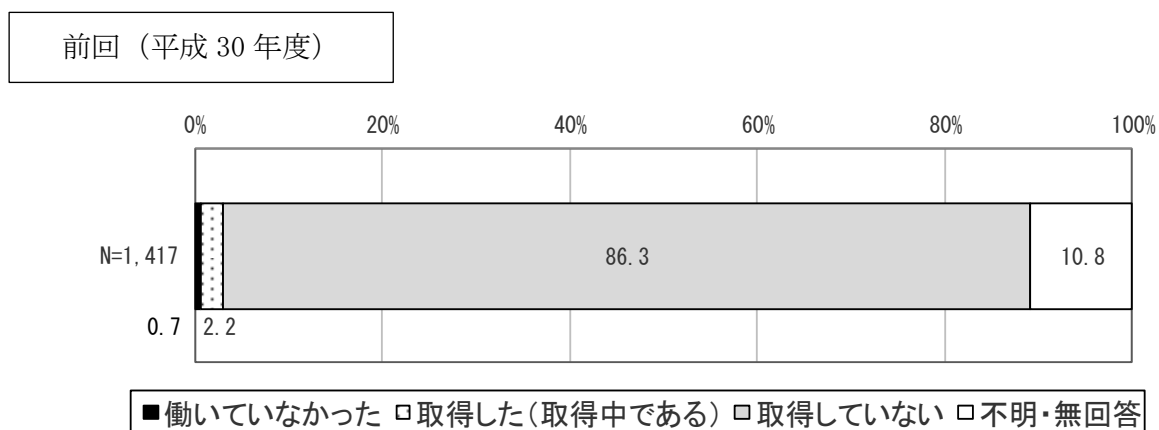
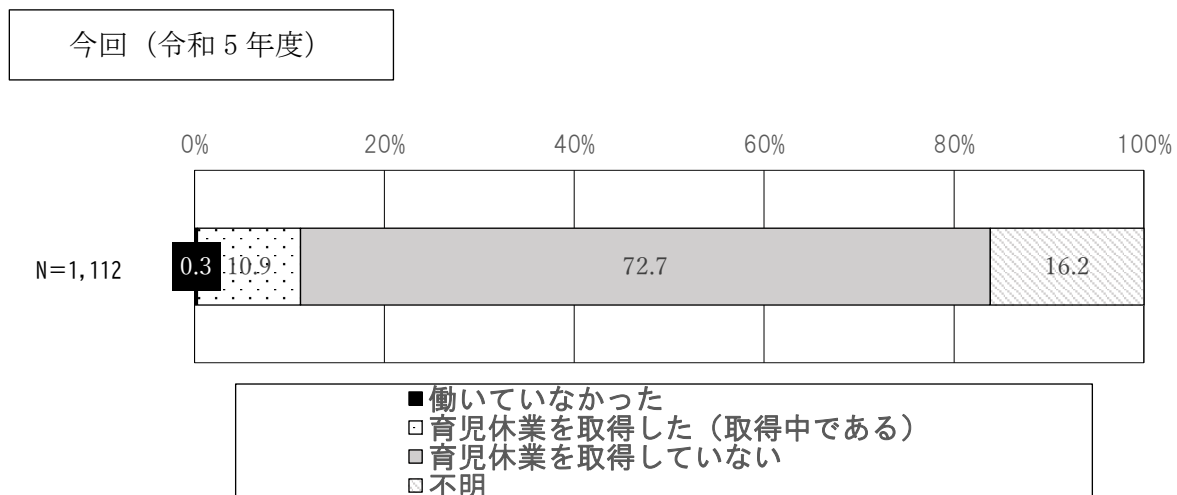
N=220



問25(父親)【お子様が生まれた時(その後)、父母のどちらかまたは両方が育児休業を取得しましたか。】

「取得していない」が72.7%と突出しています。

前回と比較して「育児休業を取得した」の割合が増加しています。

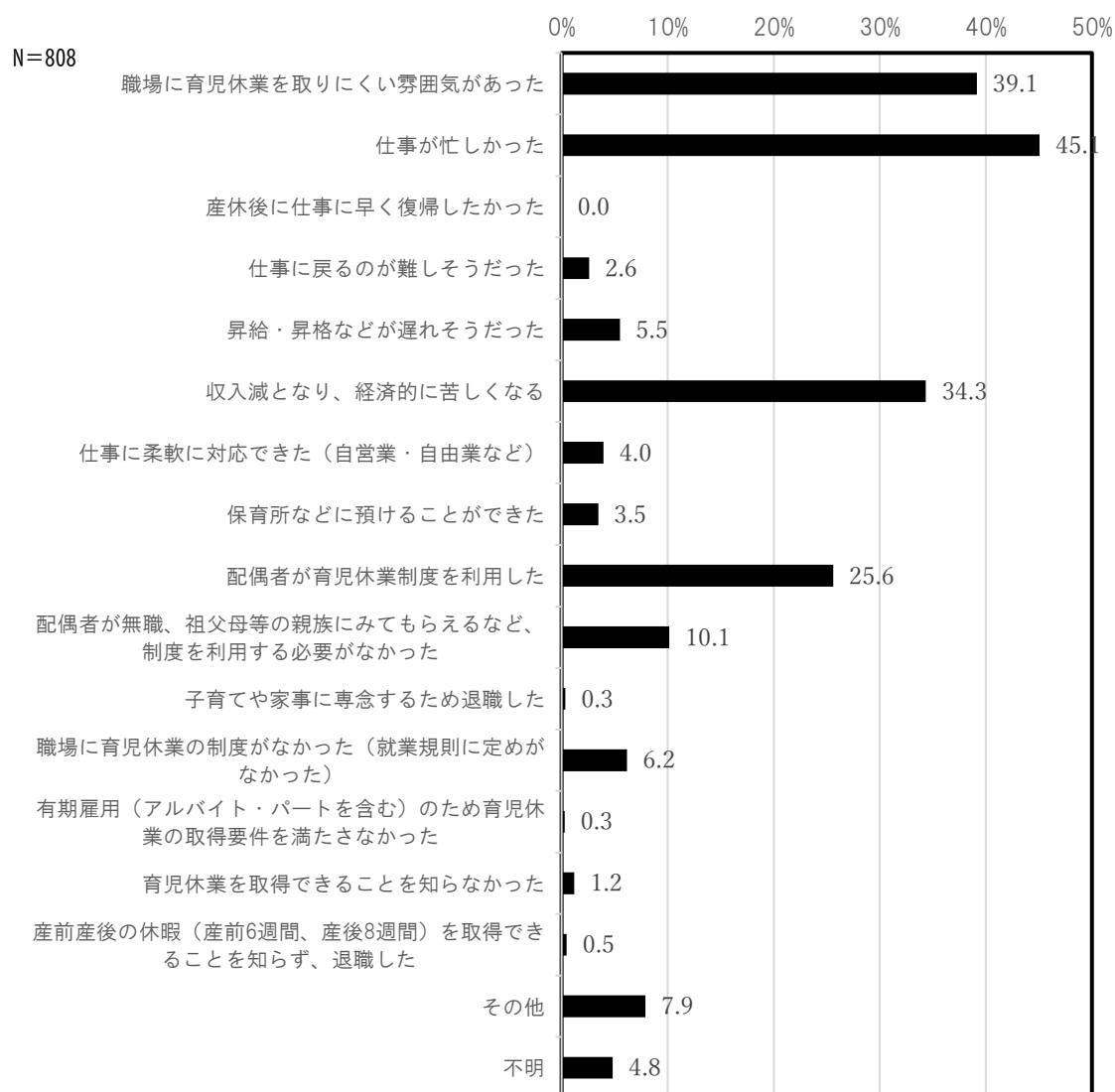


問25(父親)：1【(問25(父親)で③取得していない)取得していない理由】

「仕事が忙しかった」が45.1%と最も高くなっています。次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が39.1%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が34.3%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が25.6%と続いています。

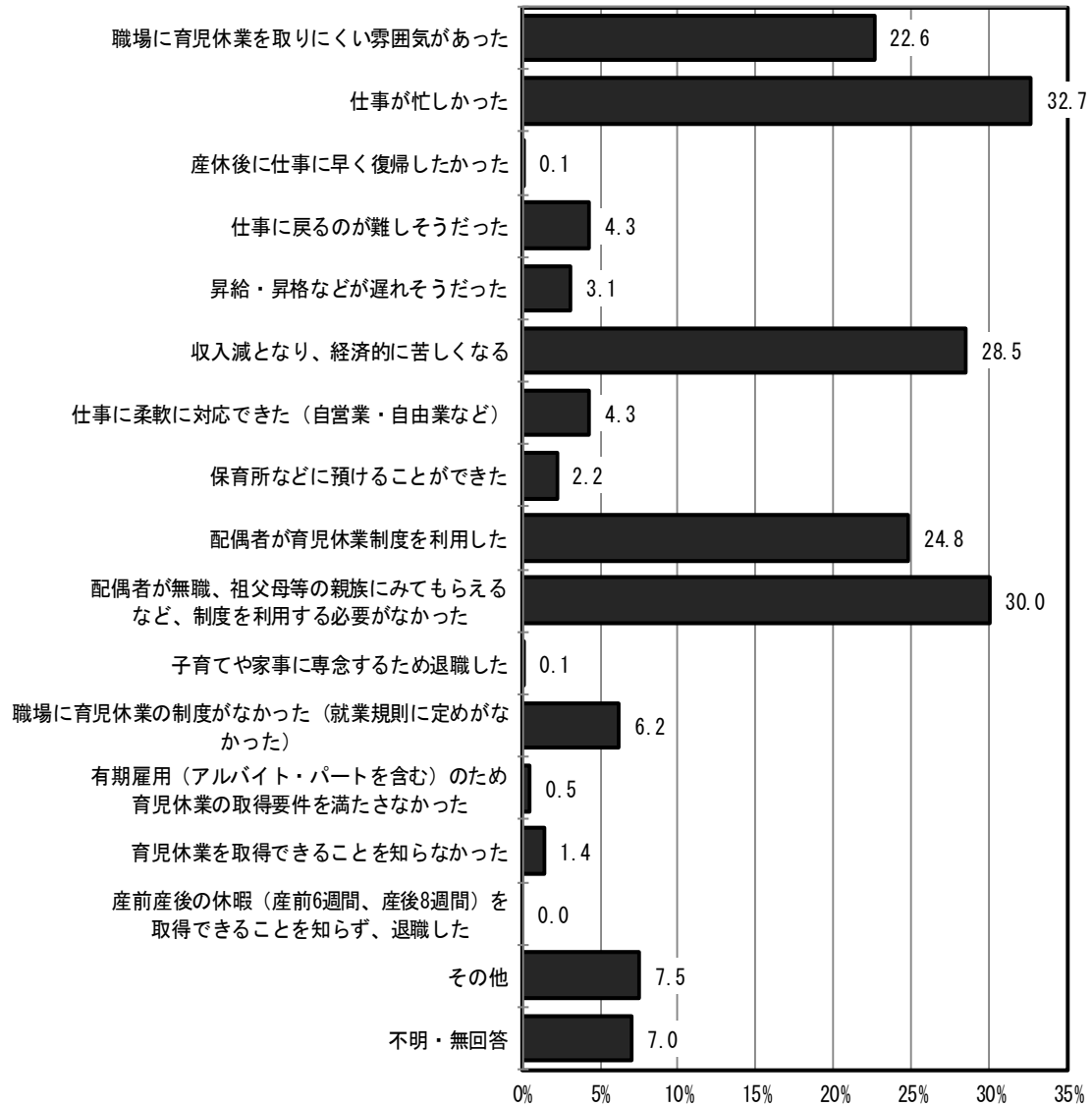
前回と比較して「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「収入源となり、経済的に苦しくなる」の割合が主に増加しています。「配偶者が無職、祖父母等に見てもらえるなど制度を利用する必要がなかった」の割合が大幅に減少しています。

今回（令和5年度）



前回（平成 30 年度）

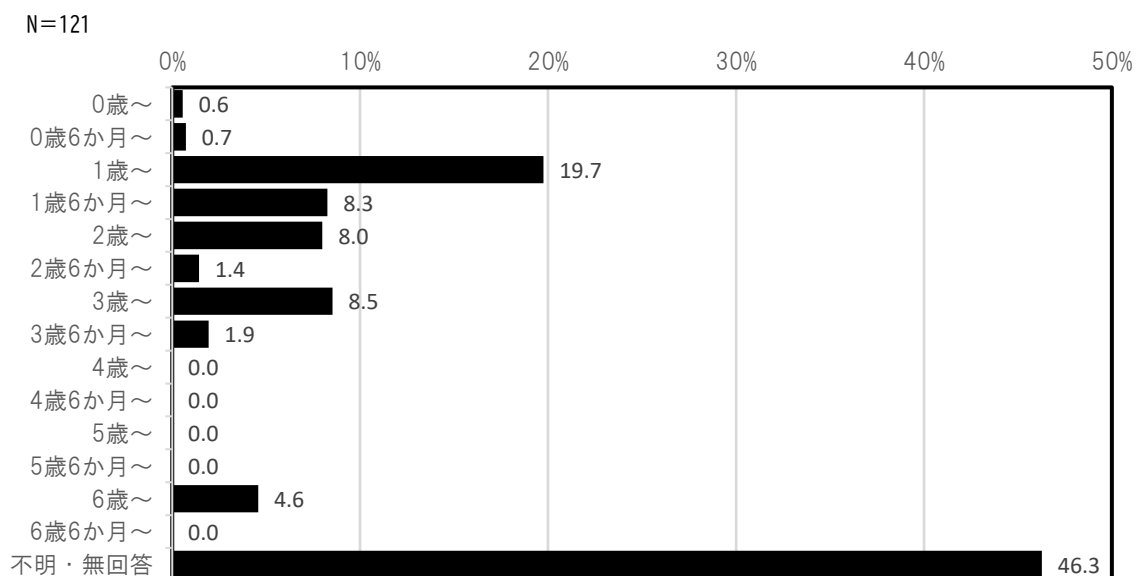
N=1,239



育児休業を取得していない方（問 25 で「3. 育児休業を取得していない」を選択した方）にうかがいます。

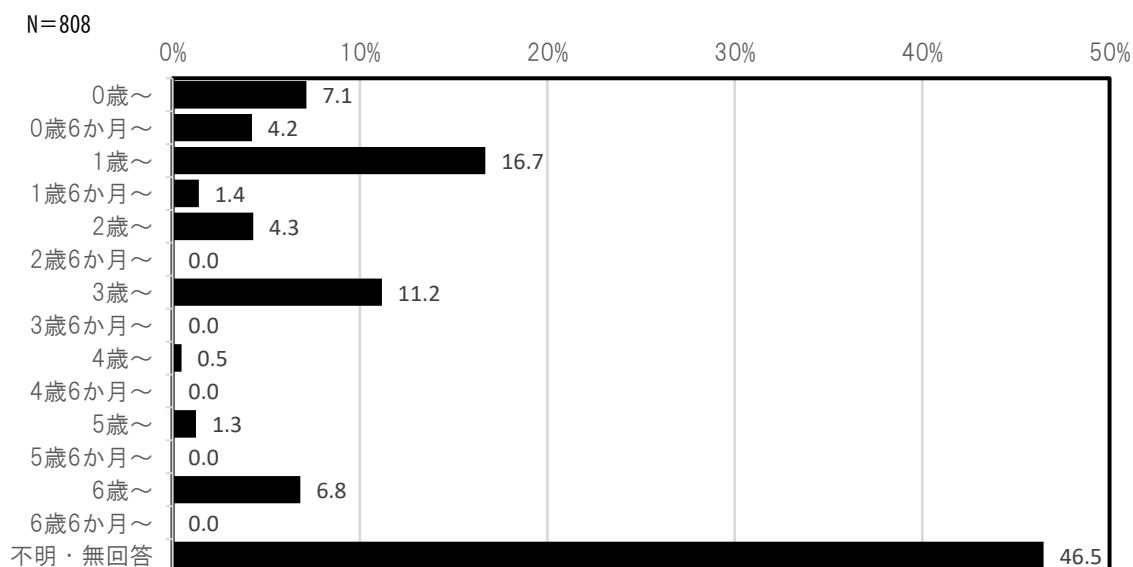
問25-1（母親）【仮に育児休業が取得できた場合、お子様が何歳何か月のときに職場復帰したいと思いますか。】（数量）

「1歳～」が19.7%で最も高くなっています。次いで「3歳～」が8.5%、「1歳6か月～」が8.3%で続いています。※前回調査結果が報告されていません



問25-1（父親）【仮に育児休業が取得できた場合、お子様が何歳何か月のときに職場復帰したいと思いますか。】（数量）

「1歳～」が16.7%で最も高くなっています。次いで「3歳～」が11.2%、「0歳～」が7.1%で続いています。※前回調査結果が報告されていません



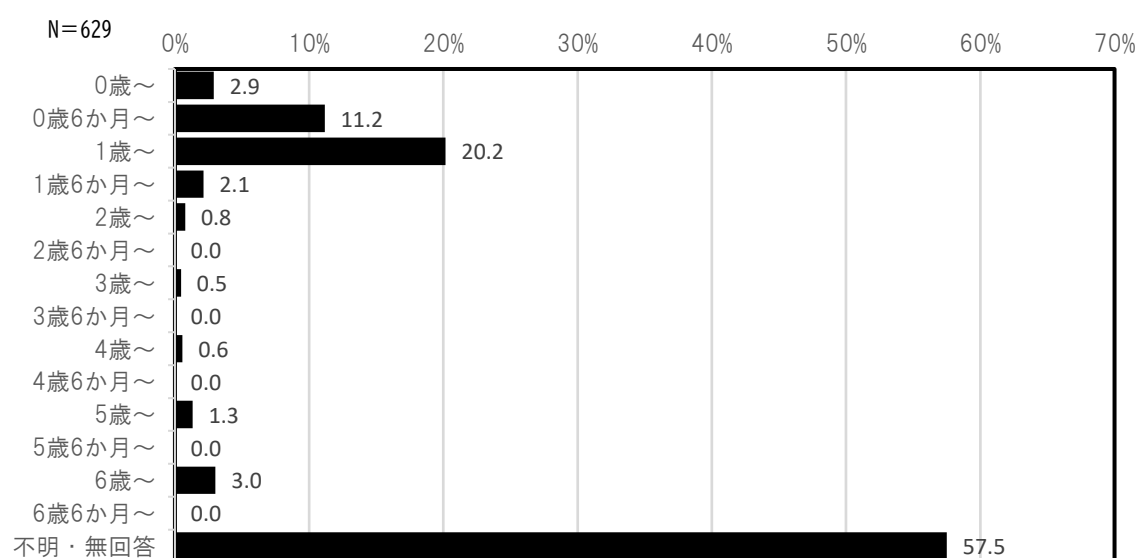
育児休業を取得した方(問 25 で「2. 取得した(取得中である)」を選択した方)にうかがいます。

問25-2(母親)【(実際の復帰)育児休業からは「実際」にお子様が何歳何か月の時に職場復帰しましたか。また「希望」はどうでしたか。】 (数量)

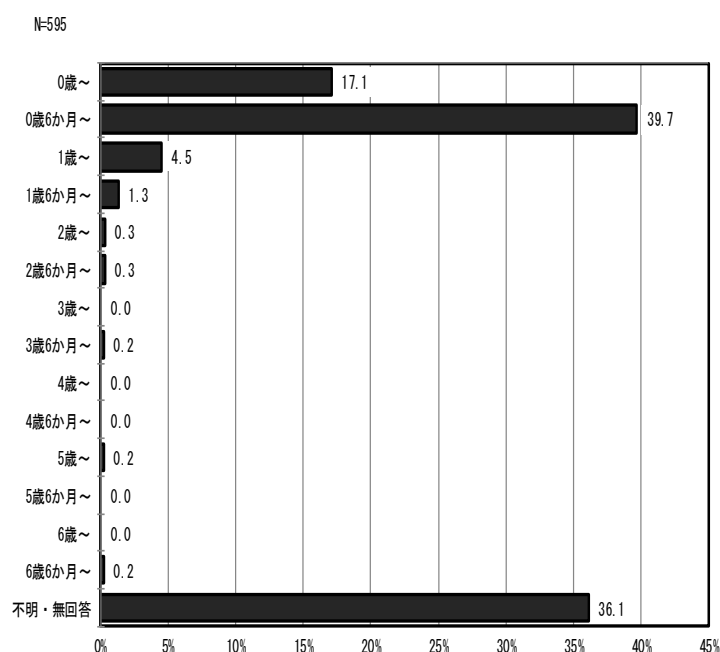
「1歳～」が20.2%で最も高くなっています。次いで「0歳6か月～」が11.2%、「6歳～」が3.0%が続いています。

前回と比較して「6か月まで」の割合が減少し「1歳以降」の割合が増加しています。

今回(令和5年度)



前回(平成30年度)



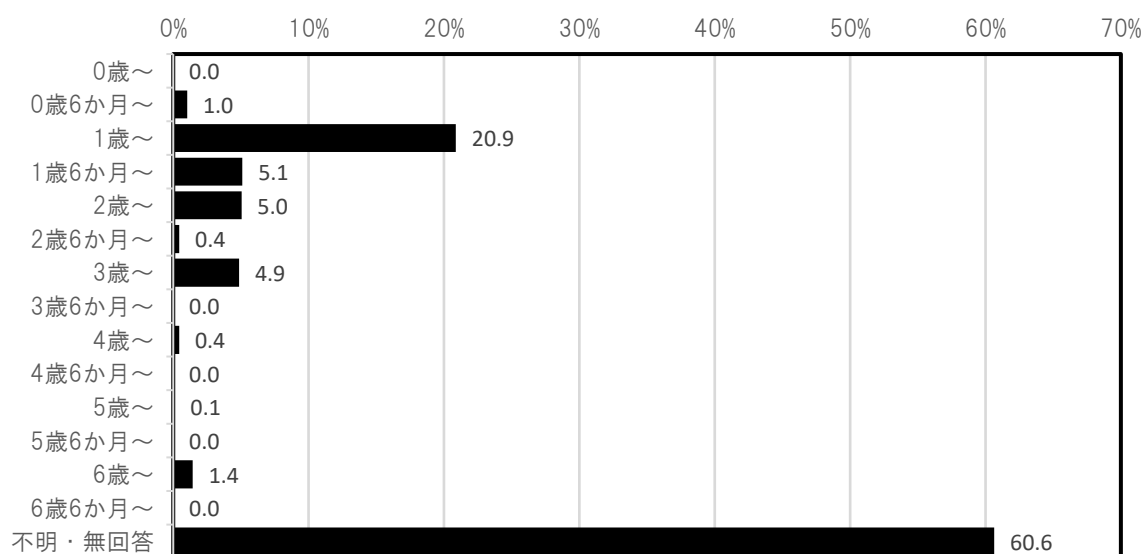
問25-2(母親)【(希望) 育児休業からは「実際」にお子様は何歳何か月の時に職場復帰しましたか。また「希望」はどうでしたか。】 (数量)

「1歳から」が20.9%で最も高くなっています。次いで「1歳6か月～」が5.1%、「2歳～」が5.0%で続いています。

前回と比較して「6か月まで」の割合が減少し「1歳以降」の割合が増加しています。

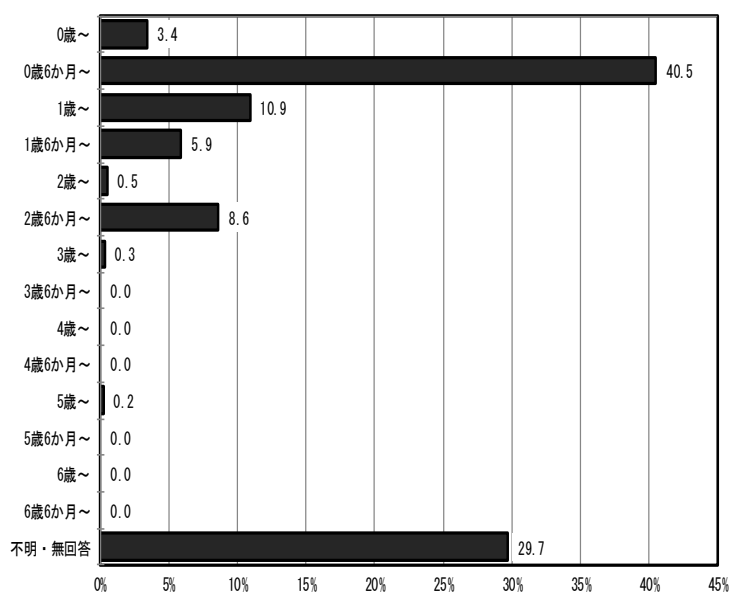
今回 (令和5年度)

N=629



前回 (平成30年度)

N=595



育児休業を取得した方(問 25 で「2. 取得した(取得中である)」を選択した方)にうかがいます。

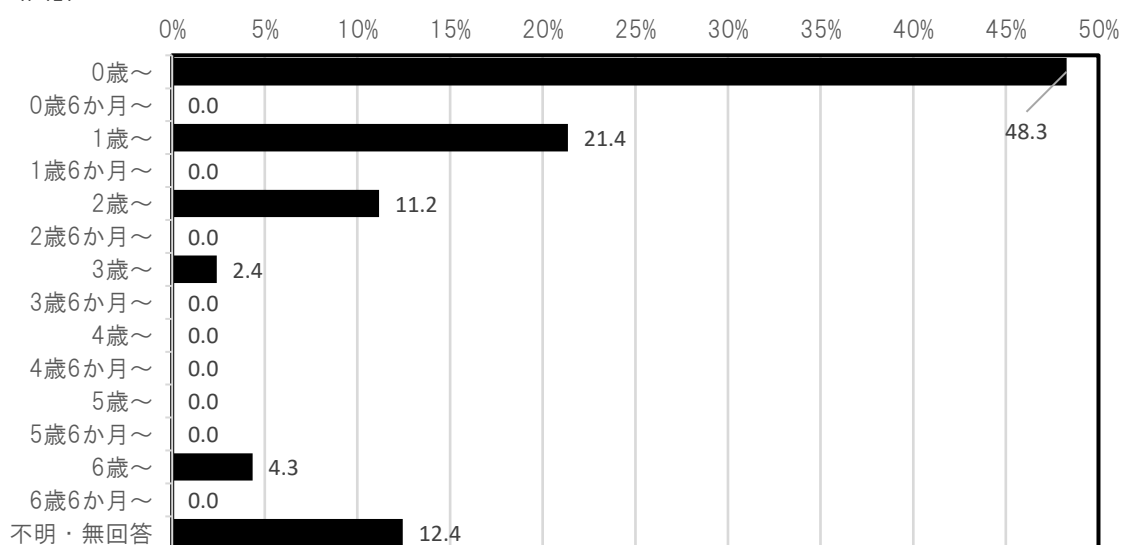
問25-2(父親)【(実際の復帰) 育児休業からは「実際」にお子様は何歳何か月の時に職場復帰しましたか。また「希望」はどうでしたか。】(数量)

「0歳～」が48.3%で最も高くなっています。次いで「1歳」が21.4%が続いています。

前回と比較して、前回にはなかった「1歳以降」の回答がありました。

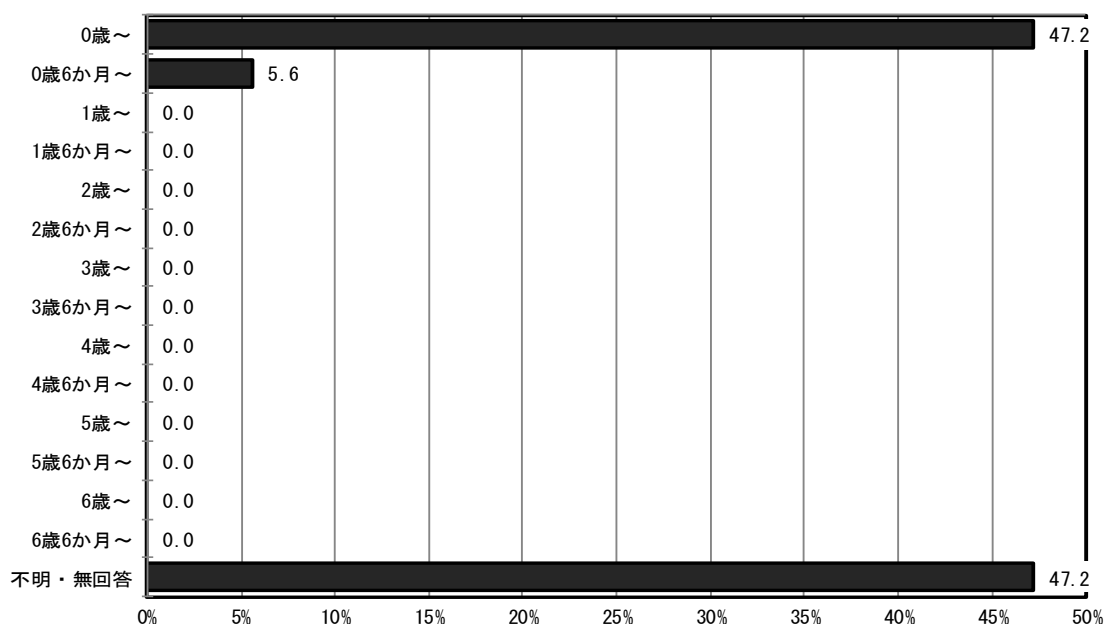
今回(令和5年度)

N=121



前回(平成30年度)

N=36



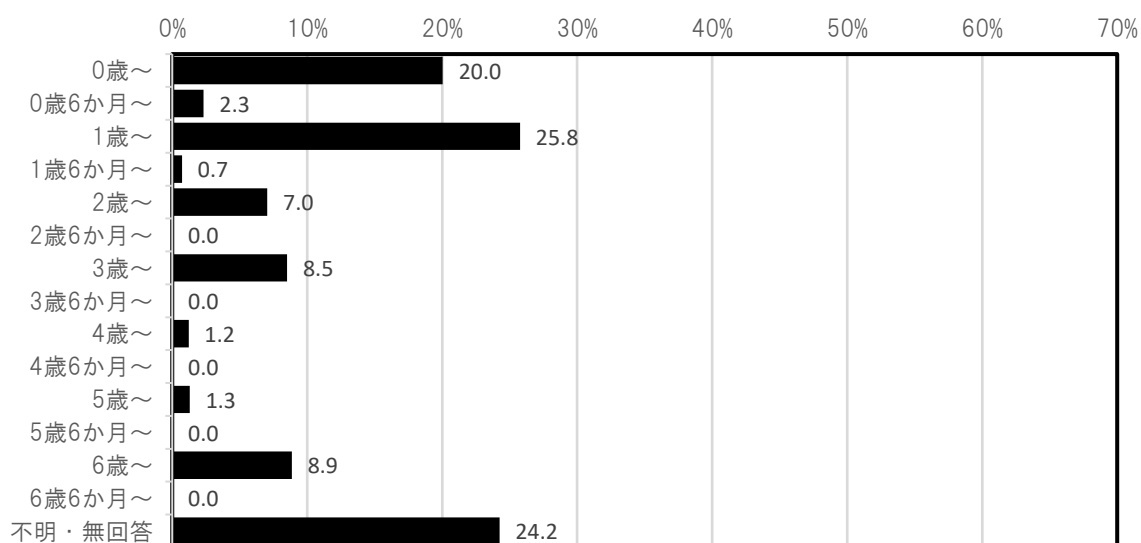
問25-2(父親)【(希望)育児休業からは「実際」にお子様は何歳何か月の時に職場復帰しましたか。また「希望」はどうでしたか。】(数量)

「1歳～」が25.8%で最も高くなっています。次いで「0歳～」が20.0%が続いています。

前回と比較して、前回には殆どなかった「1歳以降」の回答がありました。

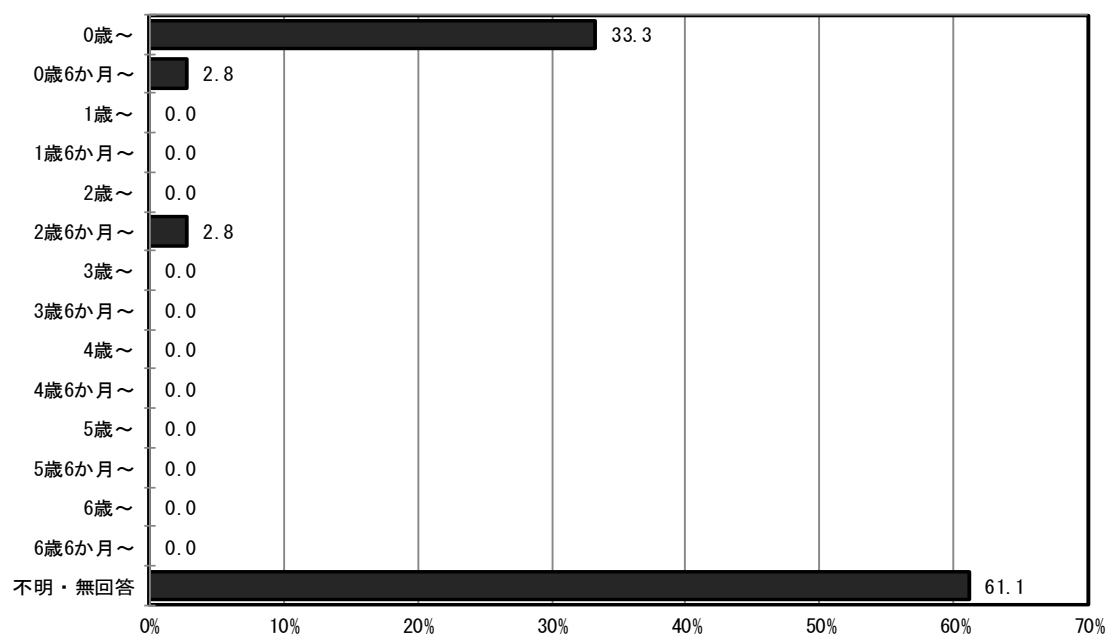
今回(令和5年度)

N=121



前回(平成30年度)

N=36



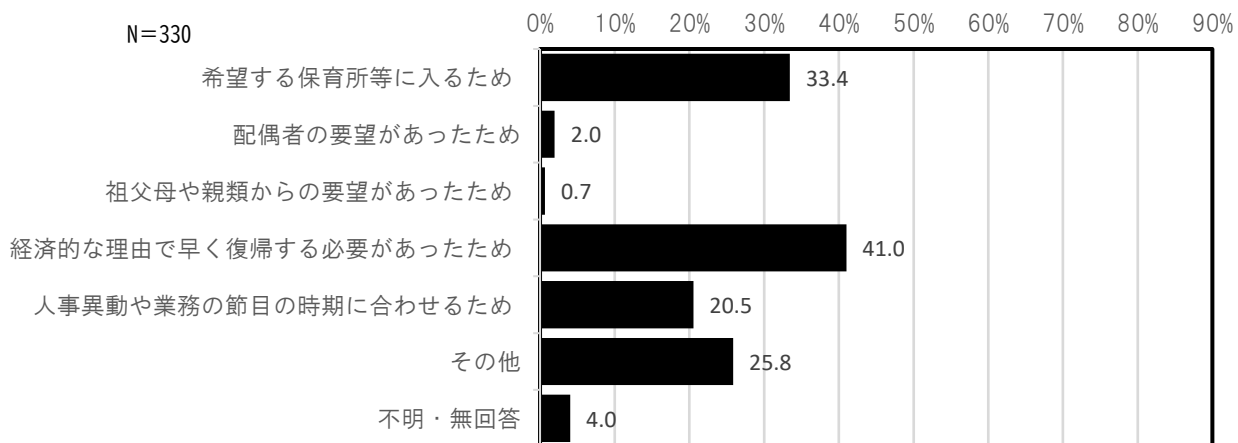
問 25-2 で実際の取得期間と復帰希望が異なる方にうかがいます。

問25-2-①-1(母親)【(希望より早く復帰)希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお答えください。】

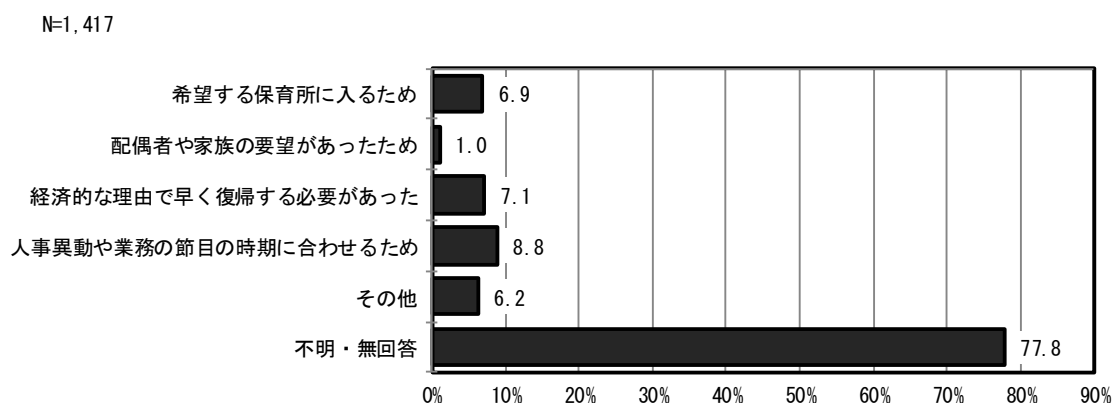
「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 41.0%で最も高くなっています。次いで、「希望する保育所に入るため」が 33.4%で続いていて、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 20.5%となっています。

前回とデータの取り方が異なりますが「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が増加し「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が減少しています

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）



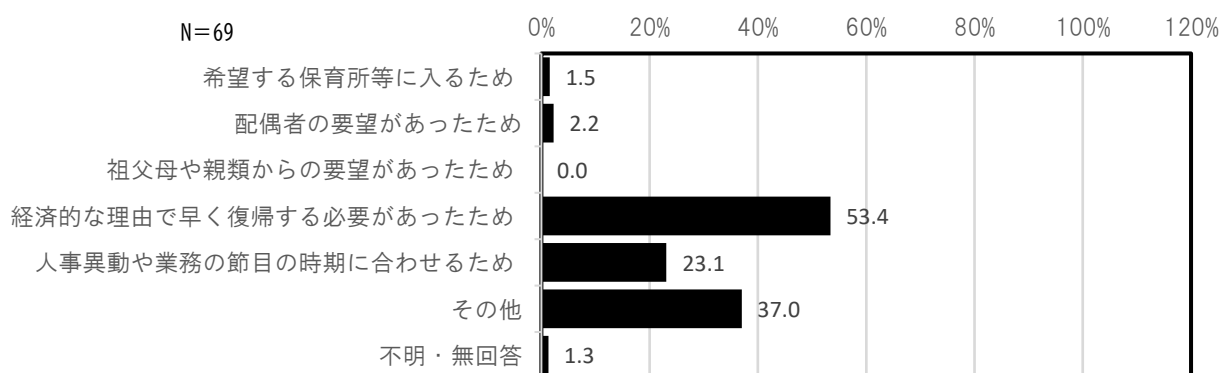
問 25-2 で実際の取得期間と復帰希望が異なる方にうかがいます。

問25-2-①-1(父親)【(希望より早く復帰)希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお答えください。】

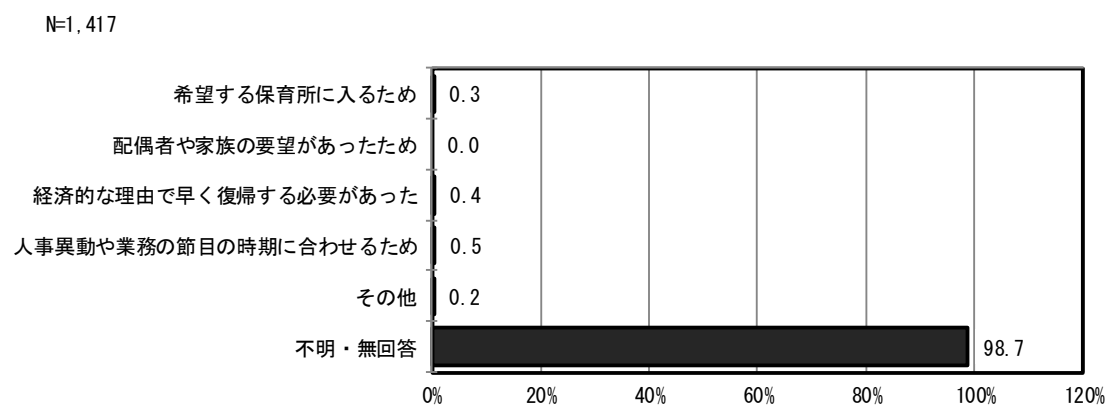
「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 53.4%で最も高くなっています。次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 23.1%で続いています。また、「その他」37.0%と 3 割を超えて様々な要因も増えてきています。

前回データとの比較はできませんでした。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）



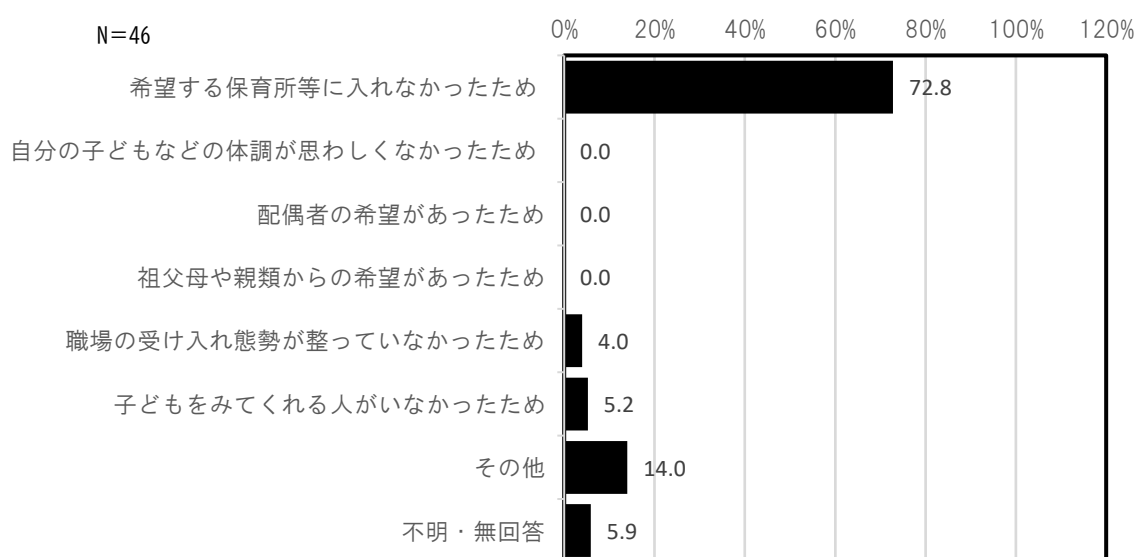
問 25-2 で実際の取得期間と復帰希望が異なる方にうかがいます。

問25-2-①-2(母親)【(希望より遅く復帰)希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお答えください。】

「希望する保育所に入れなかったため」が72.8%で最も高くなっています。次いで「子どもをみてる人がいなかったため」が5.2%、「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」が4.0%で続いています。

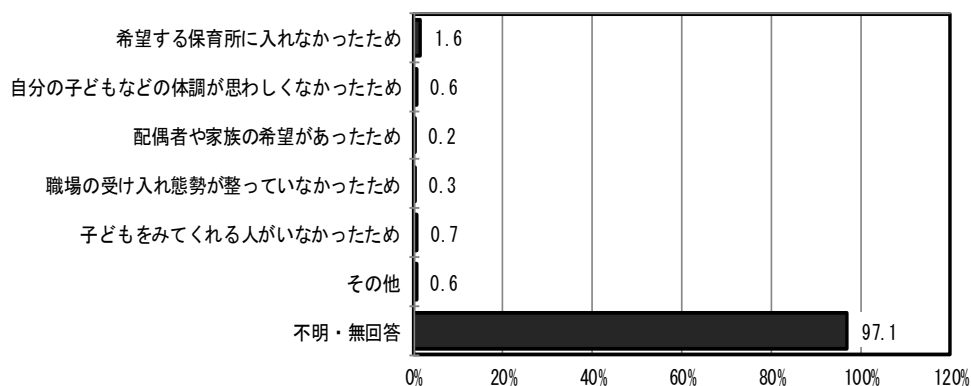
前回データとの比較はできませんでした。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

N=1,417



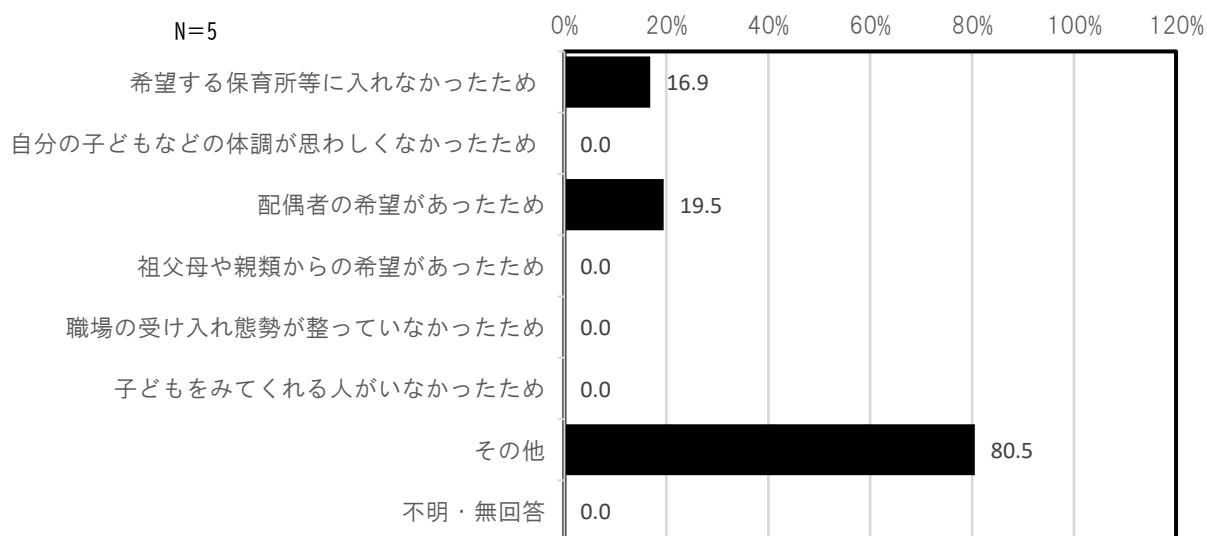
問 25-2 で実際の取得期間と復帰希望が異なる方にうかがいます。

問25-2-①-2(父親)【(希望より遅く復帰)希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお答えください。】

「配偶者の希望があったため」が 19.5%、「希望する保育所等に入れなかったため」が 16.9% となっています。

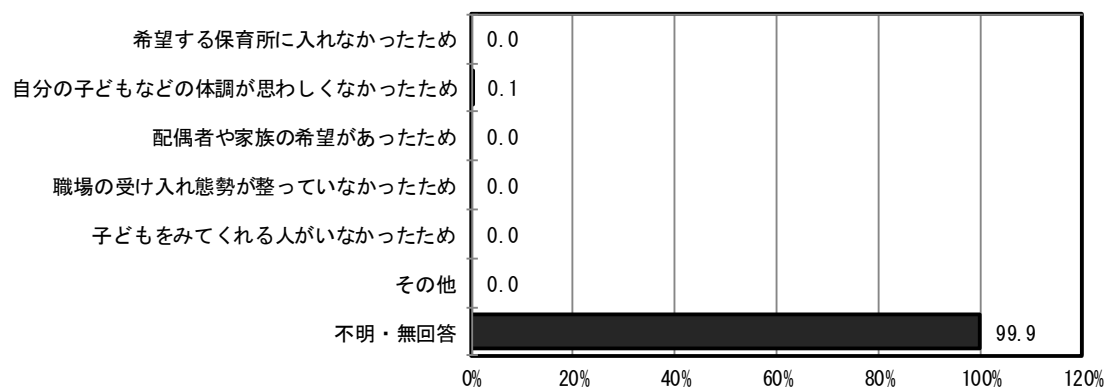
前回データとの比較はできませんでした。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

N=1,417



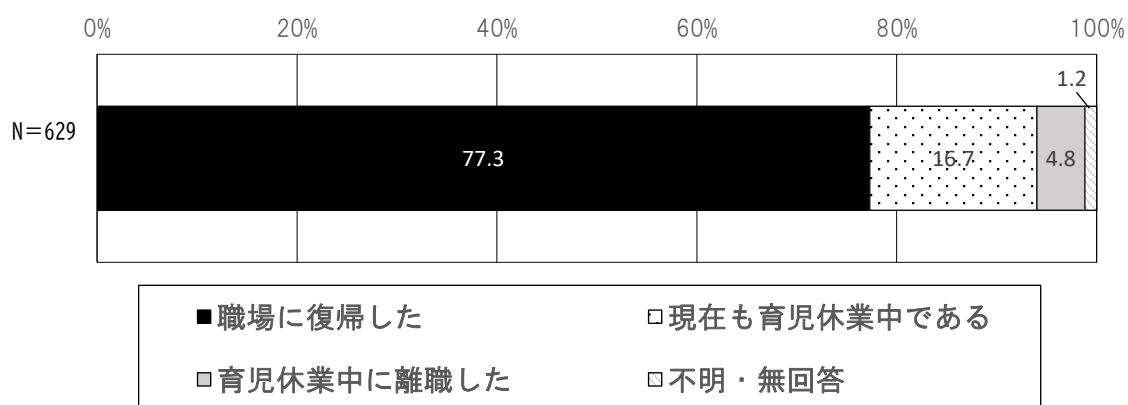
育児休業を取得した方(問 25 で「2. 取得した」を選択した方)にうかがいます。

問25-3(母親)【育児休業取得後、職場に復帰しましたか。】

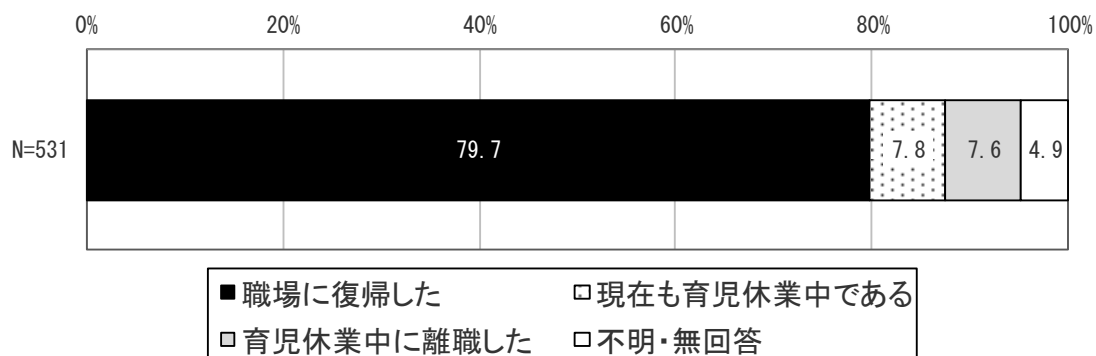
「職場に復帰した」が 77.3%で突出しています。

前回と比較して「現在も育児休業中である」の割合が増加し「育児休業中に離職した」の割合が減少しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）



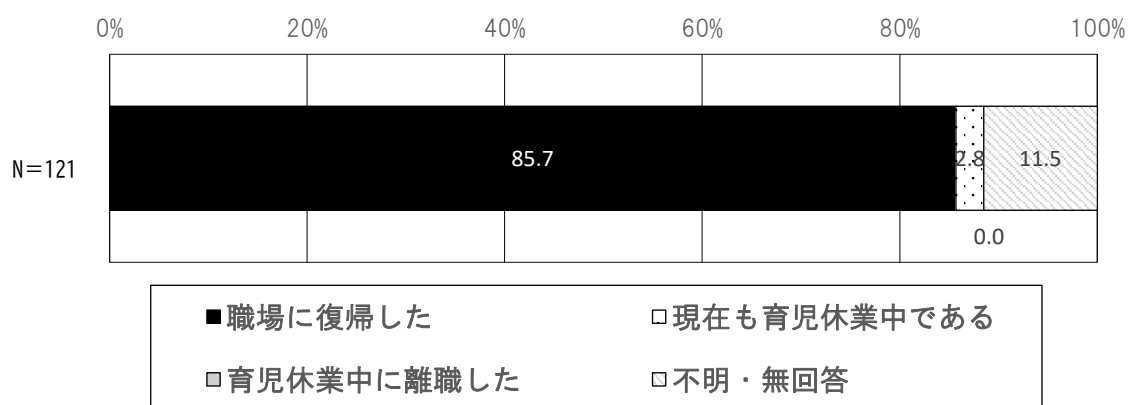
育児休業を取得した方(問 25 で「2. 取得した」を選択した方)にうかがいます。

問25-3(父親)【育児休業取得後、職場に復帰しましたか。】

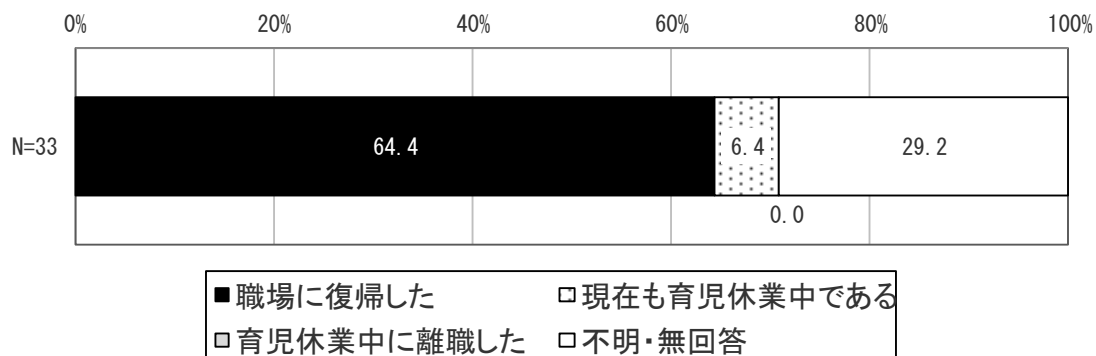
「職場に復帰した」が 85.7%で突出しています。

前回と比較して「現在も育児休業中である」の割合が減少しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）



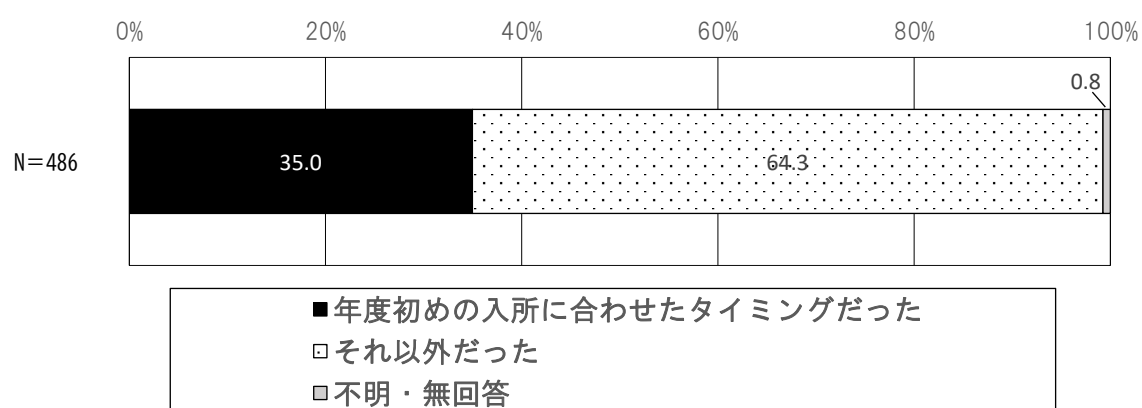
問 25-3 で「1. 職場に復帰した」を選択した方にうかがいます。

問25-3-①(母親)【育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等入所に合わせたタイミングでしたか。】

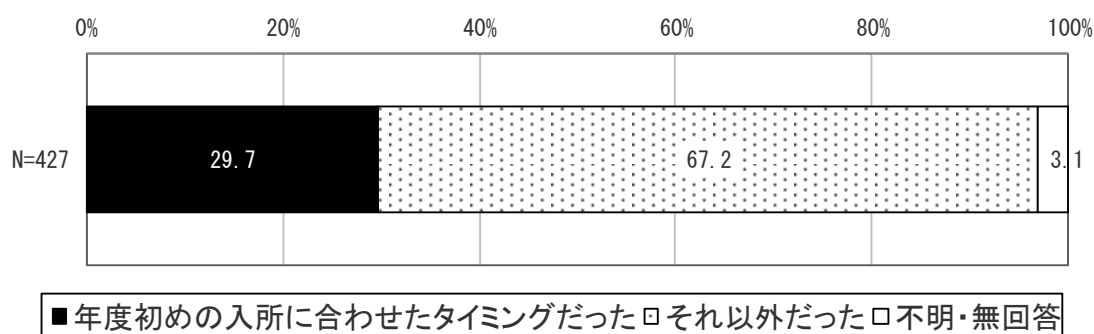
「それ以外だった」が 64.3%を占めています。「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 35.0%で続いています。

前回と比較して「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が増加しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）



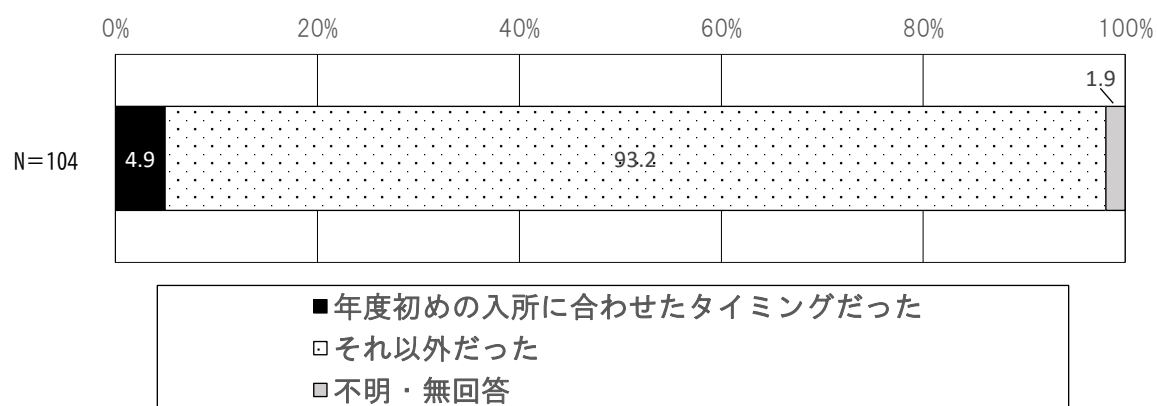
問 25-3 で「1. 職場に復帰した」を選択した方にうかがいます。

問25-3-①(父親)【育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等入所に合わせたタイミングでしたか。】

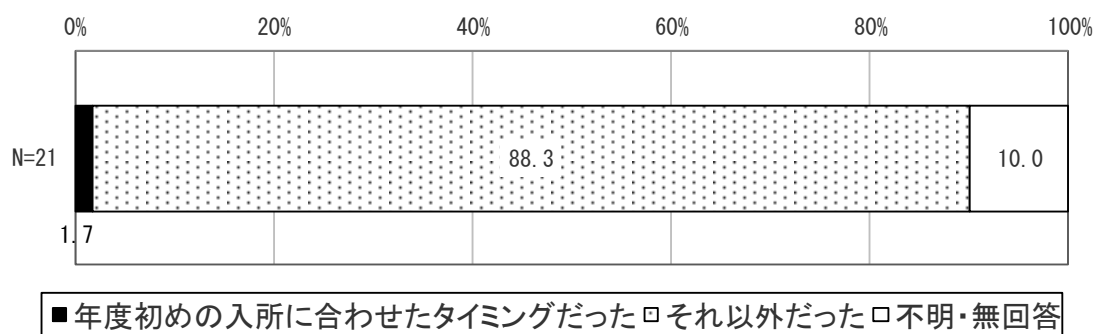
「それ以外だった」が 93.2%で突出しています。

前回と比較して「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が増加しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）



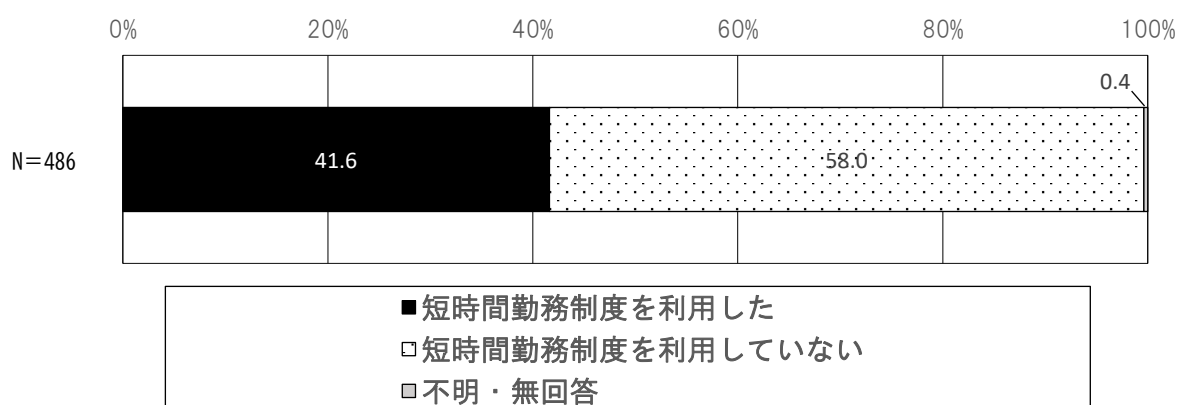
問 25-3 で「1. 職場に復帰した」を選択した方にうかがいます。

問25-3-②(母親)【職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。】

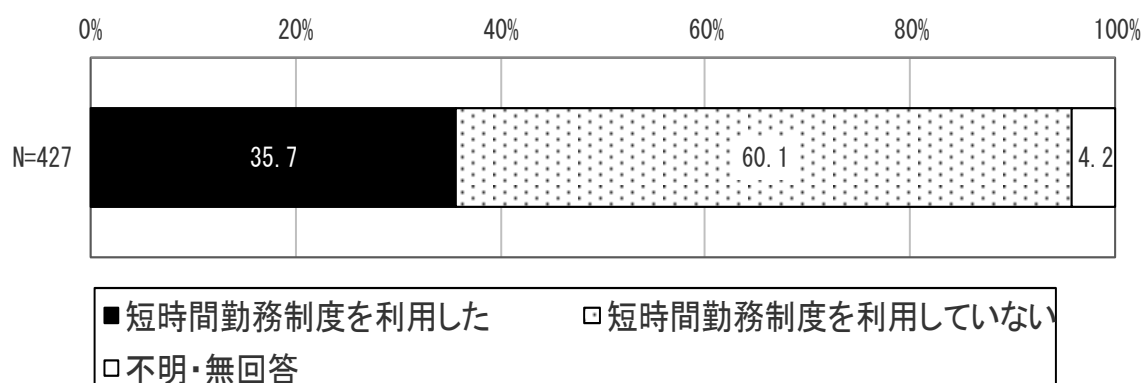
「短時間勤務制度を利用していない」が 58.0%を占めています。「短時間勤務制度を利用した」が 41.6%で続いています。

前回と比較して「短時間勤務制度を利用した」の割合が増加しています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

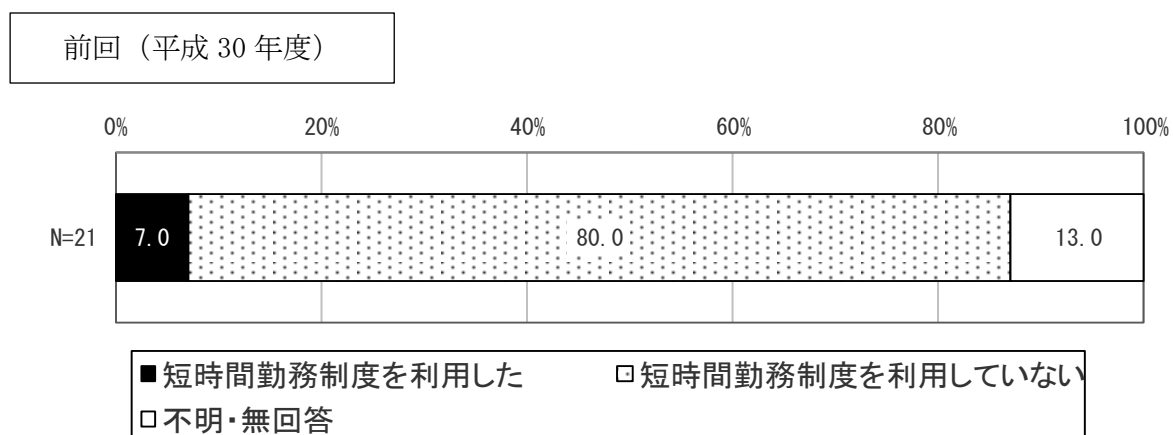
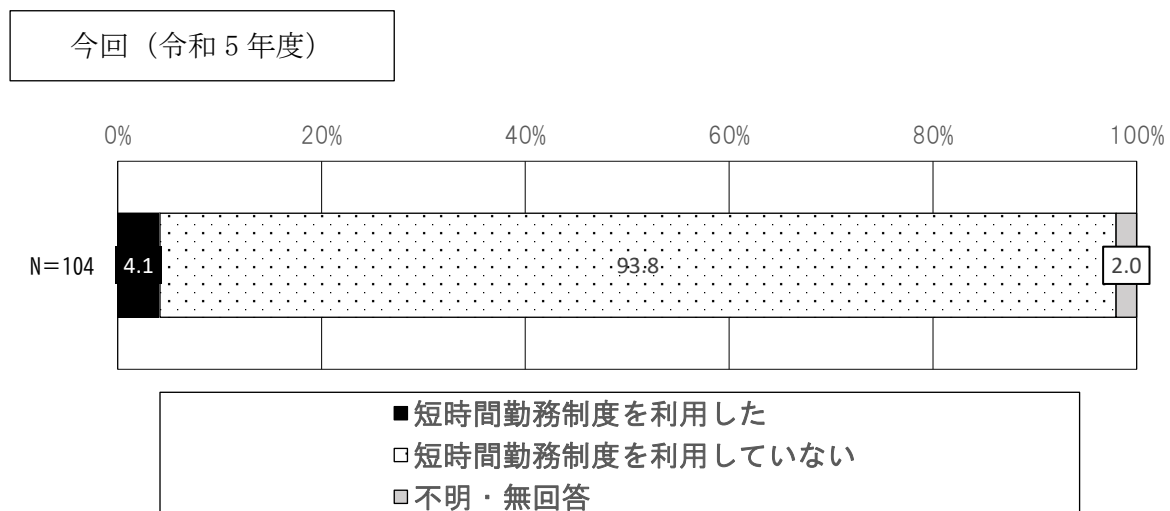


問 25-3 で「1. 職場に復帰した」を選択した方にうかがいます。

問25-3-②(父親)【職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。】

「短時間勤務制度を利用していない」が 93.8%で突出しています。

前回と比較して「年短時間勤務制度を利用した」の割合が減少しています。



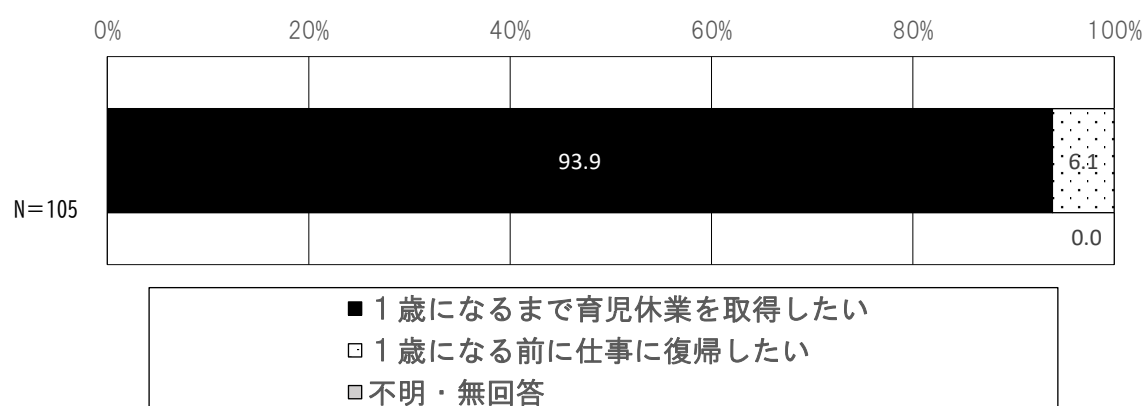
現在も育児休業中の方で（問 25-3 で「2. 現在も育児休業中である」を選択した方にうかがいます。

問25-3-③(母親)【お子様が1歳になったときに必ず利用できる保育所等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる保育所等があっても1歳になる前に復帰しますか。】

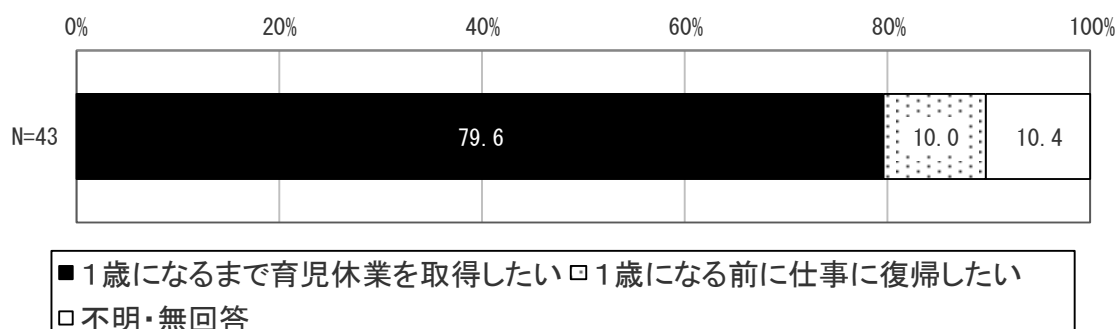
「1歳になるまで育児休業を取得したい」が93.9%で突出しています。

前回と比較して「1歳になる前に仕事に復帰したい」の割合が減少しています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

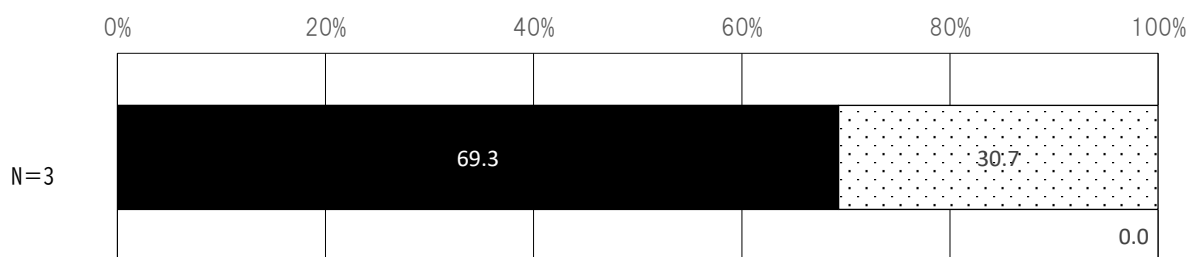


現在も育児休業中の方で（問 25-3 で「2. 現在も育児休業中である」を選択した方にうかがいます。

問25-3-③（父親）【お子様が1歳になったときに必ず利用できる保育所等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる保育所等があっても1歳になる前に復帰しますか。】

回答は3件でした。（前回は回答ありませんでした）

今回（令和5年度）



- 1歳になるまで育児休業を取得したい
- 1歳になる前に仕事に復帰したい
- 不明・無回答

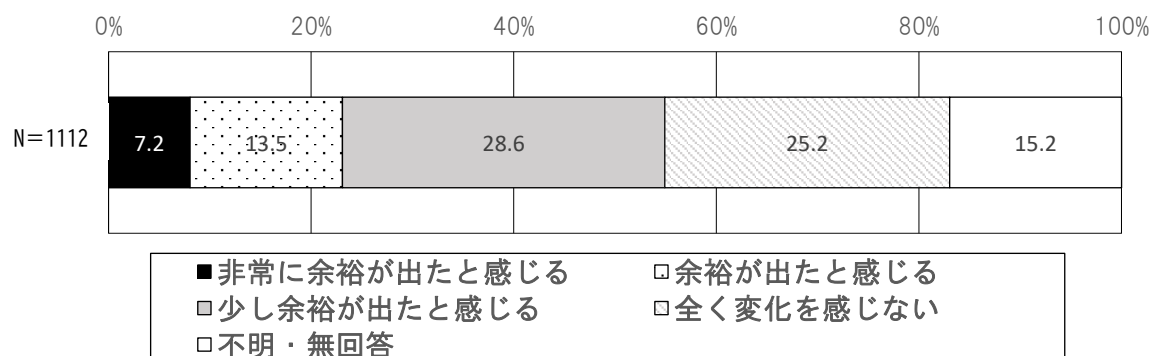
10. 幼児教育・保育無償化に伴う、家計への影響について

問26【令和元年10月から、幼児教育・保育無償化制度が開始され、幼稚園・保育所・認定こども園を利用される3歳から5歳までの全ての子どもの利用料が無償化されましたが、本制度により、家計に余裕がでたという実感はありますか。（1つに○）】

「少し余裕が出たと感じる」が28.6%で最も高くなっています。次いで「全く変化を感じない」が25.2%、「余裕が出たと感じる」が13.5%が続いています。

「少し余裕が出たと感じる」「まったく変化を感じない」との回答が多く、幼児保育・保育無償化による家計への影響自体は限定的であるとの受け止め方でした。

今回（令和5年度）新設問

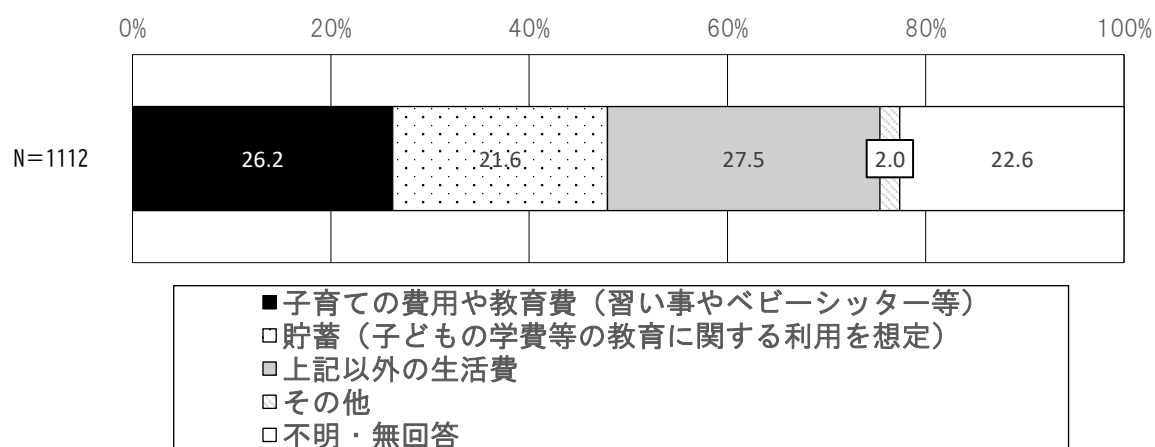


問27【幼児教育・保育無償化分のお金の主な使途は何ですか。（1つに○）】

「上記以外の生活費」が27.5%で最も高くなっています。次いで「子育ての費用や教育費（習い事やベビーシッター等）」が26.2%、「貯蓄（子どもの学費等の教育に関する利用を想定）」が21.6%、「不明・無回答を除くと、半数以上が子どものために利用しているとの回答でした。」

不明・無回答を除くと、半数以上が子どものために利用しているとの回答でした。

今回（令和5年度）新設問



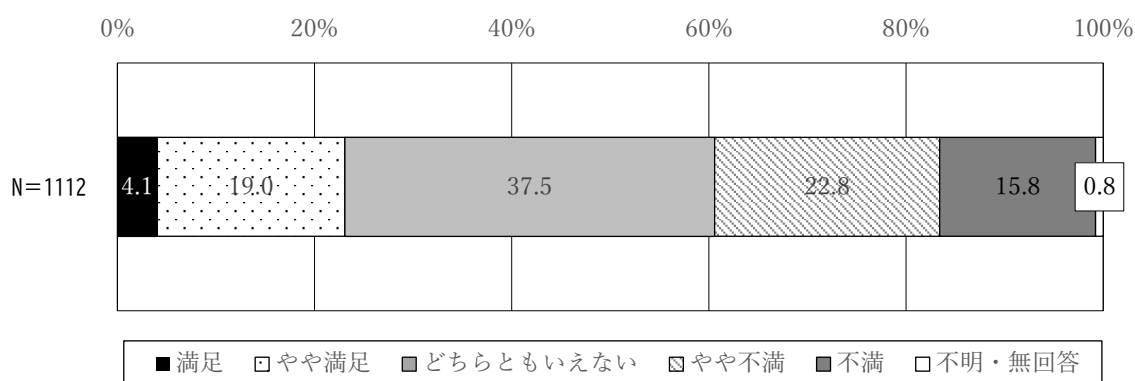
11. これからの子ども・子育て支援全般について

問28 【佐世保市における子育ての環境や支援に全体的に満足していますか。（1つに○）】

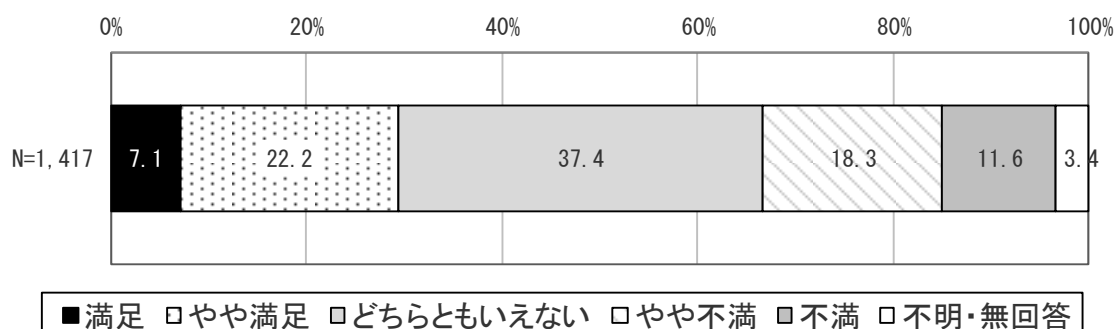
「どちらともいえない」が 37.5%で最も高くなっています。次いで「やや不満」が 22.8%、「やや満足」が 19.0%で続いています。

前回と比較して「満足・やや満足」の割合が減少し「やや不満」「不満」が増加しています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

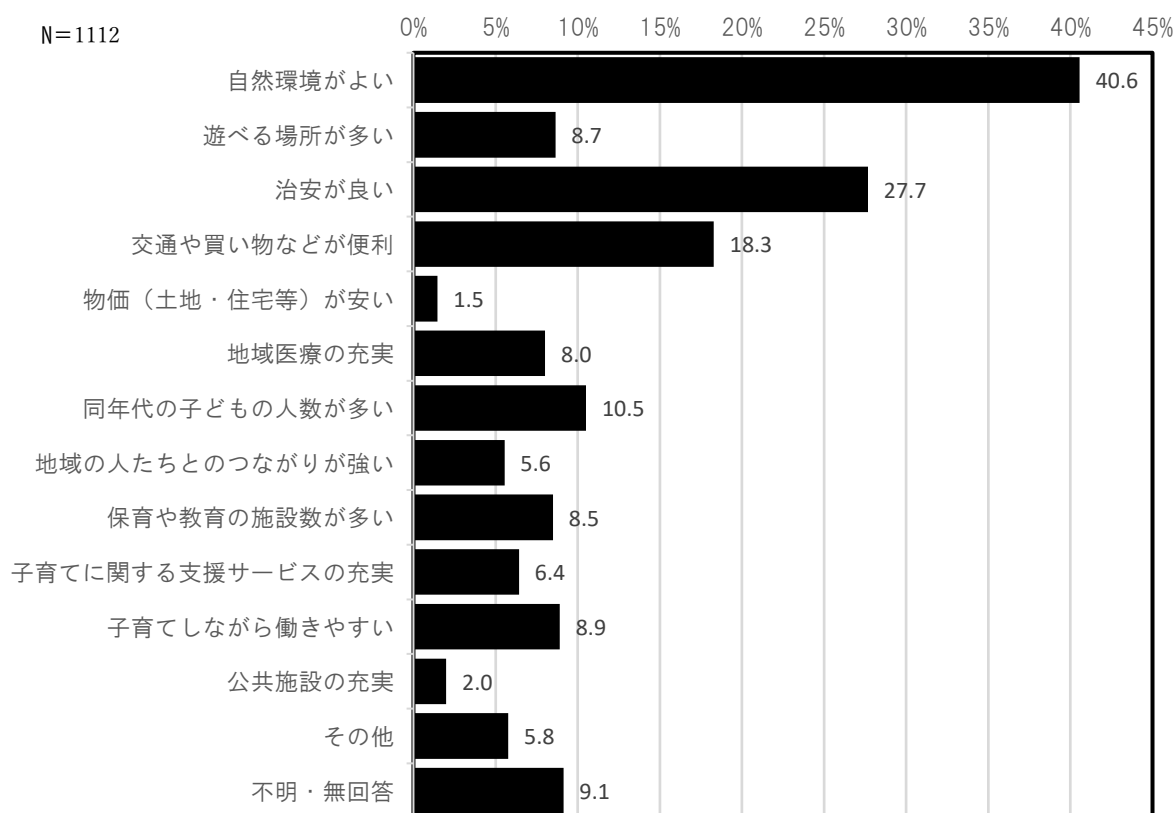


問29【佐世保市における子育ての環境や支援について「満足している点」をお答えください。（あてはまるすべてに○）】

「自然環境がよい」が40.6%で最も高くなっています。次いで「治安が良い」が27.7%、「交通や買い物などが便利」が18.3%が続いています。

前回と比較して「自然環境がよい」「治安が良い」の割合が増加し「遊べる場所が多い」「子育てに関する支援サービスの充実」が減少しています。

今回（令和5年度）



【その他回答の内容】

不満である・あまり満足していない（11）

市役所での対応が親切であった

地域の方々があたたかい目で見てくれていた気がする

自然が多く買い物もできる

人が良い

米軍の子どもたちと供に保育園で学べる

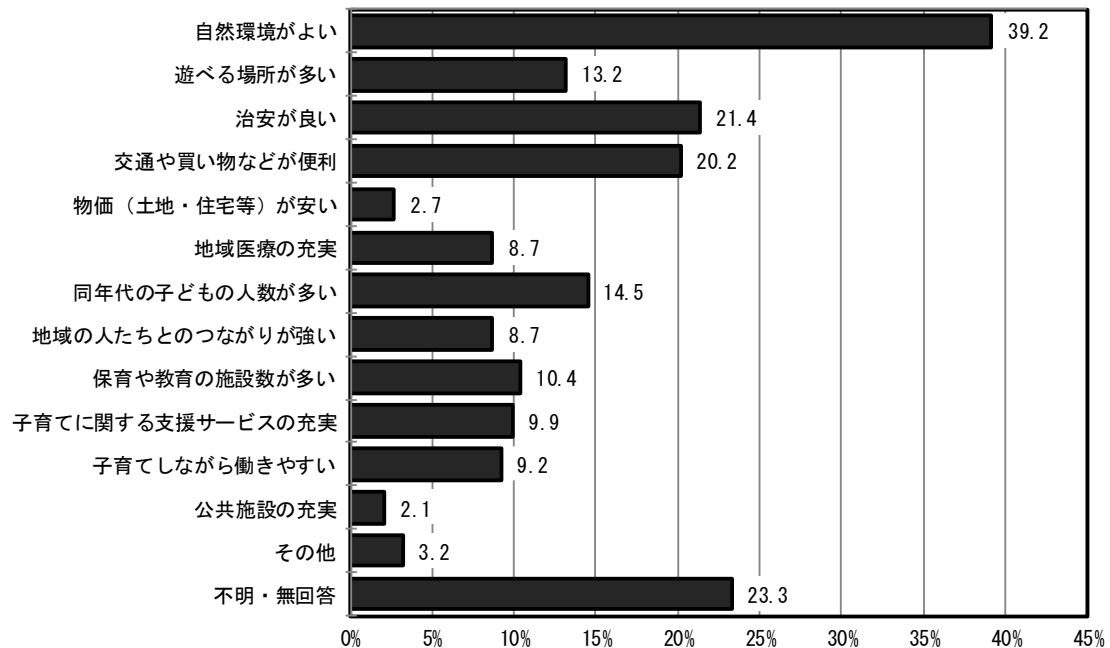
3歳からの無償化

オムツのゴミが無料

すくすくに助けられています。午後通えるところがあれば助かります

前回（平成 30 年度）

N=1,417



【その他回答の内容】

利用していないからわからない

佐世保に転居して間もないので、土地勘もなくあまりよくわからない（４）

３月でも保育園に入れたこと

全て満足していない（６）

インフルエンザの予防接種(子ども)が安い

宇久にもっと優しくしてほしい

医療費が安い、補助があるので助かる（２）

あくまで他の都市と比べて。就学前の子どもに関しての支援は充実している

黒髪町は小学校、保育園、幼稚園が近くにあって良い。小児科も近い。佐世保全体でみると不便
図書館の児童書が多い

利用できていないが、他と比べて良いとは思えない

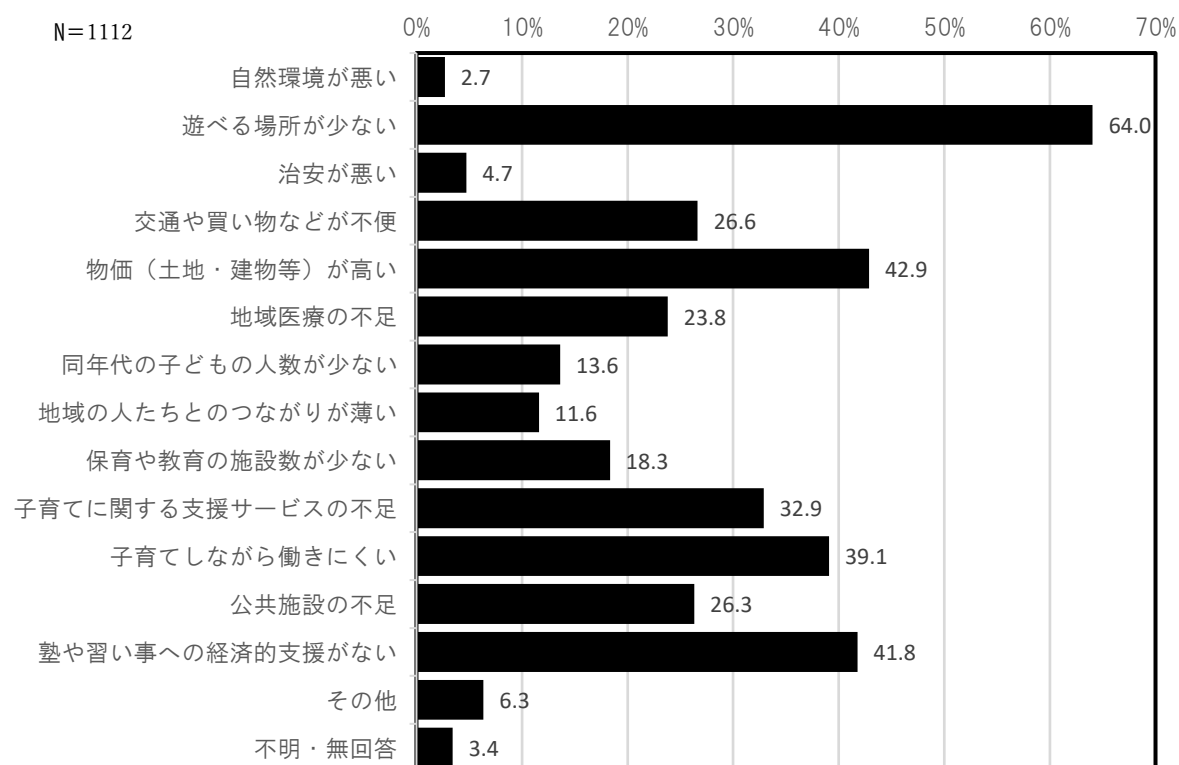
もっと商業施設を増やして欲しい。五番街もショップが少ない

問30【佐世保市における子育ての環境や支援について「不満と思っている点」をお答えください。（あてはまるすべてに○）】

「遊べる場所が少ない」が64.0%を占めています。「物価（土地・建物等）が高い」が42.9%、「塾や習い事への経済的支援がない」が41.8%で続いています。

前回と比較して「保育や教育の施設数が少ない」の割合が若干減少したが「遊べる場所が少ない」「物価が高い」「塾や習い事への経済的な支援がない」をはじめ、殆どの項目が増加しています。

今回（令和5年度）

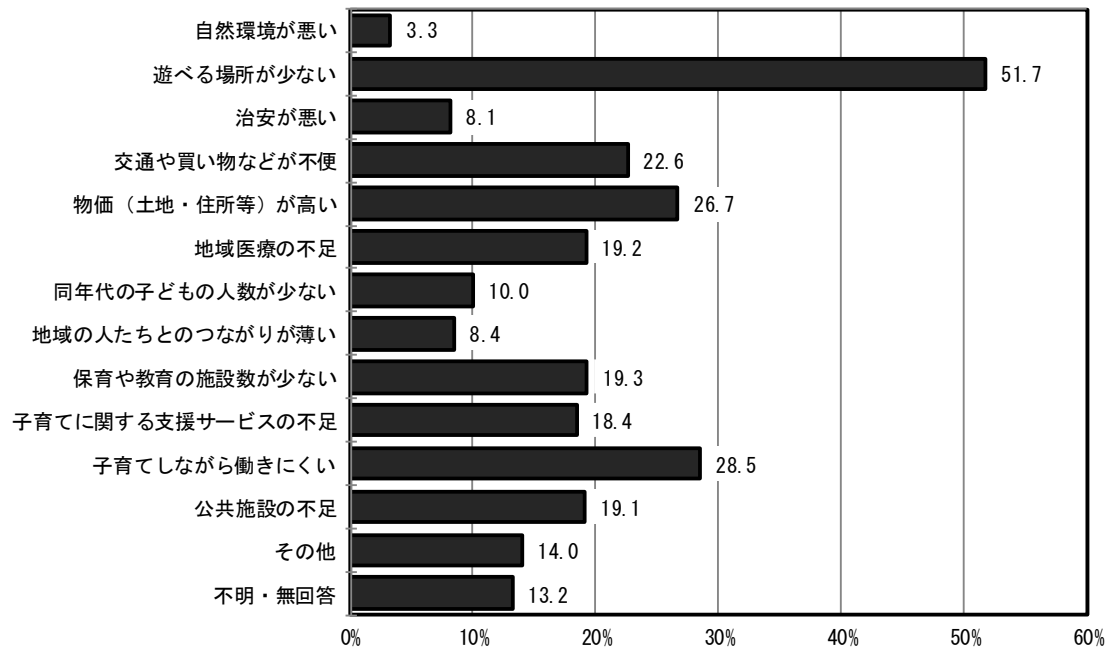


【その他回答の内容より代表的な意見を抜粋】

- 医療費の負担が大きい（14）
- 保育料の負担が大きい（11）
- 雨の日に遊べる場所や、多様な公園の不足（6）
- 小児科が不足している（3）
- 賃金が低すぎる・産業基盤が弱い（3）
- 子どもへの補償や手当の不足（3）
- 子育てに関する支援サービスの周知不足・情報が散逸（3）
- 物価が高い（2）
- 子どもの預かり場所や時間が不足している（2）
- 施設の利用料が高

前回（平成 30 年度）

N=1,417



【その他回答の内容より代表的な意見を抜粋】

医療費の負担が大きい（41）

保育料の負担が大きい（16）

駐車料金が安い（10）

短時間勤務で雇ってもらえる職場が少ない（2）

雨天時など屋内で遊べる施設をつくってほしい（21）

子どもが安全に遊ぶことができるような公園を充実させてほしい（12）

交通量が多く、外で遊ばせるには危ない（3）

保育所に関する不満（保育所に入れない、預かり時間が短い、質が悪い）（8）

病児保育を充実させてほしい（12）

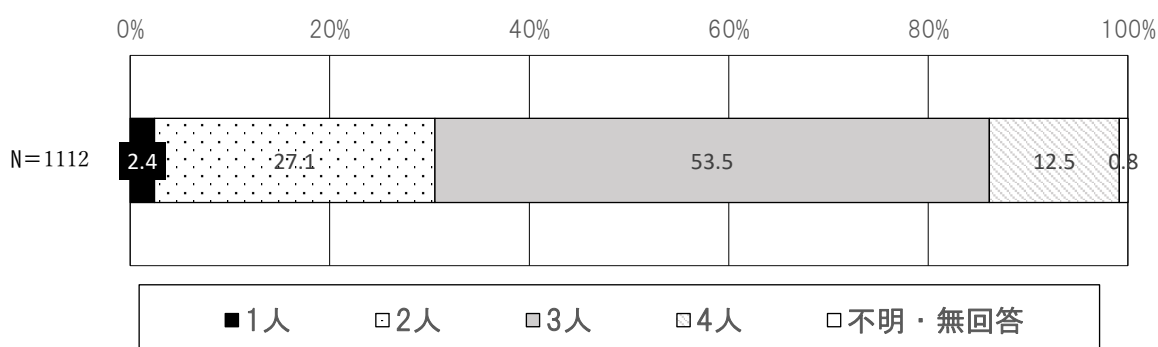
支援サービスの内容がわからない。周知してほしい。（6）

問31①（理想）【あなたのご家庭では、お子様の人数は何人が理想だと考えますか。また、現実的に生み・育てられるお子様の人数は何人だと考えますか。】

理想は「3人」が53.5%を占めています。「2人」が27.1%、「4人」が12.5%が続いています。

子どもの理想の人数は3人との回答が多くありました。

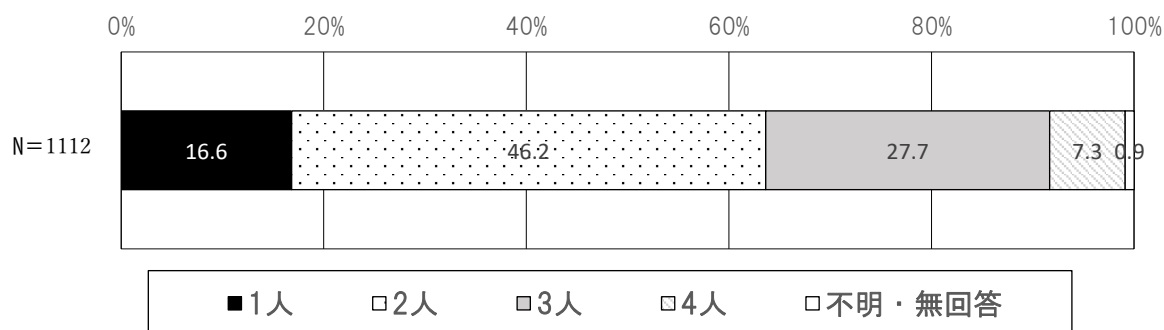
今回（令和5年度）新設問



現実には「2人」が46.2%を占めています。「3人」が27.7%、「1人」が16.6%が続いています。

理想では3人だったが、現実的には2人が最多となっています。

今回（令和5年度）新設問



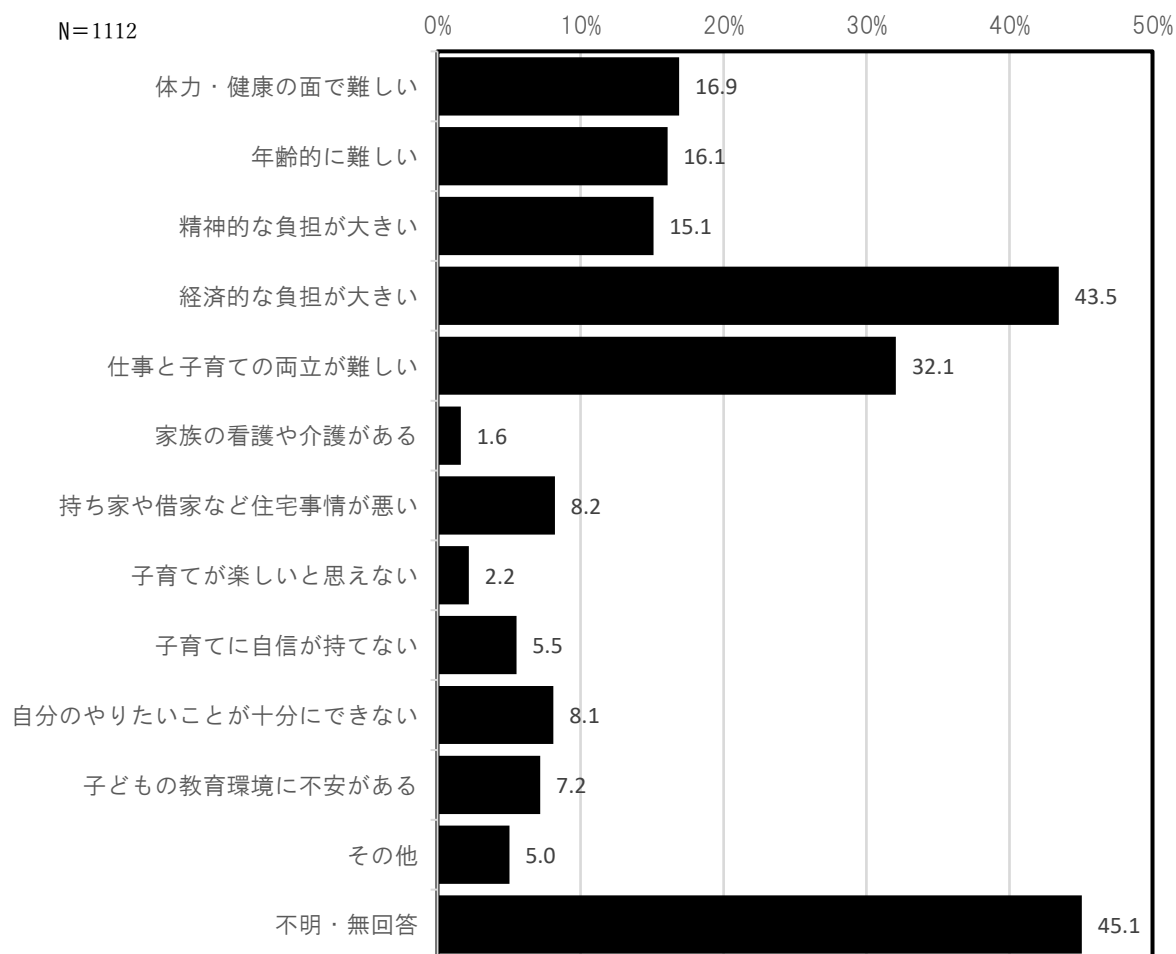
問 31 で現実的なお子様の人数が、理想のお子さんの人数より少ない方にお尋ねします。

問32【現実的なお子様の人数が、理想のお子様の人数よりも少ないのはどのような理由からですか。（あてはまるすべてに○）】

「経済的な負担が大きい」が 43.5%と最も多く。続いて「仕事と子育ての両立が難しい」が 32.1%となっています

経済的な課題が子どもの人数を制限する大きな要因になっています。

今回（令和 5 年度）新設問

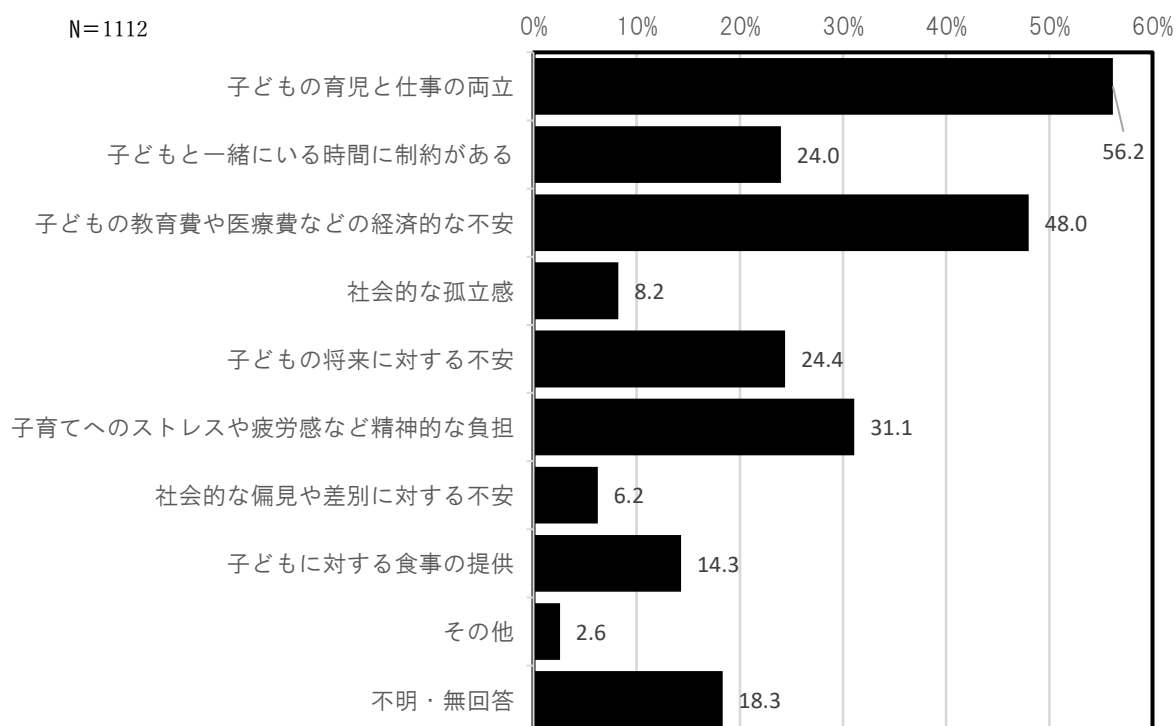


問33【子育てにあたって、感じている不安や課題についてお答えください。（あてはまるすべてに○）】

「子どもの育児と仕事の両立」が56.2%で最も高くなっています。続いて「子どもの教育費や医療費などの経済的な不安」が48.0%、「子育てへのストレスや疲労感など精神的な負担」が31.1%となっています。

感じている不安や課題についても、経済的な問題や仕事との両立となっています。

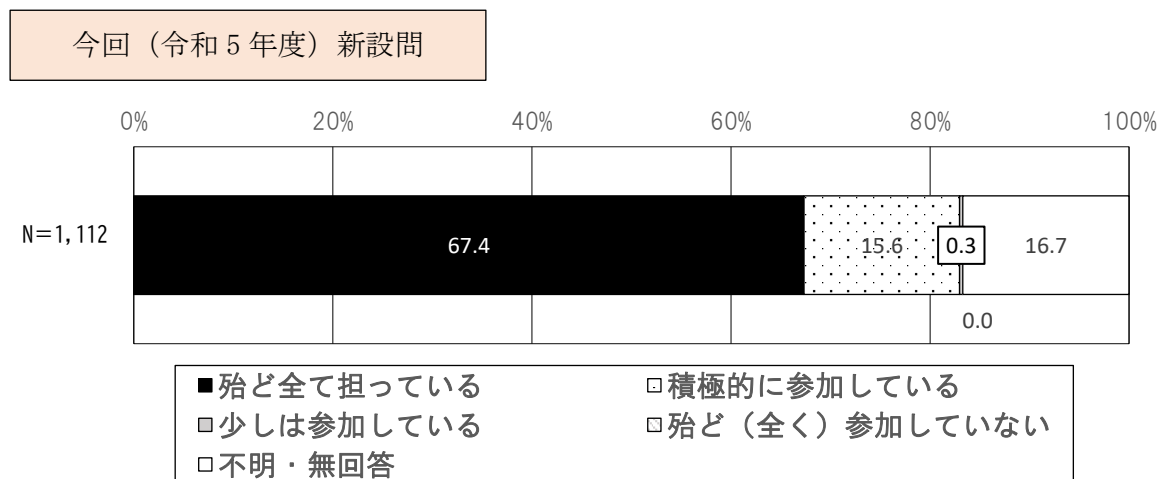
今回（令和5年度）新設問



問34①(母親)【ご家庭で子育てを行っている方はどなたですか。あて名のお子様から見た関係と参加の状況をお答えください。(あてはまるすべてに○)】

母親は「殆ど全て担っている」が 67.4%で突出しています。

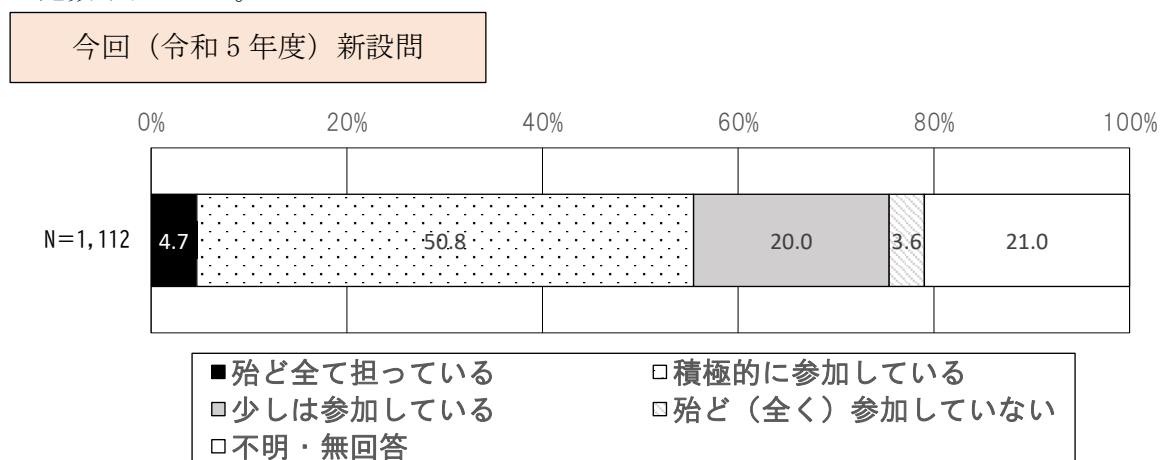
子育ては母親が主に担っています。



問34②(父親)【ご家庭で子育てを行っている方はどなたですか。あて名のお子様から見た関係と参加の状況をお答えください。(あてはまるすべてに○)】

父親は「積極的に参加している」が 50.8%を占めています。

父親も多くは育児参加しているものの「少しは参加している」「殆ど参加していない」との回答も一定数ありました。

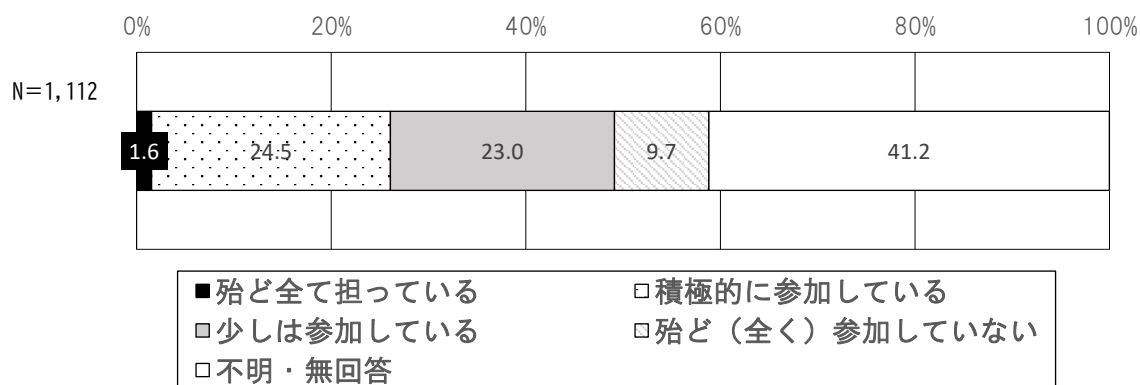


問34③(祖父母)【ご家庭で子育てを行っている方はどなたですか。あて名のお子様から見た関係と参加の状況をお答えください。(あてはまるすべてに○)】

祖父母は「積極的に参加している」が 24.5%、「少しは参加している」が 23%で続いています。

祖父母の参加は少なく、減少傾向にあると思われます。

今回（令和5年度）新設問

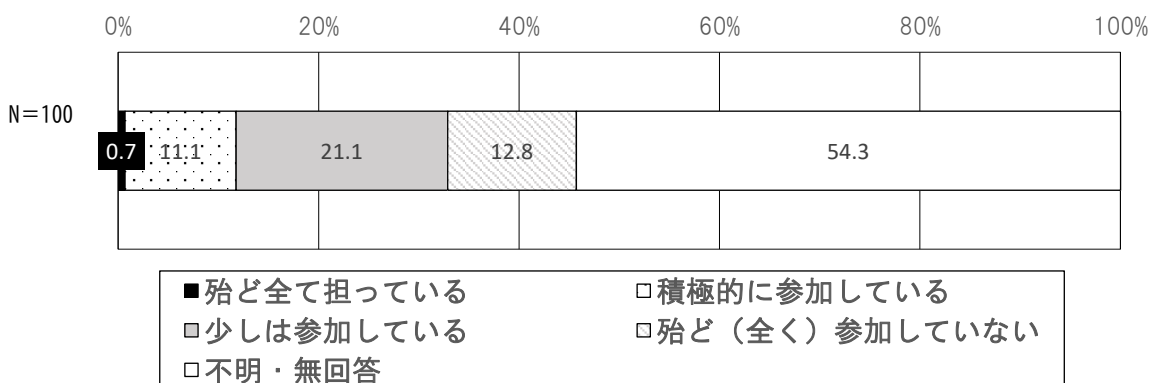


問34④(きょうだい)【ご家庭で子育てを行っている方はどなたですか。あて名のお子様から見た関係と参加の状況をお答えください。(あてはまるすべてに○)】

きょうだいは「少しは参加している」が 21.1%を占めています。

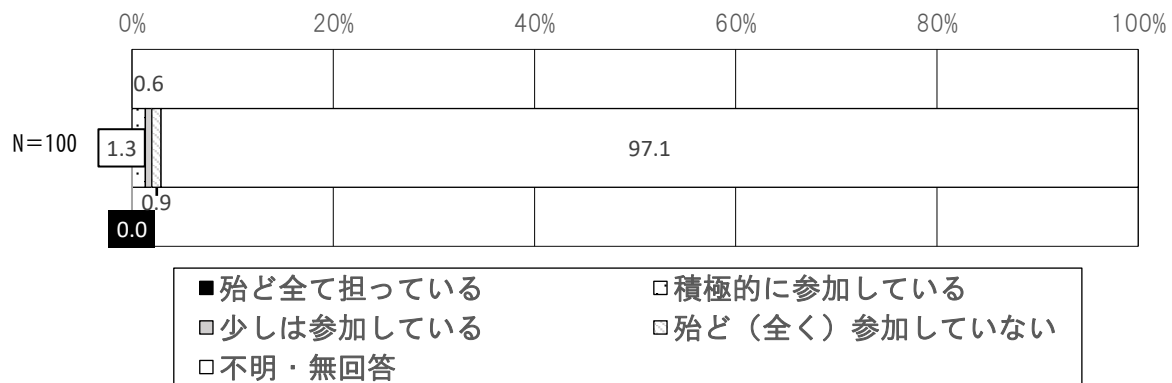
きょうだいが積極的に参加しているケースが 12%程度見られますが、ヤングケアラーである懸念もあります。

今回（令和5年度）新設問



問34⑤(その他)【ご家庭で子育てを行っている方はどなたですか。あて名のお子様から見た関係と参加の状況をお答えください。(あてはまるすべてに○)】

その他は「積極的に参加している」が1.3%となっています。

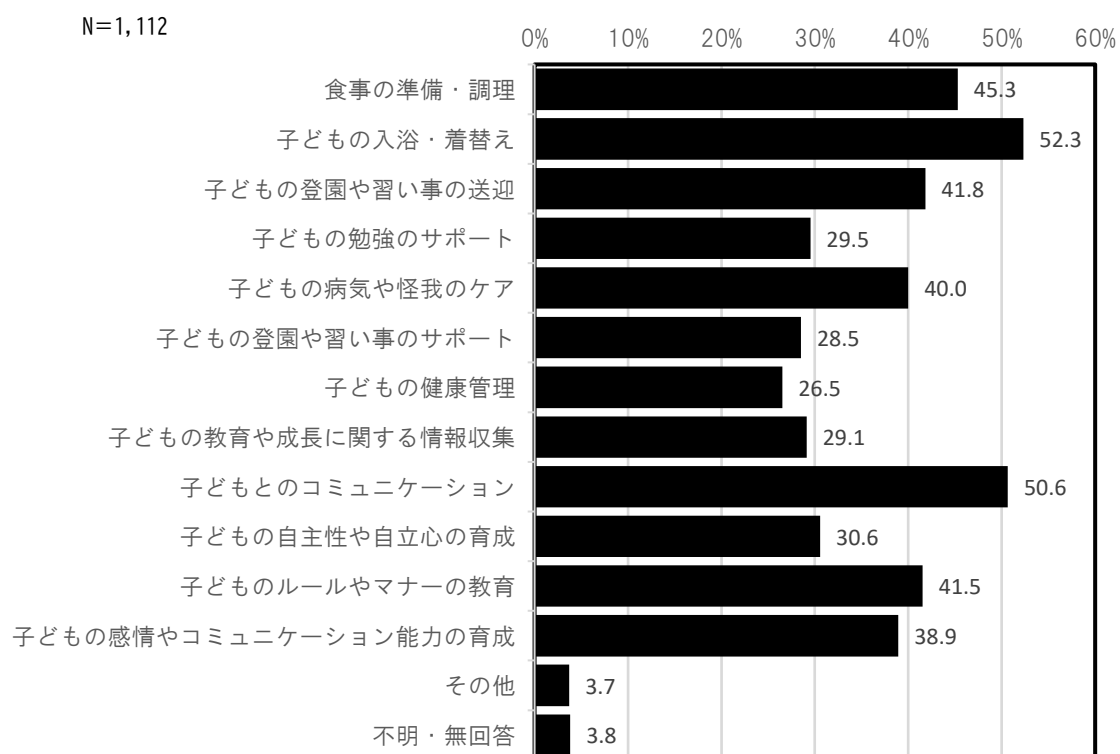


問34-1【主に子育てを行っている方から見て、他の家族にどのような役割を分担してほしいと感じますか。（あてはまるすべてに○）】

「子どもの入浴・着替え」が 52.3%と高く、次いで「子どもとのコミュニケーション」が 50.6%、「食事の準備・調理」が 45.3%と続いています。

家事に関わる希望の他に、子どもとのコミュニケーションや、ルール・マナーの教育などのニーズも一定数ありました。

今回（令和5年度）新設問



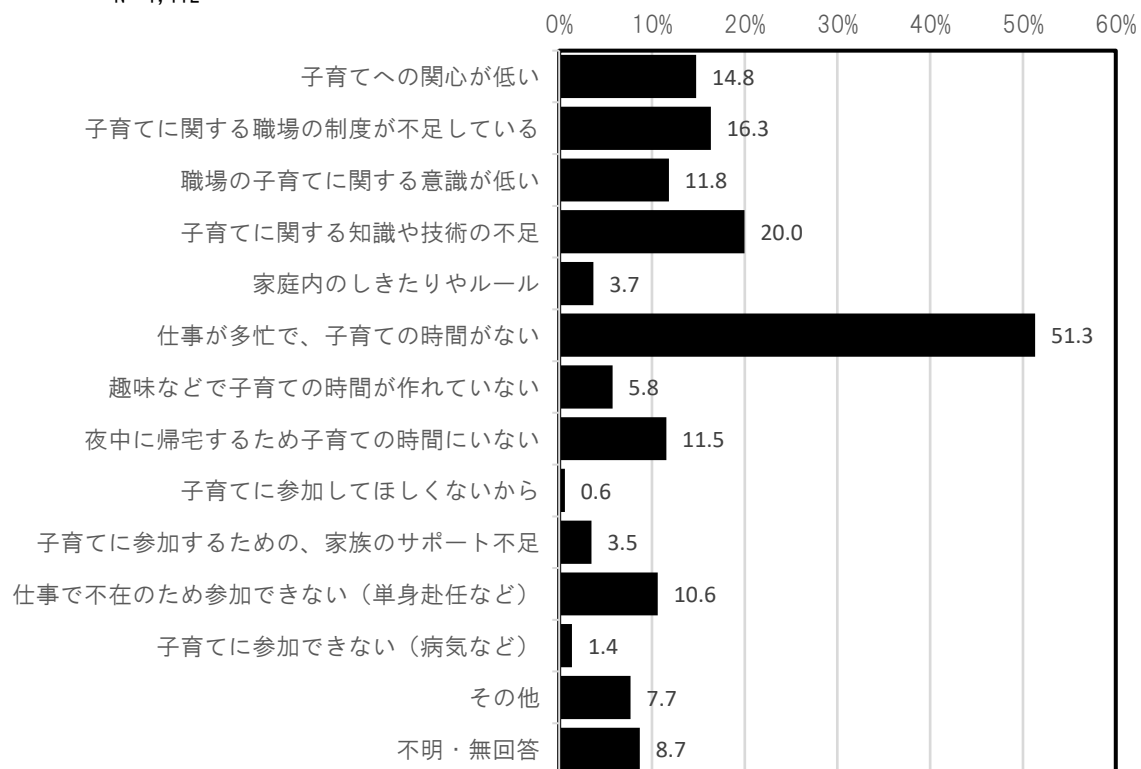
問34-2【主に子育てを行っている方から見て、他の家族が子育てに参加しない理由は何だと思えますか。（あてはまるすべてに○）】

「仕事が多忙で、子育ての時間がない」が51.3%で突出しています。

子育てに参加しない主な理由は「仕事が多忙で、子育ての時間がない」であり、「子育てに関する知識や技術の不足」「職場の制度が不足している」との回答も見られました。

今回（令和5年度）新設問

N=1,112

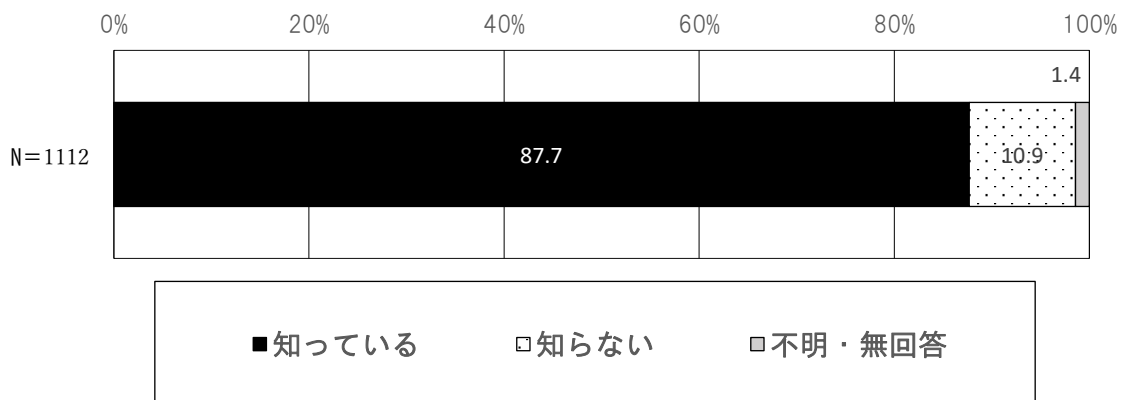


問35①【(認知度)①安心して妊娠・出産できるための乳幼児健診などの母子保健サービス】

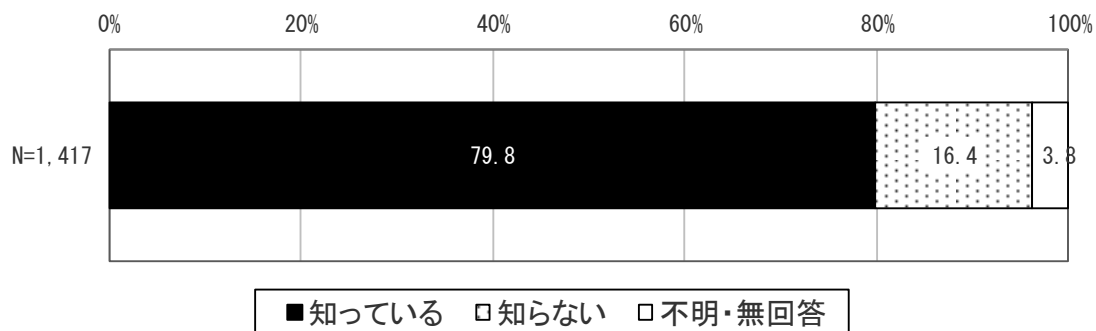
「知っている」が87.7%で突出しています。

前回と比較して認知度が上がっています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

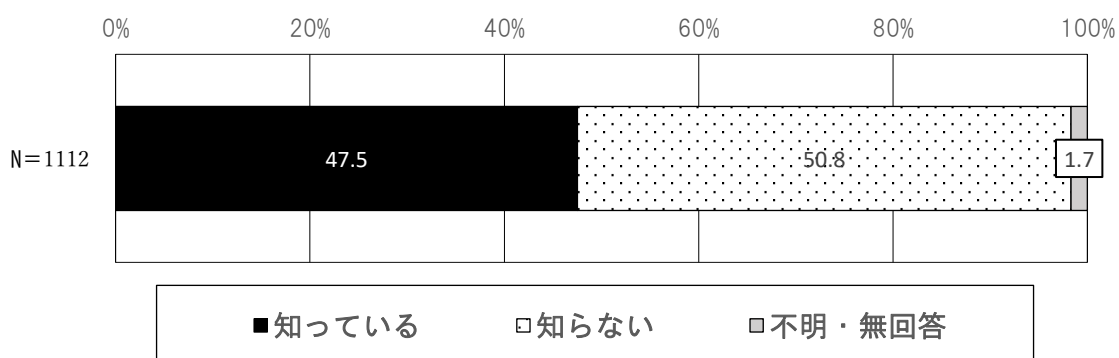


問35②【(認知度)②障がいや発達に心配のある子どもに対する支援】

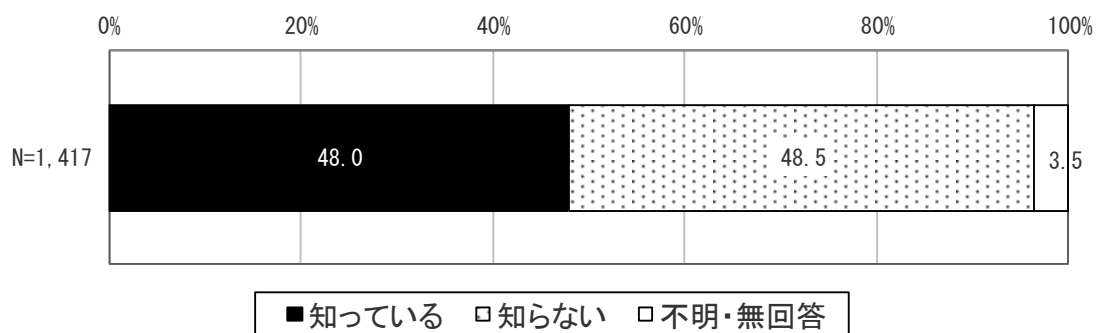
「知らない」が50.8%で最も高くなっています。次いで「知っている」が47.5%が続いています。

前回と比較して大きな変化は見られませんでした。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

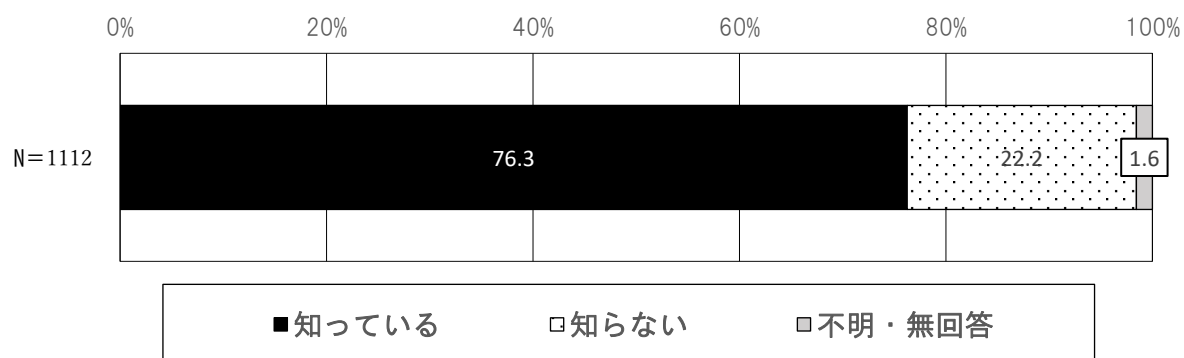


問35③【(認知度)③子どもの医療費や教育費の負担軽減などの経済的な支援】

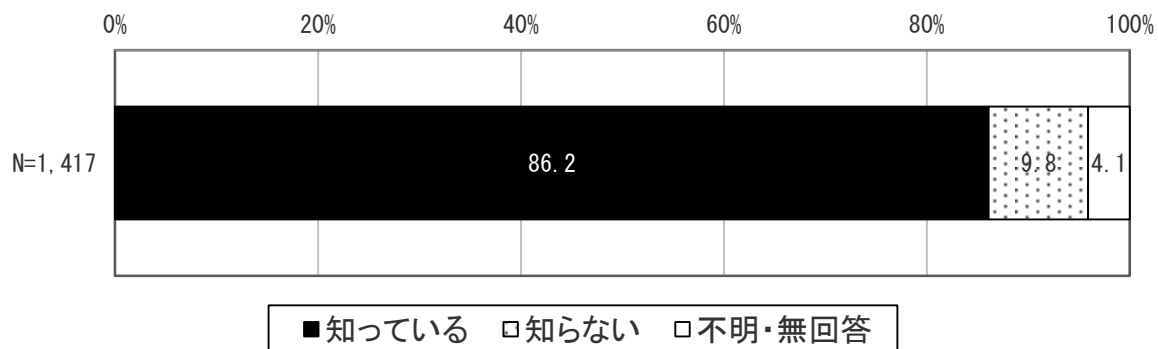
「知っている」が76.3%で突出しています。

前回と比較して認知度が下がっています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

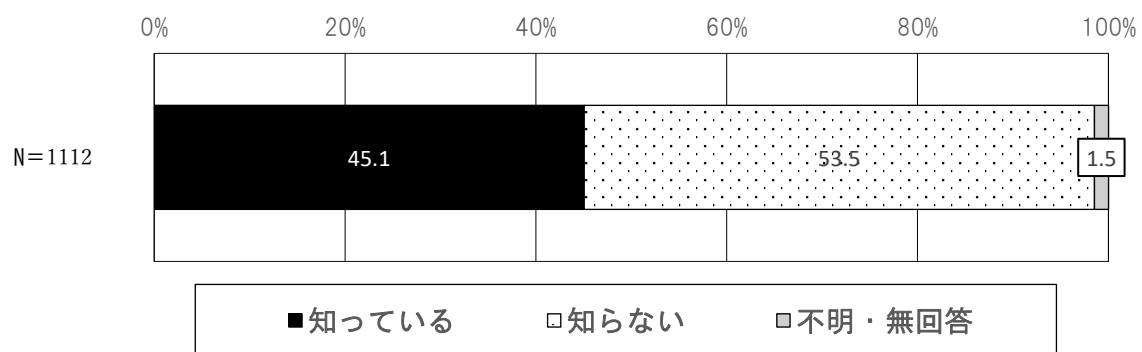


問35④【(認知度)④児童手当や保育施設の利用申し込みなど行政手続の電子申請サービス】

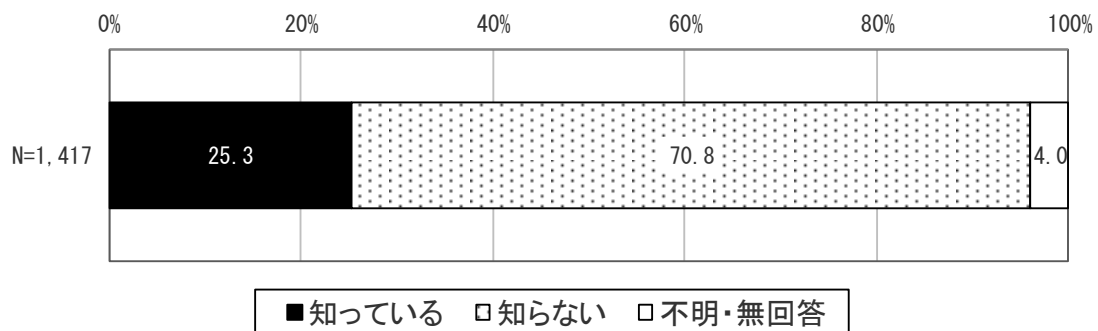
「知らない」が53.5%占めています。「知っている」が45.1%で続いています。

前回と比較して認知度が上がっています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

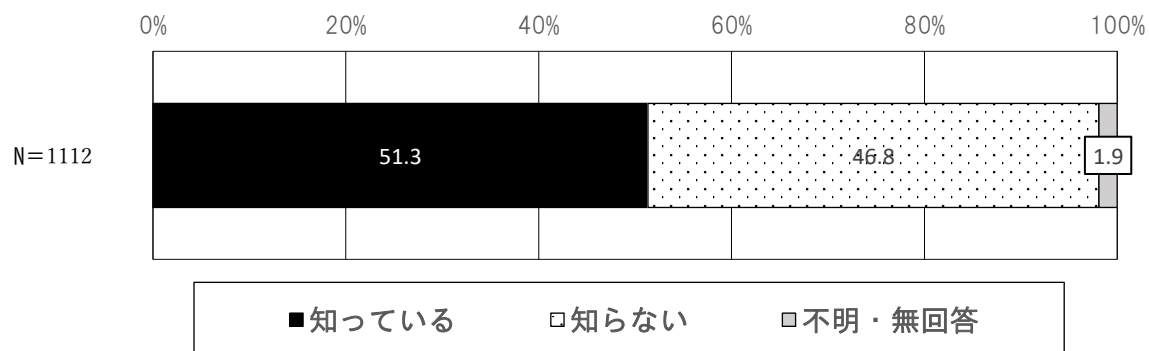


問35⑤【(認知度)⑤子育てサークルなど地域での自主的な子育て活動への支援】

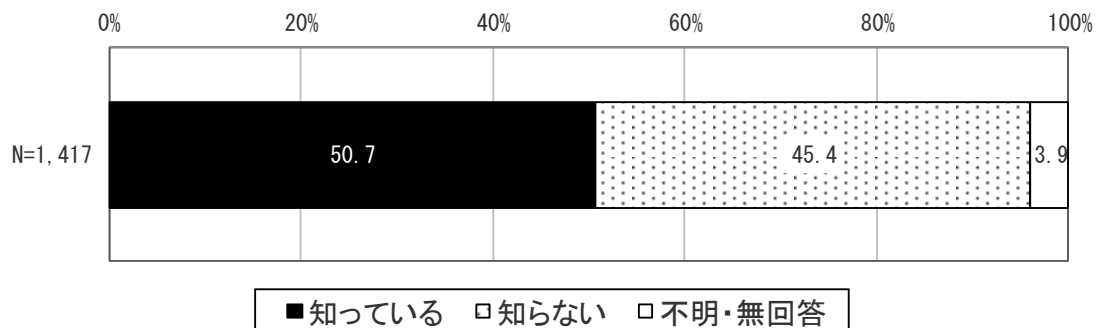
「知っている」が51.3%を占めています。「知らない」が46.8%で続いています。

前回と比較して大きな変化は見られませんでした。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

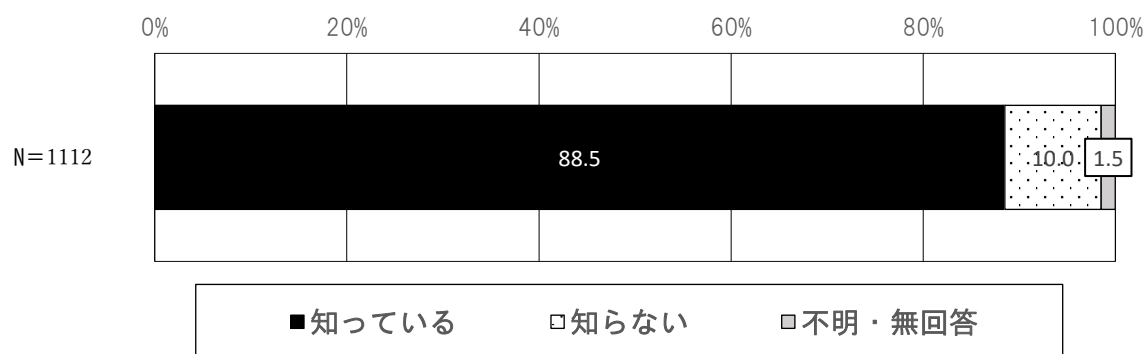


問35⑥【(認知度)⑥子どもの健全育成のための居場所や遊び場づくり(児童センター、メリッタKid's、「きららパーク」等)】

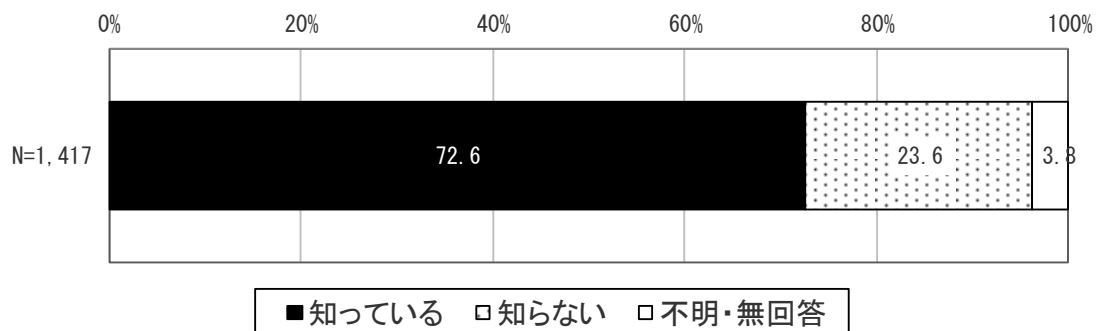
「知っている」が88.5%で突出しています。

前回と比較して認知度が上がっています。

今回(令和5年度)



前回(平成30年度)

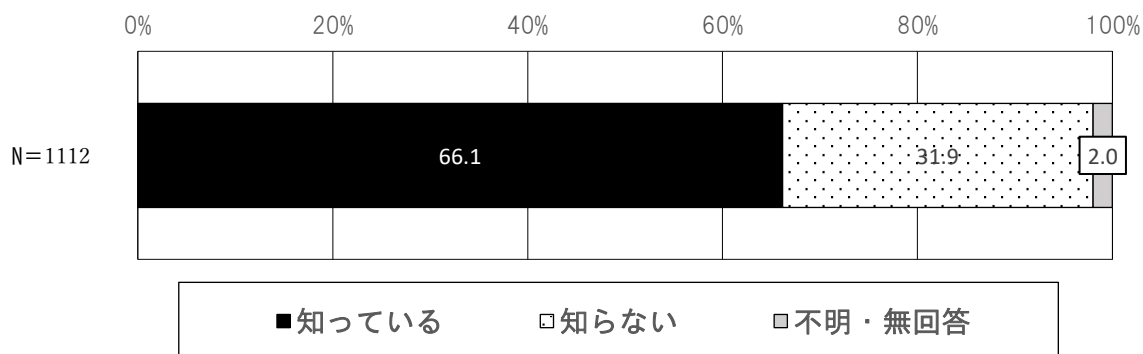


問35⑦【(認知度)⑦親子同士の交流を図るための支援(地域子育て支援センター 等)】

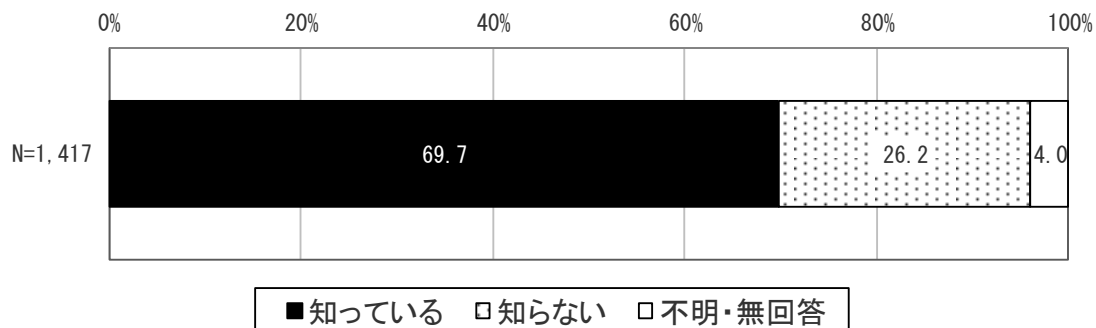
「知っている」が66.1%を占めています。「知らない」が31.9%が続いています。

前回と比較して認知度がやや下がっています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

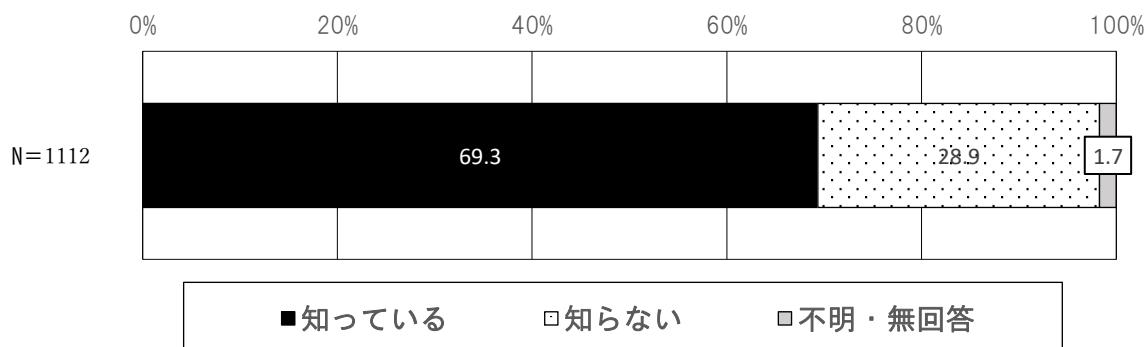


問35⑧【(認知度)⑧延長保育など多様なニーズにこたえられる幼稚園・保育所等】

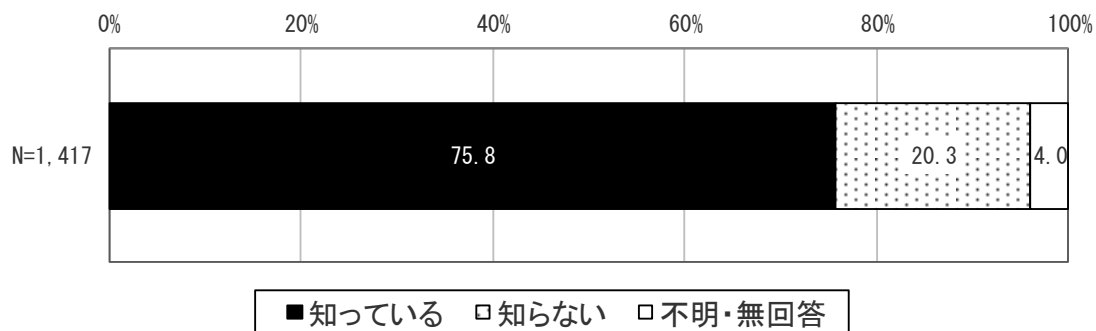
「知っている」が69.3%で突出しています。

前回と比較して認知度がやや下がっています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

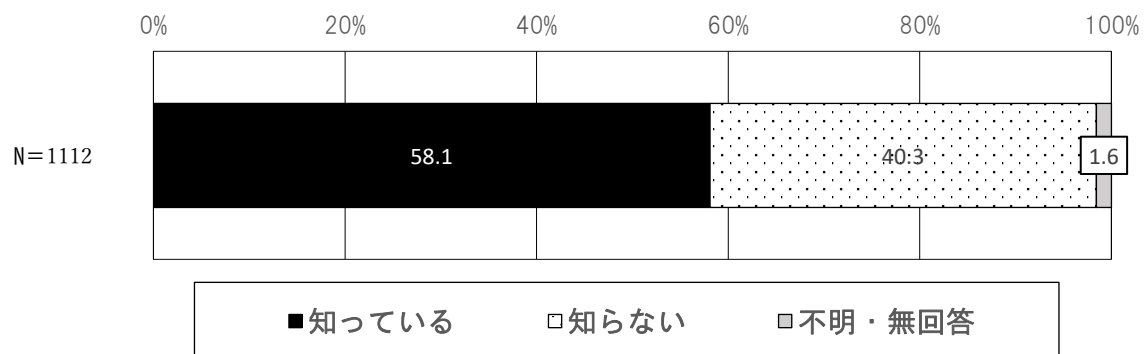


問35⑨【(認知度)⑨子育てに困ったときの相談窓口(「ままんちさせば 等」)】

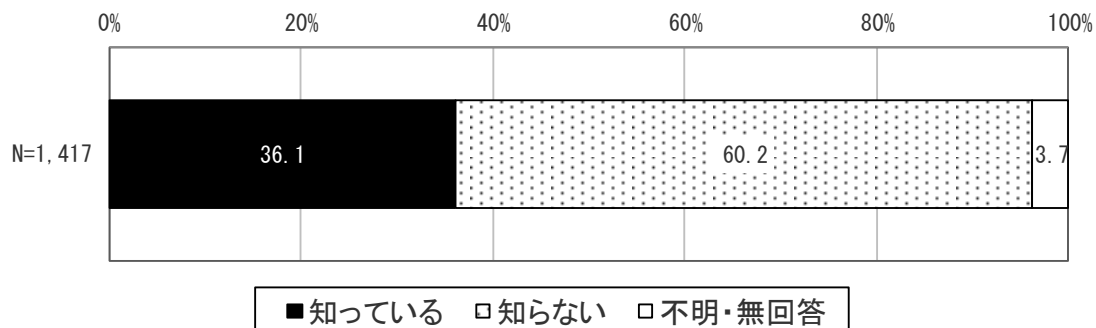
「知っている」が58.1%を占めています。「知らない」が40.3%が続いています。

前回と比較して認知度が上がっています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

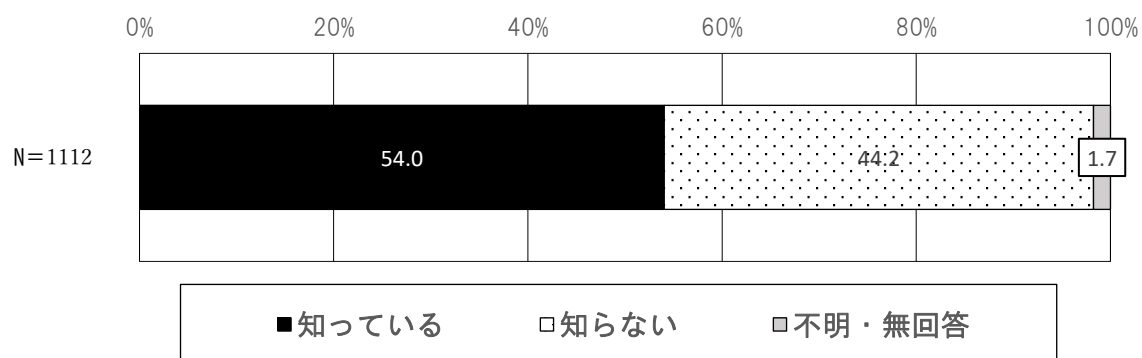


問35⑩【(認知度)⑩子育てに関する情報提供(子育て応援サイト「すくすくSASEBO」、子育て応援アプリ「させぼっ子ナビ」等)】

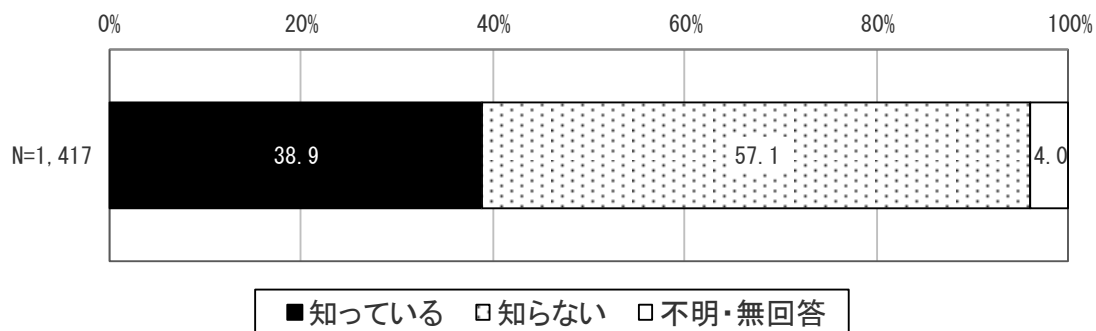
「知っている」が54.0%を占めています。「知らない」が44.2%で続いています。

前回と比較して認知度が上がっています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

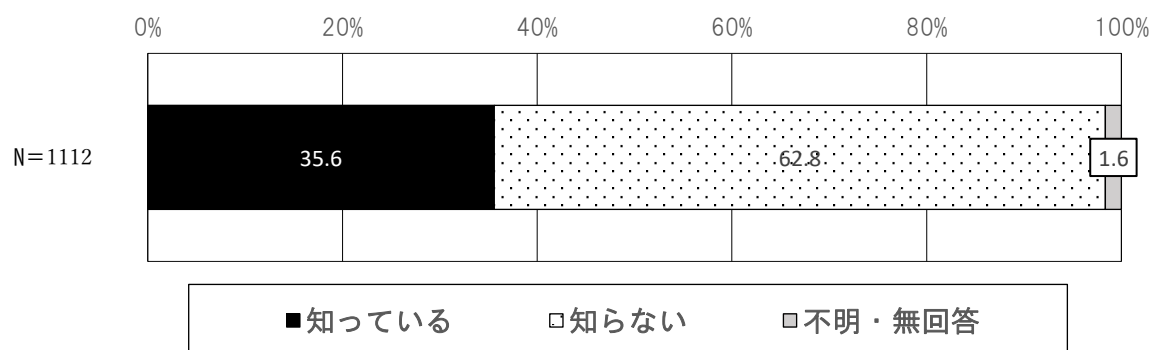


問35⑪【(認知度)⑪子育てと仕事が両立できる職場環境づくり(ワークライフバランス)】

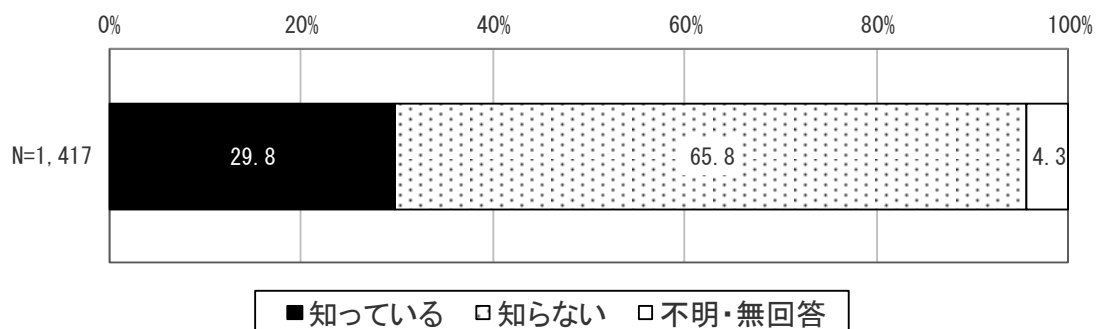
「知らない」が62.8%を占めています。「知っている」が35.6%で続いています。

前回と比較して認知度がやや上がっています。

今回（令和5年度）



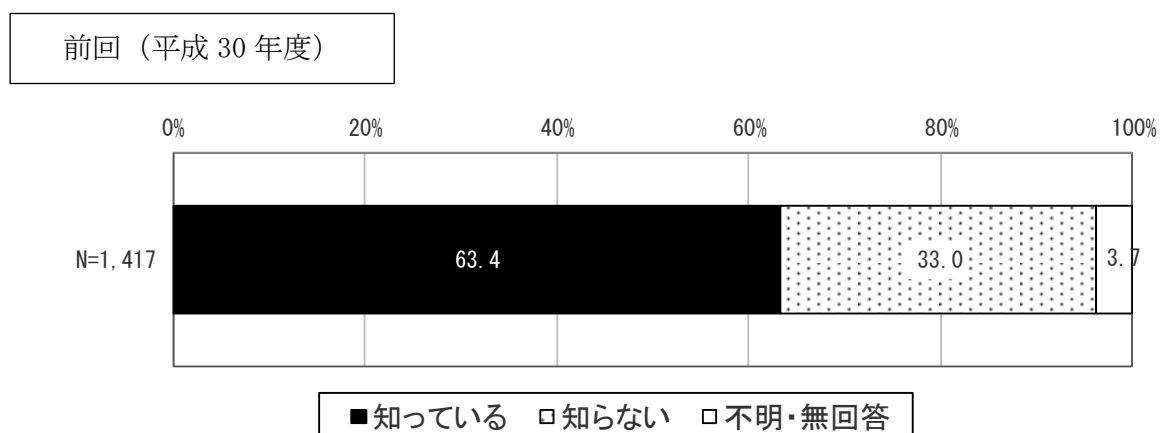
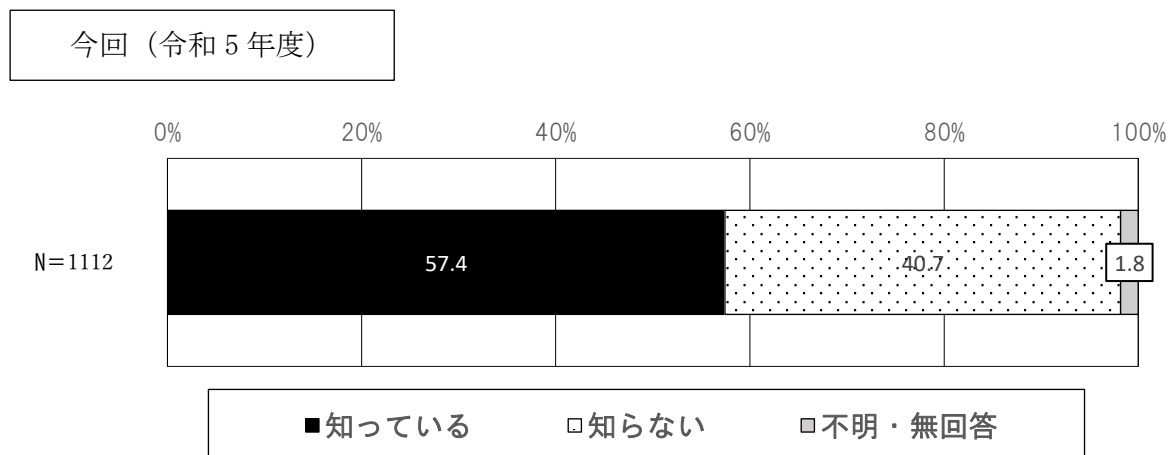
前回（平成30年度）



問35⑫【(認知度)⑫親子教室や子育て講座などの子育てについて学べる場の提供(父親向け育児講座、離乳食講座 等)】

「知っている」が57.4%を占めています。「知らない」が40.7%で続いています。

前回と比較して認知度が下がっています。

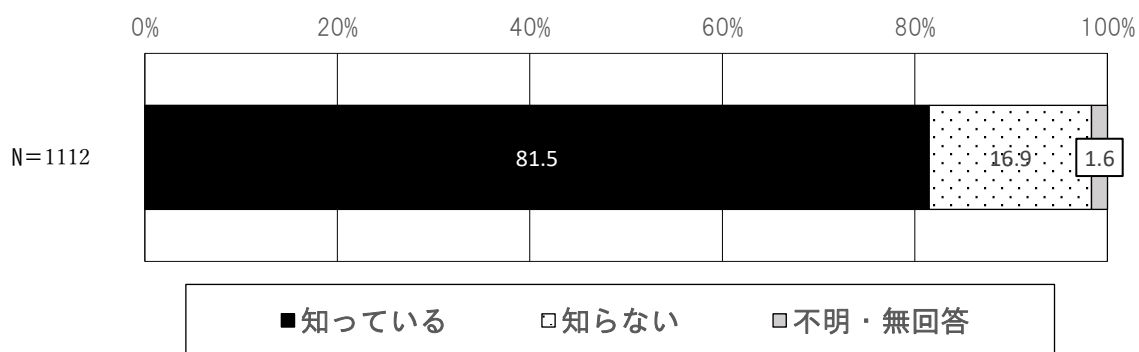


問35⑬【(認知度)⑬保育所、放課後児童クラブ等の働きながら子どもを預けられる施設】

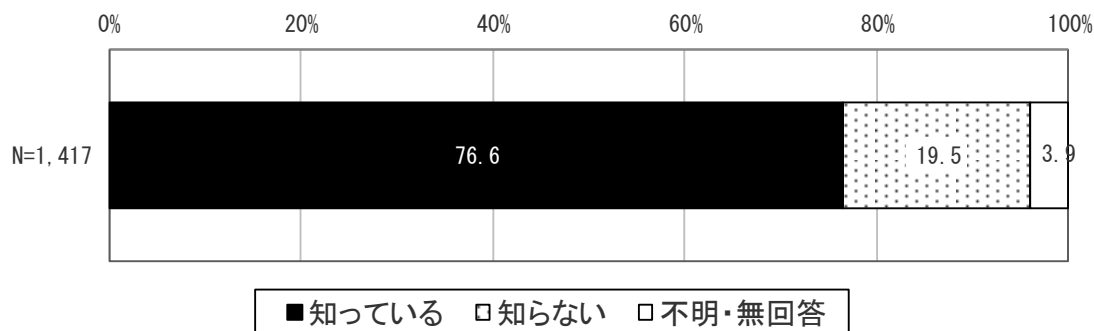
「知っている」が81.5%で突出しています。

前回と比較して大きな変化は見られませんでした。

今回（令和5年度）



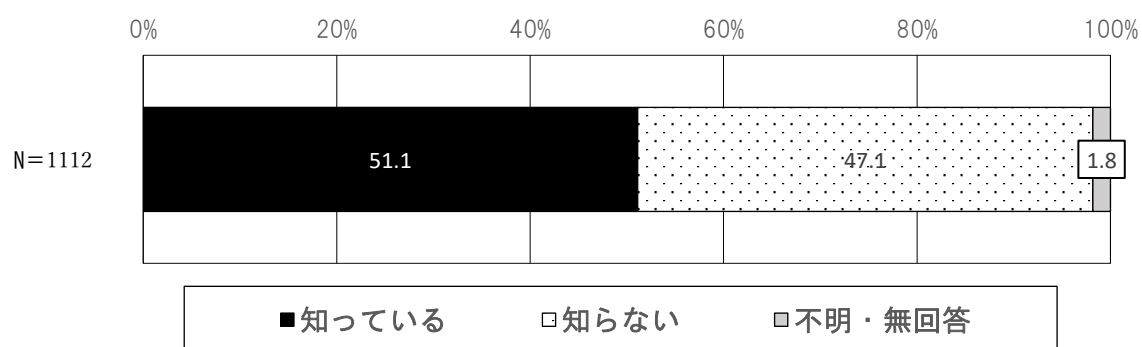
前回（平成30年度）



問35⑭ 【(認知度)⑭保護者の就職斡旋や職業訓練などの就労支援】

「知っている」が51.1%を占めています。「知らない」が47.1%で続いています。

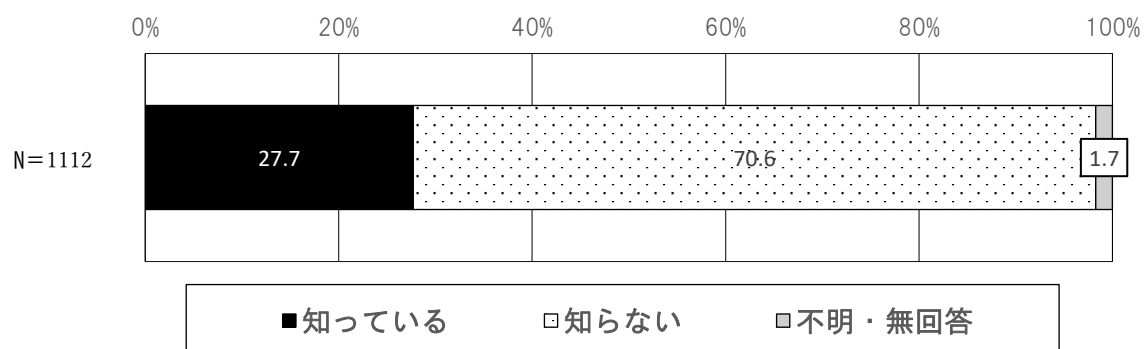
前回との比較データがありませんでした。



問35⑮ 【(認知度)⑮子育てにあたっての住宅や周辺環境の整備や改善】

「知らない」が70.6%で突出しています。

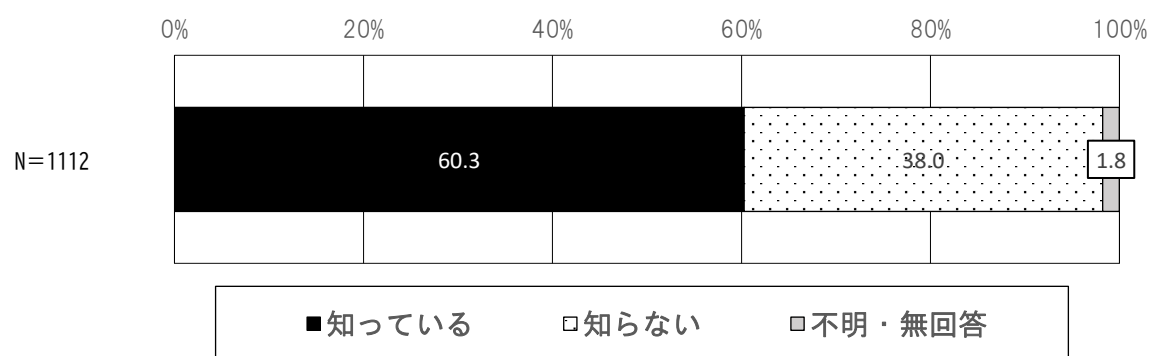
前回との比較データがありませんでした。



問35⑩【(認知度)⑩奨学金など、子どもの教育に関する支援

「知っている」が60.3%で突出しています。

前回との比較データがありませんでした。

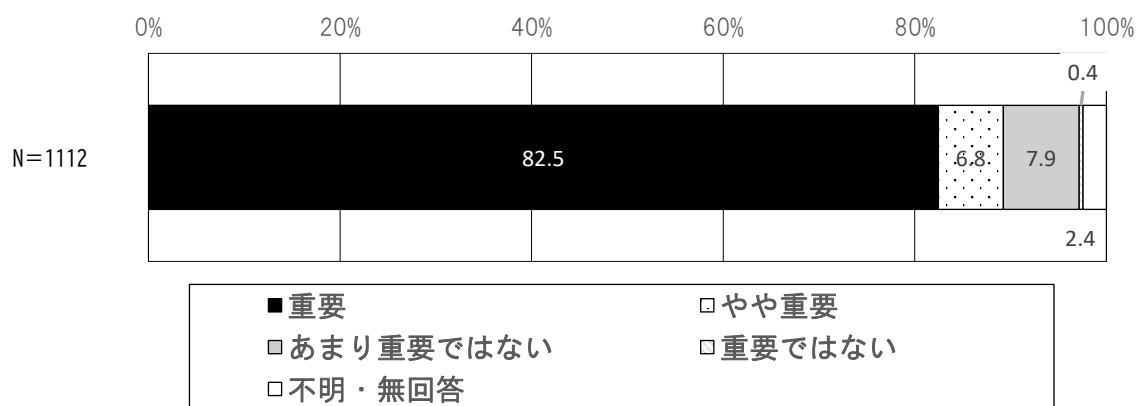


問35①【(重要度)①安心して妊娠・出産できるための乳幼児健診などの母子保健サービス】

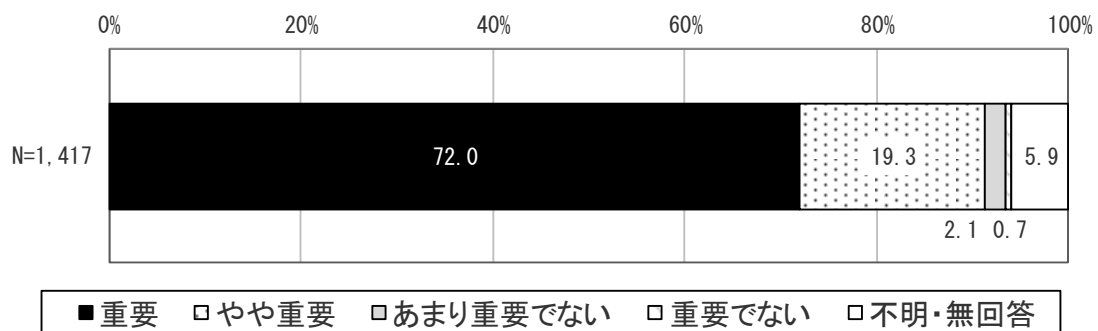
「重要」が 82.5%で突出しています。

前回と比較して重要度が上がっています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

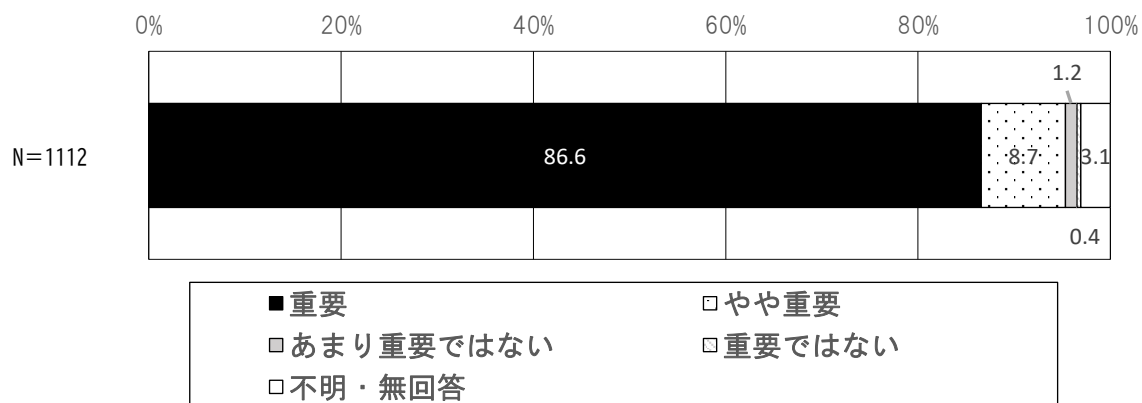


問35②【(重要度)②障がいや発達に心配のある子どもに対する支援】

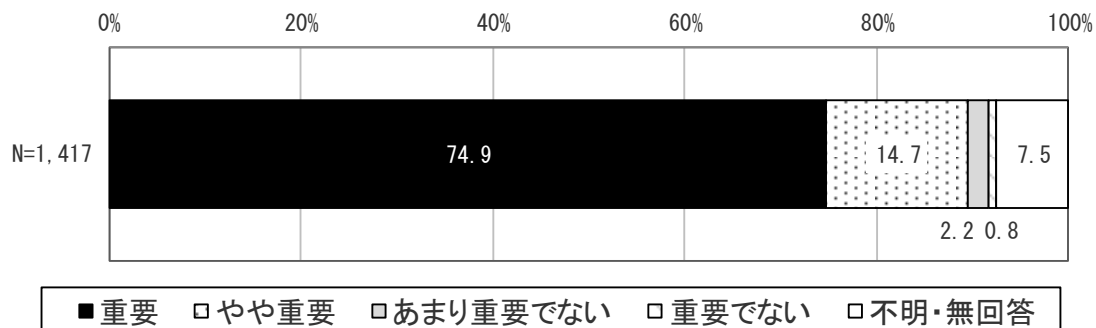
「重要」が86.6%で突出しています。

前回と比較して重要度が上がっています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

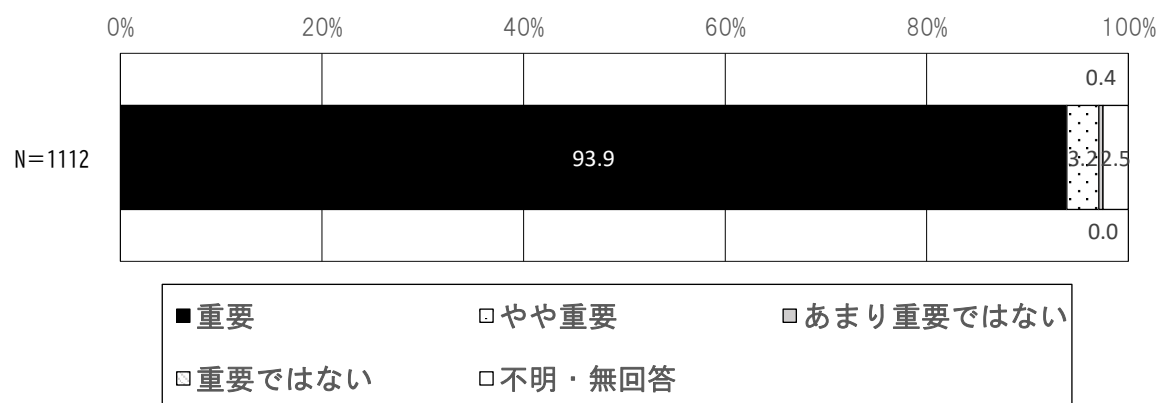


問35③【(重要度)③子どもの医療費や教育費の負担軽減などの経済的な支援】

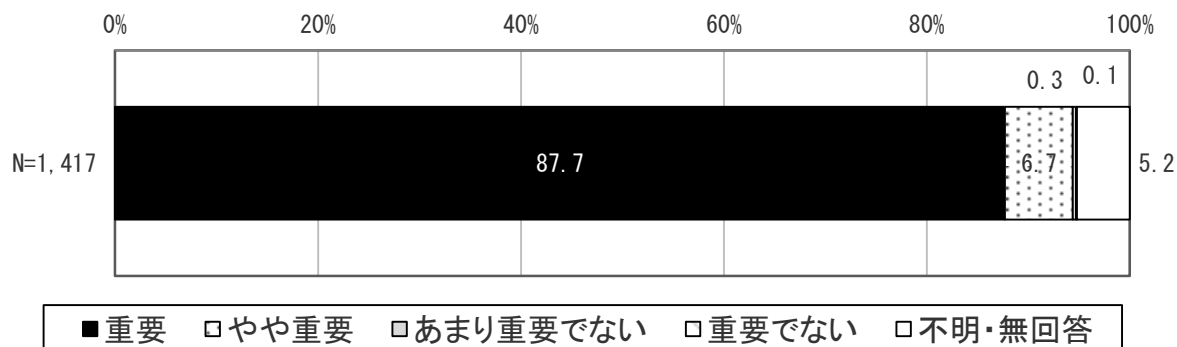
「重要」が93.9%で突出しています。また「重要ではない」は0.0%でした。

前回と比較して重要度が上がっています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

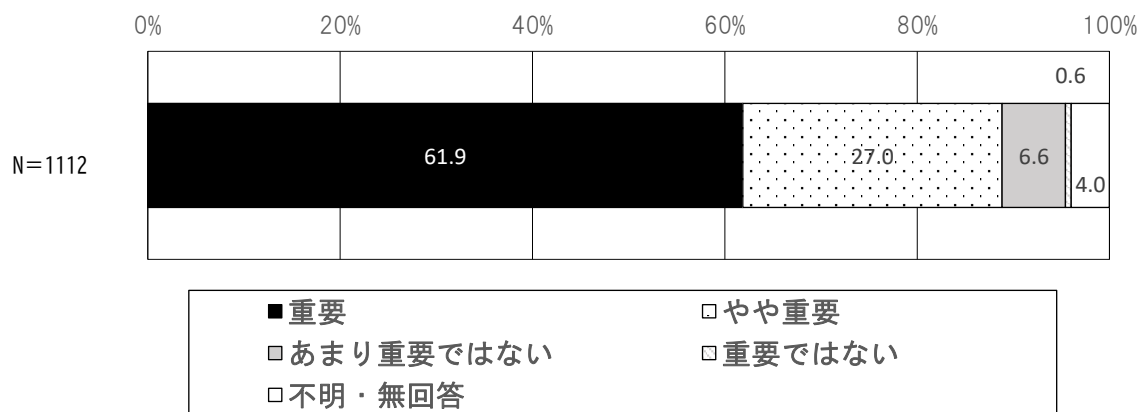


問35④【(重要度)④児童手当や保育施設の利用申し込みなど行政手続の電子申請サービス】

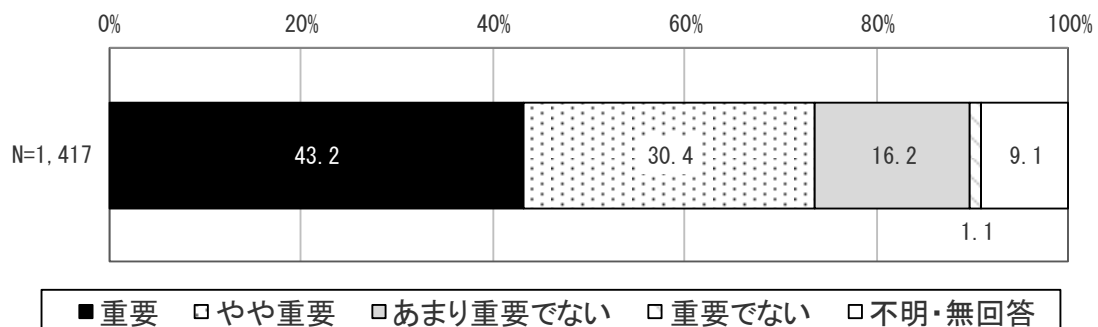
「重要」が 61.9%で最も高くなっています。次いで「やや重要」が 27.0%、「あまり重要でない」が 6.6%が続いています。

前回と比較して重要度が上がっています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

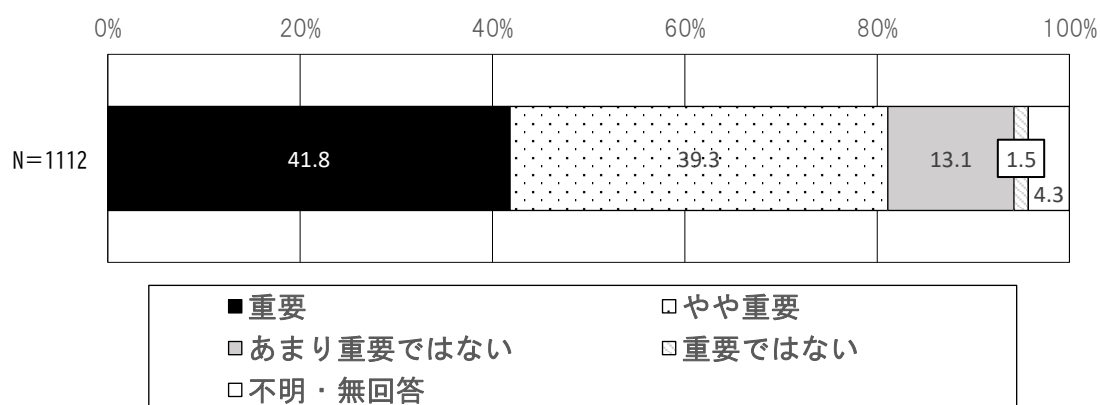


問35⑤【(重要度)⑤子育てサークルなど地域での自主的な子育て活動への支援】

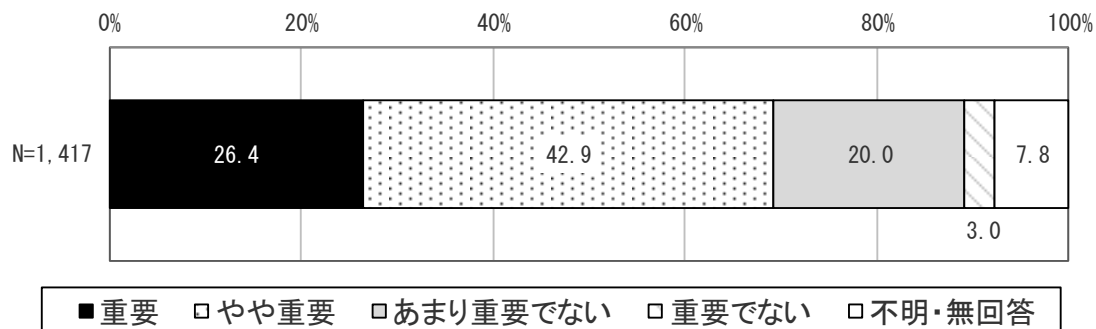
「重要」が41.8%で最も高くなっています。次いで「やや重要」が39.3%、「あまり重要でない」が13.1%が続いています。

前回と比較して重要度が上がっています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

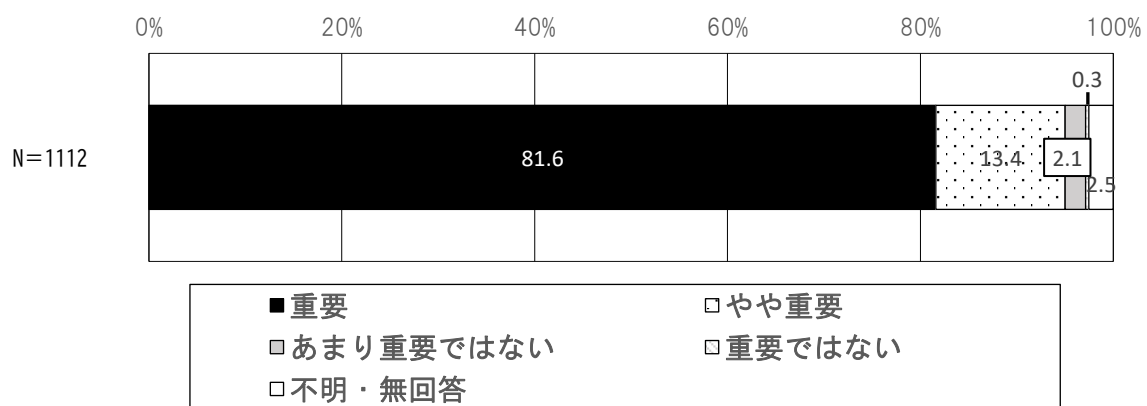


問35⑥【(重要度)⑥子どもの健全育成のための居場所や遊び場づくり(児童センター、メリッタKid's、「きららパーク」等)】

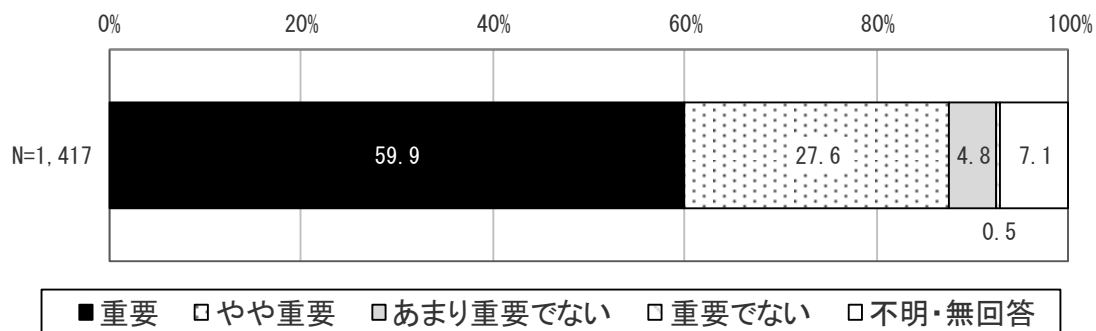
「重要」が81.6%で突出しています。

前回と比較して重要度が上がっています。

今回(令和5年度)



前回(平成30年度)

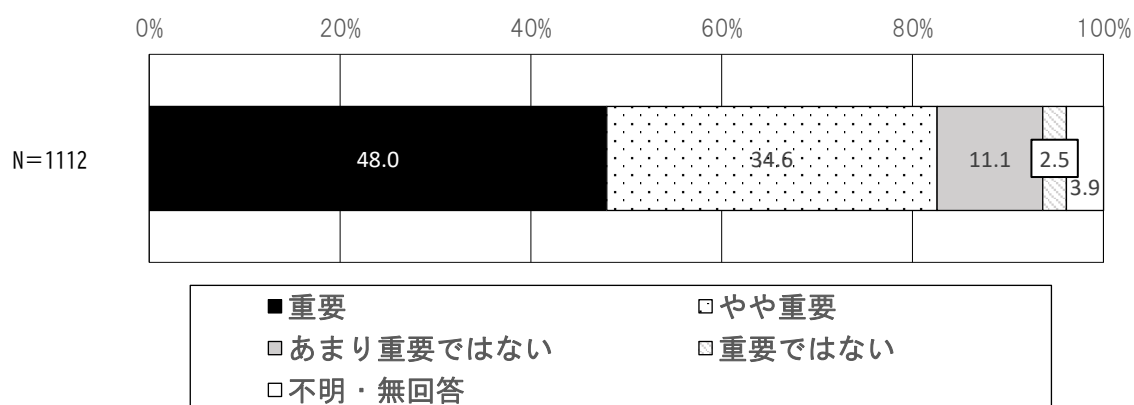


問35⑦【(重要度)⑦親子同士の交流を図るための支援(地域子育て支援センター 等)】

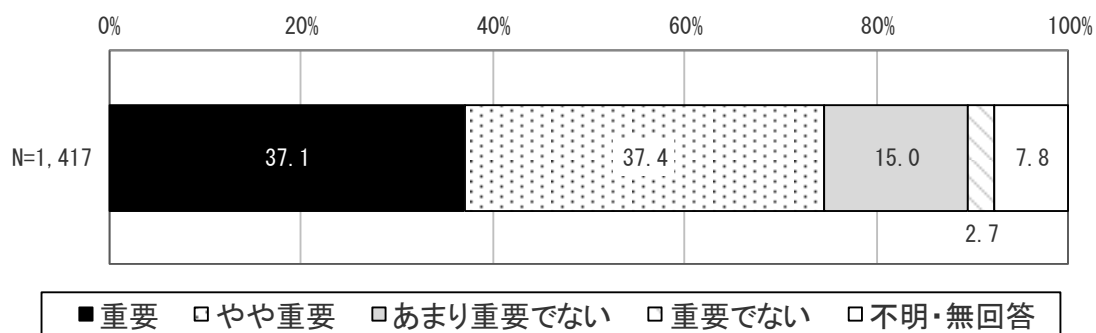
「重要」が48.0%で最も高くなっています。次いで「やや重要」が34.6%、「あまり重要でない」が11.1%が続いています。

前回と比較して重要度が上がっています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

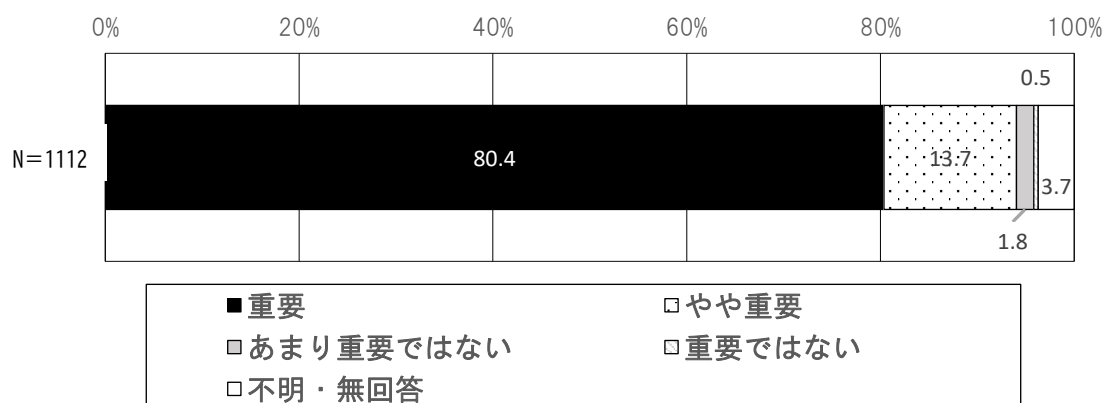


問35⑧【(重要度)⑧延長保育など多様なニーズにこたえられる幼稚園・保育所等】

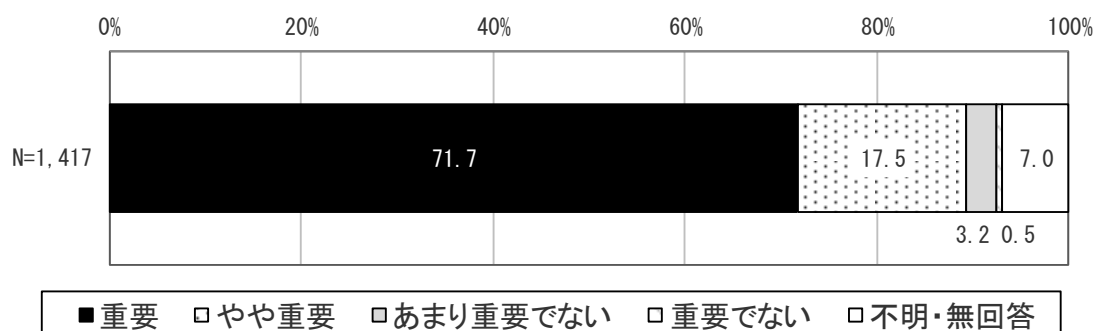
「重要」が80.4%で突出しています。

前回と比較して重要度が上がっています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

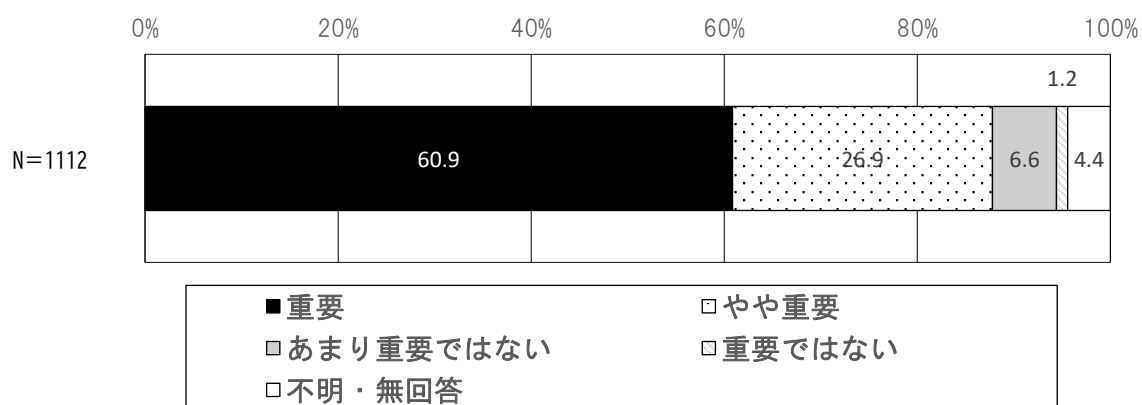


問35⑨【(重要度)⑨子育てに困ったときの相談窓口(「ままんちさせば 等)】

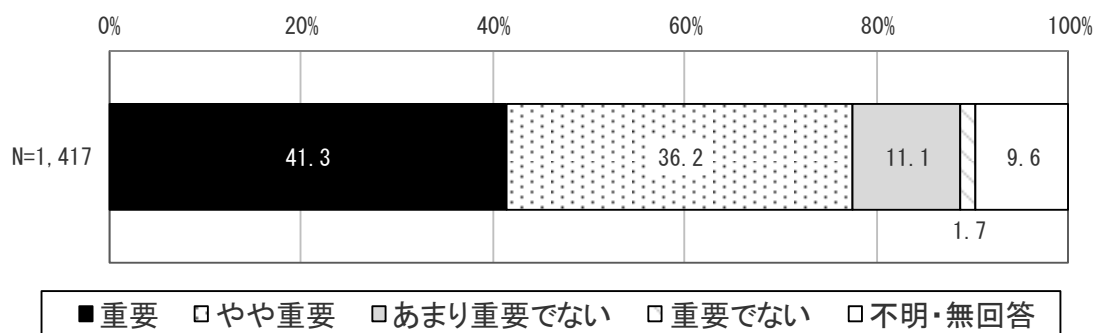
「重要」が 60.9%で最も高くなっています。次いで「やや重要」が 26.9%、「あまり重要でない」が 6.6%が続いています。

前回と比較して重要度が上がっています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

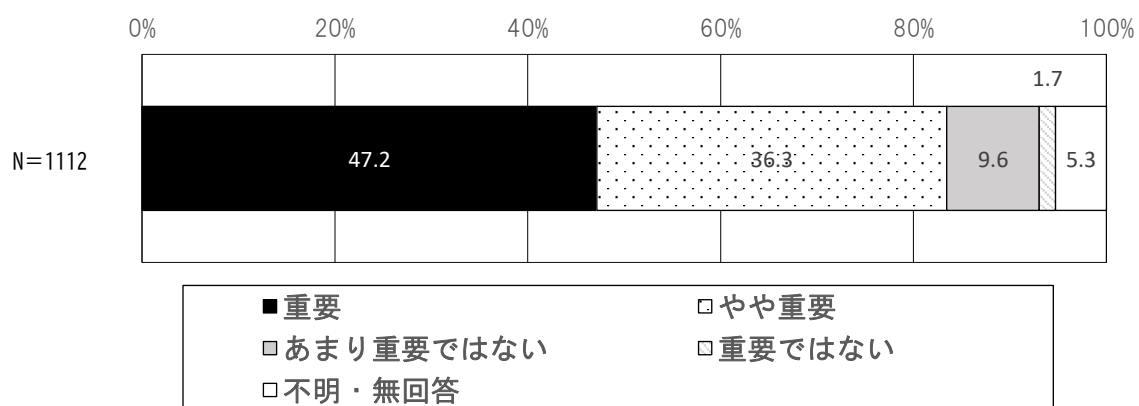


問35⑩【(重要度)⑩子育てに関する情報提供(子育て応援サイト「すくすくSASEBO」、子育て応援アプリ「させぼっ子ナビ」等)】

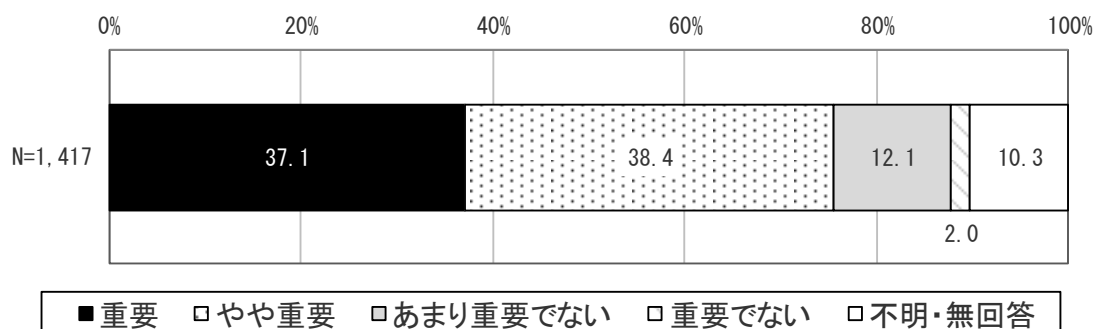
「重要」が47.2%で最も高くなっています。次いで「やや重要」が36.3%、「あまり重要でない」が9.6%が続いています。

前回と比較して重要度が上がっています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

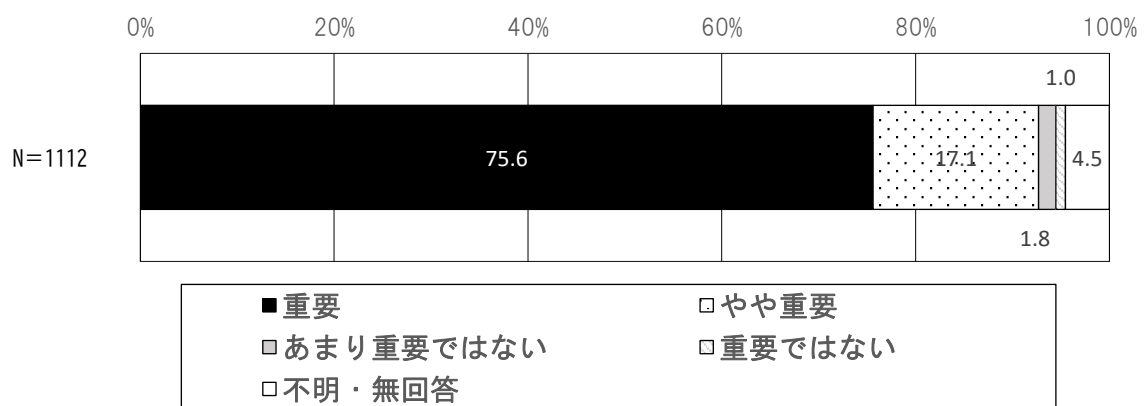


問35⑪【(重要度)⑪子育てと仕事が両立できる職場環境づくり(ワークライフバランス)】

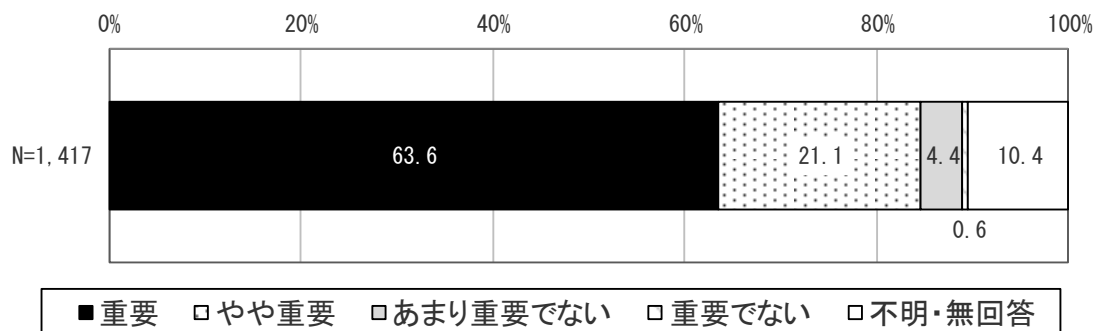
「重要」が 75.6%で最も高くなっています。次いで「やや重要」が 17.1%が続いています。

前回と比較して重要度が上がっています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

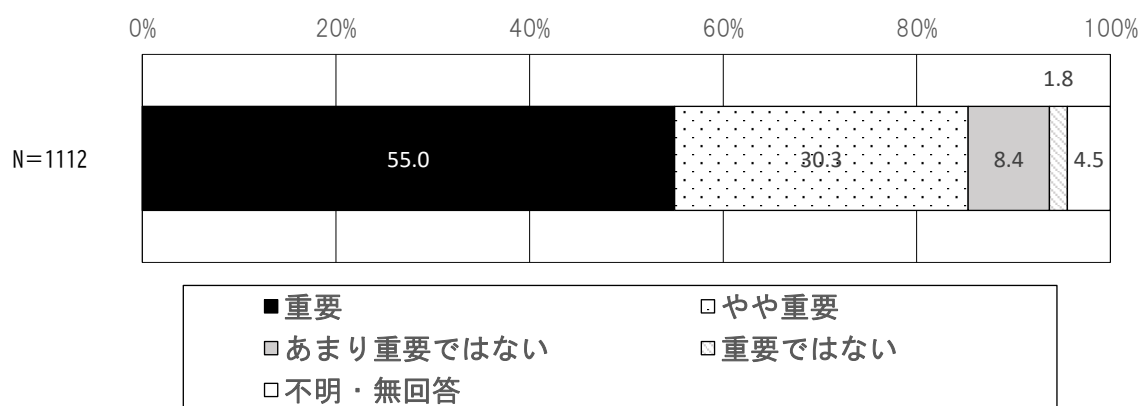


問35⑫【(重要度)⑫親子教室や子育て講座などの子育てについて学べる場の提供(父親向け育児講座、離乳食講座 等)】

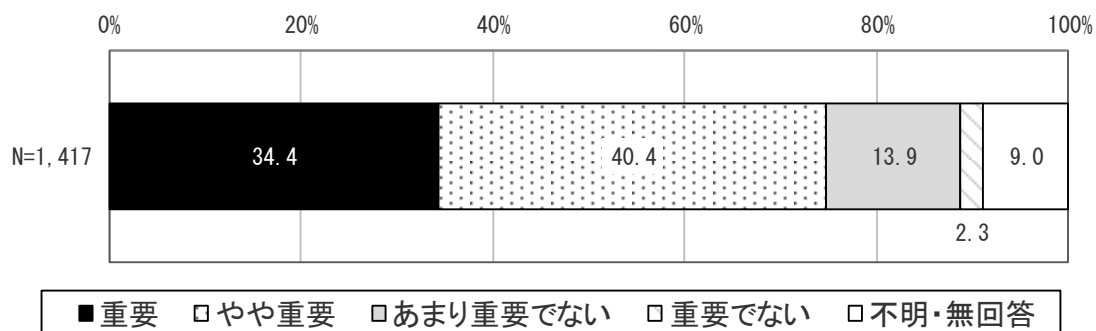
「重要」が55.0%で最も高くなっています。次いで「やや重要」が30.3%、「あまり重要でない」が8.4%が続いています。

前回と比較して重要度が上がっています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

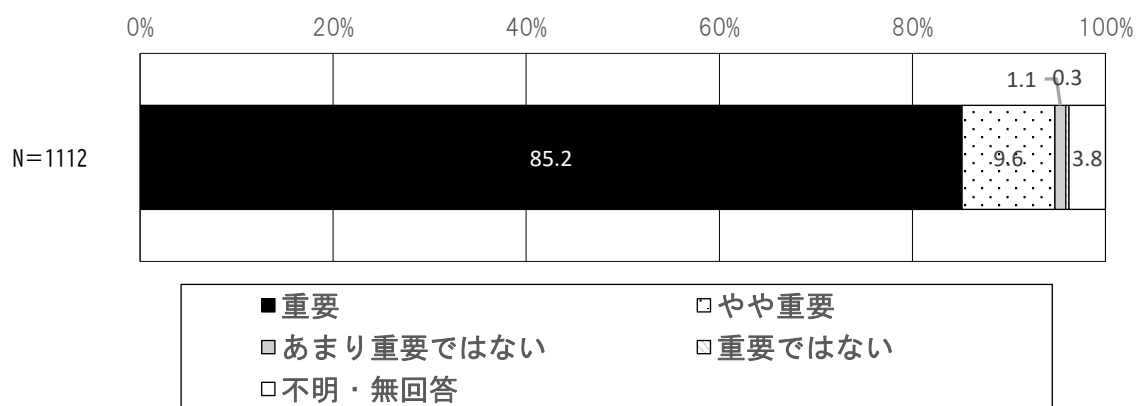


問35⑬【(重要度)⑬保育所、放課後児童クラブ等の働きながら子どもを預けられる施設】

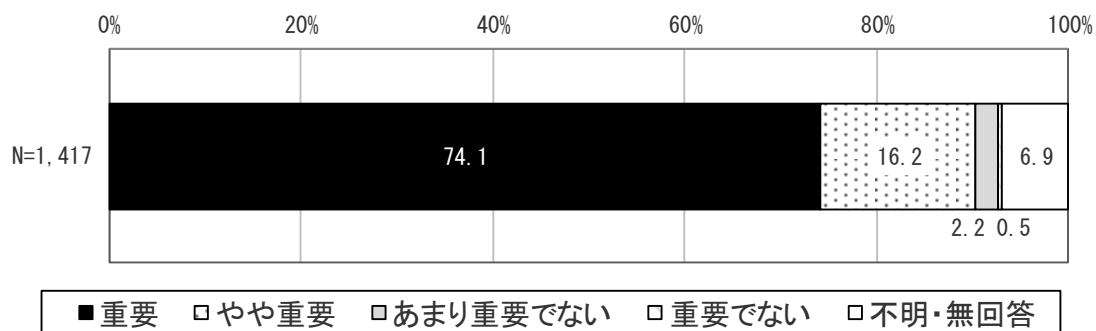
「重要」が 85.2% で突出しています。

前回と比較して重要度が上がっています。

今回（令和 5 年度）



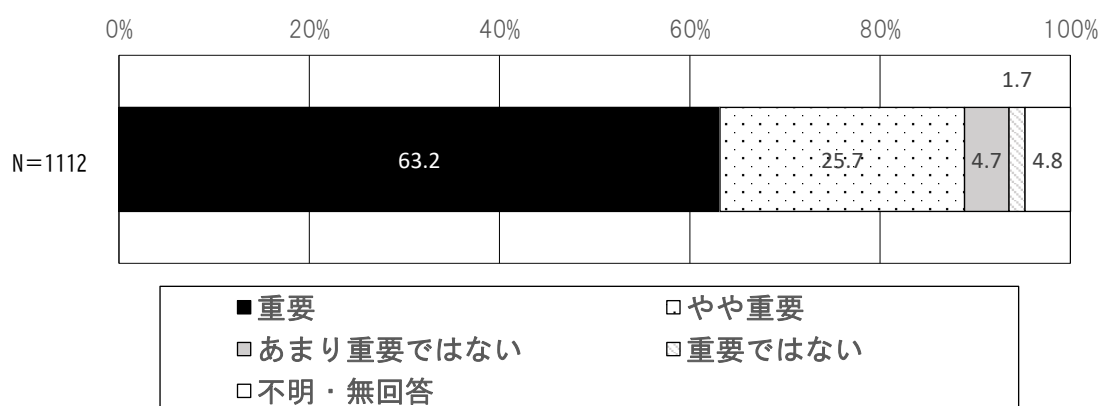
前回（平成 30 年度）



問35⑭【(重要度)⑭保護者の就職斡旋や職業訓練などの就労支援】

「重要」が63.2%で最も高くなっています。次いで「やや重要」が25.7%、「あまり重要でない」が4.7%となっています。

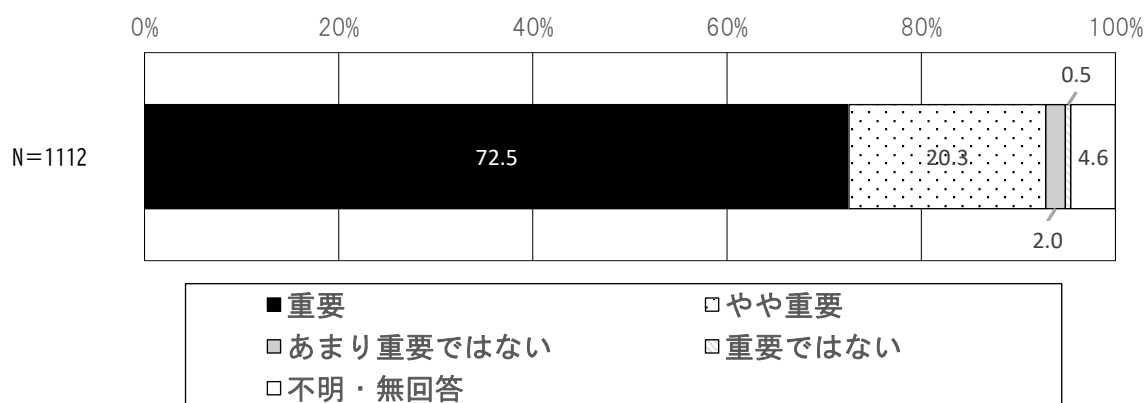
前回との比較データがありませんでした。



問35⑮【(重要度)⑮子育てにあたっての住宅や周辺環境の整備や改善】

「重要」が72.5%で突出しています。

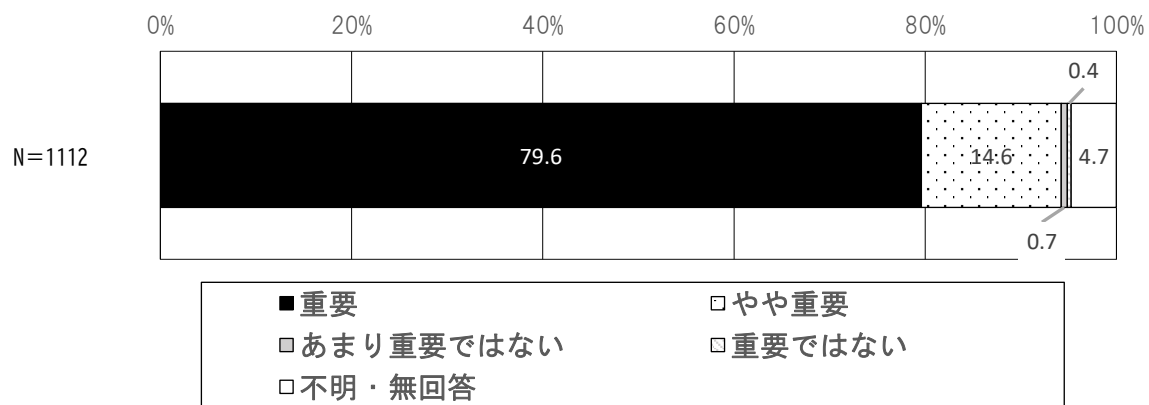
前回との比較データがありませんでした。



問35⑩【(重要度)⑩奨学金など、子どもの教育に関する支援

「重要」が79.6%で突出しています。

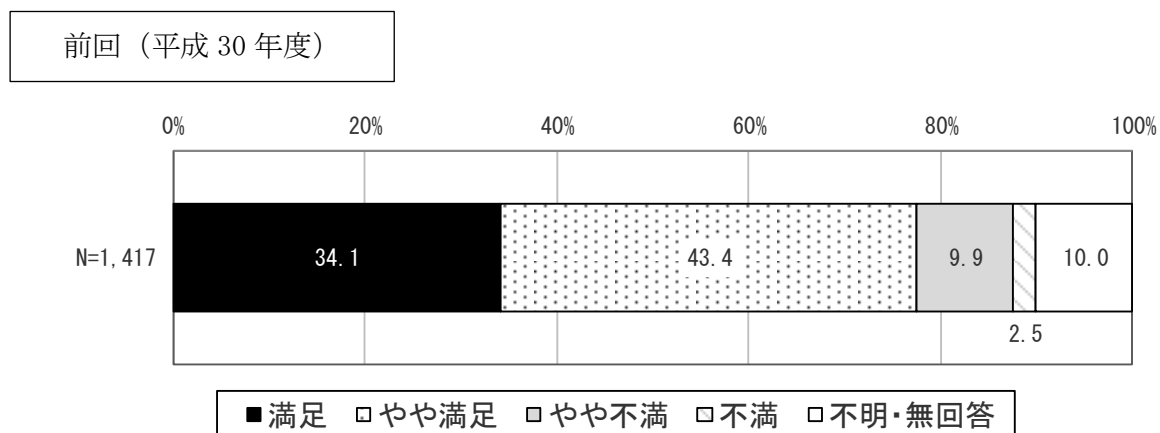
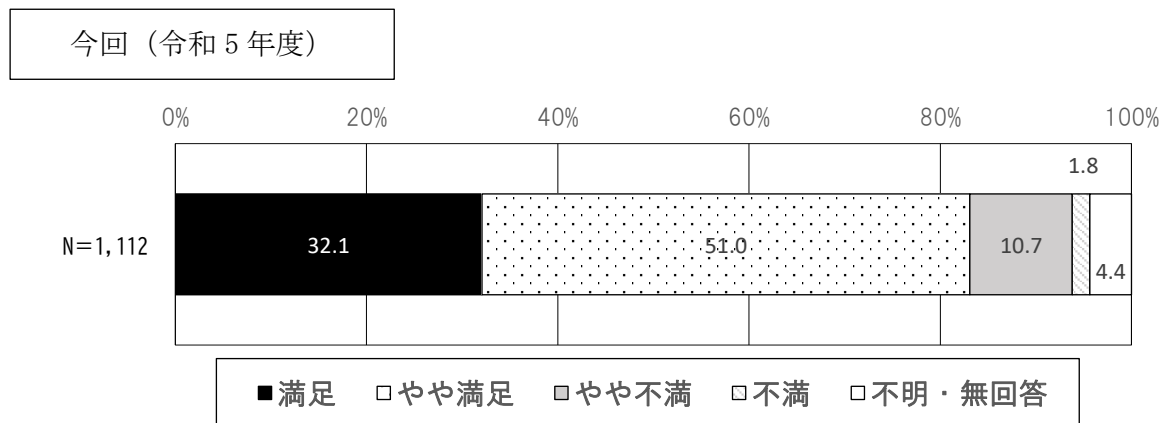
前回との比較データがありませんでした。



問35①【(満足度)①安心して妊娠・出産できるための乳幼児健診などの母子保健サービス】

「やや満足」が 51.0%で最も高くなっています。次いで「満足」が 32.1%、「やや不満」が 10.7%で続いています。

前回と比較して大きな変化は見られませんでした。

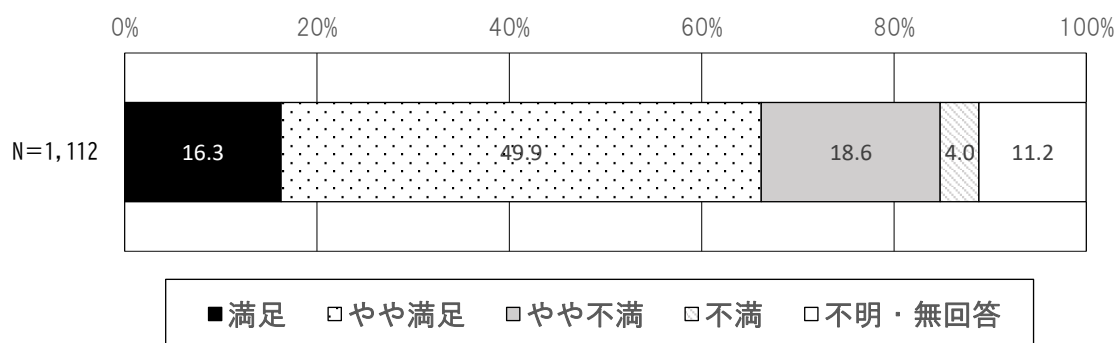


問35②【(満足度)②障がいや発達に心配のある子どもに対する支援】

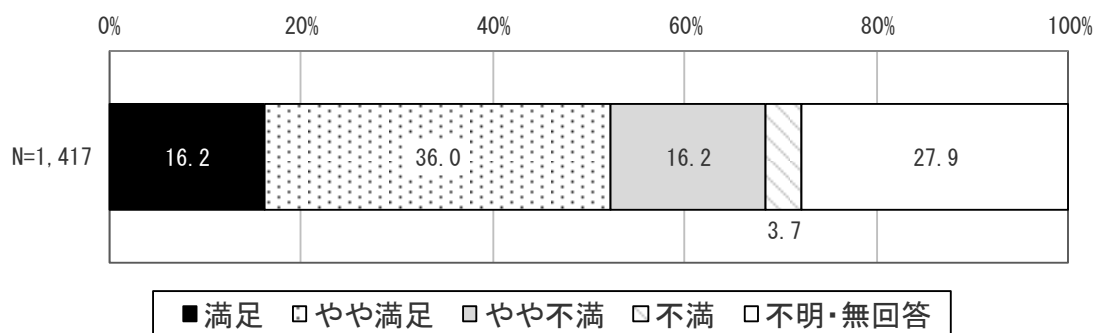
「やや満足」が 49.9%で最も高くなっています。次いで「やや不満」が 18.6%、「満足」が 16.3%で続いています。

前回と比較して大きな変化は見られませんでした。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

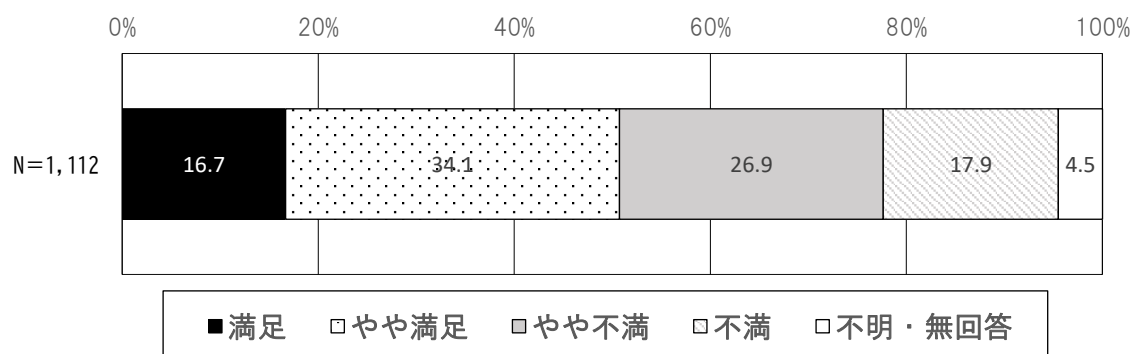


問35③【(満足度)③子どもの医療費や教育費の負担軽減などの経済的な支援】

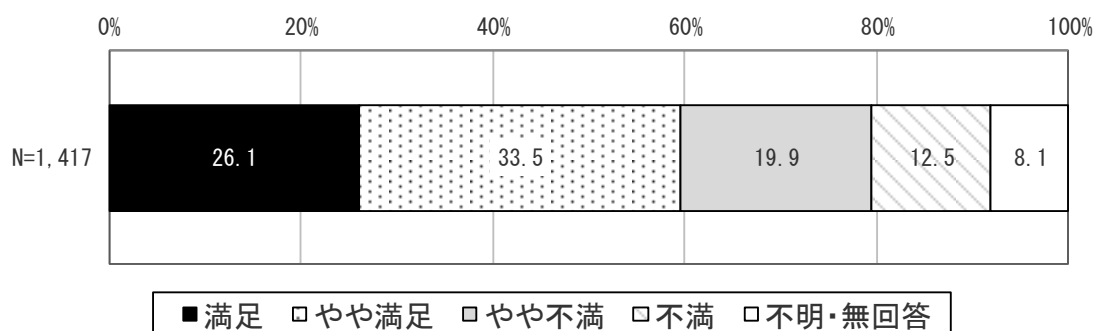
「やや満足」が 34.1%で最も高くなっています。次いで「やや不満」が 26.9%、「不満」が 17.9%で続いています。

前回と比較して満足度が下がっています。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

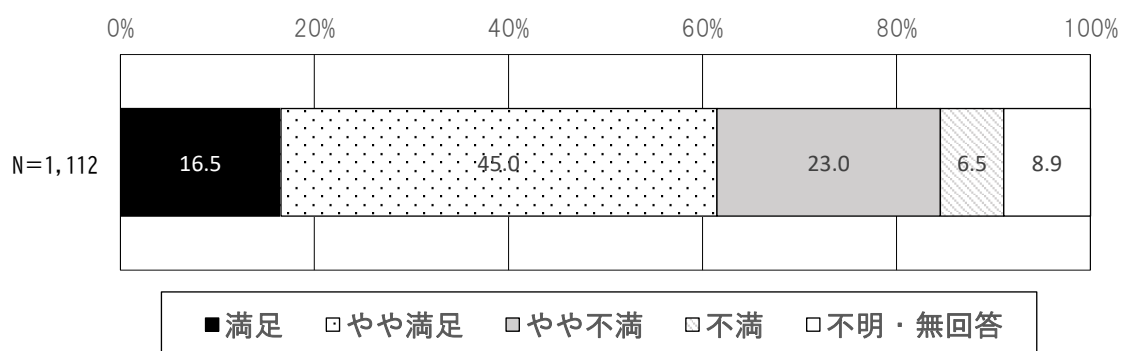


問35④【(満足度)④児童手当や保育施設の利用申し込みなど行政手続の電子申請サービス】

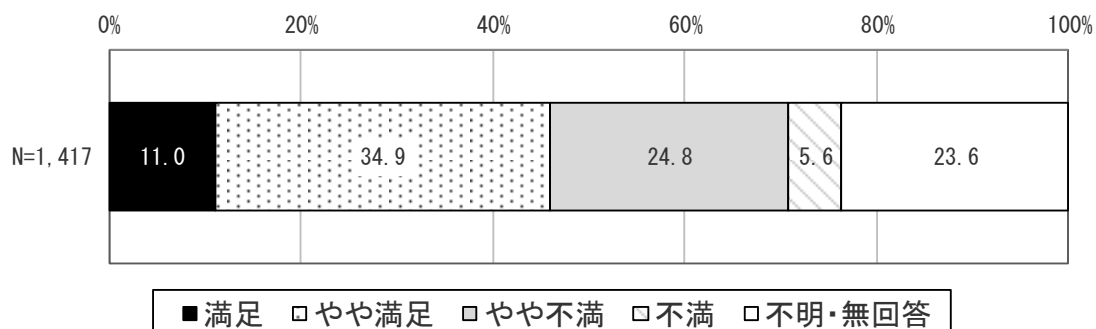
「やや満足」が45.0%で最も高くなっています。次いで「やや不満」が23.0%、「満足」が16.5%で続いています。

前回と比較して満足度が上がっています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

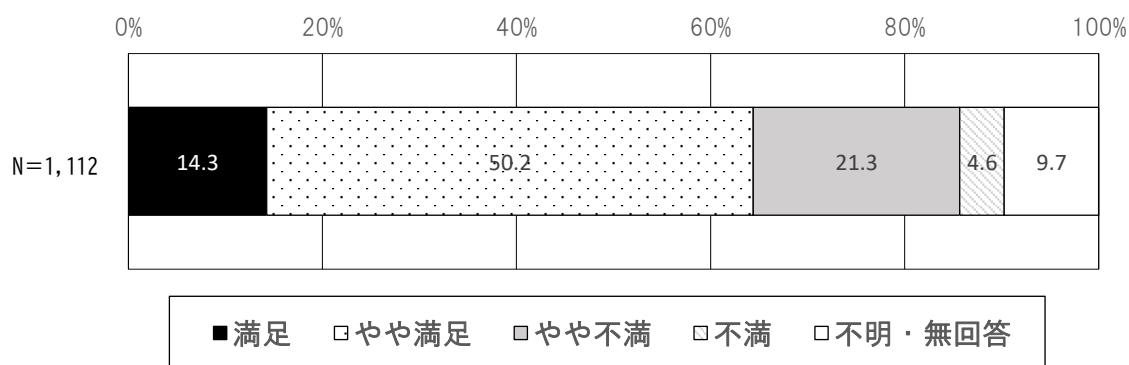


問35⑤【(満足度)⑤子育てサークルなど地域での自主的な子育て活動への支援】

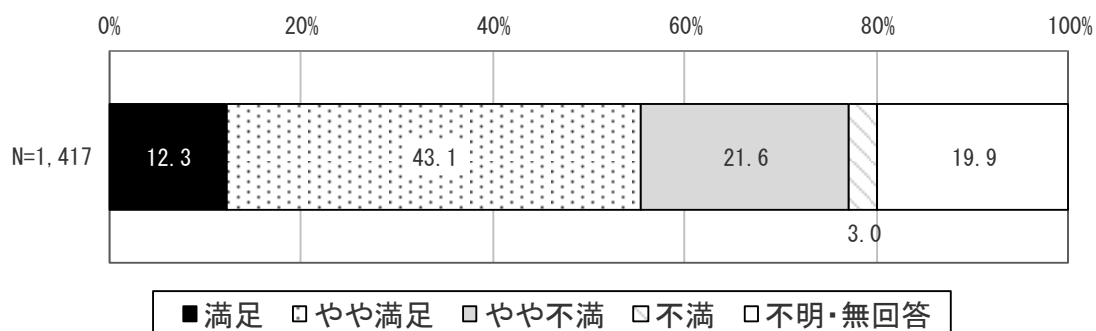
「やや満足」が 50.2%で最も高くなっています。次いで「やや不満」が 21.3%、「満足」が 14.3%で続いています。

前回と比較して大きな変化は見られませんでした。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

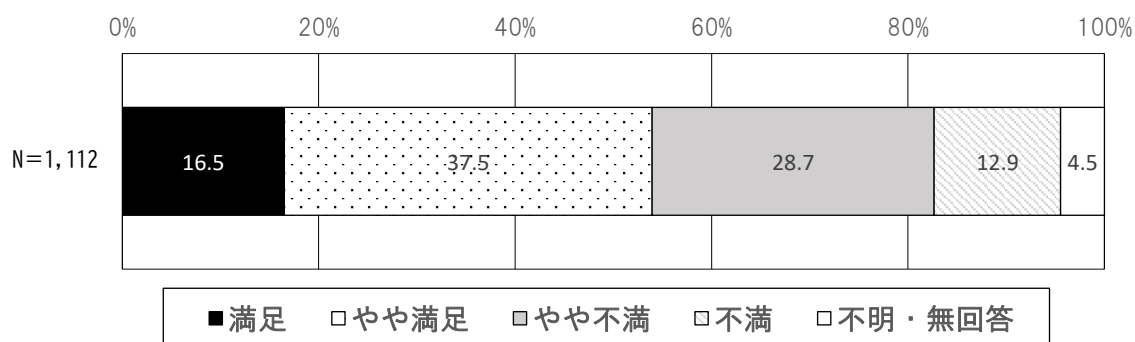


問35⑥【(満足度)⑥子どもの健全育成のための居場所や遊び場づくり(児童センター、メリッタKid's、「きららパーク」等)】

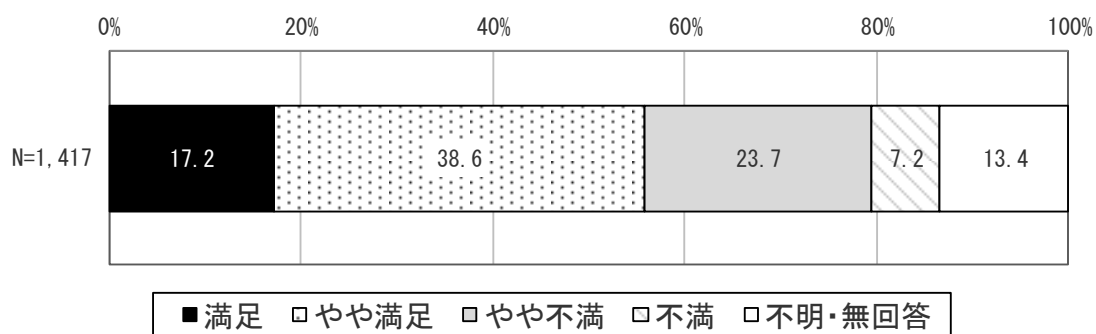
「やや満足」が37.5%で最も高くなっています。次いで「やや不満」が28.7%、「満足」が16.5%が続いています。

前回と比較して満足度がやや下がっています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

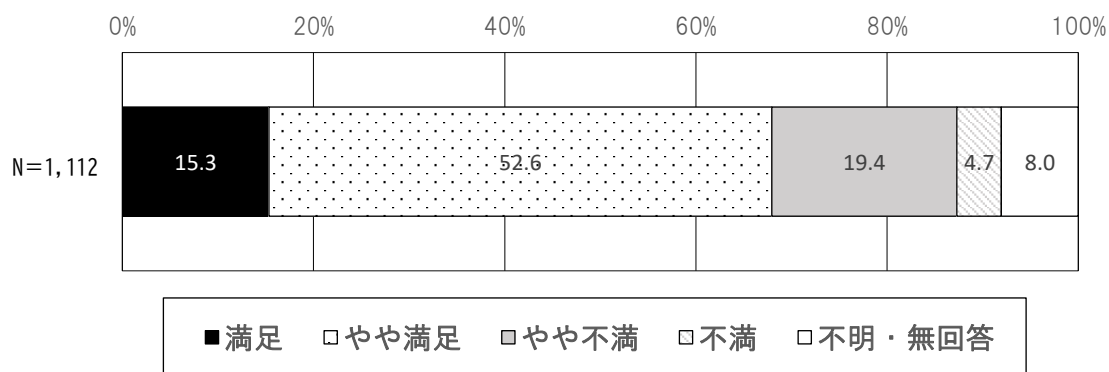


問35⑦【(満足度)⑦親子同士の交流を図るための支援(地域子育て支援センター 等)】

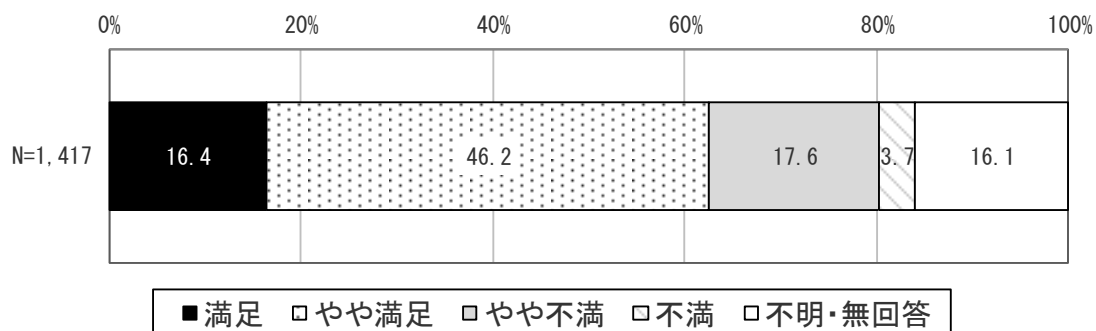
「やや満足」が 52.6%で最も高くなっています。次いで「やや不満」が 19.4%、「満足」が 15.3%が続いています。

前回と比較して大きな変化は見られませんでした。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

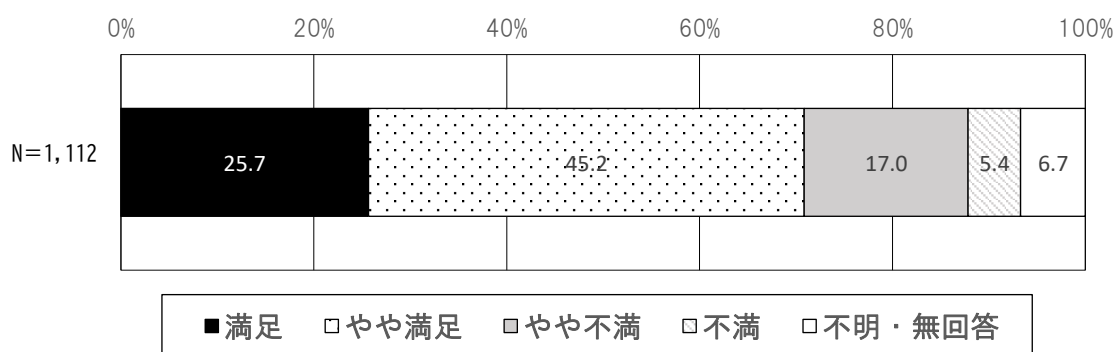


問35⑧【(満足度)⑧延長保育など多様なニーズにこたえられる幼稚園・保育所等】

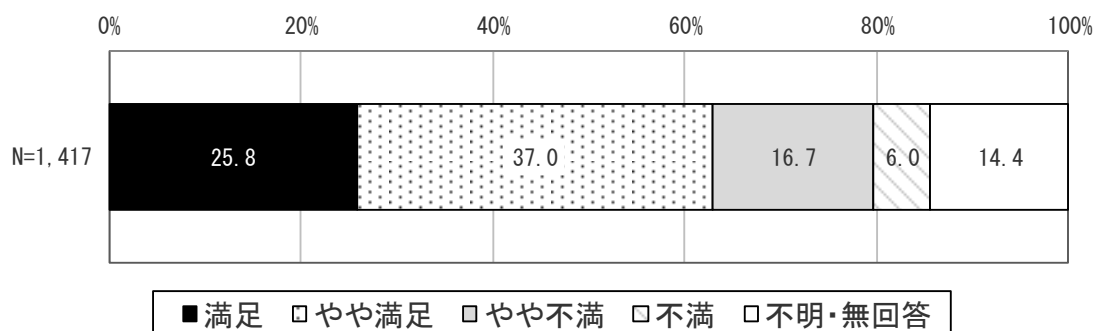
「やや満足」が 45.2%で最も高くなっています。次いで「満足」が 25.7%、「やや不満」が 17.0%で続いています。

前回と比較して大きな変化は見られませんでした。

今回（令和 5 年度）



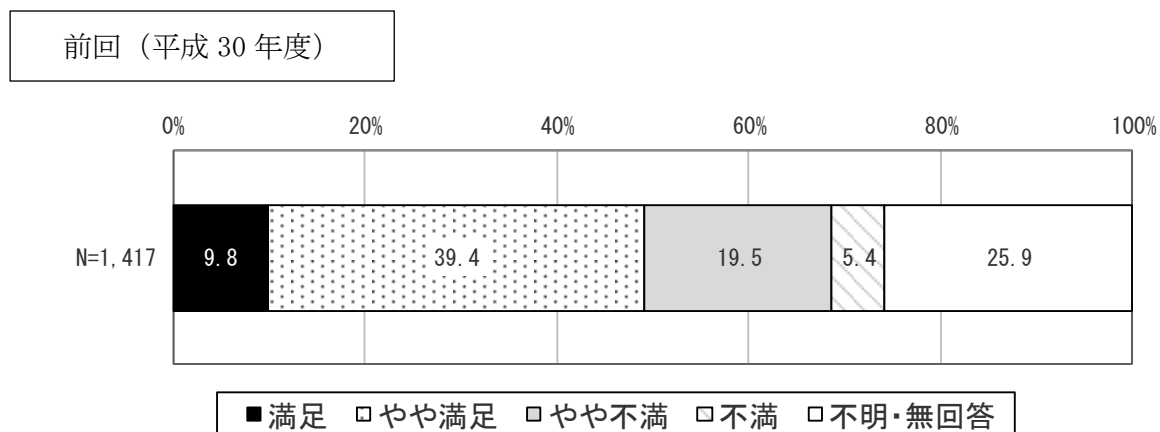
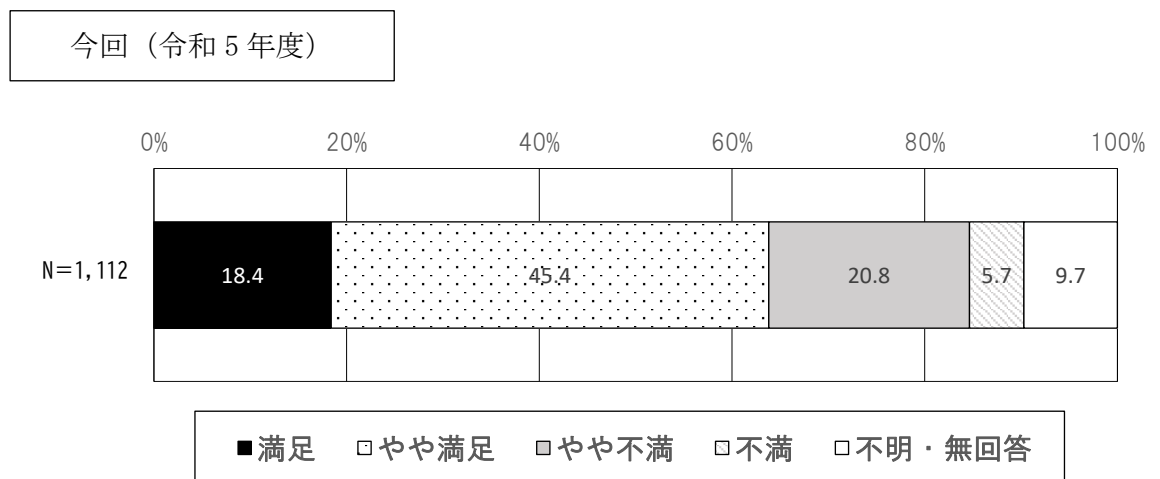
前回（平成 30 年度）



問35⑨【(満足度)⑨子育てに困ったときの相談窓口(ままんちさせぼ 等)】

「やや満足」が 45.4%で最も高くなっています。次いで「やや不満」が 20.8%、「満足」が 18.4%で続いています。

前回と比較して満足度がやや上がっています。

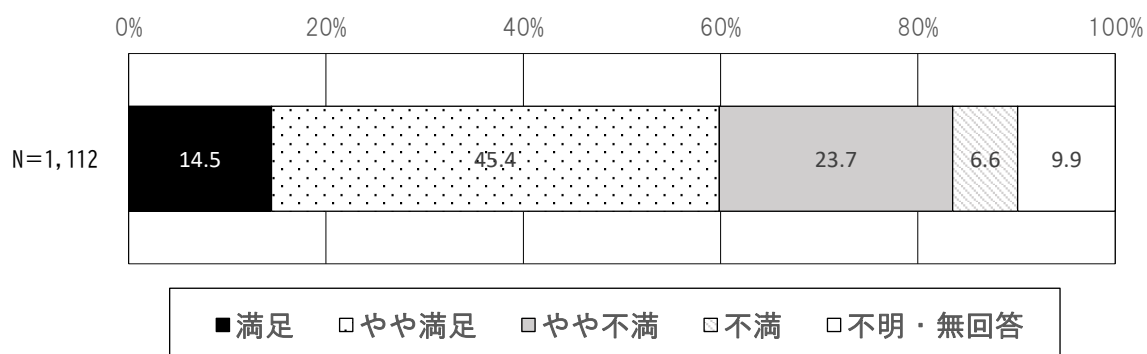


問35⑩【(満足度)⑩子育てに関する情報提供(子育て応援サイト「すくすくSASEBO」、子育て応援アプリ「させぼっ子ナビ」等)】

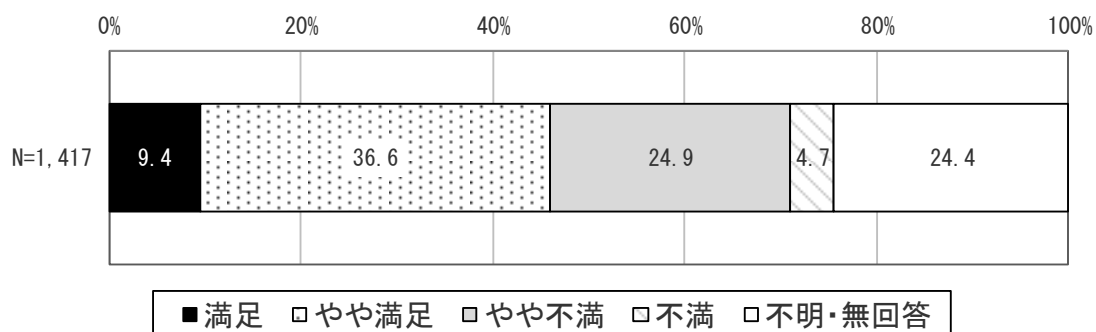
「やや満足」が45.4%で最も高くなっています。次いで「やや不満」が23.7%、「満足」が14.5%が続いています。

前回と比較して満足度が上がっています。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

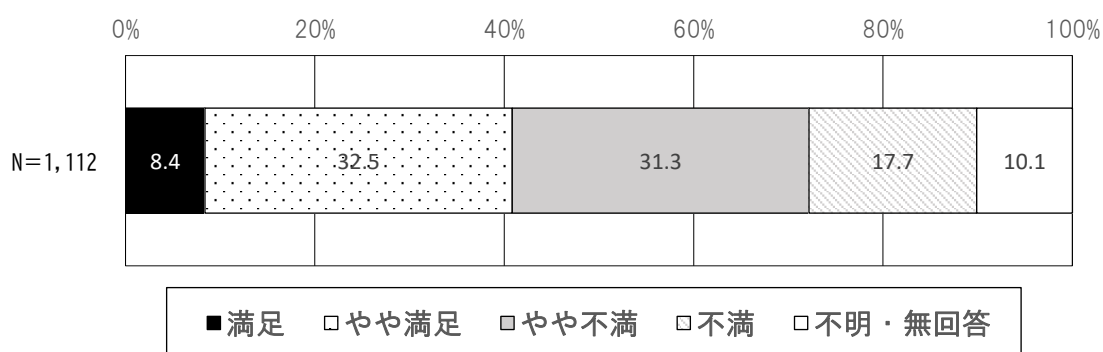


問35⑪【(満足度)⑪子育てと仕事が両立できる職場環境づくり(ワークライフバランス)】

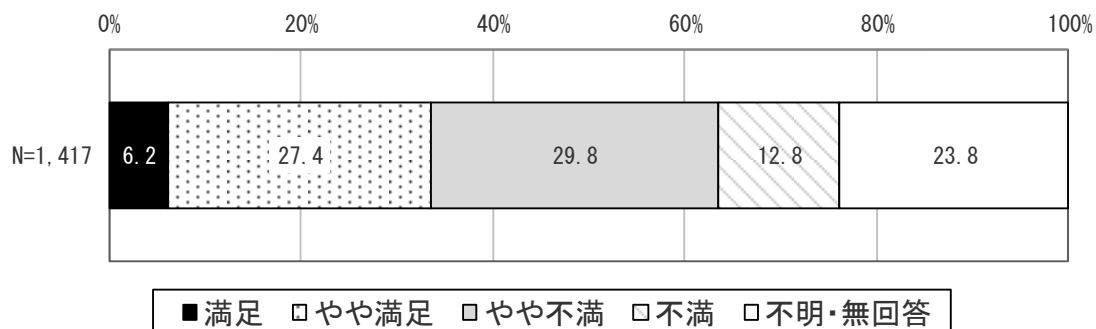
「やや満足」が 32.5%で最も高くなっています。次いで「やや不満」が 31.3%、「不満」が 17.7%が続いています。

前回と比較して大きな変化は見られませんでした。

今回（令和 5 年度）



前回（平成 30 年度）

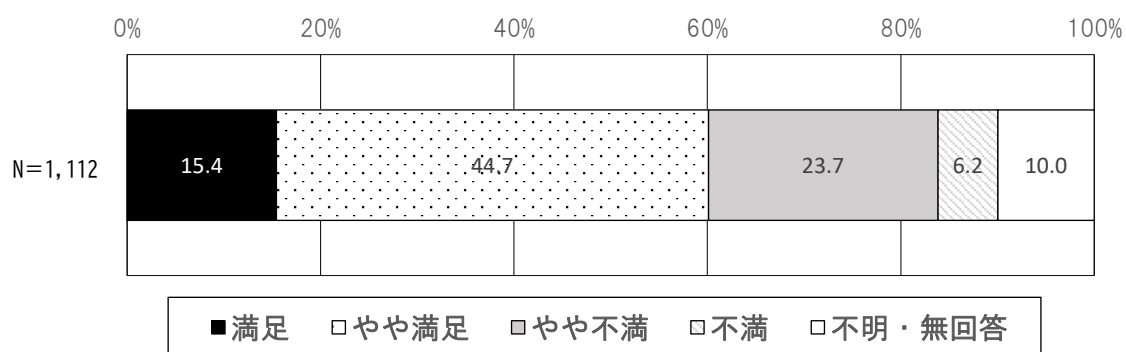


問35⑫【(満足度)⑫親子教室や子育て講座などの子育てについて学べる場の提供(父親向け育児講座、離乳食講座 等)】

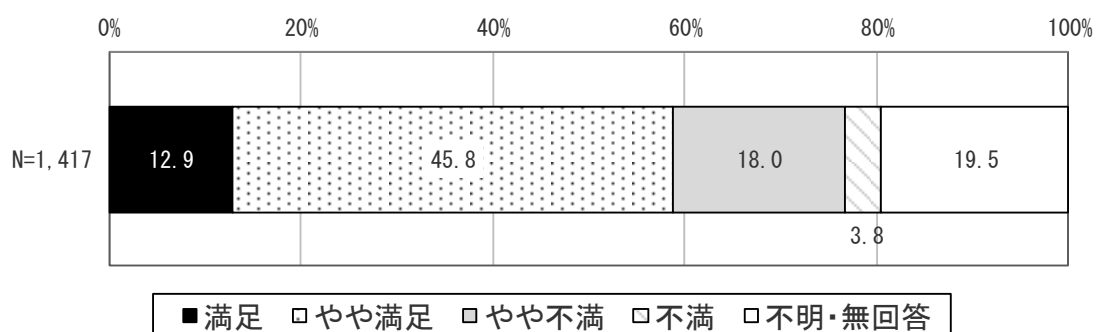
「やや満足」が44.7%で最も高くなっています。次いで「やや不満」が23.7%、「満足」が15.4%が続いています。

前回と比較して大きな変化は見られませんでした。

今回（令和5年度）



前回（平成30年度）

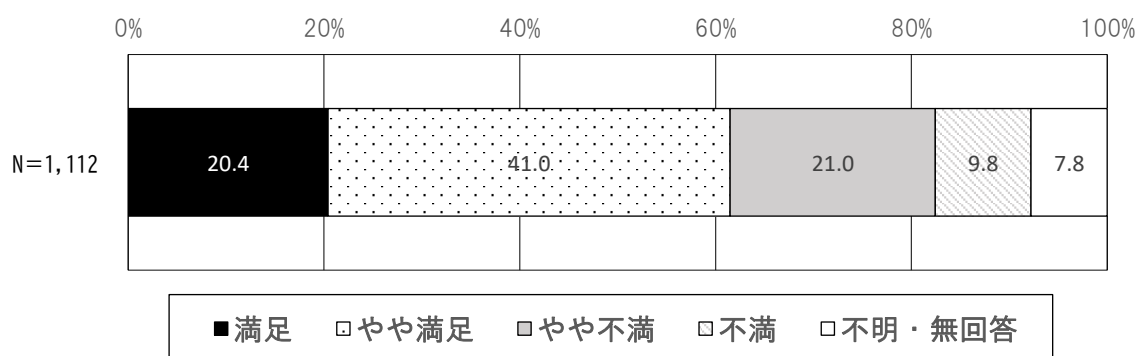


問35⑬【(満足度)⑬保育所、放課後児童クラブ等の働きながら子どもを預けられる施設】

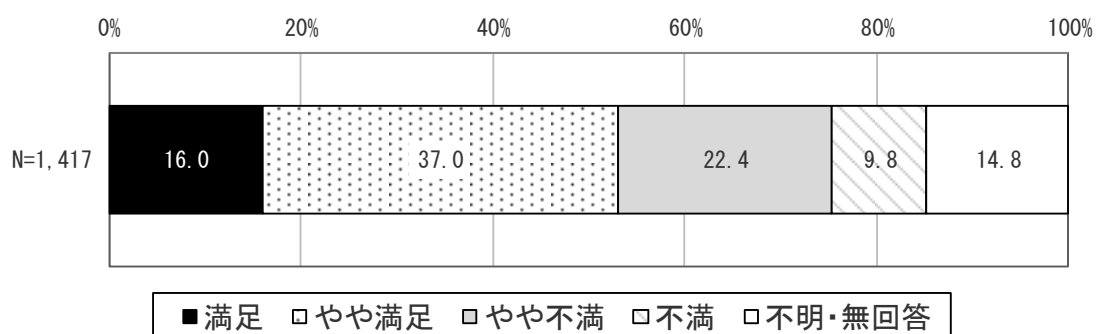
「やや満足」が 41.0%で最も高くなっています。次いで「やや不満」が 21.0%、「満足」が 20.4%で続いています。

前回と比較して満足度がやや上がっています。

今回（令和 5 年度）



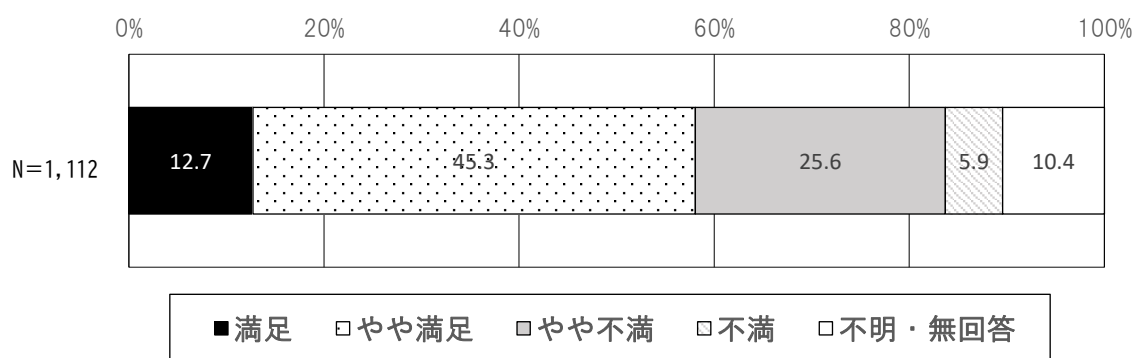
前回（平成 30 年度）



問35⑭ 【(満足度)⑭保護者の就職斡旋や職業訓練などの就労支援】

「やや満足」が45.3%で最も高くなっています。次いで「やや不満」が25.6%、「満足」が12.7%が続いています。

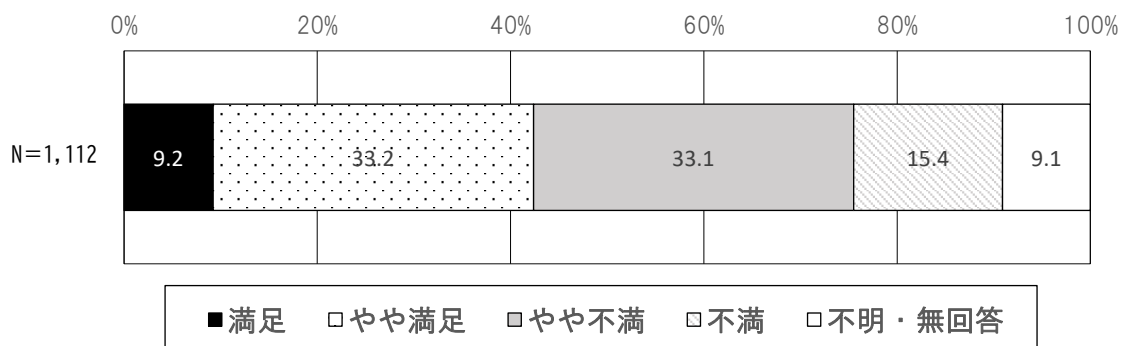
前回との比較データがありませんでした。



問35⑮ 【(満足度)⑮子育てにあたっての住宅や周辺環境の整備や改善】

「やや満足」が33.2%で最も高くなっています。次いで「やや不満」が33.1%、「不満」が15.4%が続いています。

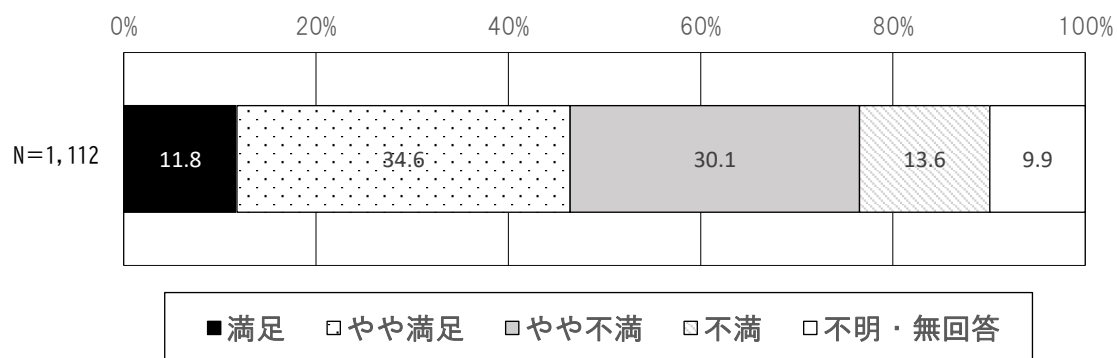
前回との比較データがありませんでした。



問35⑯【(満足度)⑯奨学金など、子どもの教育に関する支援

「やや満足」が 34.6%で最も高くなっています。次いで「やや不満」が 30.1%、「不満」が 13.6%が続いています。

前回との比較データがありませんでした。



【自由回答】

※多かった意見、代表的な意見の抜粋となります。

<保育料について>

・保育料が高い。前年の収入に対する額のため短時間労働で職場復帰すると、収入も減るためきびしい。小学校に上がっても、できるだけお家でおかえりを言いたいが、経済的に現実は無理。フルタイムで仕事をしたいが（経済的に）、体調不良などがあるため出来ない。補助をして助けてもらえれば、子どもの養育費をもっと出来て、将来の貯金もできるのと思っている。保育士さん達には、本当に感謝しています。給料が少ないと言われているので心苦しい。
・R6年度より1，2才児が保育料無償化になるが0才児も対象としてほしい。
・1、2歳児の保育料無償化を【同時在籍を問わない】を条件にしてほしかったです。上の子と年齢が離れていると一人目扱いになるから、それでは不公平だと思います。
・R6,4月から同時在園での第2子以降の保育料無償化になり、とても助かります。ありがとうございました。できれば、同時在園という制度がなくなってくれたらもっと嬉しいです。
・3人子供が居て、上2人は小学生。末っ子は保育園に預けていますが、3人目なのに1人目の金額を支払っています。それプラス、上2人は学童で、全部で月約7万円です。扶養内で働いているので、何のために働いているのか。なぜ3人目なのに保育料を1人目の金額なのか。経済的に厳しいです。2人目以降無償化になると聞いていたのでガッカリでした。

<病児保育について>

・病児保育施設が少ないうえに、枠が少数の為希望する日にキャンセル10名待ち等で利用する事ができず仕事を休む事がほとんどだった。[年間病気で園を休んだのが70日でその内病児保育を利用できたのは3回のみ] 上記の理由で何度も仕事を辞めようかと思う事があった。(職場に迷惑がかかり、居づらくなった) もっとたくさんの働くパパママの為に病児保育が利用できるようになればいいなと日頃から願っています。
・片親家庭ではないものの、父親が単身赴任などで長期家をあけている家庭にも、病児保育の料金を低くするなどしてほしい。
・病児保育はほとんど空きがないことばかりで仕事を何日も休むことが1番ストレスに感じる。空きがあっても利用できても子供2人とも預けないといけない時は1日目など高額になり仕事に行けたとしても短時間パートなので、働いた分そのまま病児保育料になり、何の為に働いてきたのか…それなら家で見た方が子供たちの為にもと思うがそうすると仕事を休む…どっちにしてもの所があり、子育てと仕事の両立の難しさを感じる時がある。
・病児保育はいつも混んでいてまともに使えることは少ない。また事前に予約が必要なことに加えて費用が高いことも使いにくさの要因となっている。
・病児保育の預り時間が各小児科もう少しだけ(18:30頃までなど)延長してくれると、さらに働きやすい。

<医療費について>

・医療費が高いと思います！これからを担う子どもたちの医療費は最低でも中学生までは無料にして欲しい。他の小さな自治体が出来ているのに佐世保が出来ないのはどこに税金が使われているのか不思議に思う。病院変わると月に1600円は高い！
・医療費を無料にしてほしい。以前いた自治体では、小児科・歯科共に無料で会計の時間が無い分病院での待ち時間も短かった。
・子供の医療費が無料の地域も多いなか、1医療機関につき月1,600円の上限は高いと思う。無料は無理でも少しは安くしてほしいです。
・子どもの医療費が無償ではなく800円かかるのは改善してもらいたい。小さい時は毎週のようにウイルスを持ち込んで通院が必要な時期であるし、他の兄弟児も感染したり医療費が2倍3倍となる。800円でも負担が大きい。
・佐世保市は子供の病院代が無料ではない所が不満です。私達が以前住んでいた市では完全無料でした。病院代、処方箋薬局どちらも完全無料でしたので引っ越ししてきて支払いがある事に驚きました。子どもの人数も多い為かなり経済的負担です。
・医療費。県外、市外は無料というところもあります。またインフルエンザの予防接種は他と比べると佐世保市は高いので、ご検討いただきたいです。

<遊べる場所について>

・公園の遊具が少ない事／室内遊び場が少ない事です。メリッタキッズもできて2年？ですが、正直に伝えますと武雄の方が良いです（遊具の内容・広さ的に）。大きな子・小さな子が入り混じって遊ぶ空間はとても怖いので、年齢別でじっくり遊べると良いですね。
・子どもの健全育成のための居場所や遊び場づくり（児童センター、メリッタKids、「きららパーク」等）とあるが、どれも駐車場がなかったり有料駐車場や入場料が必要で、とても気軽に行けるものではない。他市では豊富な大型遊具や広い無料駐車場があり、入場料も無料や少額で1日遊べる場所が多いように感じる。子育て支援で遊び場作りと掲げるのなら、文字通り気軽に1日中遊べる場所をもっと作ってほしい。
・土日に室内で遊べる場所がほしい。雨天時にメリッタしか知らないため、そこにたくさんの人が集中するから行きたくない。
・0～3才の子供が安全に遊べる施設を作ってほしい。公園は小学生など身体の高い子供が多く危ない。
・子供がよろこぶイベントを開催してほしい。大型アスレチックが入った公園を作ってほしい。四ヶ町三ヶ町アーケード内に遊べるスポットを作ってほしい。花火が出来る場所が少ないので増やしてほしい。
・地区によっては小さな公園が廃墟化しており近所で遊べる場所がありません。行けても駐車場がなかったりします。公園管理不備が気になります。

・外遊びをさせたいのに、野球禁止、サッカー禁止、花火禁止の公園が多すぎてどこで自由に遊べるのだろうと思うときがある。近隣の苦情などあるとおもうが、近隣に住まいがない広い自由スペースのある公園ができてほしい。
・室内遊具のある場所が少ない。あっても高いし駐車場代までかかるのは安易に連れていけない。公園も少なく駐車場がなかったり駐車場代を取られたり子どもたちに優しくない町。
・きららパークは環境整備がよく、積極的に行きたいが駐車場がせまく、またお金もかかるため利用しにくい。相浦公園は広く行きやすいが、遮るものがないため暑すぎる。冬は風が強く寒くて居られない。せめて、日陰になるような場所がほしい。屋根付きのベンチも一つしかなく、利用できたことがない。トイレも行きにくく、狭いため子供と一緒に入れない。
・佐世保の中心部に子ども向けの施設や公園があるが、中心部に住んでないと駐車場代がかかったりゆっくり公園で遊べない。図書館の駐車場が有料になり複数の子供と本を選んだり読んだりすると料金がかかるため、利用する頻度が減った。
・メリッタキッズの有料施設ではなく、大村市のオムランドみたいな室内の大きい無料施設がほしい。佐々町には新しい遊具の広い公園がたくさんできている(でんでんパーク等)、佐世保市も新しい遊具の広い公園をたくさん作ってほしい(今ある公園の遊具の見直し等、九十九島観光公園のように場所も悪く遊具等もないのにお金だけはかけている広場はいらない)。佐世保市の強みである森きらら、海きららはしっかりと関与して維持してほしい
・自宅周辺（子どもが友達と歩いて行ける範囲）に遊べる公園が無いため、学校が遊べる唯一の施設になっている。学校で遊ぶ事が禁止されているのかどうかも不明、またそれを学校に尋ねる事によって行けなくなる事への不安がある。近くに公民館があるため、そこで公園の機能を担って欲しい。また、放課後や夏休みに公民館などを開放してもらい、地域の子供達が集えて、宿題などの自主学習が出来る場所の提供などをして欲しい。

<子どもの発達について>

・健診の回数が少ない。もう少し発達をしっかり見てほしい。健診で分からず生きづらさを感じ困っている子が多すぎ。困っている子を救ってほしい。グレーゾーンの子供たちの行き場がどんどん少なくなり困る。どんな子でも元気に過ごせる場を増やしてほしい。
・児童発達支援を受けるにあたり、相談事業所の必要性があまり分からない。支援事業所、市の発達支援と保護者だけで直接やりとりができれば、もう少しスムーズに支援へとつなげられるのではと思います。発達センターの受診も時間がかかり（半年待ち等）、早期療育に対し市をあげて認めてもらえるととても子育てしやすいように感じます。とは言え いま現在支援の受給を認めていただいております、とても助かっております。
・発達に心配のある子に対して、支援する場を増やしていただきたいです。また、就労している場合、まどか教室等に通級が難しくなることがあります。平日以外の時間や遅い時間でも、対応していただけると助かります。

・我が子は障害があり児童発達支援事業所へ通っています。幼稚園や保育園へ行けるくらいではないので、1日1ヶ所児童発達支援事業所にしか行けないので、ある所は40分しか支援を受けられず、その後預け先がないので仕事を休まないといけません。土日祝日も預かってもらえないので月の就労日数が少ないです。1日1ヶ所という縛りがきついとよく皆さん言われています。放課後等デイサービスも、人数が少なく近くはどこもいっぱいと言われました。送迎区域外を10箇所ほど見学してやっと入れる所が見つかった人もいました。

<その他、多かった意見>

・低所得層への支援はよくされているのを感じます。ただ、ギリギリのところにいる自分たちへの支援を全く感じられません。支援策を見るたび、こんなに生活が苦しいのに、また自分たちは対象外…と絶望します。物価が高とうしている今だからこそ、子育て世帯を対象に一律給付してほしい。

・学童の利用料(高すぎる)の補助や習い事などの補助がほしい。経済的な理由で子供のやりたい事を選ばせないといけない、又はできない。

・小、中学生給食費無料も頑張ってほしい。(中学3年生の無償化は素晴らしいと思います)

・基地がせっかくあるのだから外国の方との交流を増やしてほしい。差別をしない!!などの知識等を学ぶことができると思うし、英語の勉強もできると思う。

・通学路など子供たちが歩く道の整備がされていない(白線など含め優先して欲しい)。道幅が狭い。道が凸凹している。車と接触しそうになる。廃墟等もどうかしてほしい。

・佐世保市の子育て情報を既存のSNS(IGやXなど)で発信してほしい。

・施設各々の授乳室、オムツ替えの見直し。古い所は改善すべき…。公園のトイレはトイレ自体が古い所も多いので、特に気にしてほしい。

・おむつやミルク代の補助が欲しい。産後の買い物サービスが欲しい。産後の母親の支援がもっと使用しやすくなると嬉しい。

・時短勤務や休暇取得が取りやすい認められやすい職場環境作り、制度の充実、企業への補助金などを充実していただきたいです。子育て支援が厚い町としてPRできるし、人口流出対策や転入促進に繋がるのでは。

・学童が本当に足りません。来年入れるかも分かりません。学童で悩む親は多いです。早急に対処してください。

・育休中でも通常通り保育園を利用できる環境作り(早めにお迎えをと言われたり土曜日の利用に対していい顔されない)。

・自衛隊の家族が多く住んでいると思うので、佐世保に転勤してきて孤独を感じながら子育てをする保護者が多くいると思う。子育ての情報が少なく理解するまでに時間がかかりました。転勤で親族の支援が得られない家庭は支援が足りなく子育てに苦労すると思う。

3. アンケート調査票



佐世保市 子ども・子育て支援に関するアンケート ご協力をお願い



日頃から市政に格段のご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

本市では、子育て支援の充実を図るため、令和2年度に「第2期新させぼっ子未来プラン」を策定し、幼児期の教育・保育・地域の子育て支援事業に計画的に取り組んでまいりましたが、令和6年度に、策定から5年が経過することから計画の見直しを行うこととしております。

つきましては、現在子育て中の皆様に、本市の子育て支援サービスの利用状況・利用希望等をお伺いし、計画に反映させることを目的にアンケート調査を実施することとなりました。

ご多用のところ、恐縮ではございますが、このアンケートの趣旨・目的をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

令和6年3月 佐世保市長 宮島 大典

ご回答にあたってのお願い

- ① 右のQRコードもしくはURLをスマートフォン等で読み取っていただき、アンケート調査票の設問について、回答を入力してください。
<https://ttzk.graffer.jp/city-sasebo/smart-apply/surveys-alias/kodomokosodate-tyousa1>
- ② 調査票は宛名のお子さんの保護者の方がお答えください。ご本人が病氣入院中や長期出張などにより、ご回答いただけないときは、ご家族の方が代わりにお答えいただいても構いません。
- ③ 回答にあたっては、回答フォーム、調査票や返信用封筒に個人が特定される情報を記載しないでください。
- ④ ご回答の内容は、本調査の目的以外に利用することはございません。また、個人が特定されることもございません。
- ⑤ 回答可能期間は、令和6年4月1日(月)～4月15日(月)までとなります。
※スマートフォン等での回答が難しい場合は、ご回答いただいた調査用紙を同封の返信用封筒に入れて、令和6年4月15日(月)までに最寄りの郵便ポストへ投函してください。切手は不要です。
- ⑥ この調査についてのお問い合わせは、以下に記載の連絡先をお願いいたします。



佐世保市 子ども未来部 子ども政策課 担当:熊本、川口
電話:0956-24-1111(内線5411～5412)FAX:0956-25-9673
E-Mail:kodosei@city.sasebo.lg.jp(子ども政策課)

(用語の定義)

この調査票で使われる用語の意味は次のとおりです。

- 幼 稚 園 : 学校教育法に定める、3～5歳児に対して幼児教育を行う施設
- 保 育 所 : 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
- 認 定 こ ども 園 : 幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設で、就労の有無にかかわらず利用できる施設
- 放課後児童クラブ : 保護者が就労等で昼間家庭にいない児童(小学生)に、学校の授業終了後に生活と遊びの場を提供し、児童の健全育成を図る施設
- 子 育 て 支 援 : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教 育 ・ 保 育 事 業 : 就学前の子どもの幼稚園・保育所および認定こども園等の受入・利用などの事業

ご家族の状況についてうかがいます

問1 お住いの地域についてうかがいます。(番号の1つに○)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 本庁管内(下記の支所管内以外) ⇒ (| 町) |
| 2. 相浦支所管内 | 3. 中里皆瀬支所管内 |
| 4. 黒島支所管内 | 5. 大野支所管内 |
| 6. 柚木支所管内 | 7. 日宇支所管内 |
| 8. 早岐支所管内 | 9. 江上支所管内 |
| 10. 針尾支所管内 | 11. 三川内支所管内 |
| 12. 宮支所管内 | 13. 吉井支所管内 |
| 14. 世知原支所管内 | 15. 小佐々支所管内 |
| 16. 江迎支所管内 | 17. 鹿町支所管内 |
| 18. 宇久行政センター管内 | 19. わからない ⇒ (|
| | 町) |

問2 保護者のお勤め先がある地域についてうかがいます。(各保護者の下に、番号を記入)
(支所管内以外を選択された方は、町名を枠内に記入してください)

母親	父親	その他、保護者がおられる場合は、あて名のお子様からみた関係とそれぞれのお勤め先の地域をお答えください。			
		関係			
		地域			

1. 本庁管内(下記の支所管内以外)	
2. 相浦支所管内	3. 中里皆瀬支所管内
4. 黒島支所管内	5. 大野支所管内
6. 柚木支所管内	7. 日宇支所管内
8. 早岐支所管内	9. 江上支所管内
10. 針尾支所管内	11. 三川内支所管内
12. 宮支所管内	13. 吉井支所管内
14. 世知原支所管内	15. 小佐々支所管内
16. 江迎支所管内	17. 鹿町支所管内
18. 宇久行政センター管内	19. わからない
	20. 就労していない

問3 あて名のお子様の生年月を記入してください。

西暦					年			月生まれ
----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	------

問4 あて名のお子様を含め、お子様は何人いらっしゃいますか。
令和6年4月2日時点の年齢ごとに、人数を記入してください。

0～2歳	3～5歳	小学生	中学生	その他
人	人	人	人	人

問5 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。お子様からみたあなた(回答者)の関係でお答えください。(番号の1つに○)

1. 母親	2. 父親	3. その他(具体的に	)
-------	-------	-------------	---

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(番号の1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問7 お子様の子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子様からみた関係でお答えください。(番号の1つに○)

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他() | |

問8 お子様の子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)かをうかがいます。(あてはまるすべての番号に○)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設(子育て支援センター等) |
| 5. 保健所(保健センター)(保健師等) | 6. 保育所(保育士) |
| 7. 幼稚園(幼稚園教諭) | 8. 認定こども園(保育教諭等) |
| 9. 民生委員・児童委員 | 10. かかりつけの医師 |
| 11. 市の子育て関連担当窓口 | 12. その他() |
| 13. いなし／ない | |



お子様の母親・父親の就労状況についてうかがいます。
(保護者が祖父母など母親・父親以外の場合、記入は不要です)

問9 あて名のお子様の保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)について、①現在の状況 と ②1年以内の希望(実現見込みがある) をお答えください。(それぞれの番号の1つに ○)

		1. フルタイム【週5日・1日8時間程度】	2. パート・アルバイト【月60時間以上】	3. パート・アルバイト【月60時間未満】	4. 専業主婦(夫)又は就労していない
① 現在の状況	母親	1	2	3	4
	父親	1	2	3	4
② 1年以内の希望	母親	1	2	3	4
	父親	1	2	3	4

問10へ

問10 問9の②1年以内の希望で「4専業主婦(夫)又は就労していない」を選択した方にうかがいます。
1年よりも先、将来的な就労希望はありますか。(番号の1つに ○)

※2.を選択した場合は、□□ 内に年齢も記入してください。

母親	父親
1. 子育てや家事などに専念したい(就労希望なし)	1. 子育てや家事などに専念したい(就労希望なし)
2. 1年より先、一番下の子どもが □□ 歳 になった頃に就 労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが □□ 歳 になった頃に就労したい

平日の定期的(月単位)な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

問11 お子様は現在、幼稚園や保育所などを定期的に利用されていますか。(番号の1つに○)

1. 利用している ⇒ 問11-1～4へ 2. 利用していない ⇒ 問11-5へ

問11で「1. 利用している」を選択した方にうかがいます。

問11-1 年間を通じて「定期的に」利用している施設・サービス等をお答えください。
(あてはまるすべての番号に○)

1. 幼稚園(通常の利用時間での利用)
2. 幼稚園の預かり保育(通常の利用時間を延長して預かるサービスのうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所(認可を受けた定員20人以上のもの)
4. 認定こども園(保育施設と幼稚園の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設(認可を受けた定員が概ね6～19人のもの)
6. 家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
8. その他の認可外保育施設
9. 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
10. ファミリーサポートセンター(地域住民がサービス提供者となり子どもを預かる事業)
11. 障がい児通所施設(児童発達支援事業所など)(注)
12. その他()

(注):障がい児通所施設(児童発達支援事業所など)
発達障がい・知的障がい・身体障がいなどの障がいを持つ子どもたちが通うことのできる福祉サービス施設です。

問11-2 平日に定期的に利用している教育・保育施設等を、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

(勤務形態が変則的である場合は、頻度の高い時間・時間帯を記入してください。)

※時間帯は24時間制で記入してください。

	現在の利用状況	希望する利用時間等
利用日数・時間	週 日 1日 時間	週 日 1日 時間
1日の利用の時間帯	時～ 時	時～ 時

問11-3 現在利用している教育・保育施設等の場所についてお答えください。(番号の1つに○)

1. 勤務先の近く 2. 自宅の近く
3. 実家の近く 4. その他()

問11-4 平日に定期的に教育・保育施設等を利用されている理由についてお聞きます。
(あてはまるすべての番号に○)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 現在働いているから
3. 働く予定があるから／求職中であるから
4. 家族・親族などを介護しているから
5. 子育てしている方が病気や障がいのため
6. 学生だから
7. その他()

問11で「2. 利用していない」を選択した方にうかがいます。

問11-5 利用していない理由は何ですか。(あてはまるすべての番号に○)

※「6」を選択した場合は、 内に数字を記入してください。

1. 保護者、祖父母等親族や友人・知人がみているなどの理由で、必要がない
2. 保育・教育施設に空きがない
3. 経済的な理由で利用できない
4. 延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
5. サービスの質や場所など、納得できる施設がない
6. 子どもがまだ小さいため(歳 くらいになったら利用しようと考えている)
7. その他()

すべての方にうかがいます。

問12 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子様の平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える施設・サービス等をお答えください。(あてはまるすべての番号に○)

1. 幼稚園(通常の利用時間での利用)
2. 幼稚園の預かり保育(通常の利用時間を延長して預かるサービスのうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所(認可を受けた定員20人以上のもの)
4. 認定こども園(保育施設と幼稚園の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設(認可を受けた定員が概ね6～19人のもの)
6. 家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
8. その他の認可外保育施設
9. 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
10. ファミリーサポートセンター(地域住民がサービス提供者となり子どもを預かる事業)
11. 障がい児通所施設(児童発達支援事業所など)(注)
12. その他()

(注):障がい児通所施設(児童発達支援事業所など)

発達障がい・知的障がい・身体障がいなどの障がいを持つ子どもたちが通うことのできる福祉サービス施設です。

問12-1 問12の教育・保育施設等を利用したい場所はどこですか。(番号の1つに○)

1. 勤務先の近く
2. 自宅の近く
3. 実家の近く
4. その他()

問12で「1. 幼稚園」「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけた方で、かつ「3」～「10」のいずれかにも○をした方にうかがいます。

問12-2 幼稚園や幼稚園の預かり保育を強く希望しますか。(番号の1つに○)

1. はい
2. いいえ

地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問13 お子様は現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。(あてはまるすべての番号に○)

※ 子育て支援センター等、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場や、サービスの利用状況。子育て支援センターは、佐世保市では次の施設内等に設置されています。

佐世保市《東部・北部》子育て支援センター、佐世保市幼児教育センター、佐世保市子ども発達センター、日野子育て支援センター、董ヶ丘幼児園地域子育て支援センター、おはし子育て支援センター、親子ひろば「よんぶらんこ」、子育て支援センター ほるとのき(旧佐世保市中部子育て支援センター)、ゆりかごくらぶ

※ おおよその利用回数(頻度)を □ 内に数字で記入してください。

1. 地域子育て支援拠点事業を利用している

⇒1週あたり: □ 回 または 1か月あたり: □ 回 程度

2. 市内で行われている地域子育て支援拠点事業以外の類似サービスを利用

(例:幼稚園や保育所、認定こども園で実施している家庭にいる親子への支援、子育てサークルなど)

⇒(具体名: _____)

⇒1週あたり: □ 回 または 1か月あたり: □ 回 程度

3. 地域子育て支援拠点事業も類似サービスも利用していない

問14 問13のような事業について、これからの利用意向についてうかがいます。(番号の1つに○)

※ 「1」「2」を選択された方は □ 内に合計利用日数を数字で記入してください。

1. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

⇒1週あたり: □ 回 または 1か月あたり: □ 回 程度

2. 利用していないが、新たに利用したい

⇒1週あたり: □ 回 または 1か月あたり: □ 回 程度

3. 新たに利用することや、利用日数を増やしたいとは思わない

問14で「3. 新たに利用することや、利用日数を増やしたいとは思わない」を選択した方にうかがいます。

問15 そのように思った理由は何ですか。(あてはまるすべての番号に○)

1. 地域子育て支援拠点事業等がよくわからない
2. 近くに地域子育て支援拠点事業等がない
3. その他()

お子様の土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問16 土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園、保育所、認定こども園、その他の保育施設等の定期的な利用希望（継続利用も含む）はありますか。
 （一時利用を除きます。あてはまる番号を□内に数字でご記入ください。また、「1」「2」を選択した方は利用したい時間帯も記入してください。）
 ※ これらの事業には、保育料などの一定の利用料がかかります。

(1)土曜日:選択肢 利用したい時間帯 ※24時間制で記入 時から 時まで 1. ほぼ毎週利用したい(または利用している) 3. 利用する必要はない	(2)日曜日・祝日:選択肢 利用したい時間帯 ※24時間制で記入 時から 時まで 2. 月に1～2回は利用したい(または利用している)
--	--

問16で「2. 月に1～2回は利用したい(または利用している)」を選択した方にうかがいます。

問17 毎週ではなく、月に1～2回利用したい理由をお答えください。(あてはまるすべての番号に○)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 仕事のため | 2. 親族の介護や手伝いが必要なため |
| 3. 買い物等の用事をまとめて済ませるため | 4. その他() |

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問18 幼稚園が夏休み・冬休みなど長期休園中の保育事業の利用を希望しますか。
 (あてはまる番号の1つに○をつけ、□内に数字で記入してください。)

1. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい(している) 2. 休みの期間中、週に数日利用したい(している) 3. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯 ※24時間制で記入 時から 時まで
--	-----	--

問18で「2. 休みの期間中、週に数日利用したい(している)」を選択した方にうかがいます。

問19 毎日ではなく、週に数日利用したい理由をお答えください。(あてはまるすべての番号に○)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 仕事のため | 2. 親族の介護や手伝いが必要なため |
| 3. 買い物等の用事をまとめて済ませるため | 4. その他() |

お子様の病気の際の対応についてうかがいます。
※平日に幼稚園、保育所等の保育施設を利用する方のみ

幼稚園や保育所など「平日の定期的な教育・保育事業を利用している方」
(問11で「1. 利用している」を選択した方)にうかがいます。

問20 この1年間に、お子様が病気やケガで幼稚園・保育所等を休んだことはありますか。
(番号の1つに○)

1. あった ⇒ 問20-1へ 2. なかった ⇒ 問21へ

問20で「1. あった」を選択した方にうかがいます。

問20-1 この1年間に、お子様が病気やケガで幼稚園、保育所等を休んだとき、どうされましたか。対処方法をお答えください。(あてはまるすべての番号に○をつけ、日数を□内に数字でご記入ください。)

1 年 間 の 対 応 方 法	日 数
1. 父親が仕事などを休んで子どもをみた ⇒ 間20-2へ	日
2. 母親が仕事などを休んで子どもをみた ⇒ 間20-2へ	日
3. 親族(同居者を含む)・知人に子どもをみてもらった	日
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	日
5. 病児保育等を利用した	日
6. ベビーシッターを利用した	日
7. しかたなく子どもだけで留守番をさせた	日
8. その他()	日

問20-1で「1. 父親が仕事などを休んで子どもをみた」または「2. 母親が仕事などを休んで子どもをみた」を選択した方にうかがいます。

問20-2 病児保育等の存在をご存知ですか。(番号の1つに○)

- ※ 病児保育等とは病気や病気の回復期にあるため集団生活が難しいと判断されたときに、保護者の就労などの理由で家庭での保育ができない場合、一時的にお子さんをお預かりする施設です。
- ※ 佐世保市では病児保育室を市内5か所(かんばん小児科・いけだ小児科・くすもと小児科(病児保育ひよこハウス)・さいくさ小児科・やまさきこどもクリニック(病児保育Teddy's))に設置(委託)しています。
- ※ 利用に際しては、一定の利用料がかかります。

1. 知っていた 2. 知らなかった

お子様の「不定期」の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの 利用についてうかがいます

- 問21 お子様は、幼稚園、保育所、認定こども園への通園や病気の時以外に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の仕事など)で不定期に利用しているサービスはありますか。
(あてはまるすべての番号に○をつけ、1年間のおおよその利用日数を □ 内に数字で記入してください)

※利用に際しては、一定の利用料がかかります。

利用している事業・日数(年間)	
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	□ □ 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の利用時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	□ □ 日
3. ファミリーサポートセンター (地域住民が子どもを預かる事業、預ける人・預かる人ともに会員登録する)	□ □ 日
4. 夜間養護事業等:トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	□ □ 日
5. ベビーシッター	□ □ 日
6. その他(具体的に)	□ □ 日
7. 利用していない ⇒ 問21-1へ	

問21で「7. 利用していない」を選択した方にうかがいます。

問21-1 現在利用していない理由をお答えください。(あてはまるすべての番号に○)

1. 特に利用する必要がない
 2. 利用したいサービスが地域にない
 3. サービスの質に不安がある
 4. サービスの利便性(利用時間・日数、場所など)がよくない
 5. 利用料がかかる・高い
 6. 利用料がわからない
 7. 自分がサービスの対象者になるのかわからない
 8. サービスの利用方法(手続きなど)がわからない
 9. その他()

問22 保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の仕事など)のため、お子様の一時預かり等サービスを利用したいですか。(番号の1つに○)
※利用に際しては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい

2. 利用する必要はない ⇒ 問23へ

問22で「1. 利用したい」を選択した方におうかがいします。

問22-1 利用したいと思うときはどんな時ですか。

(あてはまるすべての番号に○、必要な日数を□内に数字で記入してください)

1. 私用(買物、子ども【兄弟姉妹を含む】や親の習い事など)、リフレッシュ目的	□□ 日
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 など	□□ 日
3. 不定期の仕事	□□ 日
4. その他()	□□ 日

問22-2 問22-1の目的でお子様を預ける場合、どのような所に預けたいと思いますか。

(あてはまるすべての番号に○)

1. 幼稚園・保育所等で子どもを保育する事業
2. 上記以外の施設で子どもを保育する事業(例:子育て支援センター等)
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリーサポートセンター)
4. その他()

問23 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の入院など)により、お子様を『泊りがけ』で家族以外にみてもらったことはありましたか。

(番号の1つに○)	(あてはまるすべての番号に○、必要な日数を□内に数字で記入)
1. あった	1. 親族(同居者を含む)・知人にみてもらった □□ 日
2. なかった	2. 子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライト)を利用した (児童養護施設で短期間、子どもを預かる事業) □□ 日
	3. 2以外の保育施設等(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した □□ 日
	4. しかたなく子どもを同行させた □□ 日
	5. その他() □□ 日

小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

- 問24 お子様が小学校に入ったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
 (1)小学校1～3年生の間(小学校低学年)、(2)小学校4～6年生(小学校高学年)の間それぞれ希望する場所を選び、週当たりの希望日数を記入してください。
 (あてはまるものすべてに日数を記入してください。)

場所	(1)小学校低学年	(2)小学校高学年
1. 自宅	週 日くらい	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい	週 日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 日くらい	週 日くらい
4. 児童センター(注1)	週 日くらい	週 日くらい
5. 放課後子ども教室(注2)	週 日くらい または 月 日くらい	週 日くらい または 月 日くらい
6. 放課後児童クラブ(注3)(学童保育)	週 日くらい ⇒下校時から 時まで⇒間24-1ハ	週 日くらい ⇒下校時から 時まで⇒間24-1ハ
7. ファミリーサポートセンター(注4)	週 日くらい	週 日くらい
8. 障がい児通所施設(放課後等デイサービス)(注5)	週 日くらい	週 日くらい
9. その他(公民館、公園など)	週 日くらい	週 日くらい

(注1):児童センター・児童交流センター

市内には、広田、早岐、黒髪、稲荷、山澄、春日、大野、相浦、宇久の9か所の児童センターと、ことひら(御船町)の1か所の児童交流センターがあります。

(注2):放課後子ども教室

地域の方々の協力を得て、小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無にかかわらず、全ての小学生が利用できます。(開催日数は、小学校区によって、週数回や月数回など様々です。)

(注3):放課後児童クラブ(学童保育)

保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員(支援員)のもと、子どもの生活の場を提供するものです。一定の利用料がかかります。

(注4):ファミリーサポートセンター

子育てをお手伝いできる方とお手伝いしてほしい方が会員として登録。市民同士で子育てを支え合う事業です。一定の利用料がかかります。

(注5):障がい児通所施設(放課後等デイサービス)

発達障がい・知的障がい・身体障がいなどの障がいを持つ子どもたちが通うことのできる福祉サービス施設です。

問24で「6. 放課後児童クラブ」を選択した方にうかがいます。

問24-1 土曜日、日曜日・祝日、長期の休み(春・夏・冬休み)に放課後児童クラブが利用できるとしたら、それぞれの期間の利用希望の有無と利用したい時間帯(24時間制)をお答えください。

	利用希望の有無 (それぞれの番号1つに○)	利用希望時間(数字を記入)
①土曜日	1. 低学年(1～3年生)の間だけ利用したい 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 □□ 時～ □□ 時
②日曜日・祝日	1. 低学年(1～3年生)の間だけ利用したい 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 □□ 時～ □□ 時
③長期の休み (春・夏・冬休み)	1. 低学年(1～3年生)の間だけ利用したい 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 □□ 時～ □□ 時



育児休業や短時間勤務制度などの職場との両立について うかがいます

問25 お子様の保護者の育児休業の取得状況をご回答ください。

※ 母親と父親の回答欄があります。お手数ですが、それぞれご回答ください。

※ ひとり親家庭の方はどちらかをご回答ください。

(あてはまる番号の1つに○、「3. 取得していない」を選んだ方はその理由について、選択肢からあてはまるすべてを選んでご記入ください。)

母 親(番号の1つに○)	父 親(番号の1つに○)
1. 働いていなかった 2. 育児休業を取得した(取得中である) 3. 育児休業を取得していない ⇒ 取得していない理由(いくつでも)	1. 働いていなかった 2. 育児休業を取得した(取得中である) 3. 育児休業を取得していない ⇒ 取得していない理由(いくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 産休後に仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 仕事に柔軟に対応できた(自営業・自由業など)
8. 保育所などに預けることができた
9. 配偶者が育児休業制度を利用した
10. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
11. 子育てや家事に専念するため退職した
12. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
13. 有期雇用(アルバイト・パートを含む)のため育児休業の取得要件を満たさなかった
14. 育児休業を取得できることを知らなかった
15. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
16. その他()

育児休業を取得していない方(問25で「3. 育児休業を取得していない」を選択した方)にうかがいます。

問25-1 仮に育児休業が取得できた場合、お子様が何歳何か月のときに職場復帰したいと思いますか。
(□に数字を記入してください。)

母 親	父 親
2. 希望 : □ 歳 □ □ か月	2. 希望 : □ 歳 □ □ か月

育児休業を取得した方(問25で「2. 取得した(取得中である)」を選択した方)にうかがいます。

問25-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、「希望」はどうでしたか。(□に数字を記入してください。)

母 親		父 親	
1. 実際の復帰:	□ 歳 □□ か月	1. 実際の復帰:	□ 歳 □□ か月
2. 希望 :	□ 歳 □□ か月	2. 希望 :	□ 歳 □□ か月

問25-2で実際の取得期間と復帰希望が異なる方のみにうかがいます。

問25-2① 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお答えください。

1. 希望より「早く」復帰した方

母 親(あてはまるすべての番号に○)	父 親(あてはまるすべての番号に○)
1. 希望する保育所等に入るため	1. 希望する保育所等に入るため
2. 配偶者の要望があったため	2. 配偶者の要望があったため
3. 祖父母や親類からの要望があったため	3. 祖父母や親類からの要望があったため
4. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	4. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
5. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	5. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
6. その他()	6. その他()

2. 希望より「遅く」復帰した方

母 親(あてはまるすべての番号に○)	父 親(あてはまるすべての番号に○)
1. 希望する保育所等に入れなかったため	1. 希望する保育所等に入れなかったため
2. 自分子どもなどの体調が思わしくなかったため	2. 自分子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者の希望があったため	3. 配偶者の希望があったため
4. 祖父母や親類からの希望があったため	4. 祖父母や親類からの希望があったため
5. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	5. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
6. 子どもをみてくれる人がいなかったため	6. 子どもをみてくれる人がいなかったため
7. その他()	7. その他()

育児休業を取得した方(問25で「2. 取得した(取得中である)」を選択した方)にうかがいます。

問25-3 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

母 親(番号の1つに○)	父 親(番号の1つに○)
1. 職場に復帰した ⇒問25-3-①、②へ	1. 職場に復帰した ⇒問25-3-①、②へ
2. 現在も育児休業中である ⇒問25-3-③へ	2. 現在も育児休業中である ⇒問25-3-③へ
3. 育児休業中に離職した ⇒問26へ	3. 育児休業中に離職した ⇒問26へ

問25-3で「1. 職場に復帰した」を選択した方にうかがいます。

問25-3① 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等入所に合わせたタイミングでしたか。

母 親(番号の1つに○)	父 親(番号の1つに○)
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

問25-3で「1. 職場に復帰した」を選択した方にうかがいます。

問25-3② 職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

母 親(番号の1つに○)	父 親(番号の1つに○)
1. 短時間勤務制度を利用した	1. 短時間勤務制度を利用した
2. 短時間勤務制度を利用していない	2. 短時間勤務制度を利用していない

現在も育児休業中の方(問25-3で「2. 現在も育児休業中である」を選択した方)にうかがいます。

問25-3③ お子様が1歳になったときに必ず利用できる保育所等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる保育所等があっても1歳になる前に復帰しますか。

母 親(番号の1つに○)	父 親(番号の1つに○)
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に仕事に復帰したい	2. 1歳になる前に仕事に復帰したい

幼児教育・保育無償化に伴う、家計への影響についてうかがいます。

問26 令和元年10月から、幼児教育・保育無償化制度が開始され、幼稚園・保育所・認定こども園を利用される3歳から5歳までの全ての子どもの利用料が無償化されましたが、本制度により、家計に余裕がでたという実感はありますか。(番号の1つに○)

1. 非常に余裕が出たと感じる
2. 余裕が出たと感じる
3. 少し余裕が出たと感じる
4. 全く変化を感じない
5. その他()

問27 幼児教育・保育無償化分のお金の主な用途は何ですか。(番号の1つに○)

1. 子育ての費用や教育費(習い事やベビーシッター等)
2. 貯蓄(子どもの学費等の教育に関する利用を想定)
3. 上記以外の生活費
4. その他()



これからの子ども・子育て支援全般についてうかがいます。

問28 佐世保市における子育ての環境や支援に全体的に満足していますか。(番号の1つに○)

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 |
| 3. どちらともいえない | 4. やや不満 |
| 5. 不満 | |

問29 佐世保市における子育ての環境や支援について「満足している点」をお答えください。
(あてはまるすべての番号に○)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 自然環境がよい | 2. 遊べる場所が多い |
| 3. 治安が良い | 4. 交通や買い物などが便利 |
| 5. 物価(土地・住宅等)が安い | 6. 地域医療の充実 |
| 7. 同年代の子どもの人数が多い | 8. 地域の人たちとのつながりが強い |
| 9. 保育や教育の施設数が多い | 10. 子育てに関する支援サービスの充実 |
| 11. 子育てしながら働きやすい | 12. 公共施設の充実 |
| 13. その他() | |

問30 佐世保市における子育ての環境や支援について「不満と思っている点」をお答えください。
(あてはまるすべての番号に○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 自然環境が悪い | 2. 遊べる場所が少ない |
| 3. 治安が悪い | 4. 交通や買い物などが不便 |
| 5. 物価(土地・建物等)が高い | 6. 地域医療の不足 |
| 7. 同年代の子どもの人数が少ない | 8. 地域の人たちとのつながりが薄い |
| 9. 保育や教育の施設数が少ない | 10. 子育てに関する支援サービスの不足 |
| 11. 子育てしながら働きにくい | 12. 公共施設の不足 |
| 13. 塾や習い事への経済的支援がない | 14. その他() |

問31 あなたのご家庭では、お子様の人数は何人が理想だと考えますか。また、現実的に生み・育てられるお子様の人数は何人だと考えますか。(□ に数字を記入)

1. 理想のお子様の人数 人

2. 現実的なお子様の人数 人

問32 問31で現実的なお子様の人数が、理想のお子さんの人数より少ない方にお尋ねします。
現実的なお子様の人数が、理想のお子様の人数よりも少ないのはどのような理由からですか。
(あてはまるすべての番号に○)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 体力・健康の面で難しい | 2. 年齢的に難しい |
| 3. 精神的な負担が大きい | 4. 経済的な負担が大きい |
| 5. 仕事と子育ての両立が難しい | 6. 家族の看護や介護がある |
| 7. 持ち家や借家など住宅事情が悪い | 8. 子育てが楽しいと思えない |
| 9. 子育てに自信が持てない | 10. 自分のやりたいことが十分にできない |
| 11. 子どもの教育環境に不安がある | 12. その他() |

問33 子育てにあたって、感じている不安や課題についてお答えください。
(あてはまるすべての番号に○)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 子どもの育児と仕事の両立 | 2. 子どもと一緒にいる時間に制約がある |
| 3. 子どもの教育費や医療費などの経済的な不安 | 4. 社会的な孤立感 |
| 5. 子どもの将来に対する不安 | 6. 子育てへのストレスや疲労感など精神的な負担 |
| 7. 社会的な偏見や差別に対する不安 | 8. 子どもに対する食事の提供 |
| 9. その他() | |

問34 ご家庭で子育てを行っている方はどなたですか。あて名のお子様から見た関係と参加の状況をお答えください。(あてはまるすべての番号に○)

	母親	父親	祖父母	きょうだい	その他 ()
殆ど全て担っている	1	2	3	4	5
積極的に参加している	6	7	8	9	10
少しは参加している	11	12	13	14	15
殆ど(全く)参加していない	16	17	18	19	20

【記入例】

- ・母親がほぼすべての子育てを担っている場合：1に○、同居する17～20に○
 - ・子育ては母親中心で、父親は積極的に参加している場合：1と7に○、同居する18～20に○
 - ・子育ては母親と父親で同じくらい担っている場合：6と7に○、同居する18～20に○
 - ・子育ては母親中心で、祖母が少しは参加している：1と13に○、同居する17と19と20に○
- ※不在の場合は○を付けないでください。

問34-1 主に子育てを行っている方から見て、他の家族にどのような役割を分担してほしいと感じますか。
(あてはまるすべての番号に○)

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 食事の準備・調理 | 2. 子どもの入浴・着替え |
| 3. 子どもの登園や習い事の送迎 | 4. 子どもの勉強のサポート |
| 5. 子どもの病気や怪我のケア | 6. 子どもの登園や習い事のサポート |
| 7. 子どもの健康管理 | 8. 子どもの教育や成長に関する情報収集 |
| 9. 子どもとのコミュニケーション | 10. 子どもの自主性や自立心の育成 |
| 11. 子どものルールやマナーの教育 | 12. 子どもの感情やコミュニケーション能力の育成 |
| 13. その他() | |

問34-2 主に子育てを行っている方から見て、他の家族が子育てに参加しない理由は何だと思いますか。
(あてはまるすべての番号に○)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 子育てへの関心が低い | 2. 子育てに関する職場の制度が不足している |
| 3. 職場の子育てに関する意識が低い | 4. 子育てに関する知識や技術の不足 |
| 5. 家庭内のしきたりやルール | 6. 仕事が多忙で、子育ての時間がない |
| 7. 趣味などで子育ての時間が作れていない | 8. 夜中に帰宅するため子育ての時間がない |
| 9. 子育てに参加してほしいから | 10. 子育てに参加するための、家族のサポート不足 |
| 11. 仕事で不在のため参加できない(単身赴任など) | 12. 子育てに参加できない(病気など) |
| 13. その他() | |

問35 佐世保市が行っている子ども・子育て支援に関する取組の「認知度」、「重要度」及び「満足度」における、あなたの考えや意見に近いと思う番号にそれぞれ○をつけてください。

項目	認知度		重要度				満足度			
	知っている	知らない	重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない	満足	やや満足	やや不満	不満
【例】〇〇〇〇の取組	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4
① 安心して妊娠・出産できるための乳幼児健診などの母子保健サービス	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4
② 障がいや発達に心配のある子どもに対する支援	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4
③ 子どもの医療費や教育費の負担軽減などの経済的な支援	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4
④ 児童手当や保育施設の利用申し込みなど行政手続の電子申請サービス	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ 子育てサークルなど地域での自主的な子育て活動への支援	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ 子どもの健全育成のための居場所や遊び場づくり（児童センター、メリックKid's、「きららパーク」等）	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦ 親子同士の交流を図るための支援（地域子育て支援センター 等）	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧ 延長保育など多様なニーズにこたえられる幼稚園・保育所等	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨ 子育てに困ったときの相談窓口（ままんちさせぼ 等）	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩ 子育てに関する情報提供（子育て応援サイト「すくすくSASEBO」、子育て応援アプリ「させぼっ子ナビ」等）	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4
⑪ 子育てと仕事が両立できる職場環境づくり（ワークライフバランス）	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4
⑫ 親子教室や子育て講座などの子育てについて学べる場の提供（父親向け育児講座、離乳食講座 等）	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4
⑬ 保育所、放課後児童クラブ等の働きながら子どもを預けられる施設	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4
⑭ 保護者の就職斡旋や職業訓練などの就労支援	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4
⑮ 子育てにあたっての住宅や周辺環境の整備や改善	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4
⑯ 奨学金など、子どもの教育に関する支援	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4



最後に、佐世保市の子育て支援施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたらご自由にご記入ください。
(例えば、子育てをする上で必要なサービスやスポットなど)
※回答にあたっては、個人が特定される情報を記載しないでください。



本調査用紙に記入して回答いただく場合は、
同封の封筒に入れ、切手は貼らずに最寄りの郵便ポストへ
4月15日(月)までに投函してください。

**調査にご協力いただき、
誠にありがとうございました。**



**佐世保市
子育て応援**